	号				事務事業評価表	(TIME)	2十段)							
事業コー	- ド	1022		課コード	1502	会計種別	一般会計			予算の	種類	□政策	■経常	□なし
1. 事業	の概要 (PLAN)													
4%		0.4.5	基本事業				実施計画への				5.1-1m.5			
		①事業名	個別事業 スクー	ールサポート教員の配置	置事業		位置づけ		有 〇無		②部課名	教育総務部	・学校教育課	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 O <sup>2</sup>	その他(	~	)	④対象地区 ⑥担当職員数	□我孫子	□天王台	□湖北 2 人	□新木  (換算人数	□布佐	●全市 0.15 人)	
(1)事業概要	Į.	⑦事業費	<b>公市世</b> 弗					(当 初)	10,	653 千円	(うち人件費		1,305 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	52102	重点プロジェクト 重点 への位置づけ	なし	基本計画地区別計画への位置づけ		有●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(0) = 11		施策目的・					<b>*</b>		<b>か細やかな指導のた</b>	め、少人数:			充実させる。	
(2)目的		展開方向			習得を支援するとともに、主体的に学習に取り組む									
			る指導に当たる。	とともに、きめ細やかな	来からあったティームティーチング(複数教員によな指導に対応するための補助教員としての役割を担		£	小中学校の特別	スクールサポート教 別支援学級の増加に -					小中学校に各
(a) <del></del>			の配置について	は少人数指導の効果がす	発揮できるよう学校の実状を考慮して配置する。		当該年度 執行計画	名ずつ配置する	5.					
(3)事業内容	•	内 容						75 "114						_
							当該年度 活動結果指標	スクールサホ-	- ト教員の配置人数			単位	人 規定値 実績値	
(4)達成目標	(期待する成果)			達成目標	票(期待する成果)		指標種類		指	標		単位	1	(6)目標値
当該年度	E			を充実させるため臨時			直接	スクールサポ-	- ト教員の配置人数			٨.	7	-
令和 3年	度			を充実させるため臨時4			直接		- ト教員の配置人数			٨		1
令和 4年	度			を充実させるため臨時			直接	スクールサポ-	- ト教員の配置人数			٨.		15
(7)事業実施	上の課題と対応	学年が生じたとき.	、少人数として加	配教員が一人配当される	lの施策として、学年の一学級あたりの平均児童数だ ることになっている。県の加配教員の配置が決定さ			0	有 ●無					
		なため、予算の獲行	得時期に把握が難 平成31年度	しく、実態に合わせた配	配置がかなわないことがある。				和 3年度			令利	] 4年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内 容 予算	額(千円) 決算	額(千円) 政策	内容	3	金額(千円)	政策	内 容	!	金額(千円)
			ッサポート5名賃金 ■校スクールサポー		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7, 607 218		交スクールサポー ク配置小学校スク-		7, 60 21		7ールサポート 『小学校スクー	· 5 名報酬 -ルサポート報酬	7, 607 1 218
		緊急的配置中学	校スクールサポー 学級スクールサポ	- ト賃金 231	ハ学校特別支援学級スクールサポート 1名報酬(週2回勤務)	653	479 小学村	交特別支援学級スク 最酬(週2回勤務)	<b>クールサポート</b>	65	3 小学校特別		ールサポート	653
		1名賃金・保険			中学校特別支援学級スクールサポート	652	645 中学村	交特別支援学級スク 最酬(週2回勤務)	<b>クールサポート</b>	65	2 中学校特別		ールサポート	652
	実施内容	1名賃金・保険			緊急的配置中学校スクールサポート報酬	218		内配置中学校スク-		21			-ルサポート報酬	1 218
(8)施行事項														
	,,,													
	予算(決算)額 国庫支出金	·	t 計 0 %	9, 854		9, 348	7,604	合 計	0 %	9, 34	8 補助率	合 計	0 %	9, 348
(0) B17F -1-50	県支出金	補助率	0 %		補助率	0	0 補助率 0 充当率		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	(
(9)財源内訳	一般財源	,	益 □基金 □その作	9,854		9, 348	7, 604	持会 □受益 □基金	☆ □その他	9, 34	8	□受益 □基金		9, 348
	換算人数(人)	-175 -22		0. 15 1. 320		0. 15 1. 305	0. 15 1. 305	,		0. 1 1. 30	5			0. 15 1, 305
(10)人件費等	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			0 9, 854		0	0				0			9, 854
事業費(予算() (11)単位費月	決算)額+正職員人件費)		1 F00 00 T FT (	11, 174	1 501 00 7 57 (1	10, 653	8, 909			10, 65	3			10, 653
	ピン活動結果指標) : <b>の評価 (DO+CHECK</b>	<u> </u>	1,596.29千円/.		1,521.86千円/人		1, 272. 71							
2. 尹未	けんしゅうしゅう (アウナウロアウン)	,												
					5 95 JE	<u> </u>		東 ※ 証	连 /証序结用/cc	10 功美安	₩₩ /₩★+ <u>^</u> +	~\ \ \		과혹수림
	評価項目	小中学校の学級編	制については、平		<b>カー 評 価</b> 地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教	育の充実を  ●	●①事前確認での想象		価(評価結果に応	じ、改善案	検討(拡充も含む	3))		改善検討
	評価項目	図るため、都道府!	県教育委員会の判	成14年度から教育の5 断により、特例的に国の		なり、現在 C	①事前確認での想及 ②事前確認での想及	<b></b>		じ、改善案	検討(拡充も含む	3))		改善検討
(1)事業		図るため、都道府! ではすべての小中! 、従来からあった! 学級編制の弾力的!	県教育委員会の判  学校において「3 ティームティーチ 運用にも対応して	成14年度から教育の 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級」 ングによる指導にあたる	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教 の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と	なり、現在 C ート教員は 担い、また </td <td></td> <td>きどおり きどおりでなかった 由/想定どおりで</td> <td>たなかった原因&gt;</td> <td>じ、改善案</td> <td>検討(拡充も含む</td> <td>3))</td> <td></td> <td></td>		きどおり きどおりでなかった 由/想定どおりで	たなかった原因>	じ、改善案	検討(拡充も含む	3))		
(1)事業背景	が今必要である理由・	図るため、都道府! ではすべての小中 、従来からあった 学級編制の弾力的 を考慮して配置する 〇①民間企業、N	県教育委員会の判I 学校において「3 ティームティーチ 運用にも対応して「 <u>るものである。</u> I P O 、市民団体等	成14年度から教育のは 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 ングによる指導にあたる いるものである。その配 では実施できない	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教 の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と 」を行っている。このようなことからスクールサポ るとともに、少人数学級の補助教員としての役割も	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 県	②事前確認での想象 想定どおりとした理 費負担の職員が足り ■①民間企業、NPC	をどおりでなかった 由/想定どおりでなかった ない学校に配置で の、市民団体等でし	た なかった原因> きたため。 よ実施できなかった	√市実施	の具体的な内容・	必要性の理由		O要
(1)事業背景	が今必要である理由・	図るため、都道府! ではすべての小中・、従来からあった・学級編制の弾力的・を考慮して配置、N (理由) □法令等 □提供主人	果教育委員会の判 学校において「3 ティームティ応して「3 ティーも対ある。 国内のである団体等 はアの、市民団体等で市が実施するこ 体が市しかない	成14年度から教育のは 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 ングによる指導にあたっ いるものである。その配	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう	なり、現在 ト教員は 担い、また 学校の実状	②事前確認での想見 想定どおりとした理 費負担の職員が足り 【①民間企業、NPO 【②市が主導で進めれ 】③市が先導役となっ	をどおりでなかった 由/想定どおりでなかった は、学校に配置で ない学校に配置で の、市民団体等でしなければ実効性がない	た なかった原因> きたため。 よ実施できなかった なかった	√市実施		必要性の理由		〇要
(1)事業背景	だ今必要である理由・ とは?(事業の必要性)	図るため、都道府 ではすべてのかった では来からあった。 学級編制の弾力 を考慮して配置す 〇①民間企業、N (理由) □法令等 □提供生・ □その他	果教育委員会の判 学校において「3 テ連ームティームティー を を ものである。 IPO、市民団体等 で市が実施するこ 体が市しかない	成14年度から教育のは 所により、特例的に国 5人学級・38人学級 ングによる指導にあた。 いるものである。その配 すでは実施できない とが定められている	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  < その他の内容>	なり、現在 一ト教員は 担い、また 学校の実状	②事前確認での想気 想定どおりとした理 費負担の職員が足り ①民間企業、NP( ②市が主導で進め 3。保証された 1④市の支援が政策	をどおり をとおりでなかっか 由/想定どおりで ない学校に配置で つ、市民団体等でしなければ実効性がったことで市民へも ・施策の目標の実装	た なかった原因> きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層	√市実施	の具体的な内容・	必要性の理由		●不要
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	図るため、都道所ではすべてのかりではすべてのかった。 ではすべてのあった。 従来物かの弾力的が を考慮して配置す。 〇①民間企業、N (理由) □提供の他	県教育委員会の判 学校において、 ディームテルトラー 連用にもある。 はのである。 はのである。 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はいでは、 とっと。 はいでは、 とっと。 とっと。 は、 とっと。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	成14年度から教育の1 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 ングによる指導にあた。 いるものである。その1 きでは実施できない とが定められている である より実効性が得られる	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 県:	②事前確認での想気 想定どおりとした理 費負担の職員が足り 10②雨が生導で進めた 13②市が先導でとなっ 促進された 14③サービスの安定化 16⑤サービスの安定化	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいいでは実効性がいったことで市民へもいったことである。 施策の目標の実践を	た なかった原因> きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層	√市実施	の具体的な内容・	必要性の理由		〇要
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ はは?(事業の必要性)	図るため、都道の中ではすべてのかった、学級編して配置する。 ・学教編して配置する。 ・学教には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	県教育委員会の「3 学校にムティにる テー連るもので、またでは、 「PPO、市民する。」 「PPO、実施ないでは、 ででは、 では、 でもが推進のするにといる。 でも、 でも、 でも、 でも、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	成14年度から教育のは 所により、特例的に国の 5人学級・38人学級・ ングによる指導にあたっ いるものである。その記 では実施できない とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定した	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理 費負担の職員が足り (①民間企業、NPG (②市が主導で進めか 13市が先導役とな 促進された (3年の支援が政策 (3・サービス水準が	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいいでは実効性がいったことで市民へもいったことである。 施策の目標の実践を	た なかった原因> きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層	√市実施	の具体的な内容・	必要性の理由		O要 ●不要
(1)事業 背景 必要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	図るため、都道の中ではすべらのちのちのから弾力ではでいるのから弾力を引き、N(理由) □ 提供の ●②自治 中市がが リーガー をまる (理由) ■ 市がが デザーが 変 実現が になっています。	県教育委員会の「3 学校にムティにる テー連るもので、またでは、 「PPO、市民する。」 「PPO、実施ないでは、 ででは、 では、 でもが推進のするにといる。 でも、 でも、 でも、 でも、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	成14年度から教育の1 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 ングによる指導にあた。 いるものである。その1 きでは実施できない とが定められている である より実効性が得られる	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理 費負担の職員が足り (①民間企業、NPO 1②市が主導でとなっ 促進された 1(④市の支援が政策 11(⑤サービス水準が 11(⑥サービスの安定を 10での他	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいいでは実効性がいったことで市民へもいったことである。 施策の目標の実践を	た なかった原因> きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層	√市実施	の具体的な内容・	必要性の理由		O要 ●不要
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	図るため、都山の中ではすべらのからではすべらのから弾力でが、であるができる場合で、できる場合では、N(理由) □は提供の ●②自治体である(理由) □市が大・ビットが、サービッド・ビットがより、サービットが、サービットがより、サービットがより、サービットがより、サービットがより、サービットがより、サービットがより、サービットがより、サービッド・ファールを、サービットがより、サービッドがより、サービットがより、サービッドがより、サービットがより、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッドが、サービッ・サービッ・サービッ・サービッ・サービッ・サービッ・サービッ・サービッ・	県教育をはいています。 果教育を表して「一大」 学校一ムも対象に対しています。 ア連るもので、市民でもいいでは、 IPO、市市市市では、 市のでは、 市が進進のます。に、 市が進進のます。に、といいます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	成14年度から教育の1 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 ングによる指導にあた。 いるものである。その記 きでは実施できない とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPG (2②市が生導で進めか 13)市が先導役とな 促進された (43市の支スが築が (5)サービスの安定 (16)サービスの安定 (17)その他 その他の内容>	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまで、 ない学校に配置でいました。 なければとで市民(実効性がいったことでである) ・施策の目標の実 権保された 供給基盤が確保さる。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層 見に貢献した れた	√市実施	の具体的な内容・ であるため市がす	必要性の理由	<b>がある</b> 。	O要 ●不要
(1)事業 背景 必要 性 (2)市が ある (市)	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	図るため、都道の中ではすべらのちの方の方のあった学級編している弾型面で、Nで多様の一切では、Nでは、Nでは、Nでは、Nでは、Nでは、Nでは、Nでは、Nでは、Nでは、N	果教育を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	成14年度から教育の1 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 ングによる指導にあた。 いるものである。その記 きでは実施できない とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPG (2②市が生導で進めか 13)市が先導役とな 促進された (43市の支スが築が (5)サービスの安定 (16)サービスの安定 (17)その他 その他の内容>	をどおりをといった。 由/想定どおりでなかった。 ない学校に配置でいた。 の、市民団体等ではいれば実効性がったことで市民へ行ったことで、 ・施策の目標の実現を保された。 供給基盤が確保された。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層 見に貢献した れた	· <市実施義務教育	の具体的な内容・であるため市が身	必要性の理は	<b>がある</b> 。	O要 ●不要
(1)事業景 必要性 (2)市がある(市)	が今必要である理由・ には?(事業の必要性) が実施する必要性はか? 実施の必要性)	図るため、不のあった的ではすべいのかのではすべいののではすべいののでができる違しででは発編している。 ○①民間企業会には、 ○②自治体でがが、 □をの他では、 ○②事業・理・関係をは、 ○②事業・理・関係をは、 ○②事業・理・関係をは、 ○②事業・理・関係をは、 ○③管理・関係をは、 ○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○④をは、 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	県教学校一山も地では、 東学校一山も地では、 大運るして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 5人学級・38人にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPG (2②市が生導で進めか 13)市が先導役とな 促進された (43市の支スが築が (5)サービスの安定 (16)サービスの安定 (17)その他 その他の内容>	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまで、 ない学校に配置でいました。 なければとで市民(実効性がいったことでである) ・施策の目標の実 権保された 供給基盤が確保さる。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層 見に貢献した れた	< 市実施 義務教育 ○①当者 ●②当者	の具体的な内容・であるため市が身	必要性の理は	<b>がある</b> 。	<ul><li>● 要</li><li>● 不要</li><li>● 不要</li></ul>
(1)事業景 必要性 (2)市がある(市)	まが今必要である理由・ は(マ)(事業の必要性) で実施する必要性はかかっ 実施の必要性)	図るため、不らのではなべいのからがでは、不らのではでいるのかのからのでは、不らのでののののができれている。 ○①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	県教学校・一は、	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 5人学級・38人にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPG (2②市が生導で進めか 13)市が先導役とな 促進された (43市の支スが築が (5)サービスの安定 (16)サービスの安定 (17)その他 その他の内容>	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまで、 ない学校に配置でいました。 なければとで市民(実効性がいったことでである) ・施策の目標の実 権保された 供給基盤が確保さる。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層 見に貢献した れた	< 市実施 義務教育 ○①当者 ○②当者	の具体的な内容・であるため市が実 であるため市が実 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり	必要性の理は実施する必要が	容	○要 ● 不 要 ● 不 ~ 要 ● ~ ~ — — — — — — — — — — — — — — — — —
(1)事業 背 が ある (市)	まが今必要である理由・ は(マ)(事業の必要性) で実施する必要性はかかっ 実施の必要性)	図るためではない。 都の小った的ではなべいのあの弾面ではなべいののあってのでは変には、	県教学校・一は、	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 5人学級・38人にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPG (2②市が生導で進めか 13)市が先導役とな 促進された (43市の支スが築が (5)サービスの安定 (16)サービスの安定 (17)その他 その他の内容>	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまで、 ない学校に配置でいました。 なければとで市民(実効性がいったことでである) ・施策の目標の実 権保された 供給基盤が確保さる。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層 見に貢献した れた	< 市実施 義務教育 ○①当者 ○②当者	の具体的な内容・であるため市が身 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり 可の期待以下	必要性の理は実施する必要が	容	○要 ● 不 要 ● 不 要 ● 不 ●
(1)事業 背 必 要 性 (2)市が あ の 市 5	まが今必要である理由・ は(マ)(事業の必要性) で実施する必要性はかかっ 実施の必要性)	図るため、不らのではなべいのからがでは、不らのではでいるのかのからのでは、不らのでののののができれている。 ○①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	県教学校・一は、	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 シグによる指導にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られるにより、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPG (2②市が生導で進めか 13)市が先導役とな 促進された (43市の支スが築が (5)サービスの安定 (16)サービスの安定 (17)その他 その他の内容>	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまで、 ない学校に配置でいました。 なければとで市民(実効性がいったことでである) ・施策の目標の実 権保された 供給基盤が確保さる。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 普及が一層 見に貢献した れた	< 市実施 義務教育 ○①当者 ○②当者	の具体的な内容・であるため市が身 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり 可の期待以下	必要性の理は実施する必要が	容	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 要
(1)事業 背 が ある (市)	まが今必要である理由・ は(マ)(事業の必要性) で実施する必要性はかかっ 実施の必要性)	図るためではない。 都の小さい的す ののありでは深線値して企業会にして、学級編しして企業会にして企業会にして、会社のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	果教学では、	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 シグによる指導にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られるにより、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPO (1②市が生導で進めれ (13) 市が先導役となー 促進された13(3) 市の支援水が楽がは (13) サービスの安全 (17) その他 その他の内容〉 実施した参加・協働が表	をどおり をどおりでなかった 由/想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまで、 ない学校に配置でいました。 なければとで市民(実効性がいったことでである) ・施策の目標の実 権保された 供給基盤が確保さる。	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた なく (又は今後、 はその内容)	《市実施養務教育 ●②当者 ●③当者	の具体的な内容・であるため市がす 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり の明待以下 た以上となった 環境	必要性の理は実施する必要が	容	○要 ● 不 要 ● 不 要 ● 不 ●
(1)事背       参加・協働のH夫         事景       がる市         (2) 市あ市       市工(体         民夫制       のしつ	は?(事業の必要性)  「実施する必要性はか? 実施の必要性)	図はため、ではない。 N 等 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	果教学校・一し、体 この で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 シグによる指導にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られるにより、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大きの他の内容〉  「大きの人物である」  「大きの他の内容〉  「大きの他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPO (1②市が生導で進めれ (13) 市が先導役となー 促進された13(3) 市の支援水が楽がは (13) サービスの安全 (17) その他 その他の内容〉 実施した参加・協働が表	定どおり をどおりでなかった 由ノ想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまければでで、 なければでで、 を作れた ・施策の目標の実 を作れた ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた なく (又は今後、 はその内容)	〈市実施養務教育 ○①当当名 ○③当名 ✓期待し	の具体的な内容・であるため市がす 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり の明待以下 た以上となった 環境	必要性の理は 実施する必要が 動の程度・内 理由/期待以下	容	○要 ● 不 要 ● 不 要 ● 不 ●
必要性       参加・協働のH夫       環境へ         (1)事背       市あ市       のしつづいた         (2)ああ市       市工(体       環境・         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (3) 日本       できる。       できる。         (4) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (6) 日本       できる。       できる。         (7) 日本       できる。       できる。	が今必要である理由・ はは?(事業の必要性) で実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? がくり)	図はたすべかのすい。	果教学では 素学校に一年では 新草では では では では では では では では では では	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 シグによる指導にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られるにより、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大きの他の内容〉  「大きの人物である」  「大きの他の内容〉  「大きの他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPO (1②市が生導で進めれ (13) 市が先導役となー 促進された13(3) 市の支援水が楽がは (13) サービスの安全 (17) その他 その他の内容〉 実施した参加・協働が表	定どおり をどおりでなかった 由ノ想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまければでで、 なければでで、 を作れた ・施策の目標の実 を作れた ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた なく (又は今後、 はその内容)	(市実施者 養務教育) ○①当当名 ○②当当名 ○別の ○回の ○回の<	の具体的な内容であるため市が写 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり 可の期待以下 た以上となった理 環境	必要性の理は 実施する必要が 働の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要要要         ● 不 要要要         ○ ● 不 要要要
必要性       参加・協働のH夫       環境へ         (1)事背       市あ市       のしつづいた         (2)ああ市       市工(体       環境・         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (3) 日本       できる。       できる。         (4) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (6) 日本       できる。       できる。         (7) 日本       できる。       できる。	が今必要である理由・ はは?(事業の必要性) で実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? がくり)	図は大きなが、	果教学では 素学校に一年では 新草では では では では では では では では では では	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 シグによる指導にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られるにより、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大きの他の内容〉  「大きの人物である」  「大きの他の内容〉  「大きの他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPO (1②市が生導で進めれ (13) 市が先導役となー 促進された13(3) 市の支援水が楽がは (13) サービスの安全 (17) その他 その他の内容〉 実施した参加・協働が表	定どおり をどおりでなかった 由ノ想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまければでで、 なければでで、 を作れた ・施策の目標の実 を作れた ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた なく (又は今後、 はその内容)	(市実施者 養務教育) ○①当当名 ○②当当名 ○別の ○回の ○回の<	の具体的な内容であるため市がす 参加・協 可期待したとおり 可期待したとおり の期待したとおり の期待したとなった理 ほどおりでなかっ	必要性の理は 実施する必要が 働の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要 要 ○ 要 要 要 ○ ● 不 要 要
必要性       参加・協働のH夫       環境へ         (1)事背       市あ市       のもしづいた         (2)ある市       市工(体       環境・         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (3) 日本       できる。       できる。         (4) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (6) 日本       できる。       できる。         (7) 日本       できる。       できる。	が今必要である理由・ はは?(事業の必要性) で実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? がくり)	図はたすべかのすい。	果教学では 素学校に一年では 新草では では では では では では では では では では	成14年度から教育の3 断により、特例的に国の 5人学級・38人学級 シグによる指導にあた。 いるものである。その記 すでは実施できない。 とが定められている である より実効性が得られるにより、良質で安定した 政策・施策の目標の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大きの他の内容〉  「大きの人物である」  「大きの他の内容〉  「大きの他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPO (1②市が生導で進めれ (13) 市が先導役となー 促進された13(3) 市の支援水が楽がは (13) サービスの安全 (17) その他 その他の内容〉 実施した参加・協働が表	定どおり をどおりでなかった 由ノ想定どおりでない学校に配置でない学校に配置でいまければでで、 なければでで、 を作れた ・施策の目標の実 を作れた ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された ・機会基盤が確保された	た なかった原因〉 きたため。 は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた なく (又は今後、 はその内容)	(市実施者 養務教育) ○①当当名 ○②当当名 ○別の ○回の ○回の<	の具体的な内容であるため市がす 参加・協 可期待したとおり 可期待したとおり の期待したとおり の期待したとなった理 ほどおりでなかっ	必要性の理は 実施する必要が 働の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要要要         ● 不 要要要         ○ ● 不 要要要
必要性       参加・協働のH夫       環境へ         (1)事背       市あ市       のしつづいた         (2)ああ市       市工(体       環境・         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (2) 市あ市       できる。       できる。         (3) 日本       できる。       できる。         (4) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (5) 日本       できる。       できる。         (6) 日本       できる。       できる。         (7) 日本       できる。       できる。	が今必要である理由・ はは?(事業の必要性) で実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? がくり)	図は、	果教学では 素学校に一年では 新草では では では では では では では では では では	成14年度から教育の1 成14年度から教育の1 断により、特例的に国位 5人学級・38人にあた。 5人学は多ないるものできない。 きでは実施できない。 とが定められている である。 より、ものできない。 とが定められている でも変勢性が得らなる。 よりより、施策の目標の ないるものである。	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大きの他の内容〉  「大きの人物である」  「大きの他の内容〉  「大きの他の内容〉	なり、現在 ート教員は 担い、また 学校の実状 ■ □	②事前確認での想気 想定どおりとした理費 費負担の職員が足り (1①民間企業、NPO (1②市が生導で進めれ (13) 市が先導役となー 促進された13(3) 市の支援水が楽がは (13) サービスの安全 (17) その他 その他の内容〉 実施した参加・協働が表	をどおりでなかった。 由ノ想定とおりでない学校に体等では、 かい学校に体等でが、 いまない学校に体等でが、 いまないでであれた。 をはまないではないではない。 をはるないではないではない。 をはるないではないではないではない。 をはるないではないではないではない。 をはるないではないではないではない。 をはるないではないではないではないではないではない。 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではない。 は、これではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	たなかった原因〉 きたため。 は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(市実施育 養務務教育 (本務務教育) (本のでは、1000年) (本のでは	の具体的な内容であるため市がす 参加・協 可期待したとおり 可期待したとおり の期待したとおり の期待したとなった理 ほどおりでなかっ	必要性の理は 実施する必要が 働の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要要要         ● 不         ● 要要要
必要性       参加・協働の日夫       環境への配慮         必要性       参加・協働の日夫       環境るの配慮	が今必要である理由・ はは?(事業の必要性) で実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? がくり)	図でに従来編成の (理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	果教を 中では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成14年度から教育の3 成14年度から教育の3 断により報・18月により報・18月により報・18月により報・18月にあってある。その記 う人がによめである。その記 では実施できない。 さが定められている ではまり、施策の目標の 本りは、施策の目標の でもない。	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉   工夫の具体的な内容  取組む内容	な   ト	②事前確認での想象での想象ででは、	をどおりでなかった。 由ノ想定とおりでない学校に体等では、 かい学校に体等でが、 いまない学校に体等でが、 いまないでであれた。 をはまないではないではない。 をはるないではないではない。 をはるないではないではないではない。 をはるないではないではないではない。 をはるないではないではないではない。 をはるないではないではないではないではないではない。 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではない。 は、これではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	た。 なかった原因> ままため。 は実施できなかった はなかった 音及が一層 現に貢献した れた  ② (又は今後、 まその内容)  ●① 目標値達成 ○② 目標値未達成	(本本文本 本本文本 本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	の具体的な内容・であるため市が写 参加・協可期待した以上といりの期待したとと なった 理 受どおり でなかった 属 まりでなかった 属 まりでなかった 属	必要性の理を 実施する必要が 動の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮 た	容	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○ </td
必要性       参加・協働の日夫       環境への配慮         必要性       参加・協働の日夫       環境るの配慮	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)  が実施する必要性は か? 実施の必要性)  参加や市民との協働を ているか? だくり)	図でに従来編成の (理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	果教を 中では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・市では ・市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成1 4年度から教育の1 成1 4年度から教育の1 所により報い。 48 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう	なートン 現員は といいの 単型 対 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想象での想象での想象を表した理りとした理りとした理り員が見ります。   1①民間企業、で進めない。   (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	定どおりでなかった。 由ノ想定とおりでなかった。 由ノ想定とおりでない学校に関係等でがいた。 ない学校に関係等でがった。 を策された。 をできなれた。 をできる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	たなかった原因〉 きたため。 は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(市実教育 本本	の具体的な内容であるため市がするかりであるためのであるための市がするかりにしたとおりの期待にした以上となった理ないとないのは、というないでなかった。原因と、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	必要性の理を 実施する必要が 動の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮 た	容	○● 不       要要         ○● 不       要要要         ○● 不       要要要要要要要
必 要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 常義 でいた できま できま できま できま かん でいま できま できま できま できま できま できま できま かん できま	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)  が実施する必要性は か? 実施の必要性)  参加や市民との協働を ているか? だくり)	図は、	果教学では、	成1 4年度から教育の1 成1 4年度から教育の1 所により報い。 48 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉   工夫の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  「根値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかさい値ではない がかさいばってはない まが有る場合、比較対象例における目標値(と現況	なートン 現員は といいの 単型 対 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	②事前確認 とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り 目①民間企業、で進めない (1②市が生導でといて (12)市が生導で (13)で (14)で (14)で (15)で	定どおりでなかった。 由ノ想定とおりでなかった。 由ノ想定とおりでない学校には関うない学校には関うないでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	た なかった原因> ままたため。 ま実施できなかった まなかが一層 現に貢献した れた (又は今後、 なるの内容) (本できなかった できなかった できなかった できなかった の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 の内容) (本できるなが、 のの内容) (本できるなが、 のの内容) (本できるなが、 のの内容) (本できるなが、 ののののできるなが、 のののできるなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののできなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、 ののでもなが、	<ul> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務務教育)</li> <li>(本務教育)</li> <li>(本務教育)</li> <li>(本表別教育)</li> <li>(本表別教育)</li></ul>	の具体的な内容であるため市がするからであるためのであるためであるためであるためにという。 かいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	必要性の理を 実施する必要が 動の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮 た	容であった原因>	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○ </td
必要性       参加・協働の工夫       環境への配慮         (1)事背       市本工(体       環い         (1)事情       (1)目標	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)  が実施する必要性は か? 実施の必要性)  参加や市民との協働を ているか? だくり)	図は、	果教学では、	成14年度から教育の 所により級・特例的に対象・ 5人どにより級・指ある。その 5人どによりである。その では実施でもている では実施られている では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られている。 では実施られる。 では実施られる。 では実施られる。 では実施られる。 では実施られる。 では実施のの。 では実施のの。 では実施のの。 では実施のの。 では実施のの。 では実施のの。 では実施のの。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の側の内容〉  「大の側の方と、「大の側にありる目標値(と現況ある。実施予定の対策 」 「関語用 「⑤ F I 等民間資本の記します。」	の を ・	②事前確認 とした理り 関定 どおりとした理り 関定 どおりとした理り 関定 といた理り 関係	定どおりでなかった。 由ノ想定じおりでなかった。 由ノ想定じおりでない学校には、 ない学校には、 のは、市ればとでは、 のは、中ればとでは、 をできる。 をできる。 のは、	た なかった原因> ままたため。 は実施できなかった 音及いできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなかった 音をないできなができなができなができなができなができなができなができなができなができなが	<ul> <li>(本義</li></ul>	の具体的な内容・ 参加・協 の別期待したという。 したとしまおりのの期待は以と下 た以上となった理 をごどおりでなかった原 なできたため 事業 ●①事の想	必要性の理を 変施する必要が 働の程度・内 連由/期待以下 竟への配慮 た 限因>	容 容 であった原因 >	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○ </td
必要性       参加・協働のH夫       環境への配慮         がるする       第二人体         ボスト       環境への配慮         (1) 事情       事業	が今必要である理由・ は(字(事業の必要性) (実施する必要性はかった。 を加や市民との協働を でいるか? をないるが? に配慮して事業を進めて では適切か?	図でに従来編成の (理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	果教学では、	成14年度から教育の意味を持ち、14年度から教育の事情を持ち、14年度が特別という。 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないが小さい値ではないがいさい値ではないがいさい値ではないがからい値ではないがからい値ではない。まが有る場合、比較対象例における目標値(と現況ある  実施予定の対策  底活用 対応  「⑤ PFI等民間資本の混対応  「⑥ 受益者負担	の を ・	②事前確認 とした理り とした理り 目覚担の とした理り とした理り 目覚担の といた理り 目の 民間企業 で後ない 第一次 に変 が といま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	定どおりでなかった。 由ノ想定とおりでなかった。 由ノ想定とおりでない学校には関うない学校には関うない学校には関うないでは、 のはけれています。 ・施策の目標の実施では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た なかった原因>  なきたため。  ままたかった  ままたのが一層  見に  前献した  れた  「なきなかった  なきなかった  はいるができる。  「なきなかった  はいるができる。  「なきなかった  はいるができる。  「なきなかった  「なきながった  「ならないった  「なきながった  「ならないった  「ならないった 「ならないった 「ならないった 「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないった 「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないった  「ならないっ	<ul> <li>(本義</li></ul>	の具体的ななかった項 一類特にしたと下 の別期待したという の以上となった理 であるためのであるという。 であるためのであるという。 ではなかった原因となった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 では、ない。 では、ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	必要性の理要が を変をする必要が 動の程度・内 理由 / 期待以下 養への配慮 た 原因 >	容 であった原因> について かった	○●不       要要         ○●不       要要         ○●不       要要         ○●不       要要
必要性       参加・協働の日夫       環境への配慮       効率         ***素景       がる市       (1)       目       事い         ***のこのこのに対している。       (2)       事い       **(2)       事い       **(2)	まが今必要である理由・ は?(事業の必要性) 「実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? 配慮して事業を進めて ?	図では決場により、	果教学では、	成14年度から教育の1 成14年度から教育の1 5人とは実級・特例的に学級といるものできない。 5人がによりできない。 5人がになってきない。 5人がは実施できない。 5人がは実施られるした。 5人とが表現が得得な定め、 5人のは実施できない。 6のは実際ののは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは実際ののはできない。 6のは、	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないが小さい値ではないがいさい値ではないがいさい値ではないがからい値ではないがからい値ではない。まが有る場合、比較対象例における目標値(と現況ある  実施予定の対策  底活用 対応  「⑤ PFI等民間資本の混対応  「⑥ 受益者負担	で	② 事前確認 とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り 目① 民間企業 で で の と の と の と の と の と の と の と の と の と	をどおり をどおりでなかった 由 / 想定におりでないかった のはい学校に 体等ががらいます。 のはいかではないではないではないではないではないではないではないではないではない。 のはいればとではないではないではないではないではないではないではない。 をはまる場合の具体的な内容を をは、 100 は 10	た なかった原因〉 はまたため。 は実施できなかった はまかかが一層 見に貢献した れた 「できての内容)  「できなかった はなかが一層 はなき、 「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できている。 「できている。 「できている。」  「で	<ul> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本表本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本本)</li> <li>(本本本本)</li> <li>(本本本本本)</li> <li>(本本本本本本本)</li> <li>(本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本</li></ul>	の具体的な内容する	必要性の理要が を変をする必要が 動の程度・内 理由 / 期待以下 養への配慮 た 原因 >	容 であった原因> について かった	<ul><li>● 要要要要要要要要要要要要</li><li>○ ● 不要要要要要要</li><li>○ ● 不要要要</li></ul>
必要性       参加・協働の日夫       環境への配慮       効率         **素景       **ある市         **のしず       にかり         **のしず       により         **のこのしず       はなり         **のこのしず       により         **のこのこのこのでは、       (2)         **のこのこのこのこのでは、       **のこのこのでは、         **のこのこのこのでは、       **のこのこのでは、         **のこのこのでは、       **のこのでは、         **のこのこのでは、       **のこのでは、         **のこのでは、       **のこのでは、         **のでは、       **のでは、         **のでは、       **のでは、	が今必要である理由・ は(字(事業の必要性) (実施する必要性はかった。 を加や市民との協働を でいるか? をないるが? に配慮して事業を進めて では適切か?	図でに従来編しにより、等主他 る主実に支が(理由) □(理由) □(型部) □(型和) □(	果教学では、	成14年度から教育の意味を持ち、14年度から教育の事情を持ち、14年度が特別とは、14年度が特別とは、14年度が特別といいるものできません。 14年度の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないが小さい値ではないがいさい値ではないがいさい値ではないがからい値ではないがからい値ではない。まが有る場合、比較対象例における目標値(と現況ある  実施予定の対策  底活用 対応  「⑤ PFI等民間資本の混対応  「⑥ 受益者負担	C	②事前確認 とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り 目①民間企業、運進ない 保健市の支援ス水の安 との他の内容 との他の内容 と 実施した参加・協働が表 を	をどおり をどおりでなかった 由 / 想定におりでないかった のはい学校に 体等ががらいます。 のはいかではないではないではないではないではないではないではないではないではない。 のはいればとではないではないではないではないではないではないではない。 をはまる場合の具体的な内容を をは、 100 は 10	た なかった原因〉 はまたため。 は実施できなかった はまかかが一層 見に貢献した れた 「できての内容)  「できなかった はなかが一層 はなき、 「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できての内容)  「できている。 「できている。 「できている。」  「で	<ul> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本表本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本)</li> <li>(本本本本)</li> <li>(本本本本)</li> <li>(本本本本本本本)</li> <li>(本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本</li></ul>	の具体的な内容する	必要性の理要が を変をする必要が 動の程度・内 理由 / 期待以下 養への配慮 た 原因 >	容 であった原因> について かった	○●       ●         ○●       ●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
必要性       参加・協働の日夫       環境への配慮       効率         **素景       **ある市         **のしず       にかり         **のしず       により         **のこのしず       はなり         **のこのしず       により         **のこのこのこのでは、       (2)         **のこのこのこのこのでは、       **のこのこのでは、         **のこのこのこのでは、       **のこのこのでは、         **のこのこのでは、       **のこのでは、         **のこのこのでは、       **のこのでは、         **のこのでは、       **のこのでは、         **のでは、       **のでは、         **のでは、       **のでは、	が今必要である理由・ は(字(事業の必要性) (実施する必要性はかった。 を加や市民との協働を でいるか? をないるが? 記慮して事業を進めて ?	図でに従来編を で	果教学では、 では、 では、 というでは、 こいうでは、 こいうがは、 こいうでは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいさいは、 こいうがは、 こいさいは、 こいは、 こいは、 こいは、 こいは、 こいは、 こいは、 こいは、 こ	成14年度から教育の 成14年度から教的に対象・特別を持ち、 15人がはより報います。 15人がはった。 15んがはった	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の他の内容〉  「大の性の内容〉  「大の性の内容	C	② 事前確認 とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とり N P の P を	定どおり をとおりでなかった。 由 / 想定にはない学校にはない学校にはない学校にはない学校にはなった。 のなけたことではないではないではないではないではないではないではないではない。 のなけたことではないではないではないではないではないではないではない。 をはまる場合の具体のなった。 をは、	た。なかった原因> ままため。 ままための まま施できなかった いまなが一層 見に うるで の内容 の内容 ので	<ul> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本務本)</li> <li>(本)</li> <li>(</li></ul>	の具体的な内容でする かい 協	必要性の理要が が で かっぱ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	容であった原因>	●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性       (1)事背     市本工(体     環い       (2) 市あ市     民夫制       (3) 標準     事。       (4) (2) 事い     日       (5) (2) 事い     日       (6) (7) 日     事。       (7) 日     事。       (8) 日     事。       (9) 日     事。       (1) 日     事。       (3) 目     事。       (4) 日     事。       (5) 日     事。       (6) 日     日       (7) 日     事。       (8) 日     事。       (7) 日     事。       (8) 日     事。       (9) 日     事。       (1) 日     事。       (2) 日     事。       (3) 日     事。       (4) 日     事。       (5) 日     事。       (6) 日     事。       (7) 日     事。       (8) 日     事。       (9) 日     事。       (1) 日     事。       (1) 日     事。       (2) 日     事。       (1) 日     事。       (2) 日     事。       (3) 日     事。       (4) 日     事。       (5) 日     事。       (7) 日     事。       (8) 日     事。       (9	をが今必要である理由・は?(事業の必要性)  「実施する必要性はかか? 素施の必要性)  「ないなかか?  「ないないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「ないない。」  「はいない。」  「はいないない。」  「はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	図でに従来編を で	果教学では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	成14年度から教育の音の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  《その他の内容〉  「大の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  取組む内容  取組む内容  「大の他の内容〉  「大の世ではないがいさい値ではないがいさい値ではないがかさい値ではないがからい値ではないがからの地ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからいではでいる。  「大の力質を表現している。  「大の力容を表現している。  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないるないる。」  「大の力ないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	で	② 事前確認 とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた といた理り といた はいか といか といた はいか といた はい はいか といた はい はいか といた はいない はいない といた はいか といた はいない といた はいか といた はいない といない といない といない といない といない といない といない	定どおり をどおりでなかった。 由 / 想定におりでなかった。 由 / 想定には特性には対していいでは、 のはい学校には対していいでは、 のはいかでは、 を作れた。 を	た なかった原因〉 なきたため。 さまたいった はまかった 層 はまま できないった 層 はまま できた 層 に たま は	<ul> <li>(本義 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本</li></ul>	の具体的なかあり の具体的なかかかとした。 の関連のであるためのであるためのであるためのであるためのであるためのであるためのである。 の関連のであるためのである。 でななでなかったたのでなかった。 のであるでは、ままして、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	必要性の理要が のを変する必要する必要するのでは、 のでは、	容であった原因> 「であった原因> いていて かった原因>	○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要
必要性     参加・協働のH夫     環境〈の配慮     効率性       (1)事情     (2)市あです。       市工(体     環い       (1)日本のします。     (2)い       (3)日報である。     (4)日本のします。       (4)日本のします。     (3)日報できる。       (4)日本のします。     (4)日本のします。       (5)日本のとます。     (4)日本のとます。       (6)日本のようでは、     (4)日本のようでは、       (7)日本のようでは、     (4)日	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)  が実施する必要性は か? 実施の必要性)  参加や市民との協働を だくり)  記慮して事業を進めて  記慮して事業を進めて  記慮してする。	図でに従来編を で	県教学では、	成14年度から教育の言語を持ち、	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の他の内容〉  「大の性の内容〉  「大の性の内容	で	② 事前確認 とした理り で といた理り で といた理り とした理り とした理り 関度担回企業、で といた理り 関係 といた理り 関係 といた理り についた といまで といる	をどおり をとどおりでなかった。 由 / 想定におりででない学校には対しています。 ない学校には対しています。 のはたいではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	たなかった原因〉 ままたため。 ままたのできなかった ままたのできなかった ままたでを層 見に の大きながらい の大きながらい の大きながらい の大きながらい の大きながらい の大きながらい の大きながらい の大きながらい のでは	<ul> <li>(本義 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本</li></ul>	の具体的ななかった の別期等待けるという。 の別期のたいという。 の別期のたいという。 の別期のたいという。 の別には、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったが、は、は、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったが、は、いったでは、いったが、は、いっかが、いっかが、いっかが、いっかが、いっかが、いっかが、いっかが、いっかが	必要性の理要が のを変する必要する必要するのでは、 のでは、	容であった原因> 「であった原因> いていて かった原因>	●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性       がる市場     大大     環境への配慮       (1)     (2)       (3)     日本       (4)     (2)       (5)     日本       (6)     日本       (7)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (8)     日本       (9)     日本       (1)     (2)       (3)     日本       (4)     日本       (5)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (8)     日本       (9)     日本       (1)     日本       (1)     日本       (1)     日本       (1)     日本       (2)     日本       (3)     日本       (4)     日本       (5)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (9)     日本    <	はな?(事業の必要性)  「実施する必要性はか? 実施の必要性はかか? をないののである理由・はな?(事業の必要性)  「実施の必要性はかか? をないり)  「記慮して事業を進めて ・「記慮して事業を進めて ・「記慮して事業を進めて ・「記慮して事業を進めて ・「記慮して事業を進めて ・「記慮して事業を進めて ・「記慮して事業を進めて ・「記憶を実現する為に、これを表して ・「記憶を表して ・」 ・「記述を表して ・」 ・「記述を	図でに従来編を では	県教学では、「中国、	成14年度から教育の言語を持ち、	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  《その他の内容〉  「大の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  取組む内容  取組む内容  「大の他の内容〉  「大の世ではないがいさい値ではないがいさい値ではないがかさい値ではないがからい値ではないがからの地ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからいではでいる。  「大の力質を表現している。  「大の力容を表現している。  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないるないる。」  「大の力ないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	で	② 事前確認 とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り とした理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた理り といた といた理り といた はいか といか といた はいか といた はい はいか といた はい はいか といた はいない はいない といた はいか といた はいない といた はいか といた はいない といない といない といない といない といない といない といない	定どおり をどおりでなかった。 由 / 想定におりでなかった。 由 / 想定には特性には対していいでは、 のはい学校には対していいでは、 のはいかでは、 を作れた。 を	た なかった原因〉 なきたため。 さまたいった はまかった 層 はまま できないった 層 はまま できた 層 に たま は	<ul> <li>(本義 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本</li></ul>	の具体的なかあり の具体的なかかかとした。 の関連のであるためのであるためのであるためのであるためのであるためのであるためのである。 の関連のであるためのである。 でななでなかったたのでなかった。 のであるでは、ままして、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	必要性の理要が のを変する必要する必要するのでは、 のでは、	容であった原因> 「であった原因> いていて かった原因>	<ul><li>○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更</li></ul>
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性       がる市場     大大     環境への配慮       (1)     (2)       (3)     日本       (4)     (2)       (5)     日本       (6)     日本       (7)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (8)     日本       (9)     日本       (1)     (2)       (3)     日本       (4)     日本       (5)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (8)     日本       (9)     日本       (1)     日本       (1)     日本       (1)     日本       (1)     日本       (2)     日本       (3)     日本       (4)     日本       (5)     日本       (7)     日本       (8)     日本       (9)     日本    <	をが今必要である理由・は、(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	図では洗練しています。	県教学では、「中国、	成14年度から教育の言語を持ち、	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  《その他の内容〉  「大の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  取組む内容  取組む内容  「大の他の内容〉  「大の世ではないがいさい値ではないがいさい値ではないがかさい値ではないがからい値ではないがからの地ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからいではでいる。  「大の力質を表現している。  「大の力容を表現している。  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないる。」  「大の力ないるないる。」  「大の力ないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	で	② 事前確認 とした理り で といた理り で といた理り とした理り とした理り 関度担回企業、で といた理り 関係 といた理り 関係 といた理り についた といまで といる	をどおり をとどおりでなかった。 由 / 想定におりででない学校には対しています。 ない学校には対しています。 のはたいではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	た なかった原因〉 なきたため。 さまたいった はまかった 層 はまま できないった 層 はまま できた 層 に たま は	<ul> <li>(本義 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本</li></ul>	の具体的なかあり の具体的なかかかとした。 の関連のであるためのであるためのであるためのであるためのであるためのであるためのである。 の関連のであるためのである。 でななでなかったたのでなかった。 のであるでは、ままして、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	必要性の理要が のを変する必要する必要するのでは、 のでは、	容であった原因> 「であった原因> いていて かった原因>	<ul><li>○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更</li></ul>
必要性 参加·協働のH夫 環境への配慮 効率性 のしま では、 (1) 事情 事状 は (3) 事状 標準 (4) では (3) できない 標標 業る 標にする (4) できない 標準 (4) できない にない にない は (4) できない にない にない にない にない は (4) できない にない にない にない にない は (4) できない にない にない は (4) できない にない にない は (4) できない にない にない は (4) できない にない にない にない にない にない にない にない にない にない に	が今必要である理由・は?(事業の必要性)・ は?(事業の必要性)・ な要性はか? をかっとの協働をでするが。 をないり) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	図でに従来編しています。	県教学では、	成14年度から教育の音が 14年度から教育の音が 14年度から教育に関係を持ち、14年度がも別名により報います。 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能と」を行っている。このようなことからスクールサポるとともに、少人数学級の補助教員としての役割も配置については少人数学級の効果が発揮できるよう  〈その他の内容〉  「大の他の内容〉  「大の性の内容〉  「大の性の内	で	② 事前確認 とした理り で といた理り で といた理り とした理り とした理り 関度担回企業、で といた理り 関係 といた理り 関係 といた理り についた といまで といる	をどおり をとどおりでなかった。 由 / 想定におりででない学校には対しています。 ない学校には対しています。 のはたいではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	た なかった原因〉 なきたため。 ままたのできなかった かった かった	<ul> <li>(本義 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本</li></ul>	の具体的なか が	必要性の理要が のを変する必要する必要するのでは、 のでは、	容であった原因> 「であった原因> いていて かった原因>	○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要
必要性 参加・協働のH夫 環境〈oncla 効率性 のしずった は、	が今必要である理由・は?(事業の必要性)・ は?(事業の必要性)・ な要性はか? をかっとの協働をでするが。 をないり) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	図では従来編を	県教学では、	成14年度から教育の音が 14年度から教育の音が 14年度から教育に関係を持ち、14年度がも別名により報います。 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の 15年の	地方分権を推進し、児童生徒の実態に応じた学校教の標準を下回る少人数の基準を設けることが可能としている。このようなことからスクールサポるととで、少人数学級の補助教員としての役割も記置については少人数学級の効果が発揮できるよう  《その他の内容〉  【その他の内容〉  「大の側の内容〉  「大のの内容〉  「大のの内容〉  「大のの内容〉  「大ののの内容〉  「大ののの内容〉  「大のののの内容〉  「大ののののの内容〉  「大ののののの内容〉  「大ののののの内	で	② 事前確認 とした理り で といた理り で といた理り とした理り とした理り 関度担回企業、で といた理り 関係 といた理り 関係 といた理り についた といまで といる	をどおり をとどおりでなかった。 由 / 想定におりででない学校には対しています。 ない学校には対しています。 のはたいではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないできます。 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	た なかった原因〉 なきたため。 ままたのできなかった かった かった	(本義	の具体的なか が	必要性の理要が のを変する必要する必要するのでは、 のでは、	容であった原因> 「であった原因> いていて かった原因>	● 不 要 要

					事務事業評価	Max / In AH	2十尺/							
事業コード	*	1023		課コード	1502	会計種別	一般会計			予算の	種類	□政策	■経常	□なし
1. 事業の	D概要(PLAN)													
11 7760	>		基本事業				実施計画への							
		①事業名	個別事業 小中学	校配置職員管理事業			位置づけ	•	有 〇無	(2	部課名	教育総務部・	・学校教育課	
		③事業主体	●市 Oそ	の他(		)	④対象地区	□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要		⑤事業期間 ⑦事業費			~		⑥担当職員数	(当 初)	32,	3 人	(換算人数 (うち人件費		0.9 人)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)年度	(変更後)	,	千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	52101	重点プロジェクト	重点5	基本計画地区別		有●無		部門別計画への	(計画名)		
			思いやりのある豊	といな心を育むため、人	への位置づけ への位置づけ 人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意		計画への位置づけ	7	か細やかな指導のた	めの人員を酌	位置づけ 記置する。			
(2)目的		施策目的 • 展開方向		<b>É進します。また、健康</b>	管理の大切さを意識した健やかな生活を送									
			市内の全小中学校	なの市職員や臨時職員お	らよび県職員の人事配置・服務管理・県教育 8全般を実施。また、病休や退職が生じた場				交19校の人事管理 を行うことができる			、子どもの豊々	かな創造性や自	主性、社会性を
				務員、事務補佐員の人		3 0 7 E ( 12 . 4 . 7) IIU E [ ]	当該年度執行計画		24年度より各中学			職員の配置を	している。	
(3)事業内容		内 容					101111111111111111111111111111111111111							
							当該年度	臨時職員の配置	置人数(職員の定数	不足が生じた	ないように対応す	<sup>-</sup> る) 単位	想定值	23
							活動結果指標						人 実績値	22
(4)達成目標(基本)	期待する成果)	適正人員の配置		達成目標	駅(期待する成果)		指標種類	臨時職員配置定	指	標 7名、事務補	佐員6名、嘱託	単位 単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度		適正人員の配置					直接	名) 臨時職員配置知			120	^	24	24
令和 3年度		適正人員の配置					直接	臨時職員配置知						29
令和 4年度	<b>E</b>	過止八貝の記し					直接	四时极具比巨人				人		36
(7)事業実施上	上の課題と対応						代替案検討	0	有  ●無					
			平成31年度		令和 2年度				0 3年度			令和	4年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内容	予算額(千円) 決算	額(千円) 政策	内 容	-	金額(千円)	政策	内 容		金額(千円)
		臨時職員の配置 (臨時用務員12		13, 902	臨時職員の配置 小学校 (臨時用務員13名)	15, 305		戦員の配置 小学校 特用務員13名)	交	15, 305	臨時職員の (臨時用務	)配置 小学校		15, 305
		臨時職員の配置		9, 022	には 臨時職員の配置 中学校 (臨時用務員4名、事務補佐員6名)	9, 214	9, 184 臨時職	が開始。 開発の配置 中学校 開務員4名、事務		9, 214	臨時職員の	可以 可能量 中学校 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以		9, 214
		1号嘱託職員の (嘱託用務員1:	配置 小学校	2, 146	(Man 97/1935 P. L.C. 7-93/11) (E.S.C. L.)		Chair A.	771729 - 17 772	III/ESC II/		(14111-17713-17	38. LC 73311	1200	
	実施内容	(7周11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/	ш/											
(8) 施行事項	費用													
	質 用													
					*									
	予算(決算)額		計	25, 070	合 計	24, 519	23, 959	合 計		24, 519		合 計		24, 519
	国庫支出金県支出金	補助率補助率	0 % 0 %	0	補助率     0 %       補助率     0 %	0	0     補助率       0     補助率		0 %	0	補助率		0 %	0
(9)財源内訳	起債 一般財源	充当率	0 %	25, 070	<u> </u>	0 24, 519	23,959		0 %	24, 519	/3-1		0 %	24, 519
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 口基金 口その他	0 0.9	□特会 □受益 □基金 □その他	0 0.9	0 □特	会 口受益 口基金	〕□その他	0. 9		□受益 □基金	口その他	0. 9
(10)人件費等	正職員人件費嘱託職員報酬額			7, 920 2, 142		7, 830 0	7, 830 0			7, 830 2, 146				7, 830 2, 146
事業費(予算(決	臨時職員賃金額 算)額+正職員人件費)			22, 867 32, 990		0 32, 349	0 31, 789			22, 867 32, 349				22, 867 32, 349
(11)単位費用 (事業費/	/活動結果指標)		1, 434. 35千円/ノ		1, 406. 48千円/人		1, 444. 95							
	の評価 (DO+CHECK	)												
評	平価項目			事前	評 価			事 後 評	価(評価結果に応	じ、改善案権	検討 (拡充も含む	;) )		改善検討
					F務事業であり、子ども一人ひとりの個性に 社会性をはぐくむ教育を行うことができる。		<ul><li>①事前確認での想定</li><li>○②事前確認での想定</li></ul>		<u> </u>					
	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)						想定どおりとした理							〇要 ●不要
						用	務員の正規職員退職 のニーズに対応し、	に伴う補充は、会	計年度任用職員でき		。また、中学校に	に配置している	事務補佐員は、	
必			IPO、市民団体等で市が実施すること	では実施できない :が定められている	<その他の内容>		■①民間企業、NPC		は実施できなかった	(市実施の	の具体的な内容・		<u> </u>	
要			体が市しかない								ノし云川 十及 圧圧			なる
	<b>実施する必要性は</b>					-	□③市が先導役となっ	がたことでは長べ	皆及が一層	ため、一	舌して委託する事	開職員に任され	ァ る仕事内容が異	なる
あるか (市実施	)\?			<u>ある</u>	<その他の内容>		□③市が先導役となっ 促進された □④市の支援が政策・	施策の目標の実現		ため、一		開職員に任され		
	施の必要性)	●②自治体である (理由) ■市が主	市が推進すべきで 導で進めることによ	り実効性が得られる	<その他の内容>		<ul><li>③市が先導役となっ 促進された</li><li>3④市の支援が政策・</li><li>3⑤サービス水準が確 3⑥サービスの安定付</li></ul>	施策の目標の実現 賃保された	見に貢献した	ため、一		開職員に任され		なる ○要 ●不要
	施の必要性)	●②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ	市が推進すべきで 尊で進めることによ 施・提供することに スが保証される	り実効性が得られる こより、良質で安定した			<ul><li>③市が先導役となっ 促進された</li><li>3④市の支援が政策・</li><li>3・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5・5</li></ul>	施策の目標の実現 賃保された	見に貢献した	ため、一		開職員に任され		〇要
	施の必要性)	●②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ □市が支	市が推進すべきで 尊で進めることによ 施・提供することに スが保証される	り実効性が得られる			<ul><li>③市が先導役となっ 促進された</li><li>③④市の支援が政策・</li><li>□⑤サービス水準が確 □⑥サービスの安定は</li><li>□⑦その他</li></ul>	施策の目標の実現 賃保された	見に貢献した	ため、一		開職員に任され		〇要
	施の必要性)	●②自治体である (理由) ■市が主き □市が実 サービ。 □市が支持 実現が[	o市が推進すべきで 尊で進めることによ 施・提供することに スが保証される 援することにより政	ちり実効性が得られる こより、良質で安定した 対策・施策の目標の			③ 市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が間 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容>	施策の目標の実装 を保された 鉄給基盤が確保され	見に貢献した れた 『(又は今後、	ため、一 <sup>‡</sup>	舌して委託する事	開職員に任され	る仕事内容が異	O要
参	施の必要性)	●②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ: □市が実 実現が □その他	市が推進すべきで 専で進めることによ 施・提供することに スが保証される 援することにより 図可られる 参加・協働の内容 市民の参画有り	ちり実効性が得られる こより、良質で安定した 対策・施策の目標の	=		③ 市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が間 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容>	施策の目標の実践 住保された 社給基盤が確保され は給基盤が確保され	見に貢献した れた 『(又は今後、	○①当初	舌して委託する事	B職員に任され ≰業ではない。	る仕事内容が異	O要
参加・市民の参加・	加や市民との協働を	●②自治体である (理由) ■市が実 □市が実 □市が実現が □ たる ○①事業計画時に ○②管理・運営に	市が推進すべきでは 専で進めることによ 施・提供することに 大が保証される 援することにより政 図られる 参加・協働の内容 市民の参画有り	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	=		③ 市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が間 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容>	施策の目標の実践 住保された 社給基盤が確保され は給基盤が確保され	見に貢献した れた 『(又は今後、	<ul><li>○①当初</li><li>●②当初</li></ul>	参加・協期待した以上	B職員に任され ≰業ではない。	る仕事内容が異	<b>○</b> 要 ● 不要
<ul><li>・ 古足の会†</li></ul>	加や市民との協働を いるか?	●②自治体である (理由) ■市が実 □市が実 ・サービ、□ 市が実 ・サービ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきでよ 連が進めてるるる 連が提供するもとにとい 接近はなれる。 接近される。 場である。 場である。 参加・協働の内容 市市民の参画画有り 市市民の参と連携して	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	=		③ 市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が間 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容>	施策の目標の実践 住保された 社給基盤が確保され は給基盤が確保され	見に貢献した れた 『(又は今後、	○①当初 ●②当初 ○③当初	参加・協 期待した以上 期待したとおり	間職員に任され 業ではない。 働の程度・内容	る仕事内容が異	○要 ●不要 ○ ○ ●
<ul><li>市民の会士</li></ul>	加や市民との協働を いるか?	●②自治体である: □田由 ■市が実 □市がずだ □市が支 実現が □ で ○②事業計画時に ○②事業実施時に ○③衛民と共同で ●⑥その他	市が推進すべきでよ 連が進めてるるる 連が提供するもとにとい 接近はなれる。 接近される。 場である。 場である。 参加・協働の内容 市市民の参画画有り 市市民の参と連携して	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	=		③ 市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が間 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容>	施策の目標の実践 住保された 社給基盤が確保され は給基盤が確保され	見に貢献した れた 『(又は今後、	○①当初 ●②当初 ○③当初	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	間職員に任され 業ではない。 働の程度・内容	る仕事内容が異	○要 ●不要 ○ ○ ○
<ul><li>市民の会士</li></ul>	加や市民との協働を いるか?	●②自治体である (理由) ■市が実 □市が実 ・サービ、□ 市が実 ・サービ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきでよ 連が進めてるるる 連が提供するもとにとい 接近はなれる。 接近される。 場である。 場である。 参加・協働の内容 市市民の参画画有り 市市民の参と連携して	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	=		③ 市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が間 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容>	施策の目標の実践 住保された 社給基盤が確保され は給基盤が確保され	見に貢献した れた 『(又は今後、	○①当初 ●②当初 ○③当初	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	間職員に任され 業ではない。 働の程度・内容	る仕事内容が異	○要 ●不要 ○ ○ ○
<ul><li>市民の会士</li></ul>	加や市民との協働を いるか?	●②自治体である (理由) ■市が実 □市が実 □市が実 □下が実 □下が実 □下が実 □下が実 □下が実 □下が実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきでよ 連が進めてるるる 連が提供するもとにとい 接近はなれる。 接近される。 場である。 場である。 参加・協働の内容 市市民の参画画有り 市市民の参と連携して	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	=		③市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が経 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容> 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 住保された 社給基盤が確保され は給基盤が確保され	見に貢献した れた	○①当初 ●②当初 ○③当初 <期待しか	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 に以上となった理 環境	間職員に任され 業ではない。 働の程度・内容	る仕事内容が異	○要 ●不要 ○ ○ ○ ○
・協働の工夫	加や市民との協働を いるか?	●②自治体である (理由) ■市が実 □市が実 □市が実 □下が実 □下が実 □下が実 □下が実 □下が実 □下が実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきでは 神で進供するるる。 神で提供するるる。 神で提供されるよう。 神で提供されるよう。 神で提供される。 神で提供される。 神で提供される。 神の内容。 市市市民の参を連施。 ・協働の内容。 市市市民の参と連施。 ・配慮の視点。 がしている。	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	工夫の具体的な内容		③市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が経 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容> 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 権保された 共給基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には	見に貢献した れた	○①当初 ●②当初 ○③当初 <期待しか	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 に以上となった理 環境	翻職員に任され 事業ではない。 働の程度・内容 理由/期待以下	る仕事内容が異	○要 ●不要 ○ ○ ○
・協働の工夫 環境へ 環境に配	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて	●②自治体である (理由) ■市市が実 □市市が実 □市が現が □市市が実 である である。 「中が現が □でする では、実現の他  ○③事業実施等に ○③衛市市民と ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし  □①自然環境を生	市が推進のでは、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できでは、 ・ では、 ・ では、 ・ は、 ・ に、 ・ に 、 ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	工夫の具体的な内容		③市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が経 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容> 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 権保された 共給基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には	見に貢献した れた	○①当初初 ●②当初 ○③当的 <期待しが	参加・協期待した以上 りの期待以下 こ以上となった理	職員に任され、 業ではない。 働の程度・内容 自由/期待以下 養への配慮	る仕事内容が異	○要 ●不要 ○ ○ ○ ○
・協働の工夫 環境へ 環境に配	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて	●②自治体である主流の	市が推進のでは、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できでは、 ・ では、 ・ では、 ・ は、 ・ に、 ・ に 、 ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	工夫の具体的な内容		③市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が経 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容> 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 権保された 共給基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には	見に貢献した れた	○①当初初 ●②当初 ○③当的 <期待しが	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 と以上となった理 だおりでなかっ!	職員に任され、 業ではない。 働の程度・内容 自由/期待以下 養への配慮	る仕事内容が異	○要 ● 不 要
・協働の工夫 環境へ 環境に配配	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて	●②自治体であままでは、	市が推進のでは、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できでは、 ・ では、 ・ では、 ・ は、 ・ に、 ・ に 、 ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	工夫の具体的な内容		③市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が経 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容> 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 権保された 共給基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には	見に貢献した れた	○①当初初 ●②当初 ○③当的 <期待しが	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 と以上となった理 だおりでなかっ!	職員に任され、 業ではない。 働の程度・内容 自由/期待以下 養への配慮	る仕事内容が異	○ 要 ● 不 ● 不 ● 不 ● ● 不
・協働の工夫 環境へ 環境に配	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて	●②自治体市が実に対する。  ②自治体市が実に対する。  ②自治体市が実に対する。  □ 東本の他  ○③音音を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	市が推進すべきでは 専で進税せることにと 専で・提供される ・提供される 参加・協働の内 市市民の参画画携 ・協している ・配している ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている	にり実効性が得られる により、良質で安定した 対策・施策の目標の 容	工夫の具体的な内容		③市が先導役となっ 促進された 1④市の支援が政策・ 1⑤サービスの安定は 1⑥サービスの安定は その他の内容〉 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 権保された 共給基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には	見に貢献した れた	○①当初初 ●②当初 ○③当的 <期待しが	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 と以上となった理 だおりでなかっ!	職員に任され、 業ではない。 働の程度・内容 自由/期待以下 養への配慮	る仕事内容が異	○ 要 ● 不 ● 不 ● 不 ● ● 不
・協働の工夫環境への配慮環境への配慮	加や市民との協働を いるか? (り) 慮して事業を進めて	●②自治体である主 (理由) ■市市が実に □ 中が現が □ マの他  ○①事業実施運自共同でいる。 ○③命市市その他の内容  ○②急等環境の他の内容  ○②急等環境の他の内容  ○②急等環境の他の内容  ○②会には □○②生き質別負性 □○②生き質別負性 □○②を受ける。 □○③のでは □○②を受ける。 □○③のでは □○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	市が推進のでは、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できては、 ・ できでは、 ・ では、 ・ では、 ・ は、 ・ に、 ・ に 、 ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に	はり実効性が得られる より、良質で安定した 対策・施策の目標の な策・施策の目標の を	工夫の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック  タ・事実に基づき設定している	<	③市が先導役となっ 促進された 1億市の支援が政策・ 1億サービス水準が経 1億サービスの安定は 1⑦その他 その他の内容> 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 を保された 技術基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 した具体的な内容	見に貢献した れた 等(又は今後、 その内容)	●①当初初初初の ●②当当初 <期待しか ●①2割 を記載を定 <想定ども	参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 と以上となった理 だおりでなかっ!	職員に任され、 業ではない。 働の程度・内容 自由/期待以下 養への配慮	る仕事内容が異	O 要 要 要
・協働の工夫環境への配慮環境への配慮	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて	●②自治体市が実に対する。  ②自治体市が実に対する。  ②自治体市が実に対する。  □ 東本の他  ○③音音を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	市が推進すべきでは 専で進税せることにと 専で・提供される ・提供される 参加・協働の内 市市民の参画画携 ・協している ・配している ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている ・にしている	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の を ■①名親側的などでへこ ②②現況値との差 □②別況短値との差	工夫の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック  タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない		③市が先導役となっ 促進された  ④市の支援が政策・  ⑤サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ⑥サービスの安定は その他の内容> 実施した参加・協働が考 薬加・協働が考	施策の目標の実践 住保された 集給基盤が確保され 働の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	見に貢献した れた  『(又は今後、 よその内容)  『(文は今後、 なの内容)  『(文は今後、 なの内容)  『(文は今後、 ないの内容)  『(文は今後、 ないの内容)  『(文は今後、 ないの内容)	○①当初初初 ●②当初 ○③当初 <期待しが ●①②想定 <想定となる を想定となる	参加・協期待した以上 りの期待したと下 に以上となった 理 ことばおりでなかった 原ととなった原因 >	職員に任され。	る仕事内容が異	○ 要 ● 不 ● 不 ● 不 ● ● 不
・協働の工夫環境への配慮環境への配慮	加や市民との協働を いるか? (り) 慮して事業を進めて	●②自治 本であままでは、	市が推進の大きではできる。 ・ できてはできる。 ・ では保証されるは、 ・ では保証されるは、 ・ は、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の を ■①名親側的などでへこ ②②現況値との差 □②別況短値との差	工夫の具体的な内容  工夫の具体的な内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック  タ・事実に基づき設定している 実明性が乏しい値ではない がいさい値ではない  象が有る場合、比較対象例における目標値(		③ 市が先導役となっ 促進された 1 ④ 市の支援が政策・ 1 ⑤ サービスの安定 伊 1 ⑦ その他 その他の内容 > 実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 を保された 技術基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 した具体的な内容	見に貢献した れた  『(又は今後、 よその内容)  ●①目標値達成 ○②目標を達成した 学校の実情を踏ま	○①当初初初初の ●②当初 ○③当初 <期待しか ○②想定定 <想定となる である。	参加・協期待した以上 りの期待したと下 に以上となった 理 ことばおりでなかった 原ととなった原因 >	職員に任され。	る仕事内容が異	○ 要要要 ● 不 要要 要
・協働の工夫環境への配慮環境への配慮	加や市民との協働を いるか? (り) 慮して事業を進めて	●②自治体市が主流の性が変に、	市が推進すべきでは 神で進機供することに 神で進機供されるようで 神で・提供される 参加・協働有有引 市市市民のの参参と連施 ・ 「市市氏活動と実施 ・ 「市市に活動と実施 ・ 「市市のできまか。 ・ 「市市のできまか。 ・ 「市市のでは、 ・ 「では、 ・ 「では、	はり実効性が得られるこより、良質で安定した な策・施策の目標の な策・施策の目標の な策・施策の目標の なでは、 □②現況値と比べき □③現週当な比べきが 同等の水準である。	工夫の具体的な内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(のある) 実施予定の対策	と現況値の差)と	③市が先導役となっ 促進された  ④市の支援が政策・  ⑤サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ⑥サービスの安定は  ◎・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・・サービスの安定は    ・・サービスの安に    ・サービスの安に    ・サービスの安に    ・サービスの安に    ・サービスの安に    ・サービスのを	施策の目標の実践 を保された 技術基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には に に に に に に に に に に に に に	見に貢献した れた  ・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ (又は今春)  ・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・	●①当当初初初 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協 期期待したとおりの期待したと下の別上となった理 とどおりでなかった原 はとなった理 とどおりでなかった原 なりでなかった原 なし、これでなかった原	職員に任され。 働の程度・内容 理由/期待以下 意への配慮 た ではない。 養への配慮 た ではない。	容であった原因>	○ 要要要 ● 不 要要 要
・協働の工夫環境への配慮 (1)目標設	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて 及定は適切か?	●②自治 本である主流 中の では	市が推進なるとは ・ できては ・ できている ・ にしている ・	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の で現現にはといき で表現にはといき で表現にはといきができる。 「②現現当な比とを はといきができる。 「②現現はなができる。」 「②現現はなができる。」 「②は、できる。」 「②は、できる。」 「②は、できる。」 「②は、できる。」 「③は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。」 「○は、できる。 「○は	エ夫の具体的な内容  取組む内容  ・ 取組む内容  ・ 事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかっさい値ではない のある  ・ 実施予定の対策 度活用  ・ 回⑤ PF I 等民間資対応	と現況値の差)と	③市が先導役となっ 促進された  ④市の支援が政策・  ⑤サービスの安定は  ③サービスの安定は  ⑦その他 その他の内容 > 実施した参加・協働が考 薬加・協働が考	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 動の具体的な内容 えられる場合には こした具体的な内容 では、100 91.67 兄 対事業費(%) (g/c)×100	現に貢献した れた  (又は今後、 その内容)  (国標値 値速 成 達 成 達 で で で で で で で で で で で で で で で で	●①当当初初初 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協 期期待したとおりの期待したと下 に以上となった理 とどおりでなかった原 なとの配置が出来 事業 ●①事前の想	職員に任され。 働の程度・内容 理由/期待以下 意への配慮 た ではない。 養への配慮 た ではない。	容であった原因>	○ 要要要 ● 不 要要 要
・協働の工夫 環境への配慮 効 率のしづく 環境への配慮 切り 標 標 報 報 報 を	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて 受定は適切か?	●②自治体である主流の (理由) ■市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進すべきではできない。 神で進機供することにといる。 神で進機供されるようない。 参加・協働有有引引いた。 市市市民のの参参と連施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の 国で現現値をといるととの設対では、 国の国現現値をといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる。 国の国現は他のでは、 国の国現特特理費のは、 国の国現特管委託	エ夫の具体的な内容  取組む内容  ・ 取組む内容  ・ 事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかっさい値ではない のある  ・ 実施予定の対策 度活用  ・ 回⑤ PF I 等民間資対応	と現況値の差)と	③市が先導役となっ 促進された  ④市の支援が政策・  ⑤サービスの安定は  ③サービスの安定は  ⑦その他 その他の内容 >  実施した参加・協働が考  実施した参加・協働が考	施策の目標の実践 住保された 集給基盤が確保され 働の具体的な内容 表した。 した具体的な内容 には には には には には には には には には には	見に貢献した れた  ・ (又は今後、 ・ (又は今後、 ・ (又は今春)  ・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・	●①①当当初初初 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協 期期待したとおりの期待したと下 に以上となった理 とどおりでなかった原 なとの配置が出来 事業 ●①事前の想	職員に任ない。  働の程度・内容  動への配慮  た  ではない。  養の削減対策に  たたため。  養のおおりりでなた	容であった原因>	○ ● 不 要 要 要 要 要 要
・協働の工夫 環境への配慮 効 率のしてづく 環境への配慮 切り 標準 標準 素の (1) 目標 標 報 業 るの (2) 要いの 最 (2) 要いの 最 (2) 要いの 最 (3) 要の 最 (4) 要いの 最 (4) 要いの 最 (5) 要が 要の またい	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて 受定は適切か?	●②自治体である主流の (理由) ■市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市が推進なるとは ・ できては ・ できている ・ にしている ・	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の で容現現値ととの数対に のではとの数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、の数対に のでは、	エ夫の具体的な内容  取組む内容  ・ 取組む内容  ・ 事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかっさい値ではない のある  ・ 実施予定の対策 度活用  ・ 回⑤ PF I 等民間資対応	と現況値の差)と	③市が先導役となっ 促進された  ④市の支援が政策・  ⑤サービスの安定は  ③サービスの安定は  ⑦その他 その他の内容 > 実施した参加・協働が考 薬加・協働が考	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 働の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 ででである。 はした具体的な内容 でである。 でである。 では、100 91.67 のでは、100 91.67 のでは、100 98.27	現に貢献した れた  ② (又は今後、 まその内容)  ③ (目標標	●①①当当初初初 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協 期期待したとおりの期待したとおりの期待したとよりの期待したとよりの期待となった理 と以上となった理 とどおりでなかった原 はとなった置が出事前のの記 ●①事前の想	職員に任ない。  働の程度・内容  動への配慮  た  ではない。  養のではない。  の配慮  た  ではない。  を  ではない。  の配慮  た  を  ではない。	容であった原因>	O● ● 不要要 ● 不要要要 ● 不要要要
・協働の工夫 環境への配慮 効 率のしてづく 環境への配慮 切り 標準 標準 素の (1) 目標 標 報 業 るの (2) 要いの 最 (2) 要いの 最 (2) 要いの 最 (3) 要の 最 (4) 要いの 最 (4) 要いの 最 (5) 要が 要の またい	加や市民との協働を いるか? (り) 虚して事業を進めて 受定は適切か?	●②自治 本でがまだ。	市が推進すべきではできない。 神で進機供することにといる。 神で進機供されるようない。 参加・協働有有引引いた。 市市市民のの参参と連施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の 国で現現値をといるととの設対では、 国の国現現値をといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる。 国の国現は他のでは、 国の国現特特理費のは、 国の国現特管委託	エ夫の具体的な内容  取組む内容  ・ 取組む内容  ・ 事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかっさい値ではない のある  ・ 実施予定の対策 度活用  ・ 回⑤ PF I 等民間資対応	と現況値の差)と	③市が先導性となって 促進された  ④市の支援が政策・  ③サービスの安全	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 働の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 ででである。 はした具体的な内容 でである。 でである。 では、100 91.67 のでは、100 91.67 のでは、100 98.27	現に貢献した れた  ② (又は今後、 まその内容)  ③ (目標標	●①①当当初初初 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協 期期待したとおりの期待したとおりの期待したとよりの期待したとよりの期待となった理 と以上となった理 とどおりでなかった原 はとなった置が出事前のの記 ●①事前の想	職員に任ない。  働の程度・内容  動への配慮  た  ではない。  養のではない。  の配慮  た  ではない。  を  ではない。  の配慮  た  を  ではない。	容であった原因>	○● ●
・協働の工夫 環境への配慮 効 率 性 環か 標	加や市民との協働をいるか?(リ) 虚して事業を進めて 虚して事業を進めて 登定は適切か?	●②自治体市が実に対しています。 ●②自治体市市が実に対しています。 □□の1・事業計画施時にいる3・1・日本の内容とは、できます。 □○3・1・日本の中では、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり	市が推進すべきでは 神で進程供するる。 神で進程供する。 神で進程供される 参加・協働有有有り 市市市民の参参連連 配慮の移動連連 配慮の表 をしている。 にしてて動している。 にしてて動している。 にしている。 にはにて動滅をはいる。 にはにていなにないな。 にはにていな。 にはにていな。 にはにていな。 にはにていな。 にはにていな。 にはにていな。 にはにはにていな。 にはにていな。	はり実効性が得られるにより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の を現況値とを取ります。 □②現現過値との表す。 □③現別値として必要ができる。 □③の表すででは、 □③の表すででは、 □③の表すででは、 □③の表すでは、 □③の表すでは、 □③の表すでは、 □③の表すでは、 □③の表すでは、 □③の表すでは、 □③の表すでは、 □○の表すで □○の表すで □○の表すで □○の表すで	エ夫の具体的な内容  取組む内容  ・ 取組む内容  ・ 事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかっさい値ではない のある  ・ 実施予定の対策 度活用  ・ 回⑤ PF I 等民間資対応	と現況値の差)と	③市が先導性となって 促進された  ④市の支援が政策・  ③サービスの安全	施策の目標の実践 住保された 集給基盤が確保され 働の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 ででである。 でである。 のののでは、 でである。 でである。 でである。 のののでは、 でである。 ででなる。 でである。 ででる。 ででする。 ででる。 でである。 でである。 ででする。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。	見に貢献した れた (又は今後、 よその内容) 日標値達達を でである。 (文は今後、 はるの内容) 日標値を実情を でである。 (文はの内容) 日標でである。 (文はの内容) 日標でである。 (文はの内容) 日標でである。 (文はの内容) 日標でである。 (文はの内容)	●①①当当初初初の ●②②当当日から ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●②②をはませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●○②はませる。 ●○②はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 期期待したといい。 したた以と下いた理 はというでなかった。 はというでなかった。 はとなのの配置が事前のののでは、 でもないでは、 できるないでもないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでもないでもないでもないでは、 できるないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	○●       ●         ○●       ▼         ●       ●         ○●       ▼         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
・協働の工夫 環境への配慮 効率性 環境への配慮 効率性 (3) 目標 要か (4) (3) 目標 と (4) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	加や市民との協働をいるか? は適切か?  虚して事業を進めて  登削減の工夫をして  を実現する為に のおい?	●②自治体市が実に対しています。 ●②自治体市市・のが実に対しています。 ●②自治体市市・のが実に対しています。 ●③では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	市が推進すべきでは 神で進機性される 神で進機性されるような 参加・協働の内容 市市市民のの参画連携 ・ 一 では、 ・ では、	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の で客現況短いなととと対すで、 「②3現適同等の水準で、 「②3維間での。」 「②3維間表のでの。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③5、経理を表した。 「第一次に表し。 「第一次に表し。 「第一次に表し。	エ夫の具体的な内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(のある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PF I等民間資対応 削減策の実施 □⑦その他	上現況値の差)と 本の活用 実	③ 市雄   (東本 )   (東本	施策の目標の実践 住保された 集給基盤が確保され 働の具体的な内容 えられる場合には した具体的な内容 ででである。 でである。 のののでは、 でである。 でである。 でである。 のののでは、 でである。 ででなる。 でである。 ででる。 ででする。 ででる。 でである。 でである。 ででする。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。	見に貢献した れた  『(又は今後、 その内容)  『(では今後、 での内容)  『(では今後、 での内容)  『(では一般では一般では、では、では、できる。) では、では、では、では、では、できる。 では、できる。 では、できる。 できる	●①①当当初初初の ●②②当当日から ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●②②をはませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●○②はませる。 ●○②はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 期期待した以上おり が以上より でなかった理 とどおりでなかった原 が出まりでなかった原が 事前前 を入員 ●② を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	○●       ●         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
・協働の工夫 環境への配慮 効率性 環境への配慮 効率性 (3) 目標 要か (4) (3) 目標 と (4) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	加や市民との協働をいるか?  虚して事業を進めて  登削減の工夫をして  を実現する為に	●②自治体市が実に対しています。 ●②自治体市市が実に対しています。 □□の1・事業計画施時にいる3・1・日本の内容とは、できます。 □○3・1・日本の中では、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり	市が推進すべきでは 神で進機性される 神で進機性されるような 参加・協働の内容 市市市民のの参画連携 ・ 一 では、 ・ では、	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の で客現況短いなととと対すで、 「②3現適同等の水準で、 「②3維間での。」 「②3維間表のでの。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③4、展別内での。」 「③5、経理を表した。 「第一次に表し。 「第一次に表し。 「第一次に表し。	エ夫の具体的な内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(のある) 実施予定の対策 度活用 □⑤受益者負担 削減策の実施 □⑦その他  計算方法  ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業	上現況値の差)と 本の活用 実	③ (ボール   13   13   14   15   15   15   15   15   15   15	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 機動の具体的な内容 では、ここでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	現に貢献した れた  (又は今後、 なの内容)  (では今後、 なの内容)  (では今後、 なの内容)  (では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次	●①①当当初初初の ●②②当当日から ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●②②をはませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●○②はませる。 ●○②はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 期期待したといい。 したた以と下いた理 はというでなかった。 はというでなかった。 はとなのの配置が事前のののでは、 でもないでは、 できるないでもないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでもないでもないでもないでは、 できるないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	●
・協働の工夫     環境への配慮       効率性     (2)       参してづく     (3)       毎日投     (3)	加や市民との協働をいるか? はあり) 虚して事業を進めて とのは適切か? を削減の工夫をして を実現する為に の対費用)	●②自治体市が実に対しています。 ●②自治体市市・のが実に対しています。 ●②自治体市市・のが実に対しています。 ●③では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	市が推進ない。 市神が進進供される 神で進提供される。 参加・協働有有引りの事で、 市市市民民のの参画連携してている。 一部では、 一では、 一では 一では 一では 一では 一では 一では 一では 一では 一では 一	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	エ夫の具体的な内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(のある) 実施予定の対策 度活用 □⑤受益者負担 削減策の実施 □⑦その他  計算方法  ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業	上現況値の差)と 本の活用 実	③市産・	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 機の具体的な内容 になられる場合には になられる場合には になられる場合には になって、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	現に貢献した れた  (又は今後、 なの内容)  (では今後、 なの内容)  (では今後、 なの内容)  (では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次	●①①当当初初初の ●②②当当日から ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●②②をはませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●○②はませる。 ●○②はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 期期待したといい。 したた以と下いた理 はというでなかった。 はというでなかった。 はとなのの配置が事前のののでは、 でもないでは、 できるないでもないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでもないでもないでもないでは、 できるないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	● ● 不要要要要要要要要要要要要
- 協働の工夫 環境への配慮 効 率 性 切り (2) (3) (3) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	加や市民との協働をいるか? は高切か? 虚して事業を進めて と定は適切か? を削減の工夫をして を実現する適正か? 直を実業費は適正か? す者用)	●②自治 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	市 が推進の供きにといる。	はり実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の 国で現現に値なとの数対で、 国で現現に値な比水準で、 国では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	エ夫の具体的な内容  取組む内容  目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(のある) 実施予定の対策 度活用 □⑤受益者負担 削減策の実施 □⑦その他  計算方法  ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業	と現況値の差)と 本の活用 実 費用単位/事業費	③市産・	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 機の具体的な内容 になられる場合には になられる場合には になられる場合には になって、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	現に貢献した れた  (又は今後、 なるの内容)  (では今後、 なるの内容)  (では今後、 なるの内容)  (では一般では、 はんでは、 ないでは、 はんでは、 はんでは	○① 当当初初初	参加・協 期期待したといい。 したた以と下いた理 はというでなかった。 はというでなかった。 はとなのの配置が事前のののでは、 でもないでは、 できるないでもないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでもないでもないでもないでは、 できるないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	●
・協働の工夫 環境への配慮 効率 性 3・事後 お	加や市民との協働をいるか? は直切か? を削減の工夫を進めて を実現する為に を実費は適正か? を事業費は適正か? を関する為に の対費用)	●②自治 本市が実に 中か でが実に 中か でが実に 中か で が 実 で で で で で で で で で で で で で で で で で	市市が推進のは、 できては できては できては できては できては できては できては できては	はリ実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の を 10名親親随のではといれを 103親親での対対 103親維持曹委の 10名親維持曹委の 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円	工夫の具体的な内容  取組む内容  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F I 等民間資 対応 □⑥受益者負担 削減策の実施 □⑦その他  計算方法  ●①単年度の指標:目標値~費用単位/事業 ○②複数年度の指標:(目標値-現況値)×費	と現況値の差)と本の活用 実 (コ )	③市産・	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 機の具体的な内容 になられる場合には になられる場合には になられる場合には になって、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	現に貢献した れた  (又は今後、 なるの内容)  (では今後、 なるの内容)  (では今後、 なるの内容)  (では一般では、 はんでは、 ないでは、 はんでは、 はんでは	●①①当当初初初の ●②②当当日から ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●①②をはませる。 ●②②をはませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●③②はませる。 ●○②はませる。 ●○②はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○③はませる。 ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協 期期待したといい。 したた以と下いた理 はというでなかった。 はというでなかった。 はとなのの配置が事前のののでは、 でもないでは、 できるないでもないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでもないでもないでもないでは、 できるないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	● ● 不要要要要要要要要要要要要
・協働の工夫 環境への配慮 効率 性 のしてづく 環境 のの配慮 (1) 目標 標 と (2) 事 状 ど お (3) 事 集 な が 値 を (4) 事 ま な が 値 を (5) 事 ま な が 値 を (5) を お い のしの で (5) を か が 本 性 (5) を お い のしの で (5) を か が 本 性 (5) を か が よ い の か ま か が は い か ま か が ま か か が ま か か が ま か か が ま か か か か	加や市民との協働をいるか? は直切か? を削減の工夫を進めて を実現する為に を実費は適正か? を事業費は適正か? を関する為に の対費用)	●②自治 本市が実に 中か でが実に 中か でが実に 中か で が 実 で で で で で で で で で で で で で で で で で	市市が推進のは、 できては できては できては できては できては できては できては できては	はリ実効性が得られるこより、良質で安定した 対策・施策の目標の 対策・施策の目標の を 10名親親随のではといれを 103親親での対対 103親維持曹委の 10名親維持曹委の 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円 10万円	工夫の具体的な内容  取組む内容  日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(の また) を変換を変更の対策 度活用 □⑤ PFI等民間資対応 削減策の実施 □⑦その他  計算方法  ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業 ●①単年度の指標:(目標値 - 現況値)×費	と現況値の差)と本の活用 実 (コ )	③市産・	施策の目標の実践 住保された 技給基盤が確保され 機の具体的な内容 になられる場合には になられる場合には になられる場合には になって、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	現に貢献した れた  (又は今後、 なるの内容)  (では今後、 なるの内容)  (では今後、 なるの内容)  (では一般では、 はんでは、 ないでは、 はんでは、 はんでは	○① 当当初初初	参加・協 期期待したといい。 したた以と下いた理 はというでなかった。 はというでなかった。 はとなのの配置が事前のののでは、 でもないでは、 できるないでもないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでは、 できるないでもないでもないでもないでは、 できるないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでもないでも	職業ではない。  働の程度・内容を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  動力を表している。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  を表している。  をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をましている。  をましている。 をましている。 をましている。 をまして	な ない	● ● 不要要要要要要要要要要要要

						子勿子	業評価表(令	四 4十岁	٤)							
事業コード		1024			課コード	1502	会計	種別 一般	会計			予算(	の種類	□政策	■経常	□なし
1. 事業の	<b>無要(PIAN)</b>															
11 4340	100 X (1 = 11)		基本事業					事施	計画への	<u> </u>						
		①事業名	個別事業	教育扶助(	(要保護・準要保護	<b>隻児童生徒就学援助)事業</b>			置づけ	● 排	〇無		②部課名	教育総務部	部・学校教育課	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他	<u>t</u> (	~		) ④対象	地区 職員数	□我孫子	口天王台	□湖北 2 人	□新木 □ (換算人数	口布佐	●全市	
(1)事業概要		⑦事業費								(当 初)	139	), 679 千円	(うち人件費		6,090 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0 千円		当該(	開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		52301	重点プロジェクト への位置づけ	重点 4		†画地区別 の位置づけ	O#	●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(0) 5 44		施策目的・	子どもの心			  進するため、療育・教育システム		実、学					i就学援助要綱を足		 理由によって就学	費用の支払いた
(2)目的		展開方向				目談・支援体制の充実を図ります。			業目的				要な援助をおこれ		N/	
						き目に関してその費用の一部を援助 き・給食費・児童生徒会費・PTA会			=± <i>t= r</i> =		請を受埋し、認 助費を支給する			こ対しては、=	学校長からの請求	に基つさ、合
(2) 古世中中		内容							該年度 行計画							
(3)事業内容										海切に初史し計	学を支援する件	*4			40 44 14	1 005
									該年度 結果指標	週別に認定し別	子を又抜りる件)	奴。		単位	世   本   一	
(4)達成目標(期	用待する成果)					票(期待する成果)		指	標種類			i 標		単位	1	(6)目標値
当該年度		就学援助要綱に基							直接	学校長の請求に				%	100	100
令和 3年度		就学援助要綱に基							直接	学校長の請求に				%		100
令和 4年度		就学援助要綱に基		・ 務処理によ	より円滑な就学をB 	ಷ <b>る</b> 。			直接	学校長の請求に	基づき支給。 	T		%		100
(7)事業実施上の	の課題と対応	年々増加傾向にあ	<b>ර</b> ං					代者	<b>春案検討</b>	O <b></b>	●無					
			平成314	年度			令和 2年度			I 	3年度			令	和 4年度	
		束:	内 容		金額(千円)	政 内 容	予算額(千円)	決算額(千円)	來:	内 容		金額(千円)	策 :	内容	容	金額(千円)
		認定者数 ・小学校 760.	λ		61, 524	認定者数 · 小学校 740人	72, 097	52, 787	認定者 ・小学	数 校 770人		72, 0	認定者数 97 ・小学校	770人		72, 097
		・中学校 390, 計 1,150,			56, 163	・中学校 400人 計 1,140人	61, 492	34, 384		校 400人 1,170人		61, 49	92 ・中学校 計 1,			61, 492
						入学準備金 55名 【3月補正 減額】要保護準	要保護児童	2, 808 △18, 375								
	実施内容															
(8)施行事項	費用															
	マ 佐 / 汁 佐 / 坎		=1		117 007	A =1	133, 589	71 004		A =1		100 5	20	A =1		122 500
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %	117, 687 596 251		50 % 600 00 % 200	71, 604 21 139	補助率補助率	合計	0 % 0 %		00 補助率 00 補助率	合 計	0 %	133, 589
(9) 財源内訳	県支出金 起債 一般財源	充当率		0 %	0 116, 840	110 1	0 % 200 0 % 0 132, 789	71, 444	充当率		0 %		0 充当率		0 %	133, 589
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	立 □基金 □	その他	0 0.3	□特会 □受益 □基金 □		0 0.7	□特金	会 □受益 □基金	口その他	·		口受益 口基金	金 □その他	0
(10) 人件費等	正職員人件費属託職員報酬額				2, 640		6, 090	6, 090					0			0
事業費(予算(決算	臨時職員賃金額 (2) 額+正職員人件費)				120, 327		0 139, 679	77, 694					0			133, 589
(11)単位費用	活動結果指標)		104.63千円	7/件数	120, 027	115.92千円。	,	67. 8				100,00				100,000
2. 事業の	評価 (DO+CHECK	)														
評値	価項目				事前	了評 価				事後評	価(評価結果に	応じ、改善家	E検討(拡充も含む	t))		改善検討
				* 教育の機	<b>《人少女士/D阵士</b> :		た老への採曲が必要である	●①末共歴	認での想定							
		保護者の経済的状況	況に関わらず	. 2213	成芸均寺を保障する	るため、就学費用の支払いが困難が	4日、10万成列が必要である。			どおりでなかった						
	今必要である理由・ ?(事業の必要性)	保護者の経済的状況	況に関わらず	3713-4712	成芸以寺を休陴 9 で	るため、就学費用の支払いが困難が	4日、W版明》。必要(例句。	○②事前確 <想定どおり	認での想定	ョ/想定どおりでた	なかった原因>					 ○要 ●不要
							な日、V/版明ル必安(の句。	〇②事前確 <想定どおり 概ね想定し#	認での想定 りとした理由 と対象者に対	ョ/想定どおりでな 対し援助を実施した	なかった原因>					
		●①民間企業、N (理由) ■法令等	P O 、市民E で市が実施す	団体等では: <sup>-</sup> ることが定	実施できない	るため、就学費用の支払いが困難が	ます、Wik朝が必要でのる。	○②事前確 <想定どおり 概ね想定した ■①民間企 □②市が主	認での想定 リとした理由 に対象者に交 業、NPO 導で進めな	ョ/想定どおりでたけし援助を実施した ・市民団体等では ければ実効性がな	はかった原因> と 実施できなかっ かった		Eの具体的な内容 所法で市が実施する			
背景は		●①民間企業、N (理由) ■法令等	PO、市民	団体等では: <sup>-</sup> ることが定	実施できない		な古、VVIX朝が必要くのる。	○②事前確 <想定どおり 概ね想定しか ■①民間企 □②市が生 □③市が先 促進さ	認での想定 リとした理由 大対象者に交 業、NPO なっ れた	ョ/想定どおりでが けし援助を実施しか 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普	なかった原因> 生 実施できなかっ かった 及が一層					
背景は' 必 要	? (事業の必要性)	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主任 □その他	PO、市民Eで市が実施す で市が実施す 本が市しかな	団体等では: - ることが定 い べきである	実施できない をめられている		な古、Wik朝が必要でのる。	○②事前確 <想定どおり 概ね想定した ■①民間かま □③市が先さ □④ホケービ	認 での想 での した対 まで でひす でで のなっ でで でで のなっ でで でで のなっ でで のなっ でで のなっ でで のなっ でで のなっ でで のなっ でで のなっ で のなっ で のな で のな で のな で の の で の で の に に の に の に の に に の に に に の に に に に に に に に に	ョ/想定どおりでが けし援助を実施しか 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した					●不要
背景は <sup>*</sup> 必 要 性 (2) 市が実 あるか <sup>*</sup>	? (事業の必要性)	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主( □その他 ○②自治体である (理由) □市が主!	PO、市民でである。 で市が実施すな本が市しかない 市が推進すって進めるでで進めるでで、 でで進供するででででででである。	団体等では: つることが定い べきである ことによりまり	実施できない をめられている	<その他の内容> <その他の内容>	な古、Wik朝ル必要でのむ。	② 事 前 確	認での想での想での想でのおいた理は、 ・対象 N 単なと ・進とない進めた ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がなった。 ・変がないがない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がない。 ・変がながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	ョ/想定どおりでが けし援助を実施しか 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した					●不要
背景は <sup>*</sup> 必 要 性 (2) 市が実 あるか <sup>*</sup>	?(事業の必要性) 施する必要性は ?	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主( □その他 ○②自治体である (理由) □市が主: □市が実( サービ、 □市が支)	PO、市民Iで市が実施する で市が市しかな 市が推進する 市が推進する で・ がなるこるれ でがなることに	団体等では: つることが定い べきである ことによりまり こことにより	実施できないをめられている	<その他の内容> <その他の内容>	ひと マップ・マップ・マップ・マップ・マップ・マップ・マップ・マップ・マップ・マップ・	②事前確 <想定どおり 概ね想定し ① 民間が民間が 日 ② 市市が先さ 日 ② 市がきさ 日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ サービ	認での想での想での想でのおいた世球、での表別のような。 業等でではいる。 、進とないではない。 は、近のでは、 、でのでは、 、が、でのでは、 、でのでいる。 、でのでは、 、でのでは、 、でのでは、 、でのでいるでいる。 、でのでは、 、でのでは、 、でのでは、 、でのでは、 、でのでいる。 、でのでは、 、でのでは、 、でのでは、 、でのででは、 、でのででしているででしているででしているででしている。 でのでしているででででしているででしているでででしているでででしているででしているででしているででしているででしているででしているででしているででしているででしているででしているででいるででしているでしている	ョ/想定どおりでが けし援助を実施しか 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した					●不要
背景は <sup>*</sup> 必 要 性 (2) 市が実 あるか <sup>*</sup>	?(事業の必要性) 施する必要性は ?	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主( □その他 ○②自治体である (理由) □市が主: □市が実( サービ、 □市が支)	PO、市民でで市が実施する。市が推進のででを で市が市しかない。市が推進のでで、 でででででででででは、 ででででででではいます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	団体等ではだってことが定いい べきであるまとによりまり ことによりまり よる よより政策・	実施できない をめられている 実効性が得られる リ、良質で安定し <i>t</i>	<その他の内容> <その他の内容>		② 事 前 確	認・レン対 での想を 理文 した対 来 で後と しま者 N 単の な な で後と 政策が定失 で後と 政策が定失 ママン ・ ママン・ ママン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	ョ/想定どおりでが けし援助を実施しか 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	なかった原因> 実施できなかっ: 実施できなかっ: かった 及が一層 に貢献した た		<b>汚法で市が実施す</b>	ると定められ	ている	●不要
背景は ** 必 要 性 (2) 市が実施 あるか ** (市実施	?(事業の必要性) 施する必要性は ?	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主付 □その他 〇②自治体である (理由) □市が主 □市が実 サービ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	PO、市民ででおいます。 で市が市しかない。市が推進のできた。 ・市が推進のでは、 ・市が推進のでは、 ・市が推進のでは、 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市が推進のできた。 ・市がは、 ・市がは、 ・市がは、 ・市がは、 ・市がは、 ・市がは、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・で	団体等では、こことによい、 べきであるまりまり、ことによことによる。 しるよりの数策・ 動の内容	実施できない をめられている 実効性が得られる リ、良質で安定し <i>t</i>	<その他の内容> <その他の内容>		② 事 前 確	認・世界である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ョ/想定どおりでかけし援助を実施しかい。市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育	<b>汚法で市が実施す</b>		ている	●不要
背景は ** 必要性(2)市が実施 あるか*(市実施	?(事業の必要性) 施する必要性は ? ⑤の必要性)	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主信 □その他 〇②自治体である (理由) □市が主言 □市が実 サービニ □市が実 実現が「 □その他	PO、市民でで本が主進ることである。 市が推進のはませずにでは、 中では、 中では、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 では、 は、 でいる。 でい。 でいる。 でい。	団体等では定はない べきでよい べきでよし の内 の内 り り 肉 りり	実施できない をめられている 実効性が得られる リ、良質で安定し <i>t</i>	<その他の内容> <その他の内容>		② 事 前 確	認・世界である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国/想定どおりでだけし援助を実施した。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された 係基盤が確保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当:	うちゃく	品働の程度・₽	ている	●不要
背景は が 要 性 (2) 市が実施 あるか (市実施	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N (理由) ■法令主他 □ 提供の他 □ 2自治体である(理由) □ 市ががに □ ホががに □ スの他 □ 事業書を贈り、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、②・1のでは、③・1のでは、④・1のでは、③・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、④・1のでは、⑥・1のでは	PO、東底でで本が、市が推進のませい。 で本がが推進のませい。 市が推進のはできませい。 市市市は関係ないである。 市市市民のの参とは、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	団体等というでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容>		② 事 前 確	認・世界である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国/想定どおりでだけし援助を実施した。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された 係基盤が確保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	ると定められ、	ている	●不要 ○要要 ●不要
背景は が 要 性 (2) 市が実施 あるか (市実施	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N(理由) ■法令生産 □ 提供の他 □ を である (理由) □ 市市が一で支援 □ 下がまり、 □ 下がらいる。 □ □ 下がらいる。 □ □ 下がらいる。 □	PO、東底でで本が、市が推進のませい。 で本がが推進のませい。 ・市がで進提保できる。 ・市市では、できるでは、 ・市市では、できるできる。 ・市市では、できるできる。 ・では、できるできるできる。 ・では、できるできるできる。 ・では、できるできるできるできる。 ・では、できるできるできるできる。 ・では、できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	団体等というでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容>		② 事 前 確	認・世界である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国/想定どおりでだけし援助を実施した。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された 係基盤が確保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	ると定められ、	大容	● 不要 ○ 要要 ● 不不要
<ul><li>背景は</li><li>必要性 (2)市が実施 あるか*</li><li>(市実施</li></ul>	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N (理由) ■法令主他 □ 提供の他 □ 2自治体である(理由) □ 市ががに □ ホッーで 実現がい □ その他 □ 事業書を贈収 に ○②事業主を 回り、②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	PO、東底でで本が、市が推進のませい。 で本がが推進のませい。 ・市がで進提保できる。 ・市市では、できるでは、 ・市市では、できるできる。 ・市市では、できるできる。 ・では、できるできるできる。 ・では、できるできるできる。 ・では、できるできるできるできる。 ・では、できるできるできるできる。 ・では、できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	団体等というでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容>		② 事 前 確	認・世界である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国/想定どおりでだけし援助を実施した。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された 係基盤が確保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	ると定められ、	大容	● 不要 ○ 要要要
<ul><li>背景は</li><li>必要性 (2)市が実施 あるか*</li><li>(市実施</li></ul>	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N等 は	PO、東底でで本が、市が推進のませい。 で本がが推進のませい。 ・市がで進提保できる。 ・市市では、できるでは、 ・市市では、できるできる。 ・市市では、できるできる。 ・では、できるできるできる。 ・では、できるできるできる。 ・では、できるできるできるできる。 ・では、できるできるできるできる。 ・では、できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	団ない べきではた ありよ いか 有有有携していた ない ない ない 内 りり ている	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容>	的な内容	② 事 前 確	認・世界のでは、	国/想定どおりでだけし援助を実施した。 市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ普施策の目標の実現保された 係基盤が確保された	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった3	ると定められ、	大容	● 不要 ○ 要要要
必要性(2)市が実かをある市工(体制の工夫)	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N等 は	P O 、	団ない べきではな ありよ いくとこるよ 助 有有有携している いくしょ 政 容 のりり ている まりり ている ない	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容>  <その他の内容>  エ夫の具体	的な内容	② 事 前 確	認・世界のでは、	国/想定どおりでかけて、市民団体等ではし援助を実施した。 市民団体等がなけたことの目標の実現になった 総基盤が確保された がない はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいか	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育  ○①当当 ○②当当  <期待し	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった3	品働の程度・₽ 理由/期待以 境への配慮	大容	● 不要 ○ 要要要
必 要 性 (2) 市が実か 施 (2) 市が高の工夫 環境へ で (2) 市が高水 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N等主法 (理由) ■ 提供の を を 注提の で ある主演 (理由) □ は で か が で が で が で が で が で で が で で が で で が で で が で	P つか 市 が 推 が は か は で 本 か 市	団るい べきでにと 助 有有有携 でいた るりよ い へきでにと り 内 りりり ていなる	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容>  <その他の内容>  エ夫の具体	的な内容	② 事 前 確	認・世界のでは、	国/想定どおりでかけて、市民団体等ではし援助を実施した。 市民団体等がなけたことの目標の実現になった 総基盤が確保された がない はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいか	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当 <期待し ●①想想	参加・版 参加・版 初期待したととおり 初期待したととおり 初の期待以た下 た以上となった 環 定どおり	高働の程度・P型の配慮 た	大容	● 不要 ○ 要要要
必 要 性 (2) 市が実か 施 (2) 市が高の工夫 環境へ で (2) 市が高水 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、、等主化 □ ② 自治体である主	P つか 市 が 推 が は か は で 本 か 市	団るい べきでにと 助 有有有携 でいた るりよ い へきでにと り 内 りりり ていた るり 気りり ている	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容>  <その他の内容>  エ夫の具体	的な内容	② 事 前 確	認・世界のでは、	国/想定どおりでかけて、市民団体等ではし援助を実施した。 市民団体等がなけたことの目標の実現になった 総基盤が確保された がない はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいか	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当 <期待し ●①想想	参加・協 初期待したと上 初期待したととい 初期待したと下 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	高働の程度・P型の配慮 た	大容	● 不 要 ● 不 要 ● 不 要 ● T = ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
必要性 (2) 市が実か (2) 市が高の工夫 環境へ (2) 市が高水 (1) 市が実か (2) 市が高水 (2) 市が高水 (2) 市が高水 (2) 市が高水 (2) 市が高水 (2) 市が高水 (3) 市が、 (4) 市が、 (4) 市が、 (4) 市が、 (5) 市が、 (5) 市が、 (6) 市が、	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、、等主他 ② ② 自治 □ 市市中 中市	P つか 市 が 推 が は か は で 本 か 市	団るい べきでにと 助 有有有携 でいた るりよ い へきでにと り 内 りりり ていた るり 気りり ている	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容>  <その他の内容>  エ夫の具体	的な内容	② 事 前 確	認・世界のでは、	国/想定どおりでかけて、市民団体等ではし援助を実施した。 市民団体等がなけたことの目標の実現となれた。 は、	はかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した た	学校教育 ○①当 ●②当 ○③当 <期待し ●①想想	参加・協 初期待したと上 初期待したととい 初期待したと下 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	高働の程度・P型の配慮 た	大容	● 不
必 要 性 (2) 市が実か 施 (2) 市が高の工夫 環境へ で (2) 市が高水 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間企業、N等主他	P つか 市 が 推 が は か は で 本 か 市	団ない べきによ 動 有有有携 でかた ありよ 策・容にとい 政 容 りりていた は 策・る 実り へ	実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定しか ・施策の目標の	<その他の内容>  <その他の内容>  エ夫の具体	内容	② 事 前 確	認・世界のでは、	国 / 想定どおりでした。 はし 接助 団体性が 音	まなかった原因> 実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	学校教育  ○①当当 ○②当  <期待し  ○②想  ○②想  ○②想  ○②想  ○②  ○②  ○②  ○②  ○②	参加・協 初期待したと上 初期待したととい 初期待したと下 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	高働の程度・P型の配慮 た	大容	● 不
必 要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 をかい は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	?(事業の必要性) 施する必要性は? 症の必要性) の必要性) の必要性)	●①民間 ●①民間 ●②宝 ・	P O が進提保るれ かのる で本 が が 進提保るれ かの 参 民民の 動き 配 いいい 献 画画画連施 ゆる ここるれに 情 循 画画連施 かししに 貢献 してて 貢献 して で 真 が しん しん で かんしん に しん	団ない べきでにと 助 有有有携 でいた ありよ 年 ではた の りりりている まり 、	実施できない 定められている ためられるした。 実効性が得られるした。 ・施策の目標の	マ・事実に基づき設定している	内容	② 事 前 確	認 世代 P O なっ ・ 確供	国ノ想定どおりでける。 はし援助でなどのでは、 はいればなででは、 にはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	なかった原因> 実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	学校教育  ○①当当  ○②当当  ○3当  <期待 L  ○①想想	参加・版 参加・版 初期待した以上 初期待したと下 た以上となった。 定どおりでなかった。	ると定められ 強働の程度・原本の配慮 た 原因〉	大容	● 不 要 要
必 要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 をかい は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	?(事業の必要性) 施する必要性は? ? Eの必要性)	●①民間 ●①民間 ●②宝 ・	P O が進提保るれ かのる で本 が が 進提保るれ かの 参 民民の 動き 配 いいい 献 画画画連施 ゆる ここるれに 情 循 画画連施 かししに 貢献 してて 貢献 して で 真 が しん しん で かんしん に しん	団ない べきによ 助 有有有携 視 いるり(%) [『『『『『『『『『『『』』』 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	実施できないを対している を対している を対している を対している を対している を対している を対している を対している を対している での のでは、 のの のでは、 ののでは、 ののできない には、 のので	マ・・・ マック・・・ マリン・ マ・・・ マリン・ マ・・ マック・・ マリン・ でしい でしない がいいさい 値ではない がいいさい 値ではない かいいさい 値ではない	内容	② (事) が (まで) で (を) で	認 世代 P O なっ ・ 確供	国/想定どおりでける。 はし援助を実等ではは ければ実効には ければ変で 市民 の実 になった。 施策れた。 施策れた。 になる場合には 動の具体的な内容は した具体的な内容 した具体的な内容	まかった原因> 宝 実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に 責献した た (又は今容)  ●①目標値値達成 ●①②目標で達成した	学校教育 ○①当当当当 ○②③③ ○ 期待し ○②② ○ 想定と	参加・協 初期待したと上 初期待したととい 初期待したと下 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ると定められ 強働の程度・原本の配慮 た 原因〉	大容	● 不 要 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 かまた では、 (2) おの (2) おの (4) では、 (2) が (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) で	?(事業の必要性) 施する必要性は? 症の必要性) の必要性) の必要性)	●①民間の企業へ等主他の企業を共産権ののでは、100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	P で本 市 が 推 が は か で 走 で 本 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	団ない べきにとよ 動 有有有携 でがた ありよ 年 ではた の りりり ていい ない の の りりり ていい の りりり ていい の りりり ていい の りりり ていい の しゅん の しゅん でんしょ しゃん からしょう しゅうしゅう しゅう	実施できないを対している を対している を対している を対している を対している を対している を対している を対している を対している での のでは、 のの のでは、 ののでは、 ののできない には、 のので	マチの他の内容>  「大の具体  「大の異体  「大の異	内容	②②事 だおけ ■	認 世代 P O なっと ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	国/想定どおりでける。 はし援助を実施ではは、市民団体体性が合 はければ実効 日標のの実施ではない。 施策の日標のの実施ではない。 をはないが確保された。 をはないがない。 の見なる場合には はたこと、中では、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	まかった原因> 「実施できなかっ」 実施できなかっ たのかー 層 に貢献した た (又は今後、 その内容)  ●①②目標値を達成 ○②②目標を達務処理 (会直正な事)	学校教育 ○①当当当 ○②3当 <期待し ○②2割 <想定と	が実施する。 参加・協 初期待した以上 初初期の がかいいは かいいは がないない。 でとどおりでなかった「 でなかった」 はおりでなかった「 はなりでなかった」 はなりでなかった「 はなりでなかった」	ると定められ、 協働の程度・中 理由/期待以、 境への配慮。 た 原因>	内容 下であった原因>	● 不 要 要 要 要 要
必 要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1)目標 (2) あった (本制) にか (1)目標 (2)	?(事業の必要性) 施する必要性は? 症の必要性) の必要性) の必要性)	●①民間企業、N等主他	P で本が市で・水がすらで、本がすらで、本がすら、本がすら、本がすら、本がすら、本がすら、本がすら、本がすら、本がすら	団るい ではだな ではこと り 内 りりりてい がい。 ではこと り 内 りりりてい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	実施できないる を対している		内容 内容  ク  る目標値(と現況値の差)と  I 等民間資本の活用	② (事) が (まで) で (を) で	認しと対 業導導和援スス 内容 を協働が が 実施 という とは 実 に で の ない は と で 後 は は ない	国/想定どおりでける。 はい では できまから では できまから では は は は は は は は は は は な で に は な に な な の に は な な の に は な な の れ な が 確 保 さ れ が 確 保 さ れ が 確 な な の は な る 場 ら に は は な な 内 容 は で に 皮 は 体 的 な 内 容 と で に 皮 体 的 な 内 容 と で に 皮 で に が な 内 容 と で に の な 内 容 と で に か な れ か な か な か な か な か な か な か な か な か	まかった原因> 宝 実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に 責献した た (又は今容)  ●①目標値値達成 ●①②目標で達成した	学校教育  ○①②③③  ○①②③③  ○ 期待し  ○②②  ○ 期待し  ○②②  ○ 表表	が 参加・は 初期待した以上 り 初期待したと下 初初の以上 となった 3 定 だ ど よ り り で な か っ た 「 定 だ ど よ り で な か っ た 「 成 援 助 を 実 施 し 本 う の 想	ると定められ、 高働の程度・戸 境への配慮 た 原因と を 表表でと の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> 策について	● 不 要 要
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1)目標       (2)あが施     市工(体制)にか       (4) 環境への配慮     (1)目標       (5) 表別     (1)日本書       (6) 表別     (1)日本書       (7) 表別     (1)日本書       (1) 日本書     (1)日本書       (1) 日本書     (1)日本書       (2) あが、     (1)日本書       (1) 日本書     (1)日本書       (2) おかり     (1)日本書       (2) おかり     (1)日本書       (2) おかり     (1)日本書       (2) おかり     (2) おかり       (2) おかり     (2) より       (2) おかり     (2) より       (3) より     (2) より       (4) より     (2) より       (5) より     (2) より       (7) より     (2) より       (2) より     (2) より       (3) より     (2) より       (4) より     (2) より       (5) より     (2) より       (6) より     (2) より       (7) より     (2)	?(事業の必要性) 施する必要性は? 症の必要性) の必要性) の必要性)	●①民間 ■②定義 (理由) □ (型)	P で本 市 が 推	団 (本)	実施できないる を対している を対している を対している を対している を対している を対している を表している を表している を表している を表現現画を表現の のでの を現現画を表現の のでの のでの のでのの のでのの のでのの のでのの のでのの のでの		的な内容 内容 ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	②②事 だおけ ■②事 に	認しと対 業導導和援スス 内容 を協働が 考 実施 状況 家 乗 大・協考 実 施 大沢 スス 内容 か は は 大沢 スス 内容 か は は 大沢 スス 内容 か は は 大沢 スス 内容 か な は 大沢 スス 内容 か な は 大沢 スス 内容 か な は 大沢 スター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国/想定どおりでける。 はし援助を実施ではは、市民団体体性が合う。 はければ実効 日標のの実施ではない。 を変われた。  を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。  を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。 を変われた。  を変われた。 を変われた。  を変われた。 を変われた。  を変われた。 を変われた	なかった原因>  実施できなかった 実施でた アカン で	学校教育  ○①②③③  ○①②③③  ○ 期待し  ○②②  ○ 期待し  ○②②  ○ 表表	参加・版 初期待した以上 初初期待した下 でなったす 定定どおりでなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった「 でなかった」	る と 定められ を は の 程度・ 型	内容 下であった原因> 家について なかった	● 不 要 要
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率       がる実かが施     ・市工(体環の配慮     (1)目標できるが、業のでは、       がる実がを     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	?(事業の必要性) 施する必要性は?6の必要性) のや市民との協働をりう。	●①民間企業へ等主化 □ ② ② 自計 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P で本       市市市         市市市       企         市市市       企         市市市       企         市市市       市市市         市市市       企         市市市       市市市         市市市       市市市         市市市       市市         市市市       市市         市市       市市         市       市         市       市	団ない べきにとし 助 有有有携 では な る まり よ で ここと し 助 内 りりり ていい ない (%) [ [ 【 [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [	実施できないる 定対にないる を対したが、 を対したが、 を対したが、 を対したが、 を対したが、 を対したが、 を対したが、 を対したが、 ののはなどのでは、 ののはなどのでは、 ののはなどのでは、 ののはなどが、 ののはなが、 ののはなどが、 ののはなが、 ののはないが、 ののはないが、 ののはなが、 ののはなが、 ののはなが、 ののはないが、		的な内容 内容 ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	②②事 だおけ ■②②事 だおけ ■②②市 保証	認 Jと	a / 想定どおりでける は は は は は は は は は ま い で が で は け れ ば と で 市 民 団 体性 が 音 は け れ ば と で 市 民 可 は 成 本 の 4 な の 4	はかった原因> 「実施できなかっ」 実施でた 層 した で	学校教育  ○①①③③ 特し  ○①②③ 特し  ○②② 排待し  ○②② 排待し  ○②② 想定と  ○② 想定と  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・版 参加・版 初期特したとより 初期特したと下 で定どおりのなかった。 で定じまりのでなかった。 では、でかった。 では、でかった。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	る と 定められ を は の 程度・ 型	内容 下であった原因> 家について なかった	● 不 要 要
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (2) お布本       市工(体 市工(体 境)     環い、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	?(事業の必要性) 施する必要性は?6の必要性) のや市民との協働をりう。	●①民間●企業へ等主他 ○②自計・□で支が、□で支が、□で支が、□で支が、□で支が、□で支が、□で支が、□で支が、	P で本	団ない べきにとし 助 有有有携 では な る まり よ で ここと し 助 内 りりり ていい ない (%) [ [ 【 [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [	実施できないる  実施られている  実施られている  実施られている  実力、 施策の  できない。  できない。  ののの  で現現適同等の現現適同等の。 県体管託  ののの  ののののは、はない。  ののののでは、はない。  ののののののでは、はない。  ののののののののののののののののののののののののののののののののののの		的な内容 内容 ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	② (根	認 リン 業導導和援スス で し象 に役とため準安 かし のなっ に役とため半安 かし ので に象 に役とため半安 かし ので に象 に役とため半安 かし ので に象 に役とため半安 かし ので に象 にでとたが水の かし ので にる。 にる。 にる。 にる。 にる。 にる。 にる。 にる。	a / 想定どお施しています。 はいます は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	はかった原因> 「実施できなかっ」 実施でた アカスが 貢献 した た 「マの内容) 「10日 目標 連務 東想事 できる	学校教育  ○①②③③ 対	が 参加・は 初期待した以上 初初期待付した以下 た以上となった 環定 だおりでなかった に成 とい でかった が でかった が でがった が でかった が でかった が でかった が でかった が でかった が でがった が でがった が でがった が でがった が でかった が でがった が でがった が でがった が でがった が でがった が でがった が でがった が でった が でった が でがった が でがった が でがった が でがった が でがった が でがった が でがった が でかった が でがった でが でがった でが でがった でが でがった が でがった でが でがった でが	る と 定められ を は の 程度・ 型	内容 下であった原因> 家について なかった	● 不 要 要 要 要 要 要
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (2) お布本       市工(体 市工(体 境)     環い、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	?(事業の必要性) 施する必要性は?6の必要性) のや市民との協働をりう。	●①民間 ②企業会長機の る主要に支が(理由) □1民間 □2 乗業 単一 □2 を でかが中が現現 □ □ 中 市市サーが現現 □ □ 東 事 管市市 その他 □ ② ② ④ 市市 その他 □ ② ② 生 予 環境 と 意低 図 ● ⑥ ② で の他 □ ② 生 予 環境 の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	P	団 (a) (%) (%) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m	実施できないる  実施られている  実施られている  実施られている  実力、 施策の  できない。  できない。  ののの  で現現適同等の現現適同等の。 県体管託  ののの  ののののは、はない。  ののののでは、はない。  ののののののでは、はない。  ののののののののののののののののののののののののののののののののののの		内容 ク る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者他	②(事) さいけん (ま) では、 (を) では、 (	認した 東京 でした でした でした でした でした でした ででしたが水の でした ででとたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の ででしたが水の でででしたが水の でででしたが水の でででしたが水の でででしたが水の でででしたが水の でででしたが水の でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	a / 想定 どお 施 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	なかった原因> 「実施でた 原因> 「実施でた 層 した た で で で で で で で で で で で で で で で で で	学校教育 ○①②③③ 特し ○②②③ 期待し ○②②③ 対け (たこ 未業超 (たこ 未業超 (たこ 未業 (大変	が実施する。 参加・は 参加・は 初期特にした以上 初期期待にした以上 の以上となった 環定 定とがおりでなかった 原となる実 を定されている。 「成 は 数 をなま を定じまりがでなかった のの ななま  ●①② 事前前 のの を で で のの の を で の の の を で の の の を で の の の を で の の の を で の の の の	ると 定められ 強働の程度・ が で あいま は できない かいま は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	大容 下であった原因> を またのいて はかった った原因>	● 不 要 要 要 要 要 要
必要性     参加・協働のH夫     環境への配慮     効率性       が表示     ・市工(体     環い     (1)目標       (2)ああった     ・市工(体     環い       (2)ああった     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	?(事業の必要性) 施する必要性は ? の必要性) の必要性) の必要性) こであか? ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	●①民間 ②企業会長機の る主要に支が(理由) □1民間 □2 乗業 単一 □2 を でかが中が現現 □ □ 中 市市サーが現現 □ □ 東 事 管市市 その他 □ ② ② ④ 市市 その他 □ ② ② 生 予 環境 と 意低 図 ● ⑥ ② で の他 □ ② 生 予 環境 の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	P で本	団 (a) (%) (%) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m) (m	実施られている を対している を対している を対している を対している を対している を対している を表している		かな内容 ク る目標値(と現況値の差)と 1等民間資本の活用 者他  ま 単位/事業費	② (根	認 リン 素導導和援スス 容 た・協 (%) 実施 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は	a / 想度定とできない。	はかった原因> 「実かみが」 「素かみが」 「素かった。 「素かった。 「素かった。 「素がった。 「素がった。 「また。 「また。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない	学校教育 ①①②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②② 想定と ② 本要なる。 ② 本要なる。 ② ない。 ② はいたことを表現る。 ③ はいたことを表現る。 ④ はいたことを表現る。 ⑥ はいたことを表現る。  ○ はいたことを表現る。 ○ はいたるを表現る。 ○ はいたる	が実施する。 参加・は 参加・は 初期特にした以上 初期期待にした以上 の以上となった 環定 定とがおりでなかった 原となる実 を定されている。 「成 は 数 をなま を定じまりがでなかった のの ななま  ●①② 事前前 のの を で で のの の を で の の の を で の の の を で の の の を で の の の を で の の の の	るとと 協働の程度・中 境への配慮 はた 原因 と変更定 減減 で かい で かい で かい で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で と で かい と で と で と で と で と で と で と で と で と で と	内容 下であった原因> 来について なかった原因> のであった原因>	●
必要性     参加・協働のH夫     環境への配慮     効率性       が表示     ・市工(体     環い     (1)目標       (2)ああった     ・市工(体     環い       (2)ああった     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	字(事業の必要性) 施する必要性はでの必要性はでの必要性はでの必要性ができなができます。 かあからでは適切ができます。 では適切ができます。 でもある。 でもある。 でもある。 でもある。 できまずる。 でもある。 できまずる。 できまずるまずる。 できまずる。 できまずる。 できまずる。 できまずる。 できまずるまずる。 できまずるまする。 できまずるまする。 できまずるまする。 できまずるまする。 できまずるまする。 できまずるまする。 できまずる。 できまずるまする。 できまするまする。 できまずるまする。 できまするまする。 できまするまする。 できまするまする。 できまするまする。 できまするまする。 できまするまする。 できまするまするまする。 できまするまする。 できまするまするまする。 できまするまする	●①民間 ②企業会長機の る主要に支が(理由) □1民間 □2 乗業 単一 □2 を でかが中が現現 □ □ 中 市市サーが現現 □ □ 東 事 管市市 その他 □ ② ② ④ 市市 その他 □ ② ② 生 予 環境 と 意低 図 ● ⑥ ② で の他 □ ② 生 予 環境 の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	P	団 るい べとこるよ 動 有有有携 でに か なりよ 策 の りり てい が	実施られている を対している を対している を対している を対している を対している を対している を表している を表している を表している を表している を表現現画を表現現画を表現現画を表現現画を表現現画を表現現画を表現現画を表現現		かな内容 ク る目標値(と現況値の差)と 1等民間資本の活用 者他  ま 単位/事業費	○②	認 リン 素導導和援スス 容 た・協 (%) 実施 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は	a / 想度 と で が が が で が が が で が が が で が が が が で が が が で が が が で か が で か が で か が で か か か か で か か か で か か か で か	はかった原因> 「実施でた 層 に た で で で で で で で で で で で で で で で で で で	学校教育 ①①②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②② 想定と ② 本要なる。 ② 本要なる。 ② ない。 ② はいたことを表現る。 ③ はいたことを表現る。 ④ はいたことを表現る。 ⑥ はいたことを表現る。  ○ はいたことを表現る。 ○ はいたるを表現る。 ○ はいたる	************************************	るとと 協働の程度・中 境への配慮 はた 原因 と変更定 減減 で かい で かい で かい で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で と で かい と で と で と で と で と で と で と で と で と で と	内容 下であった原因> 来について なかった原因> のであった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要
必要性     参加・協働のH夫       環か     (2) 市あ市       市工(体     環い       (1) 目投目     目投目       (2) のしず     配字       (3) 投目     日投目       (4) のしず     記字       (5) のしず     配字       (6) を対して     現外       (6) のしず     記字       (7) 日投目     日投目       (8) を対して     日本       (9) は     日本       (1) 日本     おり、       (2) は     日本       (3) 投目     日本       (4) は     日本       (5) は     日本       (6) は     日本       (7) は     日本       (8) は     日本       (9) は     日本       (1) は     日本       (2) は     日本       (3) 投口     日本       (2) は     日本       (3) 投口     日本       (4) は     日本       (5) は     日本       (6) は     日本       (7) は     日本       (8) は     日本       (9) は     日本       (1) は     日本       (2) は     日本       (2) は     日本       (3) 投口     日本       (4) は     日本       (5) は     日本       (5) は     日本	字(事業の必要性) 施する必要性は をの必要性は をの必要性) の必要性) の必要性) にの必要性) にの必要性) による。 は適切か? による。 は適切か? を実現する。	●①民間 ②金 (理由) □ (理由) □ (型由) □ (型电位) □ (型电) □	P	団 (本)	実施できないる  実施られている  実施られている  実効性質では、		かな内容 ク る目標値(と現況値の差)と 1等民間資本の活用 者他  ま 単位/事業費	② (根	認 リン 素導導和援スス 容 た・協 (%) 実施 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は 大・は	a / 想度定とできない。	はかった原因> 「実かみが」 「素かみが」 「素かった。 「素かった。 「素かった。 「素がった。 「素がった。 「また。 「また。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない	学校教育 ①①②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②② 想定と ② 本要なる。 ② 本要なる。 ② ない。 ② はいたことを表現る。 ③ はいたことを表現る。 ④ はいたことを表現る。 ⑥ はいたことを表現る。  ○ はいたことを表現る。 ○ はいたるを表現る。 ○ はいたる	************************************	るとと 協働の程度・中 境への配慮 はた 原因 と変更定 減減 で かい で かい で かい で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で と で かい と で と で と で と で と で と で と で と で と で と	内容 下であった原因> 来について なかった原因> のであった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性     参加・協働のH夫       環か     (2) 市あ市       市工(体     環い       (1) 目投目     目投目       (2) のしず     配字       (3) 投目     日投目       (4) のしず     記字       (5) のしず     配字       (6) を対して     現外       (6) のしず     記字       (7) 日投目     日投目       (8) を対して     日本       (9) は     日本       (1) 日本     おり、       (2) は     日本       (3) 投目     日本       (4) は     日本       (5) は     日本       (6) は     日本       (7) は     日本       (8) は     日本       (9) は     日本       (1) は     日本       (2) は     日本       (3) 投口     日本       (2) は     日本       (3) 投口     日本       (4) は     日本       (5) は     日本       (6) は     日本       (7) は     日本       (8) は     日本       (9) は     日本       (1) は     日本       (2) は     日本       (2) は     日本       (3) 投口     日本       (4) は     日本       (5) は     日本       (5) は     日本	字(事業の必要性) 施する必要性は の必要性は の必要性) にもあか? には適切か? には適切か? には適切か? を事業費用  のの にいるのが にいる	●①民間の企業へ下等主化の企業を生存的により、100 対策実施により、100 対策実施により、100 対策実費(の)、100 対策実務の(の)、100 対策 対策を対象の(の)、100 対策 対象の(の)、100 対象	P で本       市京 で本         市市 が 推 と で 本       市市 市 か 作 進 な す さ さ と に 係 で 本         市市 が 推 と で 本       市市 市 な 事         市市 市 か 作 進 な す さ さ と に 係 で 本       市市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	団 (本)	実施できないる  実施られている  実施られている  実効性質質 目標の  容現現適同等の現現適同等の。 県体管託の  のののでは、一へを対すでは、一へを対すでは、一へを対すでは、一へを対すでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのののでは、一つのでは、一のでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一のでは、一つのでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一		かな内容 ク る目標値(と現況値の差)と 1等民間資本の活用 者他  ま 単位/事業費	○②	認 リン 素導導和援スス 容 た・協 (%) 実施 大・ は大い で で に な で に な と な で で に な と な と で で に な と な に な と な に な と は な に な に な に な に な に な に な に な に な に な は な に な に な は な に な は な に な は な に な は な に な は な に な は な な は な は な は な は な な は な な な は な は な は な は な な は な な は な な な は な な は な な は な な は な な は な な な な は な な は な は な な な は な な な は な な な は な な は な な な は な な は な な な は な な な は な な な る な は な な な は な な な は な な な は な な は な な る る な る な は る な る な は る る る る る る る る る る る る る	a / 想度 と で が が が で が が が で が が が で が が が が で が が が で が が が で か が で か が で か が で か か か か で か か か で か か か で か	はかった原因> 「実かみが」 「素かみが」 「素かった。 「素かった。 「素かった。 「素がった。 「素がった。 「また。 「また。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない	学校教育 ①①②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②② 想定と ② 本要なる。 ② 本要なる。 ② ない。 ② はいたことを表現る。 ③ はいたことを表現る。 ④ はいたことを表現る。 ⑥ はいたことを表現る。  ○ はいたことを表現る。 ○ はいたるを表現る。 ○ はいたる	************************************	るとと 協働の程度・中 境への配慮 はた 原因 と変更定 減減 で かい で かい で かい で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で と で かい と で と で と で と で と で と で と で と で と で と	内容 下であった原因> 来について なかった原因> のであった原因>	●
必要性 参加・協働の日夫 環境への配慮 効率性 参加・協働の日夫 環境への配慮 (2) あん市 エ(体 境 のし が で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●①民間の企業、N等主他の企業を生存的のでは、100 対策実施によの地ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	P で が 市 で ・	団 (a) (b) (c) (c) (d) (d) (e) (e) (d) (d) (d) (e) (e) (d) (d) (d) (d) (d) (e) (e) (d) (d) (d) (d) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e	実施できないる を対している		内容 ク る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 生 単位/事業費 見況値)×費用単位/事業費 事業完了など)	○②	認 リン 素導導和援スス 容 た・協 (%) 実施 大・ は大い で で に な で に な と な で で に な と な と で で に な と な に な と な に な と は な に な に な に な に な に な に な に な に な に な は な に な に な は な に な は な に な は な に な は な に な は な に な は な な は な は な は な は な な は な な な は な は な は な は な な は な な は な な な は な な は な な は な な は な な は な な な な は な な は な は な な な は な な な は な な な は な な は な な な は な な は な な な は な な な は な な な る な は な な な は な な な は な な な は な な は な な る る な る な は る な る な は る る る る る る る る る る る る る	a / 想度 と で が が が で が が が で が が が で が が が が で が が が で が が が で か が で か が で か が で か か か か で か か か で か か か で か	はかった原因> 「実施のかった原因> 「実施のかった原因> 「実施のかった原因> 「実施のかった原因 した で	学校教育 ①①②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②② 想定と ② 本要なる。 ② 本要なる。 ② ない。 ② はいたことを表現る。 ③ はいたことを表現る。 ④ はいたことを表現る。 ⑥ はいたことを表現る。  ○ はいたことを表現る。 ○ はいたるを表現る。 ○ はいたる	が が が が が が が が が が が が が が	るとと 協働の程度・中 境への配慮 はた 原因 と変更定 減減 で かい で かい で かい で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で と で かい と で と で と で と で と で と で と で と で と で と	内容 下であった原因> 来について なかった原因> のであった原因>	● 不 要 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 のしま では、 (2) おおった では、 (2) おおった では、 (2) おおった では、 (3) 投行 では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (6) では、 (7) では、 (8) では、 (8) では、 (8) では、 (9) では、 (1) では、 (1) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (	字(事業の必要性) 施する必要性は のの必要性は のの必要性) になるののでは、 のののでは、 ののでは、	●①民間の企業、N等主他の企業を生存的のでは、100 対策実施によの地ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	P で が 市 で ・	団 (a) (b) (c) (c) (d) (d) (e) (e) (d) (d) (d) (e) (e) (d) (d) (d) (d) (d) (e) (e) (d) (d) (d) (d) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e	実施できないる を対している	マ・本の他の内容>    マー・   マー	内容 ク る目標値(と現況値の差)と I 等民間資本の活用 者負担 生 単位/事業費 見況値)×費用単位/事業費 事業完了など)	○②	認 リン 素導導和援スス 容 た・協 (%) 実施 大・ は大い で で に な で に な と な で で に な と な と で で に な と な に な と な に な と は な に な に な に な に な に な に な に な に な に な は な に な に な は な に な は な に な は な に な は な に な は な に な は な な は な は な は な は な な は な な な は な は な は な は な な は な な は な な な は な な は な な は な な は な な は な な な な は な な は な は な な な は な な な は な な な は な な は な な な は な な は な な な は な な な は な な な る な は な な な は な な な は な な な は な な は な な る る な る な は る な る な は る る る る る る る る る る る る る	a / 想度 と で が が が で が が が で が が が で が が が が で が が が で が が が で か が で か が で か が で か か か か で か か か で か か か で か	はかった原因> 「実施のかった原因> 「実施のかった原因> 「実施のかった原因> 「実施のかった原因 した で	学校教育 ①①②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②③ 特し ②②② おったこ 未業超 ルーザ に程 はり 満費過 ない 本要 はない は は は ない は は は ない は は は ない は は は は	が が が が が が が が が が が が が が	るとと 協働の程度・中 境への配慮 はた 原因 と変更定 減減 で かい で かい で かい で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で かい と 関東 で かい と で と で かい と で と で と で と で と で と で と で と で と で と	内容 下であった原因> 来について なかった原因> のであった原因>	● 不 要 要

	第3号						事務事			- <del> / X</del>	<u> </u>								
事	業コード	1026			課コード		1502		会計種別	一般会	計			予算(	の種類	□政策	ŧ	■経常	□なし
1.	事業の概要(PLAN)																		
		① 市 世 力	基本事業	学校におり	ナる保健管理					実施計	h画への		± • #		(O) \$17 = H &2	*/-	<b>★</b> 40.35 ±0	****	
		①事業名	個別事業	児童・生徒	走・教職員健康診問	断事業					置づけ	O	有 ●無		②部課名	教	育総務部	学校教育課	
		③事業主体	●市	Oそのft	也 (				)	<ul><li>4)対象地</li></ul>		□我孫子	□天王台	□湖北	□新:		布佐	■全市	
(1)事	業概要	⑤事業期間 ⑦事業費				~				⑥担当職	試員叙	(当 初)	39	3 人 9,116 千円	(換算 <i>.</i> (うち <i>.</i>	人剱 ————————————————————————————————————	5	0.6 人)	
		()事業質 (人件費含む)	総事業費		1	154,142 千円				当該(開	開始)年度	(変更後)		千円		人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策		52101	1	重点プロジェクト	重点	_		画地区別		)有 ●無		部門別計	†画への (≞	↓面々\ □	- ども総合計画	
		②肥束の吐直 フロ	コード	L 7 th 1. 1		1 # 1 B # F	への位置づけ				位置づけ				位置	つけ			
(2)目	ĸ	施策目的 · 展開方向	のための教	対育を推進し	します。また、健康		の精神や社会性を育 を意識した健やかな				<b>美目的</b>	学校における1	保健管理に関し必	要な事項を選	Eめ、児里	・生徒並ひに	職員の健	東の保持増進を	:凶る。
		נייו נינוקאנו			こ努めます。 動安全衛生法の規ジ	定に基づく健康	診断の実施と事後措	置、健康相談、愿	※染症の予防等を	÷		児童生徒:(4,	月~7月)耳鼻咽喉	<b>桑科検診・内</b>	科検診・原	<b>尿検査・心電</b> [	図検査・歯	科検診・胸部	X線検査・結核
			通じて、児	置生徒及び	び教職員の健康の	保持を図る。				当該	核年度		(6月~7月) 胸部 症検査・就学時健		吉核健康診	断、 (9月) 1	中学校駅伝	選手健康診断、	(10月~11月
(3)事	* 中容	内 容									計画		月)教職員健康診		大腸・血液	・心電図、尿	(1)、スト	レスチェック	(年1回)
(0) #	*174	n <del>t</del>										1161 4 7 10	÷ +4 ***	^ B 18th # J	- 7 D.A.				1
											5年度 吉果指標		童・生徒・教職員 0月1日現在見込		する尿検査	の受診人数	単位	想定值 人 切法は	
(4) 法	或目標(期待する成果)				達成日‡	標(期待する成果	<b>型</b> )				中末拍标  標種類		±				単位	(5) 現況値	9,300
	该年度	健康に学校で過ご	せる児童・生	E徒・教職』							·连·// 〔接	実施者数/児童	・生徒・教職員の				%	98	
	和 3年度	健康に学校で過ご	せる児童・生	上徒・教職』	員数100%を目	指す				<u> </u>	 [接	実施者数/児童	・生徒・教職員の	建診対象者			%		99
		健康に学校で過ご	せる児童・生	上徒・教職⋅ⅰ	員数100%を目	指す				<u> </u>		実施者数/児童	・生徒・教職員優	<b>⊉診対象者</b>			_		
î	和 4年度	DEM(1 - 7   7   7   7		- 12 12 12 12		,,,,					ī接 ————	71,0 1 34, 70 1					%		99
(7)事	業実施上の課題と対応									代替	案検討	С	)有 ●無						
			平成314	年度			令	1和 2年度				<u> </u> 令:	和 3年度	L			令和	4年度	
		政策	内 容		金額(千円)	政策	内 容	予算	領(千円) 決算額	頃(千円) 点	改	内容	李	金額(千円	) 政策		内 容		金額(千円)
		報酬			15, 720				15, 720	15, 054	報酬			15, 7					15, 720
		報償費 消耗品			2, 030 175	消耗品			2, 025 175	1, 863 154	報償費 消耗品				75 消	模費 耗品			2, 025 175
		印刷製本費 通信運搬費(前	<b>尤学時健康診</b>	断通知)	531 69		費		531 15	370 27	印刷製2修繕料	本費				刷製本費    繕料			531 15
		委託料 (児童生 使用料 (車借上	<b>上徒教職員健</b> 原		12, 479 589	通信運搬費	費(就学時健康診断)	<b>通</b> 知)	70 341	63 305		般費(就学時健)	康診断通知)		70 通	i信運搬費(勍 ·数料	(学時健康	诊断通知)	70 341
	実施内容	検診用備品購入			764		児童生徒教職員健康記 車供上料)	诊断)	12, 579 665	10, 641 595	委託料	(児童生徒教職) (車借上料)	員健康診断)	12, 5	79 委	·		建康診断)	12, 579 665
(8)施	<sup>行事項</sup> 費 用					検診用備品	品購入費		779	706	検診用値	<b>備品購入費</b>			79   検	診用備品購入	費		779
						健康診断業 2151千円×	業務を行う会計年度( ×0.4人	±用職員	996	996		断業務を行う会 円×0.4人	計年度任用職員	9		建康診断業務を  51千円×0.4.		丰度任用職員	996
	予算(決算)額		計		32, 357	; ;	合 計		33, 896	30, 774	<u> </u>	合 計		33, 8	196	4	計		33, 896
	国庫支出金県支出金	補助率 補助率		0 %	0	11.0		0 %	0	0	補助率 補助率		0 %			助率 助率		0 %	0
(9)財	原内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	0 32, 357	/0	-	0 %	0 33, 896	0 30, 774	充当率		0 %	33, 8		当率		0 %	33, 896
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 口基金 口	その他	0.6	□特会[	□受益 □基金 □そ	の他	0 0.6	0 0.6	□特会	会 □受益 □基金	金 □その他			□特会 □受益	金基口益	□その他	0.6
(10)	件費等 「運託職員報酬額」				5, 280 1, 000	)			5, 220	5, 220				5, 2					5, 220
	臨時職員賃金額				0	)			0	0					0				0
(11) 肖	予算(決算)額+正職員人件費) 位費用		3. 76千円	ー リン人	37, 637	1	4.16千円/	·	39, 116	35, 994 3, 87				39, 1	16				39, 116
	事業費/活動結果指標) 事業の評価 (D0+CHECK)	)	0.70   1.					^		0.07									
	4-34-02 BL IM (DO : OLIFOL)	,																	
	≕ /= 15 D					₩ 51 / <b>E</b>			<u> </u>			市 纵 証	年 (証法会用)-	内に 小羊を	<del></del>	- <del>*</del> +			과 후 수 하
	評価項目	学校は、多数の児	童生徒等が集	長団生活を行		前 評 価 学校保健安全法	に基づく、健康診断	の実施と事後措置	量、健康相 ●	①事前確認	恩での想定。		価(評価結果に	応じ、改善家	案検討(拡	充も含む))			改善検討
	評価項目)事業が今必要である理由・	学校は、多数の児 談、感染症の予防			行う場所であり、!	学校保健安全法	に基づく、健康診断 日る必要がある。	の実施と事後措置						応じ、改善署	案検討(拡	充も含む))			
(					行う場所であり、!	学校保健安全法		の実施と事後措置	○ <1	②事前確認	での想定。	どおり どおりでなかっ i/想定どおりて		応じ、改善乳	案検討(拡	(充も含む))			○要 ●不要
(	)事業が今必要である理由・	談、感染症の予防:	等を通じて児	記童生徒及で	行う場所であり、: び教職員の健康の	学校保健安全法保持・増進を図	]る必要がある。	の実施と事後措置	〇 <抗 法*	②事前確認 想定どおり 合に従い、	図での想定。 とした理由 計画的に実	どおり どおりでなかっ 1/想定どおりて 8施した	たでなかった原因>				5性の冊中		O要
	)事業が今必要である理由・	<ul><li>談、感染症の予防</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>○</li><li>①民間企業、 N</li><li>・</li><li>(理由) ■法令等</li></ul>	等を通じて児 NPO、市民E で市が実施す	団体等では 「ることがS	行う場所であり、: び教職員の健康の・	学校保健安全法	]る必要がある。	の実施と事後措置	○	②事前確認 想定どおり 合に従い、 ①民間企業 ②市が主導	Rでの想定。 とした理由 計画的に実 、NPO、 算で進めない	どおりでなかっ に対定どおりで は一想定どおりて がした 、市民団体等で ければ実効性が	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった	た <市実施	布の具体的	充も含む)) な内容・必要 な内容・必要 、学校運営上			O要
必 要	)事業が今必要である理由・	<ul><li>談、感染症の予防</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>○</li><li>①民間企業、 N</li><li>・</li><li>(理由) ■法令等</li></ul>	等を通じて児 NPO、市民E で市が実施す 体が市しかな	団体等では 「ることがS	行う場所であり、: び教職員の健康の・	学校保健安全法保持・増進を図	]る必要がある。	の実施と事後措置	○ <** 法·	②事前確認 思定どい、 ①民間がおい、 ①民間が主導導 ので進される。 のでは、 ②市がたきれる。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	Rでの想定。 とした理由 計画的 PP の い い い が と い が と し た り に り に り に り に り い さ り な り な り な り な り な り れ り れ り れ り れ り れ	どおりでなかっ!  / 想定どおりでなかっ!  / 想定どおりて  応した  ・市民団体等で  ければ実効性が  たことで市民へ	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層	た <市実施	布の具体的	1な内容・必要			O要
必要は	) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間企業、 (理由) ■法令等 □提供主・ □その他  ○②自治体である	等を通じて児 NPO、市民Iで市が実施す 体が市しかな も市が推進すっ	記童生徒及で 団体等では つることがない べきである	行う場所であり、 び教職員の健康の 生実施できない 定められている	学校保健安全法保持・増進を図	る必要がある。	の実施と事後措置	O   < 1	②事前確認 想定どおい、 想定どはい、 ①民市が進度の ① (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	思での想定。 とした理由 と計画のN進と い変とないまで いるでする。 は でのでは と いるでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でいる。 は でいる。 は でいる。 は でいる。 は でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	どおりでなかつごがました。 本民団体等でがたったとで市民へに施した。 を表示したでは、 を表示したがある。 を表示しています。	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施	布の具体的	1な内容・必要			O
必要は	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	談、感染症の予防・  ●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主・□その他  ○②自治体である (理由) □市が主・	等を通じて児 NPO、市民I で市が実施すな 体が市しかな も専で進めるこ	記童生徒及で 団体等では っることがない べきである ことにより写	行う場所であり、 び教職員の健康の 生実施できない 定められている	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。	の実施と事後措置	○ <1 × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	②事前確認 想定どおい、 想定どはい、 ①民市が進度の ① (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	思での想定。 とした理由 と計画のN進と い変とないまで いるでする。 は でのでは と いるでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でのでする。 は でいる。 は でいる。 は でいる。 は でいる。 は でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	どおりでなかっぱく想定どおりでなかっぱく想定どおりでなかっぱく 想定とおりで にっこう でいま	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施	布の具体的	1な内容・必要			●不要
必 要 #	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか?	談、感染症の予防・  ●①民間企業、	等を通じて「児 Pで市が市市で体が も 市でで は は い は い は は い は は い い に い い い い い い い	記童生徒及で 団体等では つることがだい べきでよりまり ことにとにより いる	行う場所であり、び教職員の健康の び教職員の健康の 実施できない。 定められている 実効性が得られる。 り、良質で安定し、	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。	の実施と事後措置	<1 <1 ±1 □	②事前確認 りまた では 間がが進の一一 で 主導導オ だって (名) で (A)	思での想 と計 と計 と計 と計 とい とい とい とい での とい での とい での とい での とい での とい での とい での とい でい でい でい でい でい でい でい でい でい で	どおりでなかつごがました。 本民団体等でがたったとで市民へに施した。 を表示したでは、 を表示したがある。 を表示しています。	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施	布の具体的	1な内容・必要			O要 ● 不要
必 要 #	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか?	談、感染症の予防・  ●①民間企業、 (理由) ■法令等 □提供主 □その他  ○②自治体である (理由) □市が主 □市が実 □市が支	等を通じてて児のでは、実施がは、実施が、実施が推進の供証では、実施が推進の供証では、またので	記童生徒及で 団体等では つることがだい べきでよりまり ことにとにより いる	行う場所であり、: び教職員の健康の ・ 実施できない 定められている ・ 実効性が得られる	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。	の実施と事後措置	<1 <1 ±1 □	②事前確認 り に 民市 に は い の 全	思での想 と計 と計 と計 と計 とい とい とい とい での とい での とい での とい での とい での とい での とい での とい でい でい でい でい でい でい でい でい でい で	どおりでなかつごがました。 本民団体等でがたったとで市民へに施した。 を表示したでは、 を表示したがある。 を表示しています。	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施	布の具体的	1な内容・必要			O要 ● 不要
必要は	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか?	談、感染症の予防・  ●①民間企業、N (理由) ■ は会等   □提供主   □ においます   □ に	等を通じてて児のでは、実施がは、実施が、実施が推進の供証では、実施が推進の供証では、またので	記童生徒及で 団体等ではだい べきであるション とことにといる るっといる ことにより いんこと にといる しんこと いち	行う場所であり、び教職員の健康の び教職員の健康の 実施できない。 定められている 実効性が得られる。 り、良質で安定し、	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。		<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rでの想要である。 と計 を享得ないない。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を では は 田東 のなった。 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりでありて、 1/想定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりでは、 1/世によりでは、	た 『なかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施	恋の具体的 現定があり	1な内容・必要	- 必須の事	実である	O
必要性(	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか?	談、感染症の予防・  ●①民間企業、N (理由) ■提供主 □提供主・□ をある (理由) □市が主・ □市が実・サービに □市が実・現が、□ その他  ○①事業計画時に	等を通じて「児のでは、実施がは、実施が、生きるでは、実施が、生きるでは、実施が、生きるでは、実施では、実施では、実施では、実施では、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	君童生徒及では「ない」であります。ことはことにより政策・ありまります。ことは、政策・動の内容	行う場所であり、び教職員の健康の び教職員の健康の 実施できない。 定められている 実効性が得られる。 り、良質で安定し、	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	内容>		<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rでの想要である。 と計 を享得ないない。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を では は 田東 のなった。 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	どおりでなかっ どおりでなかっ コン想定どおりて 市民団体等でが ければ実効性民へ 施策の目標の実 深された 徐基盤が確保さ	た 『なかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施法令に対	恋の具体的 見定があり	の な内容・必要 、学校運営よ 参加・協働の た以上	- 必須の事	実である	O要 ● 不要
必要性(参加:	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間企業、等 □提供主 □提供をのを ○②自治体市が実・ □ 中市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等を通じて 「児 「	君童生徒をない。 ではいることの内内の ではによりの内の はがするのでは、策・のの内の ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、のでは、の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	内容>		<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rでの想要である。 と計 を享得ないない。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を では は 田東 のなった。 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりでありて、 1/想定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりでは、 1/世によりでは、	た 『なかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実旅 法令に対	恋の具体的 現定があり	のな内容・必要 、学校運営上 参加・協働の た以上 たとおり	- 必須の事	実である	● 不要  ● 不要
必要性(参加・協	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間企業、令等には、会等には、一型は、日間では、会等には、会等には、一型には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己	等を通じて 「	君童生徒をない。 はないではないではないののはいではが、このではといいののはのはないではといいのではないではないではないではないではないではないではない。	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	内容>		<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rでの想要である。 と計 を享得ないない。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を では は 田東 のなった。 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりでありて、 1/想定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりでは、 1/世によりでは、	た 『なかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 法令に対 ○①当 ○②当   マリカー   マリカ	をの具体的 規定があり 初期待した した した した した した した した した した した した した し	かな内容・必要 、学校運営上 参加・協働の た以上 たとおり 以下	程度・内容	実である	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 ○ 要
必要性参加・協	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	談、感染症の予防・ ●①民間 企業、令主提そのをは、会主提子の 本・ 本・ を・ を・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等を通じて 「	君童生徒をない。 はないではないではないののはいではが、このではといいののはのはないではといいのではないではないではないではないではないではないではない。	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	内容>		<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rでの想要である。 と計 を享得ないない。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を では は 田東 のなった。 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりでありて、 1/想定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりでは、 1/世によりでは、	た 『なかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施法令に対	をの具体的 規定があり 初期待した した した した した した した した した した した した した し	かな内容・必要 、学校運営上 参加・協働の た以上 たとおり 以下	程度・内容	実である	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 ○ 要
必要性参加・協	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	談、感染症の予防・ ●①民間企業、令等には、会等には、一型は、日間では、会等には、会等には、一型には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己には、自己	等を通じて 「	君童生徒をない。 はないではないではないののはいではが、このではといいののはのはないではといいのではないではないではないではないではないではないではない。	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	内容>		<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rでの想要である。 と計 を享得ないない。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を は 田東 のなった。 「本語を では は 田東 のなった。 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できません。」 「本語を できません。 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまません。」 「本語を できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりでありて、 1/想定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりでは、 1/世によりでは、	た 『なかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 法令に対 ○①当 ○②当   マリカー   マリカ	をの具体的 規定があり 初期待した した した した した した した した した した した した した し	かな内容・必要 、学校運営上 参加・協働の た以上 たとおり 以下	程度・内容	実である	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 ○ 要
必要性参加・協	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	談、感染症の予防・ ●①民間企業、令等には、	等を通じて、 P 市が市 推進の共産の で体 お 市が推進の共産の を表し、実し 推進の共産の を表し、 では かい	君童生徒をない。 ではいるとしいかない。 ではいるというない。 ではいるののは、 ではいるのののでは、 ではいるののでは、 ではいるののでは、 ではいるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。    内容     大容	<b>小な内容</b>	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R での想要である。 定 u to pu N 進と L to pu N 進と L to pu N 進と S pu P を pu N	どおりでなかった。  1/想定どおりで  1/想定どおりで  市民団体外性が、 市民団体外性が、 けたことで 目た では、 施策された確保とさい。  第244年の実施・ を発送盤が確保はない。  「はないない。  「はないないない。  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 法令に対 ○①当 ○②当   マリカー   マリカ	をの具体的 規定があり 初期待した した した した した した した した した した した した した し	が 参加・協働の を以上 たととおり 以下 なった理由/	程度・内容を	実である	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 要 ○ ● 不 ●
必要性参加・協	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	談、感染症の予防・ ●①民間 企業、令美にの一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、	等を通 の の で体 の の で体 の の の の の の の の の の の の の	R 全 生 生 生 生 は に に に に と に と に と に と に と と に と の の り り り の の り り の の の の の の の の の の の の の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	内容>	<b>小な内容</b>	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R での想要である。 定 u to pu N 進と L to pu N 進と L to pu N 進と S pu P を pu N	どおりでなかった。 1/想定どおりでなかった。 1/想定どおりでありて、 1/想定とおりである。 1/規定とおりである。 1/規定とおりでは、 1/世によりでは、 1/世によりでは、 1/世になりでは、 1/	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施法令に対	をの具体的り 見体的り がありり かり かり かり かり かり かり かり かり いり かり いり かい いり かい いい かい いい かい いい かい いい かい いい かい かい いい かい か	参加・協働の た以上 たと下 なった理由ノ 環境へ(	程度・内容を	実である	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 要 ○ ● 不 ●
必要性参加・協働の工夫・環	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を ましているか? 本制づくり)	談、感染症の予防・ ●①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	等を P で体	R 全 生 生 生 は が こ で よ と に と に と し も り の り り の り り の の の の り の の の の の の の の の の の の の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。    内容     大容	<b>小な内容</b>	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R での想要である。 定 u to pu N 進と L to pu N 進と L to pu N 進と S pu P を pu N	どおりでなかった。  1/想定どおりで  1/想定どおりで  市民団体外性が、 市民団体外性が、 けたことで 目た では、 施策された確保とさい。  第244年の実施・ を発送盤が確保はない。  「はないない。  「はないないない。  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	をの具体的り では できまり できまり できまり できままり はっこう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	参加・協働の たい以上 といい とない とない とない なった理由 でなかった	程度・内容を対しています。	実である	○ 要 ● 不 ● 不 ● 不 ● 不
必要性参加・協働の工夫・環	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	談、感染症の予防・ ●①民間 企業、令等・ (理由) ■ □ は 体 市 市 が が が が が が が が が が が が が が が が が	等を P で体	R 全 生 生 生 は が こ で よ と に と に と し も り の り り の り り の の の の り の の の の の の の の の の の の の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。    内容     大容	<b>小な内容</b>	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R での想要である。 定 u to pu N 進と L to pu N 進と L to pu N 進と S pu P を pu N	どおりでなかった。  1/想定どおりで  1/想定どおりで  市民団体外性が、 市民団体外性が、 けたことで 目た では、 施策された確保とさい。  第244年の実施・ を発送盤が確保はない。  「はないない。  「はないないない。  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	をの具体的り では できまり できまり できまり できままり はっこう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	参加・協働の た以上 たと下 なった理由ノ 環境へ(	程度・内容を対しています。	実である	○ 要 ● 不 要 ○ ● 不 要 ○ ● 不 ●
必要性参加・協働の工夫・環	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間 ②企法提名の を * 、	等を P で体 も 市 準 を	R 全 生 生 生 は が こ で よ と に と に と し も り の り り の り り の の の の り の の の の の の の の の の の の の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。    内容     大容	<b>小な内容</b>	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R での想要である。 定 u to pu N 進と L to pu N 進と L to pu N 進と S pu P を pu N	どおりでなかった。  1/想定どおりで  1/想定どおりで  市民団体外性が、 市民団体外性が、 けたことで 目た では、 施策された確保とさい。  第244年の実施・ を発送盤が確保はない。  「はないない。  「はないないない。  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	をの具体的り では できまり できまり できまり できままり はっこう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	参加・協働の たい以上 といい とない とない とない なった理由 でなかった	程度・内容を対しています。	実である	○ 要要要 ● 不不要要 ● 不不要要
必要性参加・協働の工夫・環	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①日間 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	等を P で体 も 市 準 を	R 全 生 生 生 は が こ で よ と に と に と し も り の り り の り り の の の の り の の の の の の の の の の の の の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図 <その他の  <その他の  <その他の  <その他の	る必要がある。    内容     大容	<b>小な内容</b>	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R での想要である。 定 u to pu N 進と L to pu N 進と L to pu N 進と S pu P を pu N	どおりでなかった。  1/想定どおりで  1/想定どおりで  市民団体外性が、 市民団体外性が、 けたことで 目た では、 施策された確保とさい。  第244年の実施・ を発送盤が確保はない。  「はないない。  「はないないない。  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	をの具体的り では できまり できまり できまり できままり はっこう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	参加・協働の たい以上 といい とない とない とない なった理由 でなかった	程度・内容を対しています。	実である	○ 要         ● 不         ● 要         ● ○ 要         ● ○ 要
必 要 性	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	等を P で体 も 市 準 を	R 全生徒を ではい べきによとい ではい でもしましまい の内の のりりしている のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ ・実施できない。 ・実施られている ・ ・実効性が得られるし ・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保健安全法保持・増進を図	る必要がある。   	内な内容	<1 <1 ±1 □	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	Rで と計 集準の と計 集準の と計 集準の と計 集準の と計 集準の とが を を を を を を を を を を を を を	どおりでなかっては、 はたことでは、 はたいまたでは、 はたいまたでは、 はたいまで	た 『なかった原因〉 は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた ② (又は今後、 よその内容)	た	をの具体的り では できまり できまり できまり できままり はっこう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	参加・協働の たい以上 といい とない とない とない なった理由 でなかった	程度・内容を対しています。	実である	○ 要         ● 不         ● ▼         ○ 要         ● ○ 要         ○ 要         ○ ● 不
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①日は	等 P で体 あ 導施 ス 接図 で	R 全生徒 ではい でよしい ではしい ではしい の 内 りりりて ではしい の 内 りりりて ではい。 るりま、策 の 内 りりして の の りりりて の の の りりりて の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	行う場所であり、: び教職員の健康の・ に実施できない。 定められている ・ 実効性が得られる り、良質で安定し・ ・ 施策の目標の	学校保健安全法保持・増進を図	   内容	内な内容	C <1	② ま合に した いまな はいい ない はいい ない はいい ない はいい ない はい	R と計	どおりでなかっては、はたことでは、また。またことでは、またことでは、またことでは、またことでは、またことでは、またことでは、またことでは、またことでは、またことでは、ま	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 まその内容)	た   <市実施	を の 具体的 の 具体的 の 具体的 の 具体的 の の の の の の の の の の の の の	お内容・必要」 参加・協働の た以より たと下 なった理由ノ でなかった原因>	程度・内容を対しています。	実である	○ 要         ● 不         ● 要         ● ○ 要         ● ○ 要
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	談、感染症の予防・ ●①日は	等 P で体 あ 導施 ス 接図 で	R 全生 を生 をはい ではい でにとしい でにとしい のはりりしてい ではない をいまった。 ではない なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりよい なりな なりな	行う場所であり、ごび教職員の健康のごび教職員の健康のごび教職員の健康のご言ないるのでである。 まめられるしい おいまり ・ 施策の目標の 「■②現況に値しる。 「「」 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	学校保健安全法図	A 必要がある。   内容 >	内容	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ①②③ ④⑤⑥⑦での 実をを を かんしん かんしん かんしん かんしん はいい かんしん はいい かんしん かんしん はいい かんしん はいい はい	R と計	どおりでなかって 1/2 想定と おりでなかって 1/2 想定と おりで なおりで でおりて 1/2 想定した 下ればとで 体気 中枢 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た 『なかった原因〉 は実施できなかっ なかった 音及が一層 現に貢献した れた ② (又は今後、 よその内容)	た   <市実に	を を を の 具体 が ありり が ありり に に に に に に に に に に に に に	かな内容を運営と 参加・協働の たととないでなった。 環境へのでなった。原因>>	程度・内容を対しています。	実である	○ 要要要 ○ ● 不 要要 要
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	談、感染症の予防・ ●①民間 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	等を P で体 ら	君童 生徒 で	行う場所であり、ごび教職員の健康のごび教職員の健康のごび教職員の健康のご言ないるのでである。 まめられるしい おいまり ・ 施策の目標の 「■②現況に値しる。 「「」 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	学校保健安全法図 学校保健安全法図 マキの他のが マ・実地があれる。 ・現性がいる有る。 ・現代がある。 ・現代がある。 ・現代がある。 ・現代がある。 ・現代がある。 ・現代がある。 ・現代がある。 ・現代がある。	A 必要がある。	内容	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ①②③ (45)⑤⑦で 実 参 値 (f)(9) を	R と計	どおりでなかった 1/2 想定 どおりでなかった 1/2 想定 どおりでなかって 1/2 想定 どおりでない 1/2 思い 1/2 また 1	た 『なかった原因〉 は実施できなかっ なみかが 層現に うす献した れた ②(又は今後、 まその内容) ②(目目標値値達え ○(②) 標を得ない事	た	を を を の 具体 が ありり が ありり に に に に に に に に に に に に に	おな内容・必要よりな、学校では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	程度・内容の事	字であった原因〉	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	談、感染症の予防・ ●①日間 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	等を P で体 ら	R 電 生 性 は で よ に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に も の り り り の に の に の し の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	行う場所であり、ごび教職員の健康のごび教職員の健康のごび教職員の健康のご言ない。 まま かいまま かいまま かいまま できない おいまま かいまま かいまま かいまま できます はいまま できます はいます はいまま できます はいい はい できます はい こう	学校保健安全法図	A 必要がある。	内容	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ①②③ (4.5)⑤(? で	R と計	どおり でなかつ: 1/2 想定とおりでなかつ: 1/2 想定とおりでなかりで 1/2 想定とおりで 1/2 地間 大き で 1/2 で 1	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	を の 見がありり の 見がありり に の 見がありり に に に に に に に に に に に に に	おな内容・必要よりな、学校では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	程度・内容 関係は である。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字であった原因〉	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (市実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間 ②企業・等等・使の を 3 を 4 生 の で	等を P で体 お	Reference of the control of the co	行う場所であまり、のであるし、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A 必要がある。	ちな内容 ち容 ち目標値(と現況値 ち負担	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ① ② ③ (1) ② ③ (2) ③ (2) ③ (3) ③ (4) ⑤ (7) での 実 を 参加 した・ は 横値 (f) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	R と計	どおり でなかつ: 1/2 想定 どおりでなかつ: 1/2 想定 どおりで なかつ: 1/2 想定 どおりで また 地 で は な	た でなかった原因 > は実施できなかっ を	た	を現在の具体的り は しょう は で は で な と を を で な と を を で な と を で な と を で な と を で な と を で な と と と と	参加・協働の をたというでなった理由/ 環境へででなった原因した実施。事業の	程度・内3 内3 減対 対策 (	実である	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	談、感染症の予防・ ●①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	等を P で体 ら 導施ス 接図	君童 生徒 では	行う場職のの (する) は (する) は (する	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A 必要がある。	ちな内容 ち容 ち目標値(と現況値 ち負担	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (2) ② ) ② ) ② ) ② (3) ③ ) ② ) ② ) ② (4) ③ ⑤ ) で の とまたさ 立じ 世 他 内 しか・ は 参加 しか・ は 縁 値 (f) (9) (	R と計	どおり でなかつ: 1/2 想定とおりでなかつ: 1/2 想定とおりでなかりで 1/2 想定とおりで 1/2 地間 大き で 1/2 で 1	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	<ul> <li>⑥ 具体的りり</li> <li>初初初初の以上に定じますり</li> <li>でなせる</li> <li>企成とという</li> <li>企成とを</li> <li>でなる</li> <li>● ①②②</li> </ul>	おな、学校では、   なのでは、   なのは、   なのは、	程度・内容をはいる。 利ははいるである。 では、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、な	字 であった原因〉 こついて	○●       ●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 2 2 3 3 3 3 4 3 5 4 3 5 6 6 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	談、感染症の予防・ ●①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	等を P で体 お	君童 生徒 では	行う場所であた。 である。 大変施のである。 大変をある。 、をなる。 大変をなななる。 大変をななななな。 大変をなる。 大変をなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A 必要がある。	ちな内容 ち容 ち目標値(と現況値 ち負担	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ① ② ③ (1) ② ③ (2) ③ (2) ③ (3) ③ (4) ⑤ (7) での 実 を 参加 した・ は 横値 (f) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	R と計	どおり でなかつ: 1/2 想定 どおりでなかつ: 1/2 想定 どおりで なかつ: 1/2 想定 どおりで また 地 で は な	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	<ul> <li>⑥ 具体的りり</li> <li>初初初初の以上に定じますり</li> <li>でなせる</li> <li>企成とという</li> <li>企成とを</li> <li>でなる</li> <li>● ①②②</li> </ul>	おな、 参いにたり、 なった実 事事的ののでは、 ででいった 原因し 事のののととででなった。 要求想想を かった 原因し 素想想を かった 変元を 変元を かった 変元を	程度・内容をはいる。 利ははいるである。 では、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、な	字 であった原因〉 こついて	○●       ●         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○ </td
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 2 2 3 3 3 3 4 3 5 4 3 5 6 6 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	談、感染症の予防・ ●①民間 ②企業・等等・会性の る主実・の (理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	等を P で体 ら 導施ス 接図	君童 生徒 では	行う場職のの (する) は (する) は (する	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A 必要がある。	ちな内容 ち容 ち目標値(と現況値 ち負担	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (2) ② ) ② ) ② ) ② (3) ③ ) ② ) ② ) ② (4) ③ ⑤ ) で の とまたさ 立じ 世 他 内 しか・ は 参加 しか・ は 縁 値 (f) (9) (	R と計	どおり でなかつ: 1/2 想定 どおりでなかつ: 1/2 想定 どおりで なかつ: 1/2 想定 どおりで また 地 で は な	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	<ul> <li>⑥ 具体的りり</li> <li>初初初初の以上に定じますり</li> <li>でなせる</li> <li>企成とという</li> <li>企成とを</li> <li>でなる</li> <li>● ①②②</li> </ul>	おな、 参いにたり、 なった実 事事的ののでは、 ででいった 原因し 事のののととででなった。 要求想想を かった 原因し 素想想を かった 変元を 変元を かった 変元を	程度・内容をはいる。 利ははいるである。 では、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、な	字 であった原因〉 こついて	○●       ●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 2 2 3 3 3 3 4 3 5 4 3 5 6 6 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	談、感染症の予防・ ●①民間 ②企法提その を ・	等を P で体 お 導施ス援図	Right and the state of the st	行う場職のの (する) は (する) は (する	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	T	内容 内容 5 目標値(と現況値 等民間資本の活) 5負担	○ < : : : : : : : : : : : : : : : : : :	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (2) ② ) ② ) ② ) ② (3) ③ ) ② ) ② ) ② (4) ③ ⑤ ) で の とまたさ 立じ 世 他 内 しか・ は 参加 しか・ は 縁 値 (f) (9) (	R と計	どおりでなかつ:    1/2	た でなかった原因 > は実施できなかった	た   大	<ul> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>ではまます。</li> <li>ではままする。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますますますますますますますますますますますますますま</li></ul>	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 で たっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかっかった 要定定 減 で はっかっかい はいかい かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	程度・内容を である	実である マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	○●       ○●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (市景施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性)	談、感染症の予防・ ●①民間 ②企法提その を ・	等を Nで体 お pi m x y x y x y x y x y x y x y x y x y x	Right and the state of the st	行う場所であた。	学校保・学保持・増進を全返図 マーク 実 が の が で	A 必要がある。	内容 5日標値(と現況値 等民間資本の活) (負担 3	○	② また ① ② ③ (1) ② ③ (1) ② ③ (2) ② ) ② ) ② ) ② (3) ③ ) ② ) ② ) ② (4) ③ ⑤ ) で の とまたさ 立じ 世 他 内 しか・ は 参加 しか・ は 縁 値 (f) (9) (	R と計	どおりでなかって	た でなかった原因 〉 は実施できなかの で で な か の が 献 し た に な か の	た	<ul> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>ではまます。</li> <li>ではままする。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますますますますますますますますますますますますますま</li></ul>	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 で たっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかっかった 要定定 減 で はっかっかい はいかい かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	程度・内容を である	字 であった原因〉	○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) に民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり) )目標設定は適切か?	談、感染症の予防・ ●①民間 ②企法提その を ・	等 P で体 お	君童 生徒 で	行う場所であた。	学校保・学保持・増進を全返図 マーク 実 が の が で	A 必要がある。	内容 5日標値(と現況値 等民間資本の活) (負担 3	○	② 見合 ①②③ ④⑤⑥⑦c 実 を	R と計	どおりでなかつ:  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体の  1. / 市民団体の  1. / 市民社体の  1. /	た でなかった原因 > は実施った にはなかった 原因 > はなきなかった 原因 > できなかった 耐 した できな かっ 前 した れた できな (又の内内容)	た	<ul> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>ではまます。</li> <li>ではままする。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますますますますますますますますますますますますますま</li></ul>	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 で たっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかっかった 要定定 減 で はっかっかい はいかい かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	程度・内容を である	実である マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	○●       ●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性       ( ) 「コ ( ) 」     ( ) 」 ( ) 」 ( ) 」	) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)  2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)  (民の参加や市民との協働を 決しているか? 本制づくり)  1境に配慮して事業を進めてるか?  2) 事業費削減の工夫をしているか?  3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	談、感染症の予防・ ●①民間 ②全法提名の を主義性の あままでである。 ○②自治 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	等 P で体 お	君童 (e) (e) (e) (e) (e) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f	行う場所であた。	学校保・学保持・増進を全返図 マーク 実 が の が で	A 必要がある。	内容 5日標値(と現況値 等民間資本の活) (負担 3	○	② また ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ F の 実 を 横 値 (f) (9 回 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	R と計	どおり でなかって	た でなかった原因 〉 は実施できなかの で で な か の が 献 し た に な か の	た	<ul> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>ではまます。</li> <li>ではままする。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますますますますますますますますますますますますますま</li></ul>	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 で たっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかっかった 要定定 減 で はっかっかい はいかい かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	程度・内容を で	実である マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	○●       ○●         ○●       ○●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性     3	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)  2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)  民の参加や市民との協働を 夫しているか?  本制づくり)  目標設定は適切か?  3) 目標設定は適切か?  2) 事業費削減の工夫をしているか?  3) 目標で実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	談、感染症の予防・ ●①民間 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	等 P で体 S 導施ス援図	君童 体徒 で	行う場所であた。 (下) 場所のの (大)	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A 必要がある。	内な内容 5日標値(と現況値 等民間資本の活) 5負担 2 単位/事業費用単位	○	② 見合 ①②③ ④⑤⑥⑦c 実 を	R と計	どおりでなかつ:  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体の  1. / 市民団体の  1. / 市民社体の  1. /	た でなかった原因 〉 は実施できなかの で で な か の が 献 し た に な か の	た	<ul> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>で見がありり</li> <li>ではまます。</li> <li>ではままする。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまます。</li> <li>ではまますます。</li> <li>ではまますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますます。</li> <li>ではまますますますますますますますますますますますますますますますますますますま</li></ul>	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 で たっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかっかった 要定定 減 で はっかっかい はいかい かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	程度・内容を で	実である マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	○●       ○●         ○●       ○●
必要性	) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)  2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)  (民の参加や市民との協働を 決しているか?  は境に配慮して事業を進めてるか?  1境に配慮して事業を進めてるか?  2) 事業費削減のエ夫をしているか?  3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)  事後評価  状どおり推進  (対充	談、感染症の予防・ ●①民間 ②全法提名の 本主実 ( ) (理由) □ □ ( ) □	等 P で体 お	君童 生徒 で ( ) で (	行う場職所であた。	学校保・学保持・増進を全返図 マーク 実 が の が で	A 必要がある。	内容 5日標値(と現況値 等民間資本の活) (負担 3	○	② 見合 ①②③ ④⑤⑥⑦c 実 を	R と計	どおりでなかつ:  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体の  1. / 市民団体の  1. / 市民社体の  1. /	た でなかった原因 >	た	を の に の に の に の に の に に し に に に に に に に に に に に に に	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 で たっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかった 要定定 減 で はっかっかった 要定定 減 で はっかっかい はいかい かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	程度・内容を で	実である マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
必要性	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)  2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)  民の参加や市民との協働を 夫しているか?  本制づくり)  目標設定は適切か?  3) 目標設定は適切か?  2) 事業費削減の工夫をしているか?  3) 目標で実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	談、感染症の予防・ ●①民間 ②全法提名の 本主実 ( ) (理由) □ □ ( ) □	等 P で体 お	君童 生徒 で ( ) で (	行う場職所であた。	学保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A 必要がある。	内な内容 5日標値(と現況値 等民間資本の活) 5負担 2 単位/事業費用単位	○	② 見合 ①②③ ④⑤⑥⑦c 実 を	R と計	どおりでなかつ:  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 想定どおりで  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体効果へ  1. / 市民民団体の  1. / 市民団体の  1. / 市民社体の  1. /	た でなかった原因 >	た	を の に の に の に の に の に に し に に に に に に に に に に に に に	おな、 参いたとり、 なった実 事事 ど とと なった 実 事事 ど とと なった 原版 前前 が りった 乗想想 削 った 要定定 減 で かった 原版 直 で かった	程度・内容を で	実である マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	O●

<b>栜</b> 式	第3号 						●	·莱胖伽	表(令和 ————	1 2:	牛皮 <i>)</i> ———									
事	業コード	1027			課コード		1502		会計種	別	一般会計				予算(	の種類	□政策		経常	□なし
1.	事業の概要(PLAN)																			
		①事業名		学校教育の							実施計画		0	有 ●無		②部課名	教育	総務部・	学校教育課	
		③事業主体	個別事業	我孫子市学 〇その他	校保健会運営					,	位置づ ④対象地区		□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	口布		■全市	
		⑤事業期間	Thi A	O 7 07 1E		9年度 ~	,				⑥担当職員		□找旅丁		3 人		<u></u> Πη		). 8 人)	
(1)事	業概要	⑦事業費	総事業費			30,720 千円					当該(開始)	) 年度	(当 初)	1	3,622 千円	(うち人件	費	6, 9	60 千円)	
		(人件費含む)	心于不具			00, 720 111	1						(変更後)		千円	(うち人件	費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		52101		重点プロジェクト への位置づけ		重点 5		基本計画地計画への位		C	)有 ●無		部門別計画へ 位置づけ	・の (計画	河名) 福祥	业総合計画 第	32次心も身体
(n) =	**	施策目的・					┃ 重の精神や社会性を				<b>市衆口</b>	46	我孫子市教育	委員会における学	校保健に関す	る研究及び学	校保健活動	 の充実を	図る。	
(2)目		展開方向	育や健康教	対育の充実に	努めます。		さを意識した健やか	び生活を送る。	_とかできるよう	)、莨	事業目				<del></del>	M. I. III by A	40 A / = B	\ // // // // // // // // // // // // //	77 (5 - 7 0 - 10 10	A (
					対する思想の普及 対の実践力を		研究を行う。 )、小中学校における:	食育・歯科保健	建活動の充実を図	3る。			学校保健会主	、図画ポスター審 催講演会(2月)	、学校保健会					
											当該年 執行計		口(技孫子第	二小・湖北台東小	字校で年間)					
(3)事	業内容	内 容																		
											当該年 活動結果:		生活習慣病予	防検診対象者市内	小学校 4 年生	三(肥満度20	%以上)	単位	人 想定値 実績値	130
(4) 達	成目標(期待する成果)					票(期待する原	<b></b>				指標種				標			単位	(5) 現況値	(6)目標値
	該年度	生活習慣病予防検	診(肥満度2	20%以上)							直接		生活習慣病予	防検診実施者/対象	<b>读者</b>			%	48	80
令	和 3年度	生活習慣病予防検	診(肥満度2	20%以上)	対象者の減を目	指す。					直接		生活習慣病予	防検診実施者/対象	<b>教者</b>			%		80
令	和 4年度	生活習慣病予防検	診(肥満度2	2 0 %以上)	対象者の減を目	指す。					直接		生活習慣病予	防検診実施者/対象	含者			%		80
(7) ±	**ウザーの部は1.41さ										/h ## === 1/	^=I		· + • • • • • • • • • • • • • • • • • •						
(/) 事	業実施上の課題と対応										代替案核	英討		)有 ●無						
		Tet:	平成31	年度	A +T ()	Tile:		令和 2年度	- m+ ( \ \ \ \	L *** ** *	() Th:			和 3年度	A +T /	, <sub>724</sub> ;		令和 4	年度	A +T ()
		策 報償費	内 容		金額(千円)	政 策 報償費	内 容		予算額(千円) 2	夬算額(	策	報償費	内	容 ————————————————————————————————————	金額(千円	) 政 策 05 報償費		容		金額(千円)
		研修旅費	2.碑,含夸临	利促煙田)	3 202	研修旅			3 18		0	研修旅費 費用弁備				3 研修旅 18 費用弁	費			3
		消耗品(学校係 食糧費 印刷製本費	、匹 及月图	17 体胜用)	3 30	消耗品	(学校保健・食育歯科	4保健用)	191 3		170		≅ (学校保健・食	育歯科保健用)	1		(学校保健	・食育歯	科保健用)	191 3
		学校保健負担金	ì		44 a	印刷製	本費		28 56		28	印刷製本				28 印刷製	本費			28 56
	実施内容	研修負担金 費用弁償 医薬材料毒			22		建室備品購入費		11		11		建室備品購入費			11 学校保	健室備品購	入費		11
(8)施	行事項 費 用	医薬材料費 臨時職員賃金			43 451	研修負		14 E E E E E	44 14		0	学校保優 研修負担	旦金	こみむたまた ママ		14 研修負		***	<b>計ケウケア</b> で	44 14
						442千円			442		0 4	442千円	×1人	う会計年度任用職		42 442 <b>千</b> F	円×1人		計年度任用職	442
							健運営業務を行う会計 円×0.3人		747				運運呂兼務を行 月×0.3人	う会計年度任用職	7		健連呂兼務 円×0.3人	を行う会	計年度任用職	747
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %	907	補助率	合 計	0 %	1, 662 0			甫助率	合 計	0 %	1, 6	0 補助率	合	計	0 %	1, 662 0
(0) B <del>1</del>	原内訳 県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	1112-22 1		0 %	0		0 充	前助率 七当率		0 % 0 %		0補助率0充当率			0 % 0 %	0
(3) 90	一般財源 一般財源 その他の財源	□特会 □受拍	益 口基金 口	その他	907	□特金	会 □受益 □基金 □·	その他	1, 662 0		1, 055	□特会	:□受益□基:	金 口その他	1, 6		会 口受益	□基金□	]その他	1, 662 0
(10)	換算人数(人) 正職員人件費				0. 8 7, 040				0. 8 6, 960		0. 8 6, 960				6, 9	. 8				0. 8 6, 960
	嗎託 職員 報酬 額 臨時職員賃金額				1, 000 1, 013				0		0					0				0
(11) 耳	(予算(決算)額+正職員人件費) 単位費用		79. 47千I	四 / 人	7, 947		66. 32千円	9 / J	8, 622		8, 015 66, 24				8, 6	22				8, 622
	事業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK	0	79. 17.				00.02													
	評価項目	<u>*</u>			事;	打評価				ı			事後評	価(評価結果に	応じ、改善等	2. 格討(拡充 #	今ま:))			改善検討
Т					リ、子ども達の肥:	満や生活習慣	病、アレルギー、薬				事前確認で		どおり			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				7 L M
(	1)事業が今必要である理由・	刻化していること	から、字校は	未健会におい	で、字校保健館:	主に対する指	i導研究や対策を一層	允美させる必	<b>そかめる。</b>				どおりでなかっ							〇要_
	背景は?(事業の必要性)													でなかった原因> 様々な取り組みを行	<b>すった</b>					●不要
.,,		○①民間企業、N (理由) □法令等				<その他の	の内容>						市民団体等でければ実効性が	は実施できなかっ たか - t		画の具体的な内 建会を組織する				# <del>*</del>
必要			体が市しかな		- W 241 C 0.2					□3		となった	ことで市民へ			安保健事業に寄				
性 (	2)市が実施する必要性は	●②自治体である		ベキでもて		<その他の	の中容へ			□4		政策・旅	を を を を を も た た り に り に り に り に り り り り り り り り り り	現に貢献した	3					〇要
	あるか? (市実施の必要性)	(理由) ■市が主	導で進めるこ	ことにより実	受効性が得られる 「、良質で安定し		のいせん			<b>□</b> 6			Rを利に 合基盤が確保さ	れた						●不要
		サービ	スが保証され	13	施策の目標の						の他の内容>	>			l.					
			図られる	-0. 7.200	2001 T   120 T															
			参加・協	動の内容			工夫の具体	体的な内容					の具体的な内 られる場合に			参加	・協働の程	度・内容		
参		〇①事業計画時に 〇②事業実施時に									, IIII I					初期待した以. 初期待したとこ				
加点	市民の参加や市民との協働を	○③管理·運営/-	市民の参画	有り												初の期待以下				〇要
	E夫しているか? 体制づくり)	○⑤市民と共同で ●⑥その他													<期待し	した以上となっ	た理由/斯	待以下で	あった原因>	●不要
夫		<その他の内容>								1										
		該当なし																		
		□①白好理拉≠□	配慮の				取組む					実施し	た具体的な内		<b>A</b> A±□	史どかり	環境への配	2慮		
環		□①自然環境を生 □②生き物と共有	すしている													定どおり 定どおりでなれ	かった			
境への	環境に配慮して事業を進めて いるか?	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低源		いる											<想定と	ごおりでなかっ	た原因>			○ 要
への配慮		■⑤その他																		● 不要
		<その他の内容>   該当なし																		
		現況値(a)(%)	目標値(				<b>延値の妥当性のチェッ</b>	ク			達	成状況		<ul><li>○①目標値達成</li><li>●②目標値未過</li></ul>	-					
(	1)目標設定は適切か?			1	■①客観的なデー □②現況値と比べ		基づき設定している しい値ではない			実終	績値(f)(%)		達成率(%) (f/b×100)			こばしか ユア	<b>m</b> \			—— O要
		48	80	1	□③現況値との差 □④適当な比較対	が小さい値で象が有る場合		ける目標値(とエ	見況値の差) と		54		67. 5	- <目標を達成し 生活習慣病への			△/			●不要
		対策実施によ	る事業費削		同等の水準で		実施予定の対策				宝			〇①想定事業費			事業費の削	減対策に	ついて	
±.		事業費(c)(千円)	事業費削減	咸額(d) [	□①国・県助成制 □②現有体制での			I 等民間資本 	の活用	実績	値(g)(千円)	対	†事業費(%) (g/c)×100	<ul><li>●②概ね想定事</li><li>○③想定事業費</li></ul>	業費以内	O①事前	の想定どおの想定どお	IJ		
効   平 (	2)事業費削減の工夫をして	8, 622	(千円 △67	75	」②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託						8, 015		92. 96	1		○②争削				O要
性	いるか?	事業費削	減率(%)		□④氏间安託 〔削減の内容>					<超i	過理由等>	-1		J		- \week	יהיש, כ כ	JE		●不要
		Δ8	3. 49																	
				<b>業费 (△)</b>			<b>副 佐</b> 土	<b>‡</b>			N <sub>2</sub> dec			○①目標値以上	·  /P	標値以上とな	った理中ノ	目標値に	下であった盾ҕ	3>
(	3) 目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?		目標値対事	業費(e) 単位			計算方 力指標:目標値×費用	単位/事業費		gi.		対	目標値(%)	- ○②目標値と同 ●③目標値以下	程度 生活	習慣病への更			. 、いノノに豚は	〇要
	(目標対費用)	0. 93		%	10万円	〇②複数年月	度の指標 : (目標値−∃	垷況値)× 費用	甲位/事業費	_	0.67	(	(h/e) × 100 72. 04	つじ口(赤胆の						●不要
3	事後評価										J. VI		. <u>.</u>	<u> </u>						
	現状どおり推進 O拡充	〇縮小	〇結合	〇休止	〇廃止 (	)事業手法見	直し ○その他(	(事業完了など)												
評等	学校における保健事業に貢献	していることから、	現状通り推済	評価コメ 進する。	ント									改善策	[及び展開方]	白	_	_		
価		,																		
									1											

	事業コード		1028			課コード		1502		会計和	重別 一	般会計			予算0	の種類	□政領	策	■経常	□なし
1	事業の概	· ·																		
۳	**************************************	KS (I LIVE)		基本事業	学校におけ	ける保険給付事業					実	施計画への				@ ±n=m +	au.		W 1 + 24 - + 5m	
			①事業名				災害共済給付・伯	壬意保険給付事	業			位置づけ		)有 ●無		②部課名			・学校教育課	
			③事業主体 ⑤事業期間	●市	○その他	<u> </u>	~					象地区 ———— 当職員数	□我孫子	□天王台	□湖北 1 人	□新 (換算,		布佐	●全市	
(1)	事業概要		⑦事業費	総事業費			59,428 千円	-			当	核(開始)年原	(当 初)		12,446 千円	(うち,	人件費	2	,610 千円)	
			(人件費含む)					= <del></del>					(変更後)		12,384 千円	(うち)		2	(,610 千円)	
			⑧施策の位置づけ	施策 コード		52101	<u> </u>	重点プロジェク □ への位置づけ		重点5		計画地区の		O有 ●無		部門別計 位置	( ≡	計画名) -	子ども総合計画	
(2)	目的		施策目的 · 展開方向							<sup>哉の醸成など、人l</sup> ることができるよ		事業目的		の児童生徒の災害 として損害賠償な						
			成刑刀叫	「日本スポ		2ンター法施行令				巻生した事故で、:	療養に			険・補償保険」						
(3)	事業内容		内容	また、「照	告償責任保険	〕では、学校施	つき、その児童st 設の瑕疵、学校だ 合の補償につい	施設の管理業務		学校業務遂行上的	-	当該年度 執行計画	手続き事務	:ツ振興センタージ 振興センター災			納入・・・毎	≨月取りま	とめ請求事務及	び給付金支払し
												当該年度 動結果指標	E CONTRACTOR DE					単位	件実績値	598
<u> </u>	達成目標(期待	寺する成果)	学校管理下におけ	る事故の減り	し を目指す	達成目	標(期待する成果	)				指標種類	日本スポーツ	振興センター災害	指 標 『共済由語事発	6件数		単位	(5) 現況値	(6)目標値
	当該年度 —————		学校管理下におけ									直接		振興センター災害				件件	833	800
	令和 3年度  令和 4年度		学校管理下におけ									直接 ———— 直接		振興センター災害				件		800
(7)	事業実施上の	課題と対応									f	替案検討		O有 ●無						
			Tibr :	平成31	年度	A# (7 m)	Tiler		令和 2年度	7 (# (	1. Mr. 4. 7. m.	TH:	·	和 3年度		Tile:			4年度	A#=(= m)
			策 負担金	内 容		金額(千円)	策!	内 容		予算額(千円) 8,602	決算額(千円) 8,44	東:	内	容	金額(千円)	東:	担金	内 容		金額(千円)
			その他保険料			1, 198				1, 234 △62	1, 23		)他保険料		1, 23	1 :	の他保険料			1, 234
(0)	+.c.=-=	実施内容																		
(8)	施行事項	費用																		
		予算(決算)額		計		10, 176		승 計		9, 774	9, 68		合 計		9, 83			計		9, 836
		国庫支出金 県支出金	補助率		0 %	(	対 補助率		0 %	0	(	) 補助2	率	0 %		0 補助	力率		0 %	0
(9)	財源内訳	起債 一般財源	充当率	× = + ^ =	0 %	6, 588	3	- = + C+ A	0 %	5, 869	5, 96	2		0 %	5, 92			<del>-</del>	0 %	5, 928
	_	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 □基金 ■	その他	3, 588 0. 3 2, 640	3	■受益 □基金	■その他	3, 905 0. 3	3, 72	3	特会 ■受益 □基	金 ■その他	3, 90	. 3	□特会 ■受	益 □基金	■その他	3, 908 0. 3
(10	)人件資等	正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				2, 040	)			2, 610	2, 61	0			2, 6	0				2, 610 0
		爾中   明   明   明   明   明   明   明   明   明				12, 810				12, 384	12, 29	3			12, 44	<u> </u>				12, 446
	(事業費/活		<u> </u>	12.82千日	円/件			15. 48千	-円/件		20. 6	6								
2.		平価 (DO+CHECK	J			<b>.</b>	±4- =π /πr				l		± 44 €1	; /= /==/=r/+=	-c:	=+A=1 /++	******			76 * 40 = 1
	評価	<b>坦日</b>	学校の管理下に	おける運動や	や授業中に起		前 評 価  1,000件近く発生	する中、民間よ	よりも安い掛金	で給付を受ける	●①事前·	確認での想		· 価(評価結果)	〜心し、以苦糸	(快) (払	.尤も含む))			改善検討
		必要である理由・	ことができる災害 また、学校にお				る賠償に備えて	賠償責任保険に	加入する必要が	がある。			見定どおりでなかっ 							〇要
	背景は?	(事業の必要性)									独立行政法	大日本スプ	理由/想定どおりで ポーツ振興センタ・	- 災害共済給付制	度の加入につ	いては、ホ	市が直接契約	を結ぶ制度	きである。また、	●不要 . 災
			●①民間企業、♪				くその他の内		2 * 1 <i>W</i> = 1 * *	0 = 11/4 + /*/+ - 1	□①民間:	企業、NP	、保護者負担額も <u>た</u> ・O、市民団体等で	は実施できなかっ	った <市実施		な内容・必要			## AV
必要				体が市しかな		<b>E</b> められている	ことが規定さ	れている。		の契約を締結する	□③市が	先導役とな	かなければ実効性が いったことで市民へ		の災害共	<b>ķ済給付申</b>	請を行う。則	倍償責任保	について、医療 険は、市が法律	上の
性	(2) 市が実施・	する必要性は	□その他 ○②自治体である		*******		摂害賠償についてある。 くその他の内		受直者の責任と	して加入すべきも	□④市の		き・施策の目標の実 『歴史された	現に貢献した	を行う。	補償保険	は、市の損害	賠償の有	対して保険金の無にかかわらず	市が
	あるか? (市実施 <i>の</i>		(理由) 口市が主	導で進めるこ	ことにより実			· 日谷夕				ビスの安定	「確保された E供給基盤が確保さ	れた	務の中で	で予測し難	い事故が発生	Eした場合	請求をする。学 、円滑な事故解 ために必要であ	決に ●不要
			サービ	スが保証され	1る	・ ・施策の目標の	.75				くその他の				より、1.	J以 C 印氏	の信根関係を	上催休りる	/こめ)に必安であ	<u>০০ .                                    </u>
				図られる	-5.1以來 "	ルロネジロ保い														
				参加・協作	動の内容			工夫の具	体的な内容				協働の具体的な内 考えられる場合に			1	参加・協働の	程度・内容	容	
参加			〇①事業計画時に 〇②事業実施時に								該当なし	切加速灯灯	ブーラーマックの口に	- C		初期待した				
	市民の参加や工夫している	や市民との協働を	〇③管理・運営に 〇④市民の自主的	市民の参画	有り										0③当	初の期待り	以下			〇要
協働の工夫	(体制づくり)		○⑤市民と共同で ●⑥その他	き事業を実施											<期待し	た以上と	なった理由/	/期待以下	であった原因>	●不要
美			<その他の内容>								1									
			該当なし		10.									_						
			□①自然環境を生					取組	計の内容 一一		該当なし	実	施した具体的な内	쫍		定どおり	環境への	の配慮		
環境	環境に配慮し	<b>して事業を進めて</b>	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識	Fしている 戦している											0②想:	定どおりて	でなかった			
への配慮	環境に配慮し いるか?	- くず木で延めし	□④環境負荷低源 ■⑤その他	成に貢献して	いる										<想定と	ごおりでな	かった原因>	>		〇 要 ● 不要
慮			<その他の内容>								1									
			該当なし		\ / · · ·								ls ver		<u>.</u>					
			現況値(a)(件)	目標値(b	1		-タ・事実に基づ				実績値(f	達成物	達成率(%)	●①目標値達 ○②目標値未						
	(1)目標設定	は適切か?	833	800	] (	□②現況値と比べ □③現況値とのま	ヾ実現性が乏しい ≜が小さい値では	値ではない ない					(b/f × 100)	<目標を達成し				「6日間~	となり、また日	—— ○要 ●不要
						□④適当な比較対 同等の水準で			らける目標値(と	:現況値の差)と	595		134. 45	ら学校で児童生	E徒への安全指		のため、昨年	度よりも	申請件数が減っ	
			対策実施によ	る事業費削		□①国・県助成制		施予定の対策 □⑤ P	FI等民間資料	本の活用		実施状	対事業費(%)	○①想定事業 ●②概ね想定	事業費以内	O(1)3	事業費の 事前の想定ど	削減対策( おり	こついて	
効	(O) + + ····	はのエナナ:	事業費(c)(千円)	(千円	9)	□①国 宗切及。 □②現有体制での □③維持管理費の	D対応		益者負担		実績値(g)	(112)	(g/c) × 100	〇③想定事業	貨超過		事前の想定と		かった	
率	(2)事業費削	減の工夫をして	12, 384	432	<u>'</u> [	□④柱符官程員0 □④民間委託 〔削減の内容>					12, 25 <超過理由		99. 27			<想定	どおり削減で	<b>ごきなかっ</b>	た原因>	〇要 ●不要
性																				
			3.	. 37																
		実現する為に		目標値対事業		<b>弗田≌</b> /←	●①単年度の指	計算: 樗·目標値×費				達成物	大況 対目標値(%)	●①目標値以 ○②目標値と	同程度 4~	5月は新	型コロナ感染	症対策に	以下であった原 よる緊急事態宣	言の
	投じる事 (目標対費	業費は適正か? 費用)	6. 46		単位	費用単位	●①単年度の指 ○②複数年度の				実績値		$(e/h) \times 100$	〇③目標値以	頃か	ら学校の!	児童生徒に対	する安全技	となったことや 指導を行ってお	り、□●不要
	Ter 44 === 1=	-			件	10万円					4. 84	4	133. 47		昨年	度よりも	甲請件数が減	沙し、目標	漂値以上となっ	<i>t</i> =。
	事後評価 現状どおり推	-	〇縮小	〇結合	〇休止	〇廃止	○事業手法見直し	02.04	也(事業完了な。	(ئىل										
					評価コメ	リント		. UてW11	⊠√尹未兀」は(					改善	策及び展開方向	白				
評	児童生徒が安	マルして学校生活?	を送れるよう支援す	<b>るものであ</b> り	ッ、今後もヨ	兄状どおり推進し	, c 6, c °			ı										

						T- 1)		124 (1-14	2年度								
事業コー	۴	1030			課コード	1502		会計種別	一般	会計			予算0	の種類	■政策	■経常	□なし
1. 事業	の概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業						実施	計画への	_	<b>5</b> 0 <b>5</b>		②部課名	李女40.75	1. 学士华士==	
		①争兼名	個別事業	学校給食備	<b></b>					置づけ	•	有 〇無		②部課名	教育総務制	・学校教育課	
		③事業主体	●市	〇その他	也 (			)	<ul><li>4)対象</li></ul>		□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	口布佐	■全市	
(1)事業概要		⑤事業期間				~			6担当	職員数	(当 初)	2	3 人	(換算人数 (うち人件費		0.35 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			20,323 千円			当該(	開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策		52101	重点プロジェ	ウト	重点 5		十画地区別		9有 ●無		部門別計画への	(計画名)		
		◎ 肥果の匝直 バ	コード	n + 7 曲 + +		への位置づ	-			の位置づけ			<b>*</b> 中长 * 回 7	位置づけ			
(2)目的		施策目的 · 展開方向	のための教	教育を推進し	します。また、健	人権・人間尊重の精神や社会 康管理の大切さを意識した優				業目的	学校結覧の円	常な連宮及ひ安全	び美肔を図る	ため、備品の維持	F官埋を行う。		
		נייו כלנוקאנו		改育の充実に に使用する機		型備品(真空冷却機・給湯器	器など)や中型備品	A (冷凍庫・冷蔵庫・	坎		・年間を通し、	、給食備品の維持	管理 (修繕)	を行なう。			
						根皮剥機・配膳車など)にてく設置管理を行う。	ついて、修繕や購入	、など維持管理を行う		該年度		、給食備品を購入 うものは、7 8		る。 3月に設置する。	)		
(3)事業内容		内 容	1412/151212	E 111177 E 1 47 71	K/C C / J F   1 - 12 - 1	(MEG-2017)				行計画		(我孫子中・湖北		対ス回転釜(我孫		入し、設置する。	
(0) 爭未內督		ri <del>ti</del>															1
										該年度 結果指標	購入する備品数	奴			単位	想定值 個 実績値	
(4)達成目標	(期待する成果)				達成目	標(期待する成果)				標種類		#	標 標		単位	1	(6)目標値
当該年度		給食備品の計画的な	な整備、維持	寺管理を行い						間接	計画表に基づ	く、備品の設置率			%	32	
	度	給食備品の計画的な	な整備、維持	寺管理を行い	ハ学校給食の円滑	な実施を図る。			+	間接	計画表に基づい	く、備品の設置率			%		8
令和 4年		給食備品の計画的7	な整備、維持	寺管理を行い	ハ学校給食の円滑	な実施を図る。			-	間接	計画表に基づい	く、備品の設置率			- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		9
77和 4年	<b>没</b>	全体的な備品の老権								目接					70		9
(7)事業実施	上の課題と対応	Titras o manas o	1,101-11 72	XI-FC MIGHEN	m, (1) 1 31 × 11				代春	替案検討	0	有 ●無					
			平成31	年度			令和 2年度				<u></u>	和 3年度	L		令和	和 4年度	
		政策	内 容		金額(千円)	政策内	容	予算額(千円) 決算	額(千円)	政策	内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	金額(千円)	) 政策	内 容	<b>?</b>	金額(千円)
		東 備品購入費			4, 191	東   備品購入費		3, 378	5, 036	備品購.	入費		3, 3		t		3, 378
		備品設置工事費 修繕料	L		300 6, 400	修繕費		300 6, 500	292 6, 499	備品設 修繕費			6, 50		-尹賞		300 6, 500
		委託料 * 給湯器(湖北台	西小)		185 1, 440			189 1, 200	189 1, 100	委託料 食器消	毒保管庫(オートリフト	大式)(白山中)	18 2, 00	89 委託料 00 * 真空冷却機	き(湖東小)		189 2, 600
		*:湖北台西小学校*:真空冷却機(根	給食室給湯	器設置工事	1, 100	) * 牛乳保冷庫(我孫子中) ) * 牛乳保冷庫(我孫子中) ) * 低輻射ガス回転釜(我		2, 000 1, 700	1, 452	* 真空冷	母体 6 岸 (オーバ) 却機(並木小) (布佐南小)		2, 60 2, 60 2, 50	00 * 洗浄機 (沽	北台中)	<b>=</b> )	2, 500 2, 000
	実施内容	,	W 47)		2, 600	給食施設整備方針の策	定	·		* 牛乳保	冷庫(久寺家中)	)	1, 40	00 * 牛乳保冷庫	〖 (布佐中)		1, 10
(8)施行事項	費用					予備費 冷蔵庫(我孫 予備費 スポットクー		46 1, 980		*:給湯器 *:並木小:	(並木小) 学校給食室給湯線	器設置工事	1, 4 <sup>4</sup> 1, 10		発備方針に基づ	づく対応	
										* 真空冷	却機(湖北小) 却機(我三小)		2, 80 2, 80	00			
											設整備方針に基	づく対応	2, 00	**			
	予算(決算)額		計 計		16, 216	合計	+	17. 293	17. 884	i	合 計		27. 00	07	合 計		18, 567
	国庫支出金県支出金	補助率 補助率		0 % 0 %	0	補助率	0 % 0 %	0	0	補助率		0 % 0 %	, i	0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	(
(9) 財源内訳	起債	五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		0 %	C	充当率	0 %	0	0	充当率		0 %		0 充当率		0 %	(
(0) 101 101 101	一般財源 その他の財源	□特会 □受益	立 □基金 □	こその他	16, 216 0	□特会 □受益 □基	金 □その他	17, 293 0	17, 884 0	□特会	会 口受益 口基金	金 □その他	27, 00		□受益 □基金	☆ □その他	18, 567
/10\   W ###	換算人数(人) 正職員人件費				0. 35 3, 080			0. 35 3, 045	0. 35 3, 045				0. 3 3, 0 <sup>4</sup>				0. 35 3, 045
(10)人件費等	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0	)		0	0					0			(
事業費(予算() (11) 単位費月	夬算)額+正職員人件費)				19, 296			20, 338	20, 929				30, 05	52			21, 612
(事業費	/活動結果指標)		689. 14千	·円/個		549.	68千円/個		1, 744. 08								
2. 事業	の評価 (DO+CHECK	)						T									
					車 岩	± == / <del>=</del>						価(評価結果に	応じ、改善案	案検討(拡充も含む	;))		改善検討
	評価項目	M I				前 評 価 											
		学校給食の安全性の	の確保、質の	の向上のため		90 詳価				認での想定 認での想定	とおり どおりでなかっ	<i>t</i> =					
(1)事業	評価項目 が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	学校給食の安全性の	の確保、質の	の向上のため		99			②事前確	認での想定	どおりでなかっ	た。					 ○要 ●不要
(1)事業	が今必要である理由・	学校給食の安全性の	の確保、質の	の向上のため		刘祥 伽		<	●②事前確 想定どおり	認での想定 りとした理由 の休校により	どおりでなかっ? B/想定どおりで	なかった原因>	か、調理員の	熱中症対策として	全校の給食室	ミにスポットクー	●不要
(1)事業背景	が今必要である理由・	〇①民間企業、N	PO、市民	団体等では	かに必要である。	<その他の内容>		(   -   =   =	②事前確 想定どおり ロナ対策の 設置した。 〕①民間企	認での想定 りとした理由 の休校により 業、NPO	どおりでなかった ヨ/想定どおりで リ夏季の給食実施 、市民団体等でし	でなかった原因> 西回数が増えたたと は実施できなかっ	た <市実施	<b>歯の具体的な内容・</b>	必要性の理	由>	●不要
(1)事業背景	が今必要である理由・	<ul><li>○①民間企業、N</li><li>(理由) □法令等</li><li>□提供主任</li></ul>	IPO、市民 で市が実施す 本が市しか <i>な</i>	団体等では	かに必要である。			< 	●②事前確 想定どおり ロナ対策の 設置した。 □①民間企 ■②市が主 □③市が先	認での想定 りとした理由 の休校により 業、NPO 導で進めなっ 導役となっ	どおりでなかっ; ヨ/想定どおりで リ夏季の給食実施	でなかった原因> 回数が増えたたと は実施できなかっ なかった	た <市実施 学校給食		必要性の理E 管理は、設施	由>	●不要
(1)事業青青	が今必要である理由・	○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主作 □その他	P O 、市民 で市が実施す 本が市しかな	団体等では: することが定 ない	めに必要である。 実施できない 宅められている	<その他の内容>		(	②事前確 想定ど対策の 設置し民間を記 ②市所が の の の の で の で の で の の の の の の の の の の	認での想定 りとした理け りとした理け が 業。で の と なっ い と の は に よ り の は に よ り の り の り の り の り の り の り る り る り る り る	どおりでなかった。 ヨ/想定どおりで 夏季の給食実施 、市民団体等では ければ実で市民へ たことで市民へ 施策の目標の実	なかった原因> 原回数が増えたたとは実施できなかっなかった 普及が一層	た <市実施 学校給食	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持	必要性の理E 管理は、設施	由>	●不要ラー
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か?	<ul><li>①①民間企業、N</li><li>(理由) □法令等</li><li>□提供主任</li><li>□その他</li><li>②自治体である</li><li>(理由) ■市が主道</li></ul>	PO、市民で市が実施するが市しかない。	団体等では: することが定 い べきである ことにより実	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる	<その他の内容> <その他の内容>			●②事前確 想定どおり <u>設置した。</u> ③①民間主 ■②市が進立 ほのサービ ■③サービ	認での想での想でのあた。 した校 N 進をといい。 で役といいながまででいる。 でではないないでは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	どおりでなかった。 ヨ/想定どおりで 夏季の給食実施 、市民団体等では ければ実で市民へ たことで市民へ 施策の目標の実	でなかった原因> E回数が増えたた。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施 学校給食	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持	必要性の理E 管理は、設施	由>	●不要 ラー
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は	○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主付 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主i ■市が実	PO、市民で市が実施するが市しかない。	団体等では; することが定 い べきである ことによりま ることにより	めに必要である。 実施できない 宅められている	<その他の内容> <その他の内容>			●②事前確 想定どおり 口ナ対策の 設置した。 □①民間主 □②市が先さ □③市が先さ □③の中	認での想定 りとした理は、 業等で後となった 選がないないない。 援が水準が確け、 ススの安定性・ での想をなった。 での想となった。 での他となった。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。	どおりでなかった。 ヨノ想定どおりで 国 更季の給食実施 、市民団体等で ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された	でなかった原因> E回数が増えたた。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施 学校給食	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持	必要性の理E 管理は、設施	由>	●不要ラー
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か?		PO、市民で で市が市しかな ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	団体等では; することが定 い べきである ことことにより い	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる	<その他の内容> <その他の内容>			●②事前確 想ロナック 想に対した。 ②①全にでは ②②では ②②では ②③では ②③では ③③では ②③では ③③では ③③	認での想定 りとした理は、 業等で後となった 選がないないない。 援が水準が確け、 ススの安定性・ での想をなった。 での想となった。 での他となった。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。 でのし。	どおりでなかった。 ヨノ想定どおりで 国 更季の給食実施 、市民団体等で ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された	でなかった原因> E回数が増えたた。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施 学校給食	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持	必要性の理E 管理は、設施	由>	●不要ラー
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か?		PO、市民で市が実施がない。市が推進のできません。中が推進のでは提供証とはいます。ことは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは	団体等では; することが定 べきである ことによりまり るこる こより 政策・	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容> た			●②事 前 が は い が は い が ま い が 策 c に か 策 c に か 策 c に か 世 正 中 世 正 市 が 進 む 日 で 日 で 市 が 進 む ー で の ー で の 他 の い で で 他 の い で で 他 の い で で 他 の い	認での想定 中に いっぱい アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ	どおりでなかった。 ヨノ想定どおりで 国 更季の給食実施 、市民団体等で ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された	でなかった原因> を回数が増えたため は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 学校給食	他の具体的な内容。 食備品の購入や維持 別、計画的に行う必	必要性の理 特管理は、設 が要がある。	由> 置者である市が∮	●不要ラー
(1)事業 背景 必 要 性 (2)市がある	が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か?	●②自治体である(理由) ■市が主義 サード・ディック (理由) ■市が実施 サード・ディック (現本・ディック・ディック・ディック・ディック・ディック・ディック・ディック・ディック	PO、市民で市が東海で本が市しかない。市が推進るこそでで、現代のでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできる。できるできるできる。	団体等ではますることにといることにといることにといる。 かまりまり かんこく かまり かんこく かんしょく かんしょく かんしゃく しゅう かんしゃく しゅう かんしゃく はいかい かんしゃく はいかい かんしゃく はいかい かんしゃく はいかい かんしゃく はいかい かんしゅう はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容> た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認での想での想での想でのただ。 りのただに、Number Number Power Pow	どおりでなかった ヨ/想定どおりで 」夏季の給食実施 、市民団体等でが ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 絵基盤が確保され に	Fなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施学校給食体となり	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持 り、計画的に行う必 参加・協	必要性の理E 管理は、設施	由> 置者である市が∮	●不要
(1)事業 背景 必要性 (2)市が ある(市す	が今必要である理由・ は?(事業の必要性) 実施する必要性は か?	①①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主付 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が支主 ■市が支持 実現がに □その他	PO、市店民の 市民の の の の の の の の の の の の の の の の の の	団体等ではだけない べきにと 政策 であるよに 政策・・ のの り 内 の りり	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容> た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認での想での想での想でのただ。 りのただに、Number Number Power Pow	どおりでなかっつ。 ヨノ想定どおりでなかっつ。 ヨノ想定とおりでなりです。 「はないないないでは、または、または、またないでは、またないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	Fなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施 学校給の 体となり	他の具体的な内容・ を機品の購入や維持 の購入でした。 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	必要性の理 特管理は、設 が要がある。	由> 置者である市が∮	●不要
が 要 性 (2) 市 ある f に	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性)	●②自治体である。 (理由) □は提供の他 ●②自治体である。 (理由) ■市が主義。サーボが実現がに □その他  ○①事業計画時に ○②事業・運営に ○④市民の自主的	P O 、 東市市市 を 接い で 本 が 推 必 供 正 で 本 が 推 必 供 証 こ る か ま 民 民 民 民 民 氏 民 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 舌 活 市 市 に 市 な 活 市 に 市 な 活 す こ る れ か の 参 の 参 と で か か か か か か か と い か か か と い か か か と い か か か と い か か か か	団体に でよい べことここ 働 有有有携い さいとここと り 内 内りりしていない 変容 いっぱい かく おいしょ かく おいしょ かく おいしょ かん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はいかん はいまい かんしょう はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容> た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認での想での想での想でのただ。 りと検校、Nで選をは、Pめなったに、Pがなった。 「Nで選をは、Pがなった。 ででしている。 ででは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nので	どおりでなかっつ。 ヨノ想定どおりでなかっつ。 ヨノ想定とおりでなりです。 「はないないないでは、または、または、またないでは、またないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	Fなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施   学校給食体となり	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持 り、計画的に行う必 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理は、設計等要がある。 働の程度・内	由> 置者である市が身	●不要 ラー 常施主 ○●不要 ● 不要要
が 要 性 (2) 市がるす (市) また。	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性)		P O 、 東市市市 を 接い で 本 が 推 必 供 正 で 本 が 推 必 供 証 こ る か ま 民 民 民 民 民 氏 民 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 舌 活 市 市 に 市 な 活 市 に 市 な 活 す こ る れ か の 参 の 参 と で か か か か か か か と い か か か と い か か か と い か か か と い か か か か	団体に でよい べことここ 働 有有有携い さいとここと り 内 内りりしていない 変容 いっぱい かく おいしょ かく おいしょ かく おいしょ かん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はいかん はいまい かんしょう はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容> た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認での想での想での想でのただ。 りと検校、Nで選をは、Pめなったに、Pがなった。 「Nで選をは、Pがなった。 ででしている。 ででは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nので	どおりでなかっつ。 ヨノ想定どおりでなかっつ。 ヨノ想定とおりでなりです。 「はないないないでは、または、または、またないでは、またないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	Fなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施   学校給食体となり	他の具体的な内容・ を機品の購入や維持 の購入でした。 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	必要性の理は、設計等要がある。 働の程度・内	由> 置者である市が身	●不要 ラー 家施主 ○●不要 ● 不要要
が 要 性 (2) 市がるす (市) また。	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性)	●②自治体である(理由) □ 技令等主(□ そ で ある(理由) □ 大会等主(□ そ で ある(理由) ■ 市市ががまだ。 □ 下がまがい。 □ 下がまがい。 □ 下がまがい。 □ 下がまがい。 □ 下がまがい。 □ 下がまがい。 □ 下がまがらい。 □ □ 下がまがらい。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P O 、 東市市市 を 接い で 本 が 推 必 供 正 で 本 が 推 必 供 証 こ る か ま 民 民 民 民 民 氏 民 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 舌 活 市 市 に 市 な 活 市 に 市 な 活 す こ る れ か の 参 の 参 と で か か か か か か か と い か か か と い か か か と い か か か と い か か か か	団体に でよい べことここ 働 有有有携い さいとここと り 内 内りりしていない 変容 いっぱい かく おいしょ かく おいしょ かく おいしょ かん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はいかん はいまい かんしょう はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容> た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認での想での想での想でのただ。 りと検校、Nで選をは、Pめなったに、Pがなった。 「Nで選をは、Pがなった。 ででしている。 ででは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nので	どおりでなかっつ。 ヨノ想定どおりでなかっつ。 ヨノ想定とおりでなりです。 「はないないないでは、または、または、またないでは、またないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	Fなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施   学校給食体となり	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持 り、計画的に行う必 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理は、設計等要がある。 働の程度・内	由> 置者である市が身	● 不要
が 要 性 (2) 市がるす (市) また。	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性)	●②自治体である主張	P O 、 東市市市 を 接い で 本 が 推 必 供 正 で 本 が 推 必 供 証 こ る か ま 民 民 民 民 民 氏 民 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 舌 活 市 市 に 市 な 活 市 に 市 な 活 す こ る れ か の 参 の 参 と で か か か か か か か と い か か か と い か か か と い か か か と い か か か か	団体に でよい べことここ 働 有有有携い さいとここと り 内 内りりしていない 変容 いっぱい かく おいしょ かく おいしょ かく おいしょ かん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はいかん はいまい かんしょう はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容> <その他の内容> た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認での想での想での想でのただ。 りと検校、Nで選をは、Pめなったに、Pがなった。 「Nで選をは、Pがなった。 ででしている。 ででは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nで選をは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nのでは、Nので	どおりでなかっつ。 ヨノ想定どおりでなかっつ。 ヨノ想定とおりでなりです。 「はないないないでは、またのでは、では、またのでは、では、またのでは、ないないないないでは、またので	Fなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た   <市実施   学校給食体となり	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持 り、計画的に行う必 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理は、設計等要がある。 働の程度・内	由> 置者である市が身	● 不要
が 要 性 (2) 市がるす (市) また。	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性)	●②①民間企業、N (理由) □提供の他 ●②自治体である。 (理由) ■市市が一で支持で表現がに □その他 ○①事業計画時に ○③管市民のと共 ○③をするの他 ○○のでは、である。 ○○のでは、である。 ○○のでは、である。 ○○のでは、である。 ○○のでは、である。 ○○のでは、である。 ○○のでは、である。 ○○のでは、できる。 ○○○のでは、できる。 ○○○のでは、できる。 ○○○のでは、できる。 ○○○のでは、できる。 ○○○○のでは、できる。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	PO、実のです。 で本がする。 市がで進機のでする。 市ができたがする。 市ではいる。 ではいる。 ではいまする。 参いののののからとは、 では、 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	団体等では定するい べきにと り 内 内 りりりしている ない	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た	の具体的な内容		●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認 で の 想 と し 大 に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっつ。 ヨノ想定どおりでなかっつ。 ヨノ想定とおりでなりです。 「はないないないでは、またのでは、では、またのでは、では、またのでは、ないないないないでは、またので	でなかった原因> を回数が増えたためは実施できなかった 普及が一層 現に貢献したれた	た   <市実施   学校給食   体となり	他の具体的な内容・ 食備品の購入や維持 は、計画的に行うを 参加・協 初期待したととおり 初期特したとおり 初の期待以下下 した以上となった理 環境	必要性の理は、設計等要がある。 働の程度・内	由> 置者である市が身	● 不要
必要性 参加・協働の工夫 参加・協働の工夫	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性)	●②1民間企業、N等主体の (理由) □は提供の (理由) □は提供の (理由) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	P O が乗り で本が が進 提供る かかが 進 投訴 で を が で を が で を が で を が で を が で を が で を が で を が で を が で を の を の を の を と に は 協 画画画連施 慮 の る で か か で か か か か か か か か か か か か か か か	団体等では定するい べきにと り 内 内 りりりしている ない	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た			●②事 前確 おはない おり おり は は ない は ない は ない は ない は ない は ない は いい は い	認 で の 想 と し 大 に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 ヨノ想定とおりでなかった。 ヨノ想をの給は実施の合いでは食実施の会に、 東市民団実が市標のの大きなができます。 「はたいないない。」 「はたいないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	でなかった原因> を回数が増えたためは実施できなかった 普及が一層 現に貢献したれた	た   <市実施学校会の	他の具体的な内容・企の具体的な内容・企成品の購入や維持し、計画的に行うをを かいます が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	必要性の理は、設計を要がある。 動の程度・ がある。	由> 置者である市が身	● 不要
(1) 事背     (2) 市あ(市       (2) 市あ(市     (2) 市 (2) 市 (2) 市 (3) 下工(4) できる。       (4) 要性     参加・協働の工夫       (5) 要     (4) できる。       (6) できる。     (5) できる。       (7) できる。     (6) できる。       (7) できる。     (7) できる。       (8) できる。     (7) できる。       (8) できる。     (7) できる。       (9) できる。     (7) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (4) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (3) できる。     (4) できる。       (4) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (6) できる。     (4) できる。       (5)	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を にいるか? くり)	●②① 民間 □ 二② 生 年 省 に の で は で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	Pで本 市 が 推 め 供証 こる に す に さ と は 協 画画 画 連 施 して て い い る の る る の る の る の る の る の る の る の	団体にない べきにと 動 有有有携 つ視点	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た			●②事 前確 おはない おります おります はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	認 で の 想 と し 大 に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 ヨノ想定とおりでなかった。 ヨノ想をの給は実施の合いでは食実施の会に、 東市民団実が市標のの大きなができます。 「はたいないない。」 「はたいないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	でなかった原因> を回数が増えたためは実施できなかった 普及が一層 現に貢献したれた	た   <市実施会 体をなり	他の具体的な内容・ を機能の購入に行う必要がある。 を機能のようでである。 参加・協力をは、 初期待したとよりのである。 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	必要性の理は、設計が要がある。  働の程度・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由> 置者である市が身	●不要要要要要要要要
(1) 事背     (2) 市あ(市       (2) 市あ(市     (2) 市 (2) 市 (2) 市 (3) 下工(4) できる。       (4) 要性     参加・協働の工夫       (5) 要     (4) できる。       (6) できる。     (5) できる。       (7) できる。     (6) できる。       (7) できる。     (7) できる。       (8) できる。     (7) できる。       (8) できる。     (7) できる。       (9) できる。     (7) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (4) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (3) できる。     (4) できる。       (4) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (6) できる。     (4) できる。       (5)	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を にいるか? くり)	●②自治体である主装 サカボが (理由) □ は提供の ●②自治体 市 が が で が で ままま が で ままま が で ままま で で で で で	Pで本 市 が 推 め 供証 こる に す に さ と は 協 画画 画 連 施 して て い い る の る る の る の る の る の る の る の る の	団体にない べきにと 動 有有有携 つ視点	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た			●②事 前確 おはない おります おります はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	認 で の 想 と し 大 で の た に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 ヨノ想定とおりでなかった。 ヨノ想をの給は実施の合いでは食実施の会に、 東市民団実が市標のの大きなができます。 「はたいないない。」 「はたいないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	でなかった原因> を回数が増えたためは実施できなかった 普及が一層 現に貢献したれた	た   <市実施会 体をなり	他の具体的な内容・企の具体的な内容・企成品の購入や維持し、計画的に行うをを かいます が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	必要性の理は、設計が要がある。  働の程度・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由> 置者である市が身	● 不要
(1) 事背     (2) 市あ(市       (2) 市あ(市     (2) 市 (2) 市 (2) 市 (3) 下工(4) できる。       (4) 要性     参加・協働の工夫       (5) 要     (4) できる。       (6) できる。     (5) できる。       (7) できる。     (6) できる。       (7) できる。     (7) できる。       (8) できる。     (7) できる。       (8) できる。     (7) できる。       (9) できる。     (7) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (4) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (2) できる。     (4) できる。       (3) できる。     (4) できる。       (4) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (5) できる。     (4) できる。       (6) できる。     (4) できる。       (5)	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を にいるか? くり)	●②①までは、	Pで本 市 が 推 め 供証 こる に す に さ と は 協 画画 画 連 施 して て い い る の る る の る の る の る の る の る の る の	団体にない べきにと 動 有有有携 つ視点	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た			●②事 前確 おはない おります おります はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	認 で の 想 と し 大 で の た に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかった。 ヨノ想定とおりでなかった。 ヨノ想をの給は実施の合いでは食実施の会に、 東市民団実が市標のの大きなができます。 「はたいないない。」 「はたいないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はたいないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないない。」 「はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	でなかった原因> を回数が増えたためは実施できなかった 普及が一層 現に貢献したれた	た   <市実施会 体をなり	他の具体的な内容・ を機能の購入に行う必要がある。 を機能のようでである。 参加・協力をは、 初期待したとよりのである。 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	必要性の理は、設計が要がある。  働の程度・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由> 置者である市が身	● 不
(1) 事背     参加・協働の工夫       要業景     (2) 市あ(市工(体       民夫制     のもしづ	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を にいるか? くり)	●②① (理由) □ (理由) □ (理由) □ (基決 (提供の を を で が が に で を で が が に で を で が が に で を で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で が が に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で か に で で で か に で で で で	P 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	団ない べこものよ 働 有有有携 ひ視 いっぱに 政 容 おりよ 策 を ありま 策 を かんりりして かんりして かんしょ から ない からし かんりし かんしょう はいまい かんしょう はいまい かんしょう はいかん かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしょく かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	めに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得られる り、良質で安定し ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た			●②事 前確 おはない おります おります はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	認 と 体、で役 た・ は 中 と い で と は で と は で と は で と で と で と で と で と で	どおりでなかった。   ヨノ想をの   の   コクラ   市   の   の   の   の   の   の   の   の   の	だなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかっ 普及が一層 現に 貢献した れた タ (又は今後、 よその内容)	た   <市実施会 体をとなり   ○①②②③③   ○①②②③③   ○②②②③   ○②②②②   ○②②②②   ○②②②②   ○②②②   ○②②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③③②   ○③③②   ○③②②   ○③②②   ○③②②   ○③②   ○③②   ○③②   ○③③   ○③②   ○③②   ○③②   ○③②   ○③②   ○③②   ○③②   ○③②   ○③③   ○③②   ○③②   ○③②   ○③②   ○○③   ○○○   ○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○○   ○○   ○○   ○○   ○○   ○○   ○○   ○○   ○	他の具体的な内容・ を機能の購入に行う必要がある。 を機能のようでである。 参加・協力をは、 初期待したとよりのである。 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	必要性の理は、設計が要がある。  働の程度・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由> 置者である市が身	● 不
(1) 事背     参加・協働の工夫       要業景     (2) 市あ(市工(体       民夫制     のもしづ	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を にいるか? くり)	●②①までは、	Pで本 市 が 推 め 供証 こる に す に さ と は 協 画画 画 連 施 して て い い る の る る の る の る の る の る の る の る の	団体に なまい では で ありよ	東施できない 実施できない をめられている 実効性が得られる り、良質で安定 ・施策の目標の	<その他の内容>   <その他の内容>   た   工夫	取組む内容		● ② 事 おっぱい は は ない は か は い ない は い ない は い ない は い ない ない は い かい か	認 と 体 、 で の 想 と は で の 想 と は で の と に  の と に  の と に  の と に  の と で  の と に  の と で  の と に  の と で  の と で  の と に  の と で  の と で  の と に  の と か は  と  の な っ か で  は  と  の な っ か で  は  の な っ か で  か は  の	どおりでなかった。   ヨノ想をの   の   ロ   の   の   の   の   の   の   の	でなかった原因> を回数が増えたためは実施できなかった 普及が一層 現に貢献したれた	た   <市実施会	他の具体的な内容・ を機能の購入に行う必要がある。 を機能のようでである。 参加・協力をは、 初期待したとよりのである。 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	必要性の理は、設計が要がある。  働の程度・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由> 置者である市が身	● 不
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 第十二 (1) 第十二 (1) 第十二 (1) 第一 (2) 第一 (2) 第一 (3) 第一 (4) 第一 (5) 第一 (5) 第一 (6) 第一 (6) 第一 (7) 第一 (7	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を にいるか? くり)	●②①民間企業、N等主他 □②注供の他 ○②注提供の他 ○②自治体市がが一支が □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P で 本 が す ら で 本 が す ら で 本 が す ら で 本 が す ら さ さ と い が 進 提 保 る る さ と い が 進 提 保 る る さ と い が 進 提 保 る る る と に な い の の の 動 を と 配 て い い 献 標 値 い る る し て て 貢 献 値 ( は し に て 可 は し に て 可 は 値 ( は し に す に な )	団体に ない	かに必要である。 実施できない 定められている 実効性が得らなし ・施策の目標の	<その他の内容>         <その他の内容>         た         工夫         事実に基づき設定してい値ではない         <実現性が乏しい値ではない	取組む内容 チェック		●②事 前確 おはない おります おります はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	認 とした N 達等導れ援ススート と・協・ という ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	どおりでなかった。   ヨノ想をの   の   コクラ   市   の   の   の   の   の   の   の   の   の	でなかった原因> E回数が増えたたと は実施できなかった 普及がした 現に 貢献した れた (又は今後、 はての内容)	た   <市実施会	他の具体的な内容を含度 (	必要性の理は、設計・管理は、設計・管理は、設計・管理は、設計・を要がある。	由> 置者である市が身	● 不 要 要 要 要 要 要 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 第十二 (1) 第十二 (1) 第十二 (1) 第一 (2) 第一 (2) 第一 (3) 第一 (4) 第一 (5) 第一 (5) 第一 (6) 第一 (6) 第一 (7) 第一 (7	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性(またの必要性) 参加や市民との協働をでいるか? くり)	●②①民間企業へ下等主他	P 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	団体に ない ちい はに ない ちい はい ない ちい かい はい ない ちい ない ちい ない ちい ない ちい ない	対に必要である。 実施できないる 実施られている 実効性が得ですで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		取組む内容		● ② 事 おっぱい は は ない は か は い ない は い ない は い ない は い ない ない は い かい か	認 とした N 達等導れ援ススート と・協・ という ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	どおりでなかった。 はない でなかった はない でなかりでない できる という できる という できる はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	でなかった原因> を回数が増えたたと は実施できまなかった 関にできまなかるが一層 関にている。 できまなかるが一層 はまかみが一層 はまかみが一層 はまかみが一層 はまかみが一層 はまかみが一層 はまかみが一層 はまかる。 できまるかった できまるかった できまなかるが一層 はまかるが一層 はまかるが一層 はまれた できまる。 できる。 、 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でる	た   <市実施会 が	他の具体的な内容・ を機能の購入に行う必要がある。 を機能のようでである。 参加・協力をは、 初期待したとよりのである。 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	必要性の理は、設計・等要がある。 動の程度・中間を対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	由> 置者である市が算 下であった原因>	● 不 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 第十二 (1) 第十二 (1) 第十二 (1) 第一 (2) 第一 (2) 第一 (3) 第一 (4) 第一 (5) 第一 (5) 第一 (6) 第一 (6) 第一 (7) 第一 (7	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性(またの必要性) 参加や市民との協働をでいるか? くり)	●②① (理由) □ (理由) □ (本法・ (本法・ (生存) (理由) □ (本市が (一支) (理由) □ (本市が (一支) (世支) (世支) (世支) (世支) (世支) (世支) (世支) (世	Pで本 市 が	団体にない べきにともり の の りりりしているものに  政	かに必要である。 実施できない 実効性が得ら安定が、 まり、施策の目標の ■②現況値 ■□③現況値	<その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   < その他の内容>	取組む内容 チェック いる における目標値(と		● ② まつ設	認 とした N 達等導れ援ススート と・ 協考 を を しんが   東	どおりでなかった。 ヨノ想をの給 体等でがいる。 国人では食実施 体等でがいた。 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	でなかった原因> を回数が増えたたとは実施できなかった 音回数が増えたたら は実施できなかった 音のできなかった。 音のできなかった。 音のできなかった。 音のできながある。 できながあるがある。 できながながまながながある。 できながながある。 できながながまながながある。 できながながまながながまながながながながながながながながながながながながながながな	た	他の具体的な内容を をは、計画的に行う。必 参加・協 初期特したと下 初期特した以と下 では、といった理 定定とおりでなかった原 定定とおりでなかった原 に必要と に必要と に必要と	必要性の理は、設計・等要がある。   動の程度・   中間は、設計・等要がある。   もの配慮   た   ほ因ン	由> 置者である市が身 者であった原因> 下であった原因>	● 不 要
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1)事背 がるす かん (2) 市あ(市 のし) にか で 環い にか 標 標 (2) で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性(またの必要性) 参加や市民との協働をでいるか? くり)	●②① (理由) □ (理	Pで本       市市市が推進保るされに         市施か       市市市が進援保るれ         かのの動を       配いるるしてて貢献         配いい献       標標         要業費       のる         事業費       削削	団体に ない	かに必要である。 実施できないる 実効性性質でもない。 を表が、後のでは、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 では、できない。 できな、 できない。 できな、 できな、 できな、 できな、 できな、 できな、 できな、 できな、	<その他の内容>         <その他の内容>         た         工夫         事実に基づき設定している。         を対いさい値ではない対象例である。         実施予定の対しま用	取組む内容 チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資	現況値の差)と	● ② 事 が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は の で い い が は の で い い か い い か い い か い い い い い い い い い い	認   と   大   で   と   大   で   と   大   で   と   大   で   と   大   で   と   大   で   で   と   大   で   で   と   大   で   で   と   大   で   で   で   で   で   で   で   で   で	どおりでなかった。  「おりておりでは、	下 なかった 増えたた を	た マ	をの具体的な内容を の具体的な内容を の場合の関係を があれた行うを 参加・協 初期期期期期期期期期期期間に では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	必要性の理理はある。  働の程度・中 ・	由> 内容 下であった原因 > ト対策用備品の膜	● 不 要
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1) 事背       がるす     ボス(体       環い     (1) 事情       できる     (1) 事情       できる     (1) 事情       できる     (1) 事情       (2) から     (1) 事情       (2) から     (1) 事情       (2) から     (1) 事情       (2) から     (1) 事情       (3) のよう     (1) 事情       (2) から     (1) 事情       (3) のよう     (1) 事情       (3) のよう     (1) 事情       (4) のよう     (1) 事情       (5) のよう     (1) 事情       (2) のよう     (1) 事情       (3) のよう     (1) 事情       (4) のよう     (1) 事情       (5) のよう     (1) 事情       (2) のよう     (1) 事情       (3) のよう     (1) 事情       (4) のよう     (1) 事情       (2) のよう     (1) 事情	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性はか?実施の必要性)  参加や市民との協働をているか? くり)	●②①民間企業、N等主他 □②を主義 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	Pで本       市市市が推進機保るれ         市市市が推進機保るれ       かのの動を         配いいま       してて貢         目標値(1)       80         事業費子       のる         事業費債       0         る事業費       0         のる       0     <	団体に ない さにと り 内 りりりしていい さにと の 内 りりりしていい ありよ	のに必要である。 実施できないる 実効性が得らない。 実効性が得らなし。 「実効性が得らなし。 「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   た   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫	取組む内容 チェック いる における目標値(と	現況値の差)と	● ② また	認いした N 達字 の なっ い で は で と い で と い で と い で と い で で で で で で で で	どおりでなかった。  「記を	下 なかった原因>	た マ	をの具体的な内容を検 の具体的な内容を検 の場合の購品の動的に行うを 参加・協 初期特したとと下 したとと下 なかった原 定定どおりでなかった原 では、といった原 を 直成となった原とと を を は、といった原 と には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった原 には、といった。 といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、といった。 には、というでは、と	必要性の理理はある。  働の程度・中 ・	由> 内容 下であった原因 > ト対策用備品の膜	● 不 要
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1)       事背     市あ(市あ)       市本(市本)     市本(市本)       市本(市本)     環境る       (1)     国・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性(またの必要性) 参加や市民との協働をでいるか? くり)	●②① (理由) □ (注 ( で を を と で を を と で で を を と で で を を と で で を を と で で を で で を で で を で で を で で を で で で で	Pで本   市市が推進の供証にる   中市市市な事   市市市市な事   では、がすらる   参 民民民活業   配いのの動き   配いいがは、	団体にない べきにと り 内 りりりして いるもい ない	のに必要である。 実施できている 実施られている 実施られたでれている に変現のは、 でれているにない。 でれているにない。 では、でれているにない。 では、でれている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   た   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫	取組む内容 チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資 ⑥受益者負担	現況値の差)と	● ② 事 が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は い が は の で い い が は の で い い か い い か い い か い い い い い い い い い い	認   以   大   大   大   大   大   大   大   大   大	どおりでなかった。  「おりておりでは、	下 なかった 増えたた を	た マ	をの具体的な内容を の具体的な内容を の場合の関係を があれた行うを 参加・協 初期期期期期期期期期期期間に では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	必要性の理は 必要性の理は が要はある。 働の程度・中 の配慮 た なったと なった なった なったと なったと なったと なったと なったと なったと なった なった なったと なったと なったと なったと なったと なったと なった なったと なった	由> 習者である市が多 下であった原因> ト対策用備品の膜 長について ぶかった	● 不 要 要 要 要 要 要
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1)       事背     市あ(市あ)       市本(市本)     市本(市本)       市本(市本)     環境る       (1)     国・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性はかって実施の必要性)  参加や市民との協働をているか?  ひは適切か?  設定は適切か?	●②① (理由) □ (注 ( で を を と で を を と で で を を と で で を を と で で を を と で で を で で を で で を で で を で で を で で で で	Pで本       市市市が推進機保るれ         市市市が推進機保るれ       かのの動を         配いいま       してて貢         目標値(1)       80         事業費子       のる         事業費債       0         る事業費       0         のる       0     <	団体にない べきにと り 内 りりりして いるもい ない	かに必要である。 実施できないる 一葉の 大きないる 大きないる 大きないる 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	<その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   た   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫	取組む内容 チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資 ⑥受益者負担	現況値の差)と	●②事 が はい	認   以   大   大   大   大   大   大   大   大   大	どおりでなかった。  「記を	下 なかった 増えたた を	た マ	他の具体的な内容を を使したいます。 一般を を使り、 初期特したしたいます。 一般を では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	必要性の理は 必要性の理は が要はある。 働の程度・中 の配慮 た なったと なった なった なったと なったと なったと なったと なったと なったと なった なった なったと なったと なったと なったと なったと なったと なった なったと なった	由> 習者である市が多 下であった原因> ト対策用備品の膜 長について ぶかった	● 不
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1)       事背     市あ(市あ)       市本(市本)     市本(市本)       市本(市本)     環境る       (1)     国・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性はかって実施の必要性)  参加や市民との協働をているか?  ひは適切か?  設定は適切か?	●②① 民間 □ 定法 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (是 (理由) □ (表 (理由) □ (本 (市 (	Pで本   市市が推進の供証にる   中市市市な事   市市市市な事   では、がすらる   参 民民民活業   配いのの動き   配いいがは、	団体にない べきにと り 内 りりりして いるもい ない	のに必要である。 実施できている 実施られている 実施られたでれている に変現のは、 でれているにない。 でれているにない。 では、でれているにない。 では、でれている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   <その他の内容>   た   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫   工夫	取組む内容 チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資 ⑥受益者負担	現況値の差)と	●②事 が はい	認   以   大   大   大   大   大   大   大   大   大	どおりでなかった。  「記を	下 なかった 増えたた を	た マ	他の具体的な内容を を使したいます。 一般を を使り、 初期特したしたいます。 一般を では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	必要性の理は 必要性の理は が要はある。 働の程度・中 の配慮 た なったと なった なった なったと なったと なったと なったと なったと なったと なった なった なったと なったと なったと なったと なったと なったと なった なったと なった	由> 習者である市が多 下であった原因> ト対策用備品の膜 長について ぶかった	● 不
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1)       事背 市あ(市     のしず 原来 情報 できる ままる ままる ままる ままる ままる ままる ままる ままる ままる ま	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性は たい。 をかっの必要性は をいるのがである。 をいるのがである。 をいるのがである。 をいるのがである。 をいるのができません。 をいるのができません。 をいるのができません。 をいるのができます。 をいるのできます。 をいるのでをもできます。 をしてもでもでもできます。 をしてもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	●②① (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (本市市・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・	P で本 市 が 推	団体 さい さい さい ない	のに必要である。 実施できている 実施られている 実施られたでれている に変現のは、 でれているにない。 でれているにない。 では、でれているにない。 では、でれている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<その他の内容>         くその他の内容>         た         工夫         事実に基づき設定している。         く実現性が乏しい値ではない。         対象が有る場合、比較対象例である。         実施予定の対別度活用         の削減策の実施	取組む内容 チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資 ⑥受益者負担	現況値の差)と	●②事 が はい	認   以   大   大   大   大   大   大   大   大   大	どおりでなかった。  「記を表する。	でする	た   マー・	他の具体的購入に大型 で かった   の具体的購入に   の目の   のは、	必要理がある。  ・ 大	由	● A T
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性       (2) 市あ(市)     市本(市本)     にかりますいます。       (3) 本性     (3) 本性	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性はかって実施の必要性)  参加や市民との協働をているか?  ひは適切か?  設定は適切か?	●②① (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (本市市・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・	P で本       市市市市な事         T を かった。       本のののの動を         R を かった。       本ののの動を         配 いいいが       目標         要要       本のののの動を         こ いいいが       目標         本事業       で いいが         のる       で いい	団体 さい さい さい ない	のに必要である。 実施できている 実施られている 実施られたでれている に変現のは、 でれているにない。 でれているにない。 では、でれているにない。 では、でれている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		取組む内容  チェック いる における目標値(と 策 ⑤ P F I 考負担 ⑦ その他  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現況値の差)と 本の活用 <b>9</b>	●②事 が はい	認   リカ   業導導れ援スス   内   た・	どおりでなかった。 ヨノ東 の	下	た   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大	をの具体的購入に をの具体的購入に をのは、 をのは、 をのは、 をのは、 をのは、 をのは、 をのは、 をしたした以と下 でかいたもした以と下 でかいた。 でがいた。 でがいたがいた。 でがい	必要理がある。   ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	由	●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率性       がる事     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?実施の必要性はか?実施の必要性)  参加やおか?くり)  記慮して事業を進めて  設定は適切か?  費削減のエ夫をして  費が?	●②① (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (本市市・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・	P で 本 市	団体に が ない は で が ない	東京 かに必要である。 東京 かに できない る できない る できない の できない の できない の の できない の の できない の の できない の は の は の は の は の は の は の は の は の は の	<その他の内容>              この他の内容>         た       工夫         日標値の妥当性のラータ・事実に基づき設定しています。       このまます。          こり対応にはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないは	取組む内容  チェック いる における目標値(と 策 ⑤ P F I 考負担 ⑦ その他  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現況値の差)と 本の活用 <b>9</b>	② ま	認   リカ   業導導れ援スス   内   た・	どおりでなかった。  「記を表する。	下面回 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大	をのは、	必要理がある。   ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	由	●
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1) 事背       市あ(市)     成してづ       市工(体     環い       (1) 事事い     目投(目       事い     目投(目       (3) 保護しお       (4) ない     (2) ない       (5) ない     (2) ない       (4) ない     (3) ない       (5) ない     (4) ない       (5) ない     (4) ない       (5) ない     (4) ない       (6) ない     (4) ない       (7) ない     (4) ない       (8) ない     (4) ない       (7) ない     (4) ない       (8) ない     (4) ない       (8) ない     (4) ない       (8) ない     (4) ない       (7) ない     (4) ない       (8) ない     (4) ない       (9) ない     (4) ない       (1) ない     (4) ない       (2) ない     (4) ない       (4) ない     (4) ない       (5) ない     (4) ない       (6) ない     (4) ない       (7) ない     (4) ない       (8) ない     (4) ない<	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性は 実施する必要性は を変化) 参加やおか? をでして をでして をでして をでして をでして を変わる。	●②①民間□企業へ等主他 ●②②自計 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P で 本 市	団 体 に か は で が た と に と い か お り り り り り り し て い と に と に か い か の り り り り し て い と に か な の り り り し て い と に か な の り り り し て い と に と に か な の り り り し て い と に か な の り り り し て い と に か な の り り り し て い と こる も い か に し は な 顔 (d) [ [ 【	のに必要である。 実施できないる 実施られている を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 を表す、 のののである。 でもている。 でもない、 ののでは、		取組む内容  チェック いる における目標値(と 策 ⑤ P F I 考負担 ⑦ その他  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現況値の差)と 本の活用 <b>9</b>	② また	認   リカ   業導導れ援スス   内   た・	どおりでなかった。 ヨ/夏 市 根 で と が か は か か な か な か な か な は な か な か な か な か	下面回 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大	をのは、	必要理がある。   ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	由	●
必要性     参加・協働の工夫       環境への配慮     (1) 事背       市あ(市) にかった     市本(市) にかった       日本のしつづいた     (2) は       (3) 標準     業る       標に利     株       (3) 様に利     (2) は       (3) は     (4) は       (4) は     (5) は       (5) は     (6) は       (7) は     (7) は       (8) は     (7) は       (8) は     (7) は       (9) は     (7) は       (9) は     (8) は       (9) は     (9) は       (1) は     (9) は       (2) は     (9) は       (3) は     (9) は       (4) は     (9) は       (5) は     (9) は       (6) は     (9) は       (7) は     (9) は       (8) は     (9) は       (9) は     (9) は       (9) は     (9) は       (9) は     (9) は       (1) は     (9) は       (2) は     (9) は       (4) は     (9) は       (5) は     (9) は       (7) は     (9) は       (9) は     (9) は       (9) は     (9) は       (9) は     (9) は       (1) は     (9) は       (1) は     (9) は       (1) は     (9) は       (2)	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要性はか?にかの必要性はかった。 かいるでは、の協働をでいるが、では適切か? との協働をでいるが。 との協働をでいるが、 はして事業を進めて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●②① (理由) □ (理由) □ (本	P で 本 市	団 体 に か は で が た と に と い か お り り り り り り し て い と に と に か い か の り り り り し て い と に か な の り り り し て い と に か な の り り り し て い と に と に か な の り り り し て い と に か な の り り り し て い と に か な の り り り し て い と こる も い か に し は な 顔 (d) [ [ 【	のに必要である。 実施できないる 実施られている 実施られている を表すいる。 実施られたでする。 実施られたでする。 でもている。 でもている。 でもでもでする。 でもでもでもできる。 でもでもできる。 でもでもできる。 でもでは、水では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	<その他の内容 >   < その他の内容 >	取組む内容  チェック いる における目標値(と 策 ⑤ P F I 考負担 ⑦ その他  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現況値の差)と	② また	認   リカ   業導導れ援スス   内   た・	どおりでなかった。 ヨ/夏 市 根 で と が か は か か な か な か な か な は な か な か な か な か	下面回 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大	をのは、	必要理がある。   ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	由	●
必 要 性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効 率 性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効 率 性 のしま	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要をとの協働を をでいる。 かって、 ないでは、 な	●②① 民間 □ 企業、等主他 ●②②自計 ■ ● でかった。 □ ○② (理由) □ ● でかった。 □ ○② (理由) ■ ● サーボー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P で 本 市 市 市 市 な 事	団ない べきにと り 内 りりりして いっちい かっちい かっちい かっちい かっちい かっちい かっちい かっちい	かに必要である。 実施できないる 実施られている 実効 良 策 の の に必要である。 実力 、 施 等の の に で で で で で で で で で で で で で で で で で		取組む内容  チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資 のの他  ・ 変 のでは、 ・ 変 のでは、 ・ 変 のでは、 ・ 変 のでは、 ・ のでは、 ・ で ので ・	現況値の差)と	② また	認   リカ   業導導れ援スス   内   た・	どおりでなかった。 ヨ/夏 市 根 で と が か は か か な か な か な か な は な か な か な か な か	下面回 大	た   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大	をの具体的関的にした以上 ない ない かい たりり でいか たりり でいか かい たに はい かい たに でいる かい かい たに でいる かい かい たに でいる かい かい たい ない	必要理がある。   ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	由	● Take
必要性 参加·協働の工夫 環境への配慮 効率性 あから では	が今必要である理由・は?(事業の必要性) 実施する必要をとの協働を をでいる。 かって、 ないでは、 な	●②① 民間 □ 企業、等主他 ●②②自計 ■ ● でかった。 □ ○② (理由) □ ● でかった。 □ ○② (理由) ■ ● サーボー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P で 本 市 市 市 市 な 事	団ない べきにと り 内 りりりして いっちい かっちい かっちい かっちい かっちい かっちい かっちい かっちい	かに必要である。 実施できないる 実施られている 実効 良 策 の の に必要である。 実力 、 施 等の の に で で で で で で で で で で で で で で で で で	<その他の内容 >   < その他の内容 >	取組む内容  チェック いる における目標値(と 策 ⑤PFI等民間資 のの他  ・ 変 のでは、 ・ 変 のでは、 ・ 変 のでは、 ・ 変 のでは、 ・ のでは、 ・ で ので ・	現況値の差)と	② また	認   リカ   業導導れ援スス   内   た・	どおりでなかった。 ヨ/夏 市 根 で と が か は か か な か な か な か な は な か な か な か な か	下面回 大	た	をの具体的関的にした以上 ない ない かい たりり でいか たりり でいか かい たに はい かい たに でいる かい かい たに でいる かい かい たに でいる かい かい たい ない	必要理がある。   ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	由	●

## 事務事業評価表(令和 2年度)

						1502		会計種別	一般会	計			予算の	種類 ■	■政策		□なし
1 亩坐	・ か無声 (DI AN)																
1. 學業	Eの概要(PLAN)		基本事業						中华引	画への							
		①事業名		学校給食管	理運営事業				大肥 社 位置		•	有 〇無	C	2)部課名	教育総務部	• 学校教育課	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他	平成2	7年度 ~		)	④対象地 ⑥担当職		□我孫子		□湖北 14 人	□新木  (換算人数	□布佐	■全市 11.7 人)	
(1)事業概要	Ę	⑦事業費	<b>松市业</b>								(当 初)		95 千円	(ラち人件費		1,790 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		1,	76, 540 千円			当該(開	始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		52101	重点プロジェクト への位置づけ	重点	5	基本計画	画地区別 位置づけ	0	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(2)目的		施策目的・				┃ 人権・人間尊重の精神や社会性を 東管理の大切さを意識した健やか				目的	安全で良質な	学校給食を提供する					
(2)日的		展開方向	育や健康教	育の充実に			4年14を送ることが	いできるよう、民	* 争未	日町	• 年 3 回 (6	・10・2月) 市内	1 0 校の絵・	食室の占給を実施	1 改善等の	<b>歩道を行う</b>	
			・学校給食	関係者対象	の研修会を実施す の購入や維持管理	する。			当該	<b>在</b> 度	・学校給食会約	総会 (4月) 定例栄養 系者 (直営・委託・B	養士会(8)	月を除く各月)、	調理研修会(	6・10・2月	
(3)事業内容	ž	内容	・学校給食	関係職員等	Fの編入で雇用官場 Fの細菌検査を実施 F点検および修繕を	をする。				計画	・給食業務関係	系者の腸内細菌検査: 夏季休業中) に給食	を毎月実施	する。	南工自在明	E CONCID	•
(6) 4 2011 1	-		・嘱託職員	・臨時職員	の人事管理全般を						・学校給食費	補助事業 (第3子以際 おいしい学校給食を	降分)を行	う。		想定值	182
					(第3子以降分)				当該活動結	年度 果指標		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			単位	日 実績値	171
(4)達成目標	票(期待する成果)	四次人公会司四米	76 TL + C:W ±C []	1 th a 44 + 4		票(期待する成果) <b>食査、施設の清掃保守点検を実施</b>	ナフェレマロ人	12.42.24.40.40.40	指標	種類	no no a		標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度		実施を図る。				東宜、施設の清掃保守点検を実施 <b>食査、施設の清掃保守点検を実施</b>			III)		(年間予定日数	おいしい学校給食の 数を達成度100%。 おいしい学校給食の	とする)		%	94	10
令和 3年		実施を図る。				・			III)		(年間予定日数	数を達成度100%。 おいしい学校給食の	とする)		%		10
令和 4年	F度	実施を図る。	伤及 い 月末日	守い証付旨	1年・戦員の神困が	突重、旭故の肩桁床寸点侠を美旭	9 & C C C X ± · 3	心な子牧和良の	間	接		数を達成度100%			%		10
(7)事業実施	色上の課題と対応								代替第	<b>案検討</b>	0	有●無					
			平成31:	年度		_	令和 2年度				令和	和 3年度			令和	4年度	
		東:	内 容		金額(千円)	政 内 容	予算:	頁(千円) 決算額	朿	₹:	内容	\$	金額(千円)	策 :	内 容		金額(千円)
		消耗品費 手数料			10, 289 1, 158	消耗品費 手数料		10, 769 1, 184	960	消耗品费			10, 76	4 手数料	£ :::::		10, 769 1, 184
		委託・修繕費 報酬(1号・3		)	2, 590 4, 494	委託・修繕費		2, 828 144	12	委託・修	<b></b>		2, 82 14	4 旅費	質		2, 828 144
		保険料(社保・賃金(臨時職員	8人分)		774 5, 516	負担金   * 食材購入費(放射性物質測定		29 102	93 *		入費(放射性物質		10:	2 * 食材購入費	(放射性物質		29 102
	実施内容	旅費(費用弁償		<u>.</u> ,,,,	260 29	* 放射性物質分析機器移設手数 学校給食費補助事業 (第3号	子以降分)	116 13, 242	116 10, 164	学校給負	食費補助事業(st 食関係業務を行		11, 63	学校給食関	社補助事業(第 関係業務を行う	3子以降分) 会計年度任用	11, 385
(8)施行事項	費用	*:食材購入費(放	点検委託料	正分)	253 162	学校給食関係業務を行う会 職員1人 2.952千円×1人	T牛度仕用	2 050	0.054	職員1人 2,952千			2, 95	職員1人 2 2,952千円	×1人		2, 952
		* 外部委託検査手 学校給食費補助	加事業(第3	子以降分)	280 13, 244	高野山小学校学校給食業務	を行う会計	2, 952	2, 954								
		* 賃金(臨時職員	モ・ヘガ)		854	任用職員9人 7,839千円		7, 839	7, 705								
	予算(決算)額		h 計		39, 903	合 計		39, 205	31, 961	<u> </u>	合 計		29. 64	1	合 計		29, 393
	国庫支出金	補助率	ı il	0 %	0 0	補助率	0 %	0	0	補助率		0 %		0 補助率		0 % 0 %	29, 393
(9) 財源内訳	<del></del>	充当率		0 %	39, 429	充当率	0 %	0 38, 731	0 31, 961	充当率		0 %		0 充当率		0 %	28, 919
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 □基金 ■	その他	474	□特会 □受益 □基金 ■	その他	474 11. 7	0	□特会	₹ □受益 □基金	金 ■その他	47	4 □特会 □	□受益 □基金	■その他	474
(10)人件費等	正職員人任費				102, 960 5, 379				101, 790				101, 79				101, 790
事業費(予算()	臨時職員賃金額 (決算)額+正職員人件費)				6, 387 142, 863			0 140, 995	0 133, 751				131, 43	0			131, 183
(11)単位費月 (事業費	用 費/活動結果指標)		793. 68∓1	円/日		774.7千円	7/日		782. 17								
2. 事業	iの評価(D0+CHECK	)															
	評価項目				+ +						車 後 証	価(評価結果に応	is about				
/1) <del>**</del> **		W 11 (4 A A 14				可評 価			<u> </u>				し、以善糸	検討(拡充も含む	3))		改善検討
	**********	学校給食の安全性 法制度等に対応す				可評価			①事前確認 ②事前確認				し、以苦糸	検討(拡充も含む	3))		
背景	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性)					了評価		< < ‡	②事前確認	での想定と	どおり どおりでなかった //想定どおりで	たでなかった原因>			3))		改善検討  ○要 ●不要
背景		法制度等に対応す	る必要・義務	<b>らがある</b> 。	そである。			◆ < * □ □	②事前確認 即定どおりと コナ対策のに	での想定と とした理由 木校により	どおり どおりでなかった /想定どおりで 、当初予定して	た 『なかった原因> 『いた給食回数を実施	<b>ī</b> できなかっ	o <i>†</i> :。		>	〇要
必		法制度等に対応す ○①民間企業、N (理由) □法令等	る必要・義務 NPO、市民I	がある。 団体等では ることが定	実である。	「評価」		</td <td>②事前確認 思定どおりと コナ対策の位 ①民間企業 ②市が主導</td> <td>での想定さ とした理由 木校により 、NPO、 で進めない</td> <td>どおり どおりでなかった /想定どおりで 、当初予定して 市民団体等でし ければ実効性が</td> <td>た でなかった原因&gt; いた給食回数を実施 は実施できなかった なかった</td> <td>できなかっ く市実施 学校給食</td> <td>った。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設</td> <td>必要性の理由 との維持管理、</td> <td>給食従事者の研</td> <td>○要 ●不要</td>	②事前確認 思定どおりと コナ対策の位 ①民間企業 ②市が主導	での想定さ とした理由 木校により 、NPO、 で進めない	どおり どおりでなかった /想定どおりで 、当初予定して 市民団体等でし ければ実効性が	た でなかった原因> いた給食回数を実施 は実施できなかった なかった	できなかっ く市実施 学校給食	った。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設	必要性の理由 との維持管理、	給食従事者の研	○要 ●不要
必 要	景は?(事業の必要性)	法制度等に対応す ○①民間企業、N (理由) □法令等	る必要・義務 NPO、市民I で市が実施す 体が市しかな	がある。 団体等では ることが定	実である。				②事前確認 思定どおりり 1 日民間か 1 日民間が主導 ②市が先立 促進され	での想定と とした理由 木校により 、NPO、 で進めない 役となった	どおりでなかった どおりでなかった /想定どおりで、 当初予定して 市民団体等で1	た 「なかった原因> 「いた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層	できなかっ く市実施 学校給菌	った。 の具体的な内容・	必要性の理由 との維持管理、 素入、放射能対	給食従事者の研 応、補助金事務	●不要
必 要 性 (2)市が ある	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、N  (理由) □法令等 □提供主・	る必要・義務 NPO、市民I で市が実施す 体が市しかな 6市が推進す	がある。 団体等では: ることが定い べきである	をである。 実施できない とめられている			</td <td>②事前確認 思定どおりる 引力 大 関 の の で ・ で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で</td> <td>での想定と とした理り 木校により 、NPOい で役となった た でで変が確が が 水準が なが 水準が なが 水準が なが</td> <td>どおりでなかっつい / 想定どおりで 、当初予定して 市民団 対性 体等が たことで 市民 標の 目標の 実</td> <td>たでなかった原因&gt; こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した</td> <td>できなかっ く市実施 学校給菌</td> <td>った。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の購</td> <td>必要性の理由 との維持管理、 素入、放射能対</td> <td>給食従事者の研 応、補助金事務</td> <td>○要 ●不要</td>	②事前確認 思定どおりる 引力 大 関 の の で ・ で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	での想定と とした理り 木校により 、NPOい で役となった た でで変が確が が 水準が なが 水準が なが 水準が なが	どおりでなかっつい / 想定どおりで 、当初予定して 市民団 対性 体等が たことで 市民 標の 目標の 実	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	できなかっ く市実施 学校給菌	った。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の購	必要性の理由 との維持管理、 素入、放射能対	給食従事者の研 応、補助金事務	○要 ●不要
必 要 性 (2)市が ある	景は?(事業の必要性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	法制度等に対応す  ○①民間企業、N (理由) □提供主 □その他  ●②自治体である (理由) ■市が主 ■市が実	る必要・義務 NPO、市民(で市が実施すな体が市しかなる。	団体等では: ることが定 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	をである。 実施できない とめられている	<その他の内容>		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	②事前確認 思定どおりる 引力 大 関 の の で ・ で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	での想定とした。 としたは、 P O ない が と	どおりとおりでなかった。 一想定どおりでなかった。 一想定どおりでである。 本のは実効である。 本の目標の実践のである。 を変の目標の実践のできる。 を変の目標の実践のできる。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	できなかっ く市実施 学校給菌	った。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の購	必要性の理由 との維持管理、 素入、放射能対	給食従事者の研 応、補助金事務	○要 ●不要 修、は、
必 要 性 (2) 市が ある	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、 (理由) □提供主 □ である (理由) ■市が主 明中が支 ・ サービ ・ 実現が	る必要・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	団体等では; つることが定 べきによい べきにより	実施できない 実施できない とめられている	<その他の内容>		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	②事前確認 りん (できない)	での想定とした。 としたは、 P O ない が と	どおりとおりでなかった。 一想定どおりでなかった。 一想定どおりでである。 本のは実効である。 本の目標の実践のである。 を変の目標の実践のできる。 を変の目標の実践のできる。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	できなかっ く市実施 学校給菌	った。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の購	必要性の理由 との維持管理、 素入、放射能対	給食従事者の研 応、補助金事務	○要 ●不要 修、は、
必 要 性 (2) 市が ある	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主 □その他  ●②自治体である (理由) ■市が主 ■市が主 サービ □市が交	る必要・義務 P O 、	団体等ではなったい ではなったい べきであるりよい べきにとにとにとことにとこる より政策・	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容> <その他の内容>	长的介内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 見定か 日本	での想定と はたに はたに にで後と いで後と のなった。 が水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが、 にの はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	どおりでなかった。 どおりでなかった。 一、想定どおりて、 、 市民団を効けています。 大はどでも様でがいます。 を果された確保となる。 を果された確保となる。 なの具体的な内容。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ く市実施 学校給菌	oた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の類 者である市が実施	必要性の理由 gの維持管理、 場入、放射能対 B主体となり行	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	○要 ●不要 修、は、
必 要 性 (2)市が ある (市)	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、 (理由) □提供主 □提供主 □ (理由) ■ 市が主 明	る必要・義務  P の 、 実 に に かった は に かった が ま に が な が ま に が な が ま で	団体等ではなった。  団体等ではなったい  べきではとこと  ありまり  ない  やとこる  より政策・  動の内容	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容>	体的な内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 見定か 日本	での想定と はたに はたに にで後と いで後と のなった。 が水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが、 にの はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	どおりでなかった。 「想定どおりでなかった。 「想定どおりでなからない。 「本民団対対は、 一本民団対対は、 一本のはとで、 一本のの目標の実に を楽の目標の実に を楽された。 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ く市実給食 学校設置 学校設置	の の 具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の 業者である市が実施 参加・協 の 助け、 の の の の の の の の の の の の の	必要性の理由 との維持管理、 素入、放射能対	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	○要 ●不要 修、は、
必 要 性 (2)市がある (市) ま R (2)	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性)	法制度等に対応す  ○①民間企業、令等に対応を強い、 (理由) □ は は は である。 (理由) ■ 市 ホービットのです。 「理由) ■ 市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 必要 ・ 義	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容> <その他の内容>	本的な内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 見定か 日本	での想定と はたに はたに にで後と いで後と のなった。 が水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが、 にの はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	どおりでなかった。 どおりでなかった。 一、想定どおりて、 、 市民団を効けています。 大はどでも様でがいます。 を果された確保となる。 を果された確保となる。 なの具体的な内容。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ <すち 字校 大校 報問 学校 報問 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ で教和 報問 で教和 でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	oた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の類 者である市が実施 参加・協	必要性の理由 gの維持管理、 場入、放射能対 B主体となり行	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● 不要 要 <b>修 .</b>
必 要 性 (2)市がある (市) ま R (2)	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、等 □を業、等 □を業、等 □を表 □接供主 □ は接供主 □ はまった。 □ はま	る 必要・ 義	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容> <その他の内容>	体的な内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 見定か 日本	での想定と はたに はたに にで後と いで後と のなった。 が水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが、 にの はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	どおりでなかった。 どおりでなかった。 一、想定どおりて、 、 市民団を効けています。 大はどでも様でがいます。 を果された確保となる。 を果された確保となる。 なの具体的な内容。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ <市実施会 第内報設置 学校報度置 ○①当者者 ○②当者	った。 の具体的な内容・ 図営に必要な施設 検査、消耗品の 関者である市が実施 参加・協 の期待したとより	必要性の理由 よの維持管理、 情人、放射能対 直主体となり行	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● 不要
必 要 性 (2) 市が ある (市) ま R の (市) (市)	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、令等に対応を対応を対して、 (理由) □は提供をのをある。 「理由) □は提供をのをある。 「理由) □は、一が支に、一が支に、一が支に、一が支に、一が支に、一が支に、一が支に、一が支に	るの必要・義務 Pの市が市 推め供証こる・・ 参表 民族 中の市が が進提証こる・・ を 一下 で体 ない すっこされ に 一下 市内 に 下 に 下 に 下 に 下 に 下 に 下 に 下 に 下 に 下 に	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容> <その他の内容>	*的な内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 見定か 日本	での想定と はたに はたに にで後と いで後と のなった。 が水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが、 にの はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	どおりでなかった。 どおりでなかった。 一、想定どおりて、 、 市民団を効けています。 大はどでも様でがいます。 を果された確保となる。 を果された確保となる。 なの具体的な内容。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ <市実施会 第内報設置 学校報度置 ○①当者者 ○②当者	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の実施 者である市が実施 参加・協 の期待したとより の期待以下	必要性の理由 よの維持管理、 情人、放射能対 直主体となり行	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	●
必 要 性 (2) 市が ある (市) ま R の (市) (市)	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、等 □を業、等 □を業、等 □を表 □接供主 □ は接供主 □ はまった。 □ はま	るの必要・義務 Pの市が市 推め供証こる・・ 参表 民族 中の市が が進提証こる・・ を 一、実し 推め供証こる・・ を を 一、 下 を 下 を 下 を 下 を 下 を 下 を 下 を 下 を 下 を 下	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容> <その他の内容>	本的な内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 見定か 日本	での想定と はたに はたに にで後と いで後と のなった。 が水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが水の なが、 にの はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	どおりでなかった。 どおりでなかった。 一、想定どおりて、 、 市民団を効けています。 大はどでも様でがいます。 を果された確保となる。 を果された確保となる。 なの具体的な内容。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ <市実施会 第内報設置 学校報度置 ○①当者者 ○②当者	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗品の実施 者である市が実施 参加・協 の期待したとより の期待以下	必要性の理由 よの維持管理、 情人、放射能対 直主体となり行	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● 不要
必 要 性 (2)市がある (市) ま R (2)	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	法制度等に対応す  ○①民間□企業、令等に対応を集へ会に対している。  ●②自治■■市サーボを表でする。  「理由」■市・サーボを表である。  「理由」■市・サーボを表である。  「図の他ののできます。 「図のできます。 「図のできます。」 「図のできますます。」 「図のできます。」 「図のできますます。」 「図のできますます。」 「図のできます。」 「図のできます。」 「図のできます。」 「図のできます。」 「図のできますますます。」 「図のできますます。」 「図のできますます。」 「図のできますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	る 必要 ・ 義	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容> <その他の内容>		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 東京 は いっぱい できます できます かい できます と で 対 に 関 が は で かい で	での想理よりのなった。 と本校、N進と、政準安 と由りのなった。 で役たが水の。 が考生ので、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	どおりでなかった。 どおりでなかった。 一、想定どおりて、 、 市民団を効けています。 大はどでも様でがいます。 を果された確保となる。 を果された確保となる。 なの具体的な内容。	ただなかった原因> こいた給食回数を実施 はよ実施できなかったなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ 「一学校内 学校内 できなかっ でを で校内 でを で校内 でを の で の の の の の の の の の の の の の	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 接者である市が実施 参加・協 の期待したとおり の期待したとおり の期待したとおり で以上となった理	必要性の理由 よの維持管理、 情人、放射能対 直主体となり行	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● 不要
必要性 (2)市ある市 (市市の) (市市の) (市市の) (市下) (市工) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?	法制度等に対応す  ○①民間企業、令等に対応は法令等に対応は提供主他  ●②自治●■市市が実 □日本のである。  「理由)■■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る。中で体 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容>         <その他の内容>         こ		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 東京 は いっぱい できます できます かい できます と で 対 に 関 が は で かい で	での想理よりのなった。 と本校、N進と、政準安 と由りのなった。 で役たが水の。 が考生ので、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	どおりでなかった。	ただなかった原因> こいた給食回数を実施 はよ実施できなかったなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなかっ <市実給会 場内校 学校 の ① ① ③ ③ ③ 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 接者である市が実施 参加・協 の期待したとおり の期待したとおり の期待したとおり で以上となった理	必要性の理由 よの維持管理、 素入、放射的 高主体となり行 働の程度・内: 間の配慮	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● 不要
必要性 (2)市が高い (市が高い) (市が	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間企業、令等に対応を禁入等に対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対	る P で体 る 導施ス接図	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容>         <その他の内容>         こ		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 東京 は いっぱい できます できます かい できます と で 対 に 関 が は で かい で	での想理よりのなった。 と本校、N進と、政準安 と由りのなった。 で役たが水の。 が考生ので、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	どおりでなかった。	ただなかった原因> こいた給食回数を実施 はよ実施できなかったなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなか・ マ市 マ市 マ市 マ市 マ市 マー でもなか・ マー でもなか・ マー でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 検査、消耗の実施 検査である市が実施 参加・協 の期待したとより の期待したとお た以上となった理 環境	必要性の理由 会の維持射能対 素入、放なり行 を主体となり行 働の程度・内 理由/期待以下	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
必要性 参加・協働の工夫 環境へ 環境へ 環境へ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間 □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る P で体 5 導施 バ探図	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容>         <その他の内容>         こ		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 東京 は いっぱい できます できます かい できます と で 対 に 関 が は で かい で	での想理よりのなった。 と本校、N進と、政準安 と由りのなった。 で役たが水の。 が考生ので、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	どおりでなかった。	ただなかった原因> こいた給食回数を実施 はよ実施できなかったなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなか・ マ市 マ市 マ市 マ市 マ市 マー でもなか・ マー でもなか・ マー でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 接者である市が実施 を加・協 の期待したとおりの期待したとおり た以上となった理 ほどおりでなかった	必要性の理由 会の維持射能対 素入、放なり行 を主体となり行 働の程度・内 理由/期待以下	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	●
必要性 参加・協働の工夫 環境へ 環境へ 環境へ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間□企業、令等に対応を決合性のの表主に対して支が犯の他のできた。  ●②自治■■市サ市・実その地でが変の他のできた。 ○②事業と変に対して支が現の他のできた。 ○③事業と変に対して支ができたが、ですが現の他ののできた。 ○③事業とのとのできた。 ○③はき資資負がまたを低いる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、環境とときばられる。 ○③は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	る P で体 5 導施 バ探図	がある。	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容>         <その他の内容>         こ		<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 東京 は いっぱい できます できます かい できます と で 対 に 関 が は で かい で	での想理よりのなった。 と本校、N進と、政準安 と由りのなった。 で役たが水の。 が考生ので、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	どおりでなかった。 どおりでなかった。 グリスを発生をできません。 大きなのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ただなかった原因> こいた給食回数を実施 はよ実施できなかったなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	できなか・ マ市 マ市 マ市 マ市 マ市 マー でもなか・ マー でもなか・ マー でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 接者である市が実施 を加・協 の期待したとおりの期待したとおり た以上となった理 ほどおりでなかった	必要性の理由 会の維持射能対 素入、放なり行 を主体となり行 働の程度・内 理由/期待以下	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
必要性 参加・協働の工夫 環境へ 環境へ 環境へ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・ マール・	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間□□□・	る P で体 5 導施 バ探図	が 団 るい べきにるよ 動 有有有携 視 いる さにど 政 容 いりりてい 点 なりよ 策・る まり の のりり ていか こうしょ	実施できない 実施できない とめられている な効性が得られる 」、良質で安定した	<その他の内容>         <その他の内容>         こ	)内容	<1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	② 東ナー (23) (4) ちゅうにん 大学 (4) をおりの (23) (4) もの (4) も	での想理よりのなった。 と本校、N進と、政準安 と由りのなった。 で役たが水の。 が考生ので、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	どおりでなかった。 どおりでなかった。 グリスを発生をできません。 大きなのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 はま実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた タ(又は今後、 はその内容)	できなか。 できなが。 の1 型型 型型 できなが。 の2 型型 型型 できなが。 の2 型型 型型 できるなが。 できるなが、 <p< td=""><td>のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 接者である市が実施 を加・協 の期待したとおりの期待したとおり た以上となった理 ほどおりでなかった</td><td>必要性の理由 会の維持射能対 素入、放なり行 を主体となり行 働の程度・内 理由/期待以下</td><td>給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。</td><td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td></p<>	のた。 の具体的な内容・ 運営に必要な施設 接者である市が実施 を加・協 の期待したとおりの期待したとおり た以上となった理 ほどおりでなかった	必要性の理由 会の維持射能対 素入、放なり行 を主体となり行 働の程度・内 理由/期待以下	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 でして	景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間□企業、令年の ○②自治■■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る P O 市が市 推め供証こる か P O 市が市 推め供証こる か で R E R E R E R E R E R E R E R E R E R	団るい べとこるよ 助 有有有携 でいた ありよ 策・ なりりり ていた 高りよ 策・ るりよ 策・ るりり でいた るりよ 策・ るりり でいた こう でいた こう	実施できない。 実施できない。 のおいる。 の対性が得られる。 は、放策の目標の で安定した。 施策の目標の	くその他の内容>  「大の他の内容>  「大の人」  「大いん」  「大いん」 「大いん」  「大いん」	)内容		② 東ナー (23) (4) ちゅうにん 大学 (4) をおりの (23) (4) もの (4) も	で A to A t	どおりでなかった。 どおりでなかった。 グリスを発生をできません。 大きなのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	た。 なかった原因> いた給食回数を実施 は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた	できなかった できなかった できなかった できなかった できなかった できなかった できなかった できなかった できながった できな	のた。 の異体的な内容を 運営に、消耗が要はの実施 接者である市が実施 参加・協 の期待したたと下 た以上となった理 ほどおりでなかった。	必要性の理理なの維持対象を表現である。 動の程度・内理を対する。 動の程度・内理を対する。 動の程度・内理を対する。 動の配慮をある。 たでは、対象を表現である。 では、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして	給食従事者の研 応、補助金事務 う必要がある。	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 でして	は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を でいるか? づくり)	法制度等に対応です  「理由」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る P で体 の で体 の で体 の で体 の で体 の では がで に では がで に では がで に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	がある。	実施できない。 実施できない。 家効性が得られる。 ②現現でものが、 を策の目標の  ②現現ではといる  ②は現場ではといく  「会別のではいる。	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないがからい値では、比較対象例におけ、 象が有る場合、比較対象例におけ、	の内容		② 東 す ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で A to A t	どおりである。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 はま実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた タ(又は今後、 はその内容)	できなか、 マ・市校内校 学校内校 ・ 一 ・ できなか、 ・ できなか、 ・ できなか、 ・ できなか、 ・ できなか、 ・ できなか。 ・ できなか。 ・ できなか。 ・ できなか。 ・ できながる。 ・ できながの。 ・ できながる。 ・ できながながる。 ・ できながる。 ・ できながながる。 ・ できながる。 ・ できながる。 ・ できながる。 ・ できながる。 ・ できながる。 ・ できながる。 ・ できながながる。 ・ できながながる。 ・ できながながる。 ・ できながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが	のた。 の具体的な内容を施門を表すである市が実施を表すである市が実施を表すである市が実施の実施を表す。 の期期特待したたと下では、ないのは、というでは、ないのでは、	必要性の理理、対行の維持射能の程度 内型 自由 / 期待以下 意介の配慮 たっぽ 医	給食従事者の研務にう必要がある。 容 であった原因>	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 様る かんこう	は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間□企業、令年の ○②自治■■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る P で体 ら 導施ス 接図 P 市が市 推進の供証こる h ・ 参参	がある。	実施できない。 実施できない とめられている  変効性が得られる 」、良質で表定した 施策の目標の	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないがからい値では、比較対象例におけ、 象が有る場合、比較対象例におけ、	の内容		② 見定力 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	で A to A t	どおり と	たった原因> こいた給食回数を実施 は実施できた。 は実施できた。 できていた。 できなかった。 できなが、できながった。 できなが、できなが、できない。 できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、	できなかか。	のた。 の具体的な内容を 運検者である市が実施  参加・協  可期特待にした以と下  に以と下  に以となった  でなかった  原因と  なき  でなかった  のは  でなかった  のは  でなかった  のは  でなかった  のは  でなかった  のは  でなかった  のは  では  でなかった  のは  では  では  では  では  では  では  では  では  では	必要性の理理、対行の維持射能の程度 内型 自由 / 期待以下 意介の配慮 たっぽ 医	給食従事者の研務の研務のの研察の必要がある。  容 であった原因> できた。	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 標準	は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	る P で体	がある。 べとこるよ 助 有有有携 でにと ひ 内 りりしていた るりよ 策 るりり ていた	実施できない。  実施できないる  認効性が得ったない。  認効性が得ったでは、  のとといるがです。  のとといるがです。  のといるがです。  のは、  のは、  のは、  のは、  のは、  のは、  のは、  のは	マ・マの他の内容> ***  「「「「「「「」」」」 ***  「「」」 ***  「「」」 ***  「「」」 **  「「」」 ***  「「」 **  「「」 **  「「」 **  「「」 **  「「」 **  「「 **	ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活	● <	② 見定力 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	で と	どおりでなかった。	たでなかった原因> こいた給食回数を実施 は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた  ●①②目標値達成 ○②②目標値成成 ○②目標を達成 ○②目標を達成 ○○②目標を追求 <学校給食に必要な	できなないできません。 本校内校 できない できない できない できない できる	のた。 の具体的な内容・ 運検者である市が実施 を加い上のでは、 の実施を表すである市が実施 を加い上のでは、 の現体の変品の実施 を加い上のでは、 のの現代を表するである。 のの現代を表するである。 のの現代を表するでは、 ののでは、	必要性の理理を をの維持なりの程度を 動の程度を 動のの配慮を たることを して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対	給食従事を を であった原因>  できた。 について	●
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率       がるする     (1)     (1)       がまれる方面     (1)     (1)       (2)     (1)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (2)     (2)       (3)     (2)       (4)     (2)       (5)     (2)       (6)     (2)       (7)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (8)     (2)       (9)     (2)       (9)     (2)	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?  ずくり)  配慮して事業を進めて  需設定は適切か?	法制度等に対応です  「理由」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る P で体	(では) では) では) では) では) では) では) では) では) では)	実施である。 実施できない 実施できない の 対している の 対している の である。 の 対している の である。 の 対している の である。 の で	マ・事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ではないがからない場合。比較対象例におけるる。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F	ク ナる目標値(と現況値 工等民間資本の活 者負担	● <	② 東	で と	どおりでありて、	たさなかった原因> こいた給食回数を実施 は実かった さなかった きなかった きなかった きながった きでも の内容 の内容 の内容 の内容 の内容 の内容 の内容 の内容	できなないできません。 本校内校 できない できない できない できない できる	のた。 の具体的な内容を施ります。 の実体の変にできる。 の異性の必要に対するである。 の理検査である。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 の理検査を表する。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	必要性の理理はのでは、対象を表します。 のをはない はいました はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	給食従事を を であった原因>  できた。 について	<ul><li>修は、</li><li>● 不要要要</li><li>修本</li><li>● 不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更</li></ul>
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率       (2) 市ある市3     (本) 「「「「「」」     (本) 「「」」     (本) 「」」     (本) 「「」」     (本) 「」」     (本) 「」     (本) 「」」     (本) 「」」     (本) 「」     (本) 「」」     (本) 「」」     (本) 「」     (	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を でいるか? づくり)	法制度等に対応す  ○①民間□企業、令等に対応  ●②自治■■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る P で体 お で	がある。 ではだな るまい べとこるよ り 内 有有有携 でいた さい でいた ありょり でいた おりょり でいた なり 次 容 の りりり でいい (%6) [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [	実施できない。 実施できないる  実施られている  認効性が得ったない。  である。  である。  である。  である。  である。  ではいる  では	マ・事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ではないがからない場合。比較対象例におけるる。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F	ク ナる目標値(と現況値 工等民間資本の活 者負担	● < だい	② R	で At At Crown Control of the Contr	どおり でかった (まない) はいかった (まない) では (まない) で	たさなかった原因> になかった原因> になかった食回数かかった は実かった。 は実かった。 できたののの内容 見に、 にな音を表し、 できた。 の内容 の内容 の内容 の自標標をできた。 できた。 の内容 の内容 の自標標をできた。 できた。 の内容 の内容 の自標標をできた。 できた。 のの内容 のの内容 のの内容 のの内容 ののの内容 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、	できなない。 できな内核内核のででは、 できな内核内核のででは、 できるのできるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのできるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのできるのでは、 できるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	のた。 の異体的な内容を施設した。 の異常に、不可知的のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	必の要維放と を	給応う必要があるる。  容 であった原因  であった。 にかた例かのである。	修 k k k k k k k k k k k k k k k k k k k
必要性     参加・協働の工夫     環境への配慮     効率       (2) 市ある市3     (本) 「「「「「」」     (本) 「「」」     (本) 「」」     (本) 「「」」     (本) 「」」     (本) 「」     (本) 「」」     (本) 「」」     (本) 「」     (本) 「」」     (本) 「」」     (本) 「」     (	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?  ずくり)  配慮して事業を進めて  需設定は適切か?	法制度等に対応す  ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	る P で体	がある。 ではだな るまい べとこるよ り 内 有有有携 でいた さい でいた ありょり でいた おりょり でいた なり 次 容 の りりり でいい (%6) [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [ [	実施できないる  家効性が得です 標の  の現現通過 同等のはとと此水 本なとと此水の較準で 1 ②現現当等の水水を 2 が 2 別別にはないの数準で 1 ②現まの 4 体質 1 別の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の	マ・事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ではないがからない場合。比較対象例におけるる。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F	ク ナる目標値(と現況値 工等民間資本の活 者負担	● < ***	② Part (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と	どおり だおり で かっか かっか が かい	た でなかった原因> にいた給 原因> にいた給 原因> にいた 原因> にいた 原因> を実施 は 実施でき まなかった 音 現に たまかっか	で さ マ	の定接者であるが実施の の運接者であるが実施の の運接者であるがよれが実施の のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののは	必要性性の管射なり 単由 大の配面 費定定 減ル実給を でいった例 単由 では、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	給応う   容   で に か た防年費   で に か た防年費   一で に か たりの   で に か たりの   で に か たりの   で の 原止り (会 が 0 年 で の の 原止り (会 が 0 年 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	修は、 ●
必要性     参加・協働のH夫     環境への配慮     効率       (2)     市工(体制)     (1)       原夫体制     (2)       (3)     (4)       (4)     環境る       (5)     (4)       (6)     (5)       (7)     (6)       (8)     (7)       (8)     (7)       (9)     (1)       (1)     (2)       (1)     (2)       (2)     (2)       (2)     (3)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (7)       (7)     (8)       (8)     (9)       (9)     (1)       (1)     (1)       (1)     (1)       (2)     (1)       (2)     (2)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (2)     (3)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7) </th <td>最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?  ずくり)  配慮して事業を進めて  需設定は適切か?</td> <td>法制度等に対応でする。  ○① (理由) □□ (型由) □□ (型中では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>る P O 市が市 が 進程図</td> <td>がある。</td> <td>実施できないる  家効性が得です 標の  の現現通過 同等のはとと此水 本なとと此水の較準で 1 ②現現当等の水水を 2 が 2 別別にはないの数準で 1 ②現まの 4 体質 1 別の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の</td> <td>マ・事実に基づき設定している実現性がある。 実施予定の対策 度活用 □⑥ 受益削減策の実施 □⑦ その他の内容〉</td> <td>ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活 者負担</td> <td>● &lt; ***</td> <td>② Run 1 (2) (3) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td> <td>で と</td> <td>どおり でかい で</td> <td>たさなかった原因&gt; になかった角回数かった をといた給食できた 現にまかった できたの内の内容) の内容) ・はまかった を変える。 ・はまかった ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまできた。 ・は、こまれで、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は</td> <td>で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で  </td> <td>の定接者であるが実施の の運接者であるが実施の の運接者であるがよれが実施の のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののは</td> <td>必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、</td> <td>給応う必要を容であった原因と、 できたい た</td> <td>修は、 ●</td>	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?  ずくり)  配慮して事業を進めて  需設定は適切か?	法制度等に対応でする。  ○① (理由) □□ (型由) □□ (型中では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る P O 市が市 が 進程図	がある。	実施できないる  家効性が得です 標の  の現現通過 同等のはとと此水 本なとと此水の較準で 1 ②現現当等の水水を 2 が 2 別別にはないの数準で 1 ②現まの 4 体質 1 別の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の 4 の	マ・事実に基づき設定している実現性がある。 実施予定の対策 度活用 □⑥ 受益削減策の実施 □⑦ その他の内容〉	ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活 者負担	● < ***	② Run 1 (2) (3) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と	どおり でかい で	たさなかった原因> になかった角回数かった をといた給食できた 現にまかった できたの内の内容) の内容) ・はまかった を変える。 ・はまかった ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまかった。 ・はまできた。 ・は、こまれで、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は	で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	の定接者であるが実施の の運接者であるが実施の の運接者であるがよれが実施の のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののは	必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	給応う必要を容であった原因と、 できたい た	修は、 ●
必要性     参加・協働のH夫     環境への配慮     効率性       (2) 市あ市工(体     環い     (1)       (2) 市あ市工(体     環い       (3) 標標     業る       (4) 原本     環の配慮	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか?  ずくり)  配慮して事業を進めて  需設定は適切か?	法制度等に対応でする。  ○① (理由) □□ (型由) □□ (型中では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る P で体	がある。	実施である。 実施できないる  家効性が得です標のの  「空現現適同である」が、  施策ののはなととの数域にはないを対でではといれば、  「のでは、は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	マ・では、	ク かる目標値(と現況値 1等段間資本の活 者負担 他 法 関単位/事業費	● <	② Run 1 (2) (3) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で 2 L 木 、で役たが水の 容 参協	どおり なかっつ かい	た でなかった原因> にいた給 原因> にいた給 原因> にいた 原因> にいた 原因> を実施 は 実施でき まなかった 音 現に たまかっか	で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	のた。 の運検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理	必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	給応う必要を容であった原因と、 できたい た	修は、 ●
必要性     参加・協働の工夫     環境(の配慮     効率性       がる市ができた制     (1)     (2)       市工体     環い     (1)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (2)       (5)     (4)       (6)     (1)       (7)     (2)       (8)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (1)     (2)       (1)     (2)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (7)     (4)	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は ち実施の必要性) 参加や市氏との協働を でいるか? でくり)  配慮して事業を進めて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	法制度等に対応でする。  ○① (理由) □□ (型由) □□ (型中では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る P で体 な p 値 か す る p を p で k か す る p で k か す な p で k か す な p で k か で 走 p し r か r が で 提 k の の の か 動 を p で k か ず な p で k か す な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず a で k か ず a で k か ず a で p で k か ず a で a で k か ず a で k か ず a で a で k か ず a で a で a で a で a で a で a で a で a で a	がある。	実施である。 実施できないる  家効性が得です標のの  「空現現適同である」が、  施策ののはなととの数域にはないを対でではといれば、  「のでは、は、は、では、は、では、では、では、は、では、では、では、では、では、では		ク かる目標値(と現況値 1等段間資本の活 者負担 他 法 関単位/事業費	● <	② Par 1 (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で 2 L 木 、で役たが水の 容 参協	どおり でかい で がい で で がい で で がい で で で かい かっぱ と 可 目 た 確 保 と か の 具 体 的 な 内 名 に で ま な 盤 か の 具 体 か す 出 を な と か の れ の れ の れ の れ の れ の れ の の れ の の れ の の れ の	た でなかった原因> でいた絵ででは、	で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	のた。 の運検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理	必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	給応う必要を容であった原因と、 できたい た	修は、 ●
必要性     参加・協働の工夫     環境(の配慮     効率性       がる市ができた制     (1)     (2)       市工体     環い     (1)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (2)       (5)     (4)       (6)     (1)       (7)     (2)       (8)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (1)     (2)       (1)     (2)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (7)     (4)	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加であか? を加いるか? の協働をでするが。  のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	法制度等に対応です。  ○① (理由) □□ (型)	る P で体 な p 値 か す る p を p で k か す る p で k か す な p で k か す な p で k か で 走 p し r か r が で 提 k の の の か 動 を p で k か ず な p で k か す な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず な p で k か ず a で k か ず a で k か ず a で p で k か ず a で a で k か ず a で k か ず a で a で k か ず a で a で a で a で a で a で a で a で a で a	がある。	実施できないる。  実施できないる。  愛効、 たまないる。  愛効、 たまないる。  愛効、 たまないる。  「②な現況である。  「②な現況である。  「②な現況である。  「②ないのでは、できない。  「③のでは、できない。  「③のでは、できない。  「③のでは、できない。  「③のでは、できない。  「③のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。」  「○のできる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	マ・では、	ク かる目標値(と現況値 1等段間資本の活 者負担 他 法 関単位/事業費	● <	② lg コ つ (2) 3 (4) 5 (5) 7 (7) 7 (7) 9 (8) 1 (8) 1 (9) 1 (	で 2 L 木 、で役たが水の 容 参協	どおり なかった で	た でなかった原因> でいた絵ででは、	で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	のた。 の運検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理検者 の理	必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	給応う必要を容であった原因と、 できたい た	修は、 ●
必要性     参加・協働のH夫     環境(S配慮)     効率性       がるする     有している       がるする     (2)     市上体       環い     (1)     (2)       国投(日本)     (3)       日本     (4)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (2)     (3)       (3)     (4)       (4)     (4)	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は ち実施の必要性) 参加やあか? がまないでは適切か?  配慮して事業を進めて でする適いか?  のないでする。 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	法制度等に対応す  ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	る P で体 お	がある。	実施である。  実施でもないる  認効にしている  認効にしている  認効にしている  ののでは、  ののでは、  ののでは、  ののでは、  のののでは、  ののののは、  ののののは、  のののは、  ののは、  ののは、 ののは、  ののは、 のは、	マ・マの他の内容>  「「大の世の内容>  「大の世の内容>  「大の世の内容   「大の世の内容   「大の世の内容   「大の世の内容	ク かる目標値(と現況値 1等段間資本の活 者負担 他 法 関単位/事業費	● <	② lg コ つ (2) 3 (4) 5 (5) 7 (7) 7 (7) 9 (8) 1 (8) 1 (9) 1 (	で 2 L 木 、で役たが水の 容 参協	どおり なかった で	た でなかった原因> でいた で で で で で で で で で で で で で で で で で で	で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	の定検者である。 の運検者であるのでは、 のでは、	必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	給応う必要を容であった原因と、 できたい た	修は、 ●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3 ● 現代 は	最は?(事業の必要性) が実施する必要性は が実施する必要性は ない。 を加いるか? を加いるか? を加いるが。 を進めて でするが でするが でするが でするが でするが でするが でする	法制度等に対応する。  ○① (理由) □□ (型点 (型点) (型点) (型点) (型点) (型点) (型点) (型点)	る P で体	がある。	実施である。  実施できない  認効性が質である。  認効性が質で 目標の  「一次でのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	マ・マの他の内容>  「「大の世の内容>  「大の世の内容>  「大の世の内容   「大の世の内容   「大の世の内容   「大の世の内容	ク ク ナる目標値(と現況値 1等民間資本の活 者負担 他 法 月単位/事業費 現況値)×費用単位	● <	② lg コ つ (2) 3 (4) 5 (5) 7 (7) 7 (7) 9 (8) 1 (8) 1 (9) 1 (	で 2 L 木 、で役たが水の 容 参協	どおり なかった で	た でなかった原因> でいた で で で で で で で で で で で で で で で で で で	で   マーマ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	の定検者である。 の運検者であるのでは、 のでは、	必の養人を 必の表し、主体として、 のを経れなととなる。 のを経れなととなる。 のでは、対している。 のでいなが、管額がでいるなが、管額がでいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額がでいる。 でいるなが、管額が、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、大人のでいる。 でいるなが、管額が、一つ、一つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	給応う必要を容であった原因と、 できたい た	修は、 ●

事美									)							
	業コード	1033		課コード		1502	会計種別	一般会	計			予算σ	D種類 □	政策	■経常	□なし
1. 3	事業の概要(PLAN)															
		①事業名	基本事業 学	校給食の運営				実施記	†画への		有 〇無		②部課名	<b>装容</b> 公敦如	<ul><li>学校教育課</li></ul>	
					野菜の学校給食の導入	事業			置づけ				0.1,21.2			
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他(	成17年度 ~		)	④対象± ⑥担当耶		□我孫子	口天王台	□湖北 3 人	□新木 □ (換算人数	□布佐	0.25 人)	
(1)事業	<b>業概要</b>	7事業費		<del>-</del>						(当 初)	9,	<u> </u>	(うち人件費		2, 175 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(閉	開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		8施策の位置づけ	施策	52101		プロジェクト	重点 5		画地区別		)有 ●無		部門別計画への	(計画名)	子ども総合計画	
			思いやりのあ	る豊かな心を育むため		の位置づけ 神や社会性を育む規範類			0位置づけ		れる米・野菜を学校	給食に導入	位置づけ することにより、			地消を図り、「
(2)目台	ń	施策目的 · 展開方向	のための教育			識した健やかな生活を説			<b>美目的</b>		に根ざした食に対す				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	5117611777
					小中学校の学校給食に	全量使用し、使用回数に	は週3. 9回 を維持す				関する実態調査の実 給食用我孫子産米調			————————————————————————————————————	左连 。 会和 0 年	<b>#</b> \
			・我孫子産野		校給食に月1~4回使				<b>亥年度</b>	9月:「子収	和及用找除丁煃不詗	<b>注</b> 未伤安乱	.] 俱伤其但门点政	E。 (ክብረ	平皮~ 7和 2 平	反)
(3)事業	<b>業内容</b>	内容	・地兀座展産	:物を取り入れた字仪和	長を通しく、我孫士巾	の農業への興味・関心を	(高の)、脚工変を育む。	料化	計画							
								当言	————— 亥年度		野菜が給食で使用さ				想定值	17, 488
									表	数。(全学年	、アンケートを実施	し回答があ	ったもの)	単位	人実績値	15, 122
	成目標(期待する成果)	火能給金の宝抜士	マーレル トリチ	達成 孫子産米・野菜の周知	目標(期待する成果)				<b>厚種類</b>	升夜 7 产业。	指 野菜が給食で使用さ	標れているこ	した知っている旧	単位	(5)現況値	(6)目標値
当記	該年度							Į.	<b>接</b>	の割合。				· + 4	86. 5	90
令和	和 3年度			孫子産米・野菜の周知				Ī	接	の割合。	野菜が給食で使用さ			70		95
令和	和 4年度	米飯給食の実施す	ることにより我	孫子産米・野菜の周知	度を高める。 			Ī	接	我孫子産米・ の割合。	野菜が給食で使用さ	れているこ	とを知っている児	童生徒 %		100
(7)事業	業実施上の課題と対応							代替	案検討		)有 ●無					
			平成31年月	· ·		令和 2年月	<b>F</b>			<u></u>	和 3年度			会和	4年度	
		政	内 容	金額(千円	」 政	内容	· 予算額(千円) 決算	額(千円) ј	攺			金額(千円)	政	内 容		金額(千円)
		表 我孫子産米調達	産業務委託料	7,	93 我孫子産米調	<b>主業務委託料</b>	6, 913	6, 010	我孫子原	産米調達業務委	託料	6, 91	策	調達業務委託	料	6, 913
		情務負担行為記 2020年度)		年度~	債務負担行為 令和2年度)	設定(令和2年度~			債務負担 令和33	担行為設定(令 年度)	和3年度~		: 債務負担行		4年度~	
	実施内容															
(8) 施行	行事項 費 用															
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	7,	93	合 計 0 %	6, 913	6, 010 0	補助率	合 計	0 %	6, 91	0 補助率	合 計	0 %	6, 913
	県支出金	補助率	C	0 %	0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	0	0	補助率		0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	(
(9) 財派	源内訳 一般財源 その他の財源		益 口基金 口そ	7,	93	益 口基金 口その他	6, 913	6, 010		会 口受益 口基:		6, 91	3	受益 □基金		6, 913
	換算人数(人)	口行去口又			25	亜 口奉並 口(の他	0. 25 2. 175	0. 25 2. 175	□ 1寸 2			0. 2 2, 17	25	文並 口茎並		0. 25
(10)人	上 作			Σ,.	0		0	0					0			2, 173
	□ 臨時職員賃金額 (予算(決算)額+正職員人件費)			9,			9, 088	8, 185				9, 08	•			9, 088
	(位費用 事業費/活動結果指標)		0.5千円/.	<u>۸</u>		0.52千円/人		0. 54								
2. }	事業の評価(DO+CHECK)	()														
	評価項目				前 評 価						価(評価結果に応	じ、改善案	議検討 (拡充も含む	( )		改善検討
						(ランスの崩れにより生) 、豊かな食生活を送れる		●①事前確記 ○②事前確認		どおり どおりでなかっ	<i>t</i> =					
(1	1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)		する関心の高ま	りはあるが、知識、機		現状であり、子どものは					でなかった原因>					○要 ●不要
					者の間の顔の見える関 根ざした食の理解、関	係づくりが必要となっ"	ています。				とび日々の声かけな。 記 <u>童生徒が85%を</u> 記		言などによって、学 。	校給食で我	系子産米や我孫-	子産
必		〇①民間企業、N				心を高める機会を提供す		菜が使われ		、市民団体等で	中世でまれかしま		の目はめた中容.			
要			で市が実施する	ことが定められている	<その他の内容	心を高める機会を提供す		菜が使われ 3①民間企業	ŧ、ΝΡΟ、	ければ実効性が		米、野菜	の学校給食への安		ために、必要な	
性 (2	,		で市が実施する 体が市しかない	ことが定められている		心を高める機会を提供す		菜が使われ 3①民間企業 3②市が主義	美、NPO、 算で進めなり 算役となった		なかった	米、野菜		定した提供の	ために、必要な	
	2)市が実施する必要性は	□提供主 □その他	で市が実施する 体が市しかない	ことが定められている 、		心を高める機会を提供す >		菜が使われ ① (1) 民間企業 ② (2) 市が主義 ③ (3) 市が先義 促進され ② (4) 市の支援	€、ΝΡΟ、 ∮で進めなけ ∮役となった れた 爰が政策・力	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	なかった 普及が一層	米、野菜 措置を行	の学校給食への安	定した提供の	ために、必要な	実施
	2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	□提供主 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主	で市が実施する体が市しかない る市が推進すべき 導で進めること	ことが定められている ・ きである により実効性が得られ	<その他の内容	心を高める機会を提供す >		菜が使われ □①ま聞企業 □②市が先報 □③市が先報 日の支担 □⑤サービン	という いり いり いり いり いり にい で進めなり いり にい でした の で が の で また で が の の の の の の の の の の の の の	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	なかった 普及が一層 現に貢献した	米、野菜 措置を行	の学校給食への安	定した提供の	ために、必要な	
	あるか?	□提供主□その他  ●②自治体である(理由) ■市が主□市が実サービ	で市が実施する体が市しかない あ市が推進すべき 導で進めること スが保証される	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供す >		菜が使われ □①民間企業 □②市が主義 □③市が先義 促進され □④市の支援	to NPO、 算で進めなり 算役となった が政策・抗 でが政策が確信 ではないない。 でがないない。 で進むない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではな、 ではない。 ではない。 ではない。 ではな、 ではない。 ではない。 では	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	なかった 普及が一層 現に貢献した	米、野菜 措置を行	の学校給食への安	定した提供の	ために、必要な	実施
	あるか?	□提供主 □その他  ②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ □東現が	で市が実施するい ない ない ない ない ない ない ない ない は 進すこと で 提供証さ に と に ス 援 する る る る る る る る る る る る る る る る る る	ことが定められている  きである により実効性が得られ とにより、良質で安定	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供す >		葉が使われ □①民間企計 □②市ががき □③市がが進され □④市ががさされ □⑤サービン ■⑥サーの他	to NPO、 算で進めなり 算役となった が政策・抗 でが政策が確信 ではないない。 でがないない。 で進むない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではな、 ではない。 ではない。 ではない。 ではな、 ではない。 ではない。 では	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	なかった 普及が一層 現に貢献した	米、野菜 措置を行	の学校給食への安	定した提供の	ために、必要な	実施
	あるか?	□提供主 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ	で市が実施するい ない ない ない ない ない ない ない ない は 進すこと で 提供証さ に と に ス 援 する る る る る る る る る る る る る る る る る る	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供す >		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	t E E E E E E E E E E E E E	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  容(又は今後、	米、野菜 措置を行	の学校給食への安 、農協や農産物販	定した提供の	ために、必要な 者と連携を図り	実施
<b>参</b>	あるか?	□提供主 □その他  ②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ支 実現が □その他  ○①事業計画時に	で市が実施するい を導施・が推進することに ので進度がは はまることに では提供証ととに とはない。 を加い。 を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの を動のの。 を動のの。 を動のの。 を動のの。 を動いる。 をしる。 をし。 をしる。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の D内容	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・ 		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	t E E E E E E E E E E E E E	ければ実効性がたことで市民へ たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  容(又は今後、	米、野菜措置を行した。	の学校給食への安 、農協や農産物販 参加・協 初期待した以上	定した提供の	ために、必要な者と連携を図り	実施
: 市	あるか? (市実施の必要性)	□提供主 □ 提供主 □ その他 ②自治体である (理由) ■ 市が実 □ 市が実 リーが支現が □ その他 ○①事業計画時に ○②管理・運営に	で体が市が実し、 さきない さら で体が市が推進のは、 さら では、 さ	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 りの政策・施策の目標の	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・ 		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	t E E E E E E E E E E E E E	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  容(又は今後、	米、野菜 措置を行 した。	の学校給食への安 に、農協や農産物販 参加・協	定した提供の	ために、必要な者と連携を図り	●不要
市協力	あるか? (市実施の必要性)	□提供主 □ 提供主 □ その他 ②自治体である (理由) □ 市が主 □ 市がデンででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	で体が市が実し、 で体が市が推めます。 あ導応・提出さとに はないできた。 をでいる。 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 りの政策・施策の目標の	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・ 		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	t E E E E E E E E E E E E E	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  容(又は今後、	米、野菜 措置を行 した。 ○①当社 ●②当社 ○③当社	の学校給食への安 、農協や農産物販 参加・協 切期待したとより	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内:	ために、必要な者と連携を図り	<b>○</b> 要 要要 要
市協力	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 「夫しているか?	□提供主 □ 提供主 □ その他 ②自治体である (理由) ■ 市が実 □ 市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体が市が実し、 で体が市が推めます。 あ導応・提出さとに はないできた。 をでいる。 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 りの政策・施策の目標の	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・ 		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	t E E E E E E E E E E E E E	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  容(又は今後、	米、野菜 措置を行 した。 ○①当社 ●②当社 ○③当社	の学校給食への安 、農協や農産物販 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内:	ために、必要な者と連携を図り	<b>○</b> 要 要要 要
市協力	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 「夫しているか?	□提供主 □ 提供主 □ その他 ②自治体である (理由) □ 市が主 □ 市がデンででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	で体が市が実し、 で体が市が推めます。 あ導応・提出さとに はないできた。 をでいる。 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 りの政策・施策の目標の	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・ 		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	t E E E E E E E E E E E E E	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  容(又は今後、	米、野菜 措置を行 した。 ○①当社 ●②当社 ○③当社	の学校給食への安 に、農協や農産物販 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内:	ために、必要な者と連携を図り	<b>○</b> 要 要要 要
市協力	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 「夫しているか?	□提供主 □ 提供主 □ 提供主 □ を	で体が市が実し、 で体が市が推めます。 あ導応・提出さとに はないできた。 をでいる。 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	ことが定められている をである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の の内容 りりしている	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・ 		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	※ NPOなりでは、 NPOな	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ない	米、野菜 措置を行 した。 ○①当社 ●②当社 ○③当社	の学校給食への安 、農協や農産物販 初期待した以上 切別の期待したとおり 切の期待したと た以上となった理	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内:	ために、必要な者と連携を図り	<b>○</b> 要 要要 要
市工(作	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 「夫しているか?	□提供主 □提供主 □ 提供主 □ を	で体 あ	ことが定められている をである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の の内容 りりしている	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・   		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	※ NPOなりでは、 NPOな	ければ実効性がたことでは 施策の目標の実 保されたを確保された。 を発格基盤が確保なから かの具体的な内に あの具体の場合にに	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ない	米、野菜 措置を行 した。 ○①当当 ○③当当 <期待し	の学校給食への安 「、農協や農産物販 参加・協 初期待したとおり 初期待したとおり 初期待は以より が、 た以上となった理 環境 定どおり	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内! 由/期待以下	ために、必要な者と連携を図り	<b>○</b> 要 要要 要
市工化環境	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 大しているか? 本制づくり)	□提供主 □提供主 □提供主 □ (理由) ■ 市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の D内容 りし している	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・   		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	※ NPOなりでは、 NPOな	ければ実効性がたことでは 施策の目標の実 保されたを確保された。 を発格基盤が確保なから かの具体的な内に あの具体の場合にに	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ない	<ul> <li>※、野菜を行した。</li> <li>○①当当当日</li> <li>○③当当</li> <li>&lt;期待し</li> <li>○②想が</li> </ul>	の学校給食への安販の学校給食への安販品の学校給食への安販品の機品や農産を物販の期待した以上の初期の期待にはいまりのの期待にはいません。 たいい しょう はい	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内: 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 での配慮 ここ。	ために、必要な者と連携を図り	実施 ○ 要要要 ● 不 要 要 要 要
市工化環境	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 大しているか? 本制づくり)	□提供主 □提供主 □ 提供主 □ を	で体	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の D内容 りし している	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・   		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	※ NPOなりでは、 NPOな	ければ実効性がたことでは 施策の目標の実 保されたを確保された。 を発格基盤が確保なから かの具体的な内に あの具体の場合にに	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ない	<ul> <li>※、野菜を行した。</li> <li>○①当当当日</li> <li>○③当当</li> <li>&lt;期待し</li> <li>○②想が</li> </ul>	の学校給食への安 「、農協や農産物販 参加・協 初期待したとおり 初期待したとおり 初期待は以より が、 た以上となった理 環境 定どおり	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内: 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 での配慮 ここ。	ために、必要な者と連携を図り	<b>○</b> 要 要要 要
市工化環境	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 大しているか? 本制づくり)	□提供主 □提供主 □提供をの他 ②自治量市市・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体が あ	ことが定められている きである により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の D内容 りし している	<その他の内容/ るした	心を高める機会を提供・   		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	※ NPOなりでは、 NPOな	ければ実効性がたことでは 施策の目標の実 保されたを確保された。 を発格基盤が確保なから かの具体的な内に あの具体の場合にに	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ない	<ul> <li>※、野菜を行した。</li> <li>○①当当当日</li> <li>○③当当</li> <li>&lt;期待し</li> <li>○②想が</li> </ul>	の学校給食への安販の学校給食への安販品の学校給食への安販品の機品や農産を物販の期待した以上の初期の期待にはいまりのの期待にはいません。 たいい しょう はい	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内: 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 での配慮 ここ。	ために、必要な者と連携を図り	<b>三 三 三 三 三 三 三 三 三 三</b>
市工(は	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 大しているか? 本制づくり)	□提供を □提供を □提供を □提供を □ 世界 □ 世界 □ 中市	で体が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が地域では、	ことが定められている。 きである。 により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の  D内容  Uりり している	るした	心を高める機会を提供・		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	● R	ければま物性が たことでは を に なれた を に なれた を に なれた を に なれた を に なれた を の は に の は た さ な も は を は を は を は を は を は し る し る し と し と し と し と し と し と し と し と	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 まその内容)	<ul> <li>※、野菜を行した。</li> <li>○①当当当日</li> <li>○③当当</li> <li>&lt;期待し</li> <li>○②想が</li> </ul>	の学校給食への安販の学校給食への安販品の学校給食への安販品の機品や農産を物販の期待した以上の初期の期待にはいまりのの期待にはいません。 たいい しょう はい	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内: 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 での配慮 ここ。	ために、必要な者と連携を図り	<b>三 三 三 三 三 三 三 三 三 三</b>
市工化環境	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 大しているか? 本制づくり)	□提供主 □提供主 □提供をの他 ②自治量市市・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体が あ	ことが定められている。 きである。 により実効性が得られ とにより、良質で安定 り政策・施策の目標の の内容 りりり している	るした <その他の内容:	心を高める機会を提供・		菜が使われた。 東部では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	と、N P O ない で ・	ければま物性が たことでは 施策の市は 施策された 施保された 施保された 施保された 施保された 施保された 施保された の 具体 の の 具体 の の し の に の に の に の に の に の に の し の し の	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ない	<ul> <li>※、野菜行した。</li> <li>○①当当当日</li> <li>○②当当日</li> <li>○②担急</li> <li>○②担急</li> <li>○②担急</li> <li>○②担急</li> </ul>	の学校給食への安販の学校給食への安販品の学校給食への安販品の機品や農産を物販の期待した以上の初期の期待にはいまりのの期待にはいません。 たいい しょう はい	定した提供の 売所及び生産 動の程度・内: 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 中が、 での配慮 ここ。	ために、必要な者と連携を図り	<b>三 三 三 三 三 三 三 三 三 三</b>
市工は環境への配慮	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 大しているか? 本制づくり)	□提供主 □提供主 □提供主 □提供主 □ (理由) ■ 「市 「中 「	で体 あ中で体 あ中で体 あ中で体 あ中で体 あ中で体 あ中では を を を のののののののののののののののののののののののののののの	ことが定められている  きである により実効性が得られましたにより、良質で安定 りの内容 りりりりしている  □ ②現況値と □ ②現況値と □ □ ② 取況 (	るした  「データ・事実に基づきまたべ実現性が乏しい値で	心を高める機会を提供:		菜が使われ □①民間企業 □②市ががきる □③市がが進立支 □⑤サーーの他 □⑥マの他の内 マの他の内	とで進めなった。 で進めなった。 で進めなった。 で進めた政策が定と、 ではたい政策が定と、 ではたい政策が定と、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ければま物性が たことでは を に なれた を に なれた を に なれた を に なれた を に なれた を の は に の は た さ な も は を は を は を は を は を は し る し る し と し と し と し と し と し と し と し と	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  ② (又は今後、 まその内容)  ② 目標値達成 ② (② 目標を達成した	<ul> <li>米、置を行う</li> <li>●②②③</li> <li>●③②</li> <li>●③②</li> <li>●③②</li> <li>●</li> <li>●</li></ul>	の学校給食への物販の学校給食への物販の製品の製品の製品の製品の製品の製品を製造した。 おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	定した提供の産売所及び生産 動の程度・内: ・内:	ために、必要なり と であった原因〉	<b>y</b> 施
市工は環境への配慮 環い	あるか? (市実施の必要性) 可民の参加や市民との協働を 夫しているか? 体制づくり)	□提供を □提供を □提供を □提供を □ 世界 □ 世界 □ 中市	で体が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が市が地域では、	ことが定められている  きである により実効性が得らな とにより、	マイスの他の内容:  「一タ・事性が更に でいる でき でいる でき でいる でき	心を高める機会を提供:		菜が使われた。 東部では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	とで進めなった。 で進めなった。 で進めなった。 で進めた政策が定と、 ではた、政策が定と、 ではた、政策が定と、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ければで、 ければで、 大にはで、 になった。 にな。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	なかった 普及が一層 現に貢献した れた  ② (又は今後、 まその内容)  ② 目標値達成 ② (② 目標を達成した	<ul> <li>米、置を行う</li> <li>●②②③</li> <li>●③②</li> <li>●③②</li> <li>●③②</li> <li>●</li> <li>●</li></ul>	の学校給食への物版  参加・協  初期特待したたとおり  初期特待はたと下  たいととなった理  環境  定定どおりでなかった原	定した提供の産売所及び生産 動の程度・内: ・内:	ために、必要なり と であった原因〉	<b>三</b>
市工は環境への配慮	あるか? (市実施の必要性) 可民の参加や市民との協働を 夫しているか? 体制づくり)	□提供を使生を表す。 □提供をの他 □自治■市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体 あ中で体 あ中で体 あ中で体 あ中で体 あ中で体 あ中では を を を のののののののののののののののののののののののののののの	ことが定められている  **** *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	くその他の内容:  「一タ・事実に基づい値ではという。  「大きがいった。  「いった。 「いっ	心を高める機会を提供・   工夫の具体的な内容  工夫の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  ではない  な対象例における目標値  予定の対策	くと現況値の差)と	菜が使われた。 「① 「	とでは、	ければ実効性がたことで   ければま物性がたことで   様の   様の   様の   様の   様の   様の   様の   様	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又の内容) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	米・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学校給食への物版の学校給食への物版の期待したたりと下した以とと下した以上となった理理を定ざおりでなかった原の関係ののである。 ない の の の の の の の の の の の の の の の の の の	定した提供の産売所及び生産 動の程度・内: 本の配慮 こ 因> が深められた がの削減対策	ために、必要なり と であった原因〉	<b>y</b> 施
市工化環境への配慮	あるか? (市実施の必要性) 可民の参加や市民との協働を 夫しているか? 体制づくり)	□提供を使生を表す。 □提供をの他 □自治■市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体	ことが定められている  きである により実効性が得られましたにより、良質で要定 しい政策・施策の目標の  D内容  U  Q  現現況当りしている  ■ ② 現現況当の  ■ ② 現現のなどにして  「④ 適等の水流	るした  「データ・事実に基づしてはない。 を対象がある。 実施・ で対象をある。 との他の内容  「大学現性が、値できた。 とのきではない。 とのものではない。 とのものではないのではない。 とのものではないのではない。 とのものではないのではない。 とのものではないのではないのではない。 とのものではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではない	心を高める機会を提供	(と現況値の差)と	菜が使われた。 「① 「	と、N P O ないできない。 1 を では、 1 を	ければま物性がたことで   ければまか性がたことで   様の   様の   様の   様の   様の   様の   様の   様	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 はその内容) 「目標値達成成」 「日標を達成した 会はをこよる食育	米・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学校給食への物版の学校給食への物版の期待にたいました。 大山 上 となった理理 は こう は いい なかった 原 と と いう ない	定した提供の産店・ 内:	ために、必要なり を図り であった原因〉 。 について	<b>y</b> 施
市工化     環境への配慮     効	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を ましているか? 本制づくり)  は境に配慮して事業を進めて るか?  1)目標設定は適切か?	□提供の他 □自治量 □ 中市 対	で体が市が進場では、	ことが定められている  きである ことり実効性が得られている  とにより実効性が得られている  とにより、良質で関係の  の内容  の内容  の内容  のの内容  ののの内容  のの内容  ののののの内容  のののののののの	るした  「データ・事実に基づしてはない。 を対象がある。 実施・ で対象をある。 との他の内容  「大学現性が、値できた。 とのきではない。 とのものではない。 とのものではないのではない。 とのものではないのではない。 とのものではないのではない。 とのものではないのではないのではない。 とのものではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではない	心を高める機会を提供・   工夫の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  ではない  交対象例における目標値  予定の対策  □⑤ PFI等民間:	(と現況値の差)と	菜が使われた。 □①民間では、 □②の市が生たされた。 □③のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □④のでは、 □~ので	と、N P O ないできない。 1 を では、 1 を	(ければで) (ければ で) (ければ で) (ければ で) (は で) (ければ で) (な で) ( で) ( で) ( で) ( で) ( で) ( で)	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ② (又は今後、 よその内容) ③ (2)目標を達成る食 ※養士に食う ※養士による食 (1)目標を達成る食 ※養士に食う ※養士に表すまままます。 ③ (2)根において、 ※養生は、 (2)根にないでは、 (3)は、 (4)は、 (5)は、 (5)は、 (6)は、 (6)は、 (7)は、 (7)は、 (7)は、 (8)は、 (9)は、 (9)は、 (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は	米・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学校給食への安販 の学校給食への安販 の財物等したたとおり の期待したたと下 た以上となった理 環境 定定どおりでなかった原 成とより によよりでなかった原 の関 へにより のでなかった原 の関 へにより のでなかった原 の関 へにより のでなかった原	定売所及び生産 一大提供供産産・内:  ・内:  ・内:  ・内:  ・内:  ・内:  ・内:  ・内:	ために、必要なり という であった原因〉	<b>y</b> 施
市工化     環境への配慮     効率	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 体制づくり)	□提供主他 □ (理由) ■ 市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体が市が進場では、	ことが定められている  きである により実効性が得らな とにより、 施策の目標の  の内容  の内容  の内容  ので現況に当ちる  のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	るした <その他の内容 :	心を高める機会を提供	(と現況値の差)と	菜が使われた。 東流では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	とではない。 ・ 「 を	(ければで) (ければで) (ければで) (大にはで) (大にはで) (大にはで) (大にない) (大にな	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ② (又は今後、 よその内容) ③ (2)目標を達成る食 ※養士に食う ※養士による食 (1)目標を達成る食 ※養士に食う ※養士に表すまままます。 ③ (2)根において、 ※養生は、 (2)根にないでは、 (3)は、 (4)は、 (5)は、 (5)は、 (6)は、 (6)は、 (7)は、 (7)は、 (7)は、 (8)は、 (9)は、 (9)は、 (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は	米・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学校給食へを物版の学校給食へを物版の期待もしたと下の場合では、というでは、100円の期待をしたというでは、100円の期待をしたというでは、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係には、100	定売所 動 由 へ こ 因 が 深のどど であめの 副おお きのい かい で のい はん 大 策の と で で かめの はん な な で かめの はん な で かめの はん な で かめの はん な な かめの はん な な かめの はん な な かめの はん な な な かめの はん な な な な な な な な な な な な な な な な な な	た者と連携を図り を要図り であった原因> 。 について かった。 たのかた。 たのがた。 とのがた。 たのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。	<b> </b>
市工化     環境への配慮     効率	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を ましているか? 本制づくり)  は境に配慮して事業を進めて るか?  1)目標設定は適切か?	□提供をの他 ○②自治■ □市・サーボッスの他 □中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体が直接のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	こことが定められている  きである により実効性が得らなった。 とによりり、施策の目標の しとによりり、応策の の内容 のの内容 ののででは、 ののでは、 のので	るした <その他の内容 :	心を高める機会を提供	(と現況値の差)と	菜が使われた。 東流では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	とではない。 ・ 「 を	(ければで) (ければで) (ければで) (大にはで) (大にはで) (大にはで) (大にない) (大にな	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ② (又は今後、 よその内容) ③ (2)目標を達成る食 ※養士に食う ※養士による食 (1)目標を達成る食 ※養士に食う ※養士に表すまままます。 ③ (2)根において、 ※養生は、 (2)根にないでは、 (3)は、 (4)は、 (5)は、 (5)は、 (6)は、 (6)は、 (7)は、 (7)は、 (7)は、 (8)は、 (9)は、 (9)は、 (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は (1)は	米・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学校給食へ産物版の学校給食へ産物版の期待もたたりによりでなかった。 「「「」」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	定売所 動 由 へ B と	た者と連携を図り を要図り であった原因> 。 について かった。 たのかた。 たのがた。 とのがた。 たのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。 とのがた。	<b> </b>
市工化     環境への配慮     効率	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を ましているか? 本制づくり)  は境に配慮して事業を進めて るか?  1)目標設定は適切か?	□提供の他  ②自治■□市中が現の他  ○①事業業実・のでは、 ○②ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○○のでは、	で体が市が市で、 で体が市が市で、 で体が市で、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	ことが定められている  きである ことり実効性が得らなことにより実効性が得らなことにより、 り政策・施策の目標の  の内容  の内容  の内容  の内容  の内容  のの内容	るした <その他の内容 :	心を高める機会を提供・   工夫の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  ではない  交対象例における目標値  予定の対策  □⑤PFI等民間 □⑥受益の他	(と現況値の差)と	菜が使われた。 東流では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	R   P   P   P   P   P   P   P   P   P	ければで、 ければで、 大には、 大には、 大には、 大には、 大には、 大には、 大には、 大にないでは、 、 大にないでは、 大にないでは、 大にないでは、 大にないでは、 大にないでは、 、 大にないでは、 はいないないでは、 はいないないでは、 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 まその内容) (日間標準 達成る はで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	<ul> <li>** * * * * * * * * * * * * * * * * * *</li></ul>	の学機協や機関を が別期待に持います。 を定定とよりでなかった原の を定定とよりでなかった原のの事前によりでなかった。 では、よとよりでなかった原ののようでは、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b> ○● ■ ○● ■ ○● ■ ○● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
市工化     環境への配慮     効率性       (1)     (2)	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 法しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて のるか? 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか? 3)目標値を実現する為に	□提供の他  ②自治■□市中が現の他  ○①事業業実・のでは、 ○②ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○○のでは、	で体	ことが定められている  ***********************************	マその他の内容:    マータ・現価ののでは、	心を高める機会を提供	(と現況値の差)と         資本の活用       9	菜①(東海 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	R P O なっ ・	(ければま) では、 (ければな) では、 には、ないでは、 には、ないでは、 には、ないでは、 には、ないでは、 には、ないでは、 には、ないでは、 には、ないでは、 には、ないでは、 は、ないで	なかった 音及が一層 現に貢献した れた (又の内容) (マ	<ul> <li>**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の学校給食へを物版の学校給食へを物版の期待もしたと下の場合では、というでは、100円の期待をしたというでは、100円の期待をしたというでは、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係では、100円の関係には、100	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b> ○● ■ ○● ■ ○● ■ ○● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
市工化     環境への配慮     効率性       (1)     (2)	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり) は境に配慮して事業を進めているか? 1)目標設定は適切か?	□提供の他  ②自治■□市中が現の他  ○①事業業実・のでは、 ○②ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○③ののでは、 ○○のでは、	で体	ことが定められている  ***********************************	るした    その他の内容:   である   である   である   である   である   実施である   実施である   実施である   である	心を高める機会を提供・  工夫の具体的な内容  工夫の具体的な内容  取組む内容  当性のチェック  安定しているでいな対象例における目標値  予定の対策  □⑤PFI等民間 □⑥その他  計算方法	くと現況値の差)と	菜(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<ul> <li>と POはつ・ F確供</li> <li></li></ul>	(ければで) (ければ 実効性が たことで は 実効性が たことで は 深の 市 標 に ない は ない	なかった 音及が一層 現に貢献した れた ② (マの内容) ③ (マの内容) ③ (マの内容) ③ (日標を達成る) ※ (本表 ) ③ (国標本) ② (国標本) ※ (本表 ) ③ (国標本) ② (国標本) ※ (本表 ) ③ (国標本) ③ (国標本) ※ (国標本) ③ (国標本) ※ (国標本) ③ (国標本) ※ (国標本) ③ (国標本) ④ (国標本) ④ (国標本) ④ (国間標本) ④ (国間標本) ④ (国間標本) ⑥ (国間標本) ⑥ (国間標本) ⑥ (国間標本) ⑥ (国間相) ⑥ (国 (国 (un) ⑥ (un) ⑥ (un) ⑥ (un) ⑥ (un) ⑥ (un) ⑥ (un) ⑥ (un) ⑥	<ul> <li>**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の学機協や機関を が別期待に持います。 を定定とよりでなかった原の を定定とよりでなかった原のの事前によりでなかった。 では、よとよりでなかった原ののようでは、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b> ○● ■ ○● ■ ○● ■ ○● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
市工化     環境への配慮     効率性       (3)	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を こ夫しているか? 本制づくり) はこ配慮して事業を進めて であか? 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか? 3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	□提供をの他 ②自治■□市中が現の他 □中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で体	ことが定められている  ***********************************	るした    その他の内容:   である   である   である   である   である   実施である   実施である   実施である   である	心を高める機会を提供できる。  小を高める機会を提供できます。  当性のチェック 受定しているではない で対象例における目標値ではないでする。   日標値でする。   日本値でする。   日本値でする。	くと現況値の差)と	菜①(東海 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	<ul> <li>と POはつ・ F確供</li> <li></li></ul>	(ければまが性がたことでは、 施策の市場では、 施策でのは、 施保された。 施保された。 施保された。 施保された。 施保された。 施保された。 を保持をは、 のの、 のの	なかった 音及が一層 現に貢献した れた (又の内容) (でする) (	<ul> <li>**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の学機協や機関を が別期待に持います。 を定定とよりでなかった原の を定定とよりでなかった原のの事前によりでなかった。 では、よとよりでなかった原ののようでは、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b>
市工化     環境への配慮     効率性       3.	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 法しているか? 体制づくり) は は は は は の の の が の は の は の は の の の は の の の の の の の の の の の の の	□提供をの他  ②自治■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体	により をである により によりり、 によりり、 によりり、 になりり、 になりり、 になりり、 になりり、 になりり、 になりの内容 のの内容 のの内容 のの内容 のののでは、 ののでは、 のの	マイマの他の内容:  「一タ・現性のできましいはない。 本事実に起いない。 本事実に起いない。 を表すが有る場合では、比較である。  「大きがかする。  「大きがかする。  「大きがかする。  「大きがいがする。  「大きがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがい	心を高める機会を提供	(と現況値の差)と 資本の活用  雲費費用単位/事業費	菜(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<ul> <li>と POはつ・ F確供</li> <li></li></ul>	(ければで) (ければ 実効性が たことで は 実効性が たことで は 深の 市 標 に ない は ない	なかった 音及が一層 現に貢献した れた (又の内容) (でする) (	<ul> <li>**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の学機協や機関を が別期待に持います。 を定定とよりでなかった原の を定定とよりでなかった原のの事前によりでなかった。 では、よとよりでなかった原ののようでは、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b>
市工作     環境への配慮     効率性       3.	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を こ夫しているか? 本制づくり) はこ配慮して事業を進めて であか? 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか? 3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	□提供をの他  ②自治■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体	ことが定められている  ***********************************	るした    その他の内容:   である   である   である   である   である   実施である   実施である   実施である   である	心を高める機会を提供できる。  小を高める機会を提供できます。  当性のチェック 受定しているではない で対象例における目標値ではないでする。   日標値でする。   日本値でする。   日本値でする。	(と現況値の差)と 資本の活用  雲費費用単位/事業費	菜(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<ul> <li>と POはつ・ F確供</li> <li></li></ul>	(ければで) (ければ 実効性が たことで は 実効性が たことで は 深の 市 標 に ない は ない	なかった で	<ul> <li>**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	の「大学院協・では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b>
協働の工夫 環境への配慮 効率性 3 • 現 · 3 • 現 · 3 • 3 • 3 • 3 • 3 • 3 • 3 • 3 • 3 • 3	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 法しているか? 体制づくり) は は は は は の の の が の は の は の は の の の は の の の の の の の の の の の の の	□提供をの他 ②自治■□市中が現の他 □中のである主実にできなが、□マのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	で体 で	にことが定められている  ***********************************	マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・	心を高める機会を提供できる。  大きの具体的な内容   本当性のチェック   受定しているではない。	(と現況値の差)と 資本の活用  雲費費用単位/事業費	菜(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<ul> <li>と POはつ・ F確供</li> <li></li></ul>	(ければで) (ければ 実効性が たことで は 実効性が たことで は 深の 市 標 に ない は ない	なかった で	<ul> <li>**措し</li> <li>○ ① ② ③ 特</li> <li>○ ○ 初期特</li> <li>○ ② 想定</li> <li>○ 本発性</li> <li>○ 本発性</li></ul>	の「大学院協・では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b>
・ 協働の工夫 環境への配慮 効 率 性 3 · 現 ·	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 法人しているか? は制づくり)  「民の参加や市民との協働を 法人はでいるか? は対づくり)  「民の参加や市民との協働を は本制づくり)  「民の参加や市民との協働を は本制づくり)  「民の参加や市民との協働を は本制でもいるか?  「日標設定は適切か?  「日標設定は適切か?  「日標対費用)  「日標対費用)  「日標対費用)  「日標対費用)  「日標が表して  「日標対費用)  「日標対費用)	□提供をの他 ②自治■□市中が現の他 □中のである主実にできなが、□マのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	で体 で	にことが定められている  ***********************************	マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・	心を高める機会を提供できる。  大きの具体的な内容   本当性のチェック   受定しているではない。	(と現況値の差)と 資本の活用  雲費費用単位/事業費	菜(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<ul> <li>と POはつ・ F確供</li> <li></li></ul>	(ければで) (ければ 実効性が たことで は 実効性が たことで は 深の 市 標 に ない は ない	なかった で	<ul> <li>**措し</li> <li>○ ① ② ③ 特</li> <li>○ ○ 初期特</li> <li>○ ② 想定</li> <li>○ 本発性</li> <li>○ 本発性</li></ul>	の「大学院協・では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	定売所 動の 由 / へ と 因 か で かのの か で かのの で かっの で かっの で かっの で かっの で かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか	た者と を を を を を の に か た に か た に か た に か た に か た に の の た に の の の の の の の の の の の の の	<b>実施</b>

様式 	第3号 ———————						<b>事務事</b>	·	表(令和 ————	] 2:	牛皮.	<i>)</i>									
事	業コード	1034			課コード		1502		会計租	割	一般会	計			予算	すの種類		〕政策		経常	□なし
1.	事業の概要(PLAN)																				
		①事業名		学校におけ								一直への		有 〇無		②部:	果名	教育総	答部・5	学校教育課	
		③事業主体	個別事業	学校の環境 〇その他						,	4)対象地	置づけ  b 区	□我孫子	口天王台	□湖北	Г	□新木	□布佐		■全市	
(4) <del>-</del>	ally log TT	⑤事業期間	J.112	0 (0)15		~					⑥担当職				3 人		型型(1) 與算人数		0	). 5 人)	
(1) 事	業概要	⑦事業費	総事業費			75,516 千円					当該(開	開始)年度	(当 初)		23,094 千円		うち人件費			850 千円)	
		(人件費含む)											(変更後)		24,324 千円	1	うち人件費		4, 3	350 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		52104	]	重点プロジェクト への位置づけ		重点4			画地区別 )位置づけ		O有 ●無			別計画への 立置づけ	(計画名	i)		
(2) 目	的	施策目的・			教育・学習環境: 教育機器などの		校舎等の老朽対策	やICT機器	・備品の更新を乳	施す	事業	———— €目的	学校において てその改善を	、換気、採光、	照明及び保温	を適切し	こ行い、清潔	を保つ等	環境衛	生の維持に努	め、必要に応
(=/ ==		展開方向					示された環境の維	持と必要に応	*適切な改善を行	テうな				、二酸化炭素核	a杏 (年間) 塩	麦減菌	維管理委託・	<b>交</b>	(随時	<ol> <li>学校衛生</li> </ol>	用品消耗品配:
(3)事	業内容	内 容	どの事後指 感染症・素 放射線量の ジで公表す 児童生徒が	措置を講じる 熱中症予防対 D測定を校庭 ける。 バ安全に通学	。 策として消毒液 <sup>。</sup> 5ヶ所の定点測況	や経口補水液等 定と、学校敷地 要に応じて通学	を配布して対応を 内の空間放射線量 路に関係する機関	図る。 を測定・確認	し、結果をホー <i>』</i>		執行 ———— 当該	核年度	(年間)、廃 剤師による定 の維持、改善	東文書処理委託 期検査・学校職 の措置を講じる 査の基準値内校	E (7月) 、通学 銭員による日常 。放射線量測	学路標示 点検・・	·板管理委託、 一部民間委託	その他権 必要に 格の点検	対木消報 応じ施 (年間)	・害虫駆除・ きまり できまり きょう	等、(各学校薬 修繕等環境衛 1
(4) 诗	成目標(期待する成果)				達成日本	標(期待する成果	E)					表担信  標種類			指標			ì	単位	(5) 現況値	(6)目標値
	該年度	基準値内をめざす			建灰口!	* (1010 ) *O100.7*	K)					*************************************	基準値内校/	全19校	1日 7水			_	%	53	
—— 会		基準値内をめざす											基準値内校/1	全19校					%		10
	和 4年度	基準値内をめざす									-	 [接	基準値内校/	全19校				-+	%		100
												-1×				Τ					
(7)事	業実施上の課題と対応										代替到	案検討		O有 ●無							
			平成31	年度				令和 2年度				. :	令	和 3年度			:		令和 4	年度	1
		束:	内 容		金額(千円)	政策	内 容		予算額(千円)		3	<b>表</b> :	内	容	金額(千円	策		内	容		金額(千円)
		学校薬剤師報酬 学校薬剤師報償			2, 280 357				2, 280 532		2, 280 520	学校薬3	削師報酬 削師報償費			532	· 学校薬剤師 · 学校薬剤師				2, 280 532
(8) 旃	実施内容	消耗品 塩素滅菌機等修 飲料水水質検査 樹木管理等委訂 医薬材料費	E等手数料		7, 345 461 1, 450 5, 104 149	塩素滅菌核 医薬材水型 飲料木管理 学校衛生 環境衛生	費 質検査等手数料 等委託料 室備品購入費 業務を行う会計年原	度任用職員	7, 932 400 151 1, 137 5, 352 213		7, 872 183 100 227 3, 839 198	医薬材物 飲料水源 樹木管 環境衛星	菌機等修繕料 料費 水質検査等手数 理等委託料	料 計年度任用職員	1, 5,	932 400 151 137 352 747	消耗品 塩素減材料 医薬材水水質 飲料木管理等 環境衛生業 2491千円×	検査等手 検査等手 委託料 務を行う	数料	度任用職員	7, 932 400 151 1, 137 5, 352
	费用					(非接触型	×U.3人 室備品購入費 型体温計・補正予9 (予備費対応)	算)	747 502 728		747 469 486										
	予算(決算)額	4	計		17, 146		合 計		19, 974	1	16, 921	<u> </u>	合 計	-	18	531	<u> </u>	合	計		18, 531
	国庫支出金県支出金	補助率補助率		0 % 0 %	0	補助率		0 % 0 %	0		0	補助率		0 % 0 %	12,	0	補助率			0 % 0 %	C
(9) 財	起債	充当率		0 %	0	充当率		0 %	0	-	0	充当率		0 %	10	0	充当率			0 %	C
	その他の財源	□特会 □受益	立 金基口 益	その他	17, 146 0	□特会	□受益 □基金 □	その他	19, 974	1	16, 921	□特会	会 □受益 □基	金 口その他	18,	0	□特会□	□受益 □	基金 □	その他	18, 531 C
(10)	換算人数(人) 正職員人件費				0. 5 4, 400				0. 5 4, 350		0. 5 4, 350					0. 5 350					0. 5 4, 350
(10).	ペーラマ 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0				0		0					0					0
	:(予算(決算)額+正職員人件費) 単位費用		1, 134千1	m /++	21, 546		1, 280. 21 <del> </del>	·m /#	24, 324		21, 271				22,	881					22, 881
	事業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK	<u> </u>	1, 104   1	17 10			1, 200. 21 1	11/ 12		1, 1	119. 55										
۷.		J				4				П			÷	- Im (== im (+ 1)			// <del></del> / A				
	評価項目	児童生徒・教職員	の健康保持の	ひため 学校		前 評 価	: 晋倍衛生給杏を宝	施」 結里に	よって事後措置	<b>●</b> ①	事前確認	での想定		· 価(評価結身	そに応じ、改善	条検討	(拡充も含む	( (			改善検討
	(1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	や改善を図る必要		7/200° <del>7</del> 12	· 体性女王凶[-/戏]	EC10/2. 71x	<b>林光用工</b> 权且 C 大	がして、「「日本」に	6.7℃平区沿巨	<想5	事前確認定どおり	での想定	どおりでなかっ I/想定どおり	たでなかった原因	>						○要 ●不要
必要性	(2) 市が実施する必要性は	○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主付 □その他	で市が実施す体が市しかな	することが定 ない		<その他の内				■2 □3 □4	市が主導 市が先導 促進され 市の支援	∮で進めなけ ∮役となっ; ≀た	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	普及が一層			体的な内容・ あり、学校設			実施する必要	· があ 〇要
	あるか? (市実施の必要性)	(理由) ■市が主 □市が実 サービ □市が支	導で進めるこ 施・提供する スが保証され 援することに 図られる	ことにより実 ることにより ıる	効性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の					□ <b>6</b>		の安定供	給基盤が確保さ	<i>ht</i> :							●不要
		こくの世	参加・協	動の内容			工夫の具体	本的な内容					動の具体的な内 えられる場合に				参加・協	働の程度	・内容		
協   .	市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	市民の参画 市民の参画 な活動と連	有り 有り 携している							<i>-</i>	<i></i>			●② ½ ○③ ½	当初期代 当初の期	けした以上 けしたとおり 明待以下 上となった理	由/期待	以下で	あった原因>	 ○要 ●不要
夫		<その他の内容> 該当なし				-1				1											
			配慮の	\相 <b>上</b>			取組も	\d				pipe d *	<b>ンた具体的な内</b>	sto .				意への配慮	b		
	環境に配慮して事業を進めて いるか?	□①自然環境を生 □②生き物と共 □③生き物と大 □③手賀沼を意論 ■④環境負荷低減 □⑤その他	Eかしている すしている 成している ぱに貢献して			剤を使用して	別税を の排水については、 て生放流。また、ご 変循環して、環境負	下水処理状況	<b>Eにまくときは、</b>	プー <i>)</i>	ルの排水の			7.7	02			t	1		〇 要 ● 不要
														<b>I A</b> ⊕DJ=E-	表式						
	(1) 目標設定は適切か?	現況値(a)(%)	目標値(b		□②現況値と比べ □③現況値との差	-タ・事実に基つ 実現性が乏しい が小さい値では †象が有る場合、			見況値の差)と	実統	責値 (f) (% 100		達成率(%) (f/b×100)								—— ○要 ●不要
効率性	(2)事業費削減の工夫をして いるか?	対策実施によ 事業費(c)(千円) 24,324 事業費削	る事業費削 事業費削 (千円 公2,7 川減率(%)	喊額(d) 月) □	同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 削減の内容>	) 関度活用 対応	実施予定の対策 □⑤PF □⑥受益 □⑦その		の活用	<超)	値(g)(千 21,271 過理由等2 樹木消毒[	> <del></del>	対事業費(%) (g/c)×100 87.45 可見込みを下回	○③想定事	定事業費以内		事業 ●①事前の想 ○②事前の想 想定どおり削	定どおり	でなか	った	○要●不要
	(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)		2.89 目標値対事	業費 (e) 単位 %			計算方 指標:目標値×費用 D指標:(目標値一:	単位/事業費		実	<b>実績値(h)</b> 0.47		寸目標値 (%) (h/e) × 100 114. 63	●①目標値 ○②目標値 ○③目標値	と同程度 特(		以上となった 肖毒回数が当			下であった原 った	因> ○要 ●不要
3.	事後評価																				
•	現状どおり推進 O拡充	〇縮小	〇結合	〇休止		〇事業手法見直	し 〇その他	(事業完了など	)												
評 ;	去令に規定があり、校内環境	#持のために必要な	事業であるこ	評価コメ ことから、現		<del></del>								改	善策及び展開方	向					
価																					

事業	業コード			am .v											
	ξ-1 I'	1035		課コード	1502	会計科	別 一般	会計			予算の	)種類 ■	■政策	■経常	□なし
1. 3	事業の概要(PLAN)														
		() <b>5</b> # <b>4</b>	基本事業				実施	計画への		± 0 #		○ ±0=# 47	****	***	
		①事業名	個別事業 小中	学校管理運営事業				置づけ	•	有 〇無	(	②部課名	教育総務部	・学校教育課	
		③事業主体	●市 O	その他(	0.5		) ④対象		□我孫子	□天王台	口湖北	□新木	口布佐	■全市	
(1)事業	<b></b>	⑤事業期間		节和	3年度 ~		6担当	<b>職員数</b>	(当 初)	358	5 人	(換算人数 (うち人件費	2:	2.6 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(	(開始)年度	(変更後)		,736 千円	(うち人件費		2,620 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	52104	重点プロジェクト	重点 4		計画地区別		····································		部門別計画への	(計画名)		
		の肥果の位置の行	コード		への位置づけ			の位置づけ			まのマケケ田	位置づけ		エトマ体おにナ	岡川 旧幸生
(2)目的	গ	施策目的 · 展開方向			をつくるため、校舎等の老朽対策 <sup>。</sup> 整備・充実に努めます。	♡ I C I 機器・順品の更新でき		業目的	の学習環境の	19校の学校運営 整備を行う。	(のア昇官理	を一拍で打い事務	00301416√16	正はア昇執行を	凶り、児里生1
					くため必要な光熱水費や消耗品等	学校運営経費全般の予算管理	(予算			校19校の予算管理					
			の執行や伝票作	成など庶務的事務全般	)を行う。		当	i該年度	・経費削減の	ためプール施設の』	民間委託を試	行する。また、ブ	ール施設の共	同利用の検討を	行う。
(3)事業	<b>上</b> 上 上 上	内容					執	行計画							
									適正な執行を	行っている学校数				相中族	19
								i該年度 i結果指標	地正な林川と	11260.071030			単位	校実績値	19
(4)達成	或目標(期待する成果)			達成目	標(期待する成果)		指	標種類			標		単位	(5)現況値	(6)目標値
当該	<b>該年度</b>	予算の適正執行を	通じ、学習環境を	整備する。				直接	予算執行率				%	100	100
令和	和 3年度	予算の適正執行を	通じ、学習環境を	整備する。				直接	予算執行率				%		100
令和		予算の適正執行を	通じ、学習環境を	整備する。				直接	予算執行率				%		100
(7)事業	<b>業実施上の課題と対応</b>						代	替案検討	C	9有 ●無					
			平成31年度			令和 2年度	•		令	和 3年度	•		令和	4年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内	\$	金額(千円)	政策	内 容		金額(千円)
			営事業(消耗品・対 営事業(消耗品・対				169, 271 92, 440			消耗品・光熱水費 消耗品・光熱水費	215, 50 119, 47			耗品・光熱水 耗品・光熱水費	215, 504 119, 476
					* 校外学習用AEDレンタル料	119	14	校外学	習用AEDレン	タル料	11	9 校外学習用	AEDレンタ	ル料	119
					【プール施設】			r →	ル施設】			【プール施	:≣ <b>⊕</b> ]		
	<b>**</b>				民間活用・共同利用等の検討		^	民間活用	用・共同利用等	の検討・決定	^^	民間活用・	共同利用等の	検討・決定	00.
(8) 施行	実施内容 実施内容				* 水泳指導委託料	991	0	* 水泳指導		10.3	99	1 * 水泳指導委			991
	費 用				【布佐中学校区学校施設】 * 学校施設の在り方等検討	0	0		中学校区学校施 設の在り方等検			【布佐中学 0 * 基本計画・	校区学校施設 基本設計委託		c
					【学校保健特別対策事業補助	    金関連】									
					予備費 ・小学校新型コロナウイルス感		9, 845								
					対策用消耗品費 中学校新型コロナウイルス原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4. 389								
					対策用消耗品	20	1, 000								
	予算(決算)額		s 計	316, 207	合 計	336, 116	275, 959		合 計		336. 09		合 計		336, 090
	国庫支出金	補助率	0 (	% 0	補助率	0 % 0	0	補助率		0 %		0 補助率		0 %	C
(9) 財源	県支出金 起債	補助率 充当率	0 0	% 0	充当率	0 % 0 0 % 0	0	補助率 充当率		0 % 0 %		0 充当率		0 %	C
(0) 141 111	その他の財源	□特会 □受	益 □基金 □その		□特会 □受益 □基金 □		275, 959 0	□特会	会 口受益 口基金	金 □その他		0 □特会 □	□受益 □基金	□その他	336, 090 0
(10)	換算人数(人) 正職員人件費			2. 6 22, 880		2. 6 22, 620	2. 6 22, 620				2. 22, 62				2. 6 22, 620
(10) 人	照託職員報酬額 臨時職員賃金額			0		0	0					0			C
事業費( <del>-</del> (11)単	予算(決算)額+正職員人件費) 位費用		.=	339, 087		358, 736	298, 579				358, 71	0			358, 710
(事	事業費/活動結果指標)		17,846.68千円/	<b>/校</b>	18, 880. 84千	·H/校	15, 714. 68								
2. 4	事業の評価(D0+CHECK	)					<u> </u>								
	評価項目	<b>学社の記案本し</b>	1			- プレゼウ L M 第マウミか		認での想定の		価(評価結果に	むじ、改善案 	検討(拡充も含む	;) )		改善検討
(1)	) 古光だ人 2 五マセフ四十				な管理運営事業、児童生徒の学習: 水費などの学校管理全般を担う。	――<に対心し大過で女心な			どおりでなかっ	<i>t</i> =					〇要
(1)	)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)						く想定どおり			なかった原因>					—— ○安 ●不要
									#を一括官埋し、	過止かり、効果的					
必			+004	tota and the particular and the second	(7.0/h,0.4m)		小中学校19村	*	<b>土口□屮炊</b> ~	11			X = 4 0 70 +		
要		(理由) □法令等	で市が実施するこ	等では実施できない ことが定められている	<その他の内容>		小中学校19村 ■①民間企 □②市が主	導で進めなり	ければ実効性が		と一く市実施	の具体的な内容・ 管理を行っている		1>	
性 (2)	\ .	(理由) □法令等	で市が実施するこ 体が市しかない		<その他の内容>		小中学校19村 ■①民間企 □②市が主 □③市が先 促進さ	導で進めな! 導役となっ! れた	ければ実効性が たことで市民へ	なかった 普及が一層	と一く市実施	の具体的な内容・		ı>	
	2) 市が実施する必要性は	(理由) □法令等 □提供主 □その他	で市が実施するこ 体が市しかない	とが定められている	<その他の内容>		小中学校194 ■①民間企 □②市が主 □③市が先 促進さ □④市の支	導で進めな! 導役となっ! れた	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	なかった 普及が一層	と一く市実施	の具体的な内容・		i>	〇要
	?) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主	で市が実施するこ 体が市しかない る市が推進すべきで 導で進めることに	とが定められている	<その他の内容>		小中学校194 ■①民間企 □②市が主 □③市が先 促進さ □③ホケービ	導で進めない 導役となった れた 接が政策・ だス水準が確 で で、この安定供	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	なかった 普及が一層 現に貢献した	と一く市実施	の具体的な内容・		>	○要
	あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ■②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 サービ	で市が実施するこ 体が市しかない 5市が推進すべきで 導で進めること が保証される スが保証される	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し	<その他の内容>		小中学校194 ■①民間企 □②市が主 □③市が先 促進さ □⑤サービ	導で進めない 導役となった れた 援が政策・ ズス水準が確信 である である である である である。 である である。 である。 である。	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	なかった 普及が一層 現に貢献した	と一く市実施	の具体的な内容・		1>	
	あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ■②自治体である (理由) ■市が主 □市が主 サービ支 実現が	で体が実施すない あ市が推進めずこことは いき時にないで、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	とが定められている である :より実効性が得られる	<その他の内容>		小中学校19材 ■①民市が追さ □②市が進さ □④ホサービ □⑥サービ □⑦その他	導で進めない 導役となった れた 援が政策・ ズス水準が確信 である である である である である。 である である。 である。 である。	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	なかった 普及が一層 現に貢献した	と一く市実施	の具体的な内容・		>	
	あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主 □市が実 □市が支	で体が実施すない あ市が推進めずこことは いき時にないで、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容>	的な内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②市市市保 ロ③のサーローローのである。 □のではでする。 □のではでする。 □のではでする。 □のではでする。 □のではできる。 □のできる。 ○のできる。 □のでき。 □のできる。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □のでき。 □ので。 □ので。 □ので。 ○ので。 □ので。 □ので。 ○ので。 ○ので。 ○ので。 ○ので。 ○ので。 ○ので。 ○ので。 ○	導導となって 連導となって はないで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ 動の具体的な内羽	なかった 普及が一層 現に貢献した れた	と一く市実施	の具体的な内容・ 管理を行っている			
<b>参</b>	あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ■②自治体である (理由) ■市が主 □市が主 □市がま □市の根 □その他 ○①1事業計画時に	で体が実施するこ 体が市で進進すべきに を専施・提供証さとに 表帯が推進るすること 提供証さとに と接致 参加・協働のの で市民の参画有り	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た	:的な内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導となって 連導となって はないで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	ければ実効性がたことで市民へ施策の目標の実保された 総基盤が確保さ	なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施市で予算	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待した以上	<i>t</i> =&0.		
	あるか?	(理由) □法保集主 □法保集主 □ とは提供主 □ を である (理由) ■ 市が主 □ 市が主 □ 市が主 □ でする。 である。 である。 である。 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	で体が市にない さい さい で体が市が 実い かっこく いっこく いっこく はい はい かっこく はい はい かっかい はい はい かっかい はい はい かっかい はい はい かっかい はい	とが定められている である より実効性が得られる。 により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た	がな内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導となって 連導となって はないで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ 動の具体的な内羽	なかった 普及が一層 現に貢献した れた	で予算 市で予算 ○①当名	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協	<i>t</i> =&0.		●不要
・市	あるか? (市実施の必要性)	(理由) □ は	で体が市が実しか では かっぱい では がましか すっこって が 進め すっこって が 進め すっこって が が 進め すっこって いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	とが定められている である より実効性が得られる。 により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た	的な内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導となって 連導となって はないで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ 動の具体的な内羽	なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市で予算 ○①当者 ●②当者 ○③当者	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり	<b>他の程度・内</b>	容	●不要 ○ ○ ○ ○
・市	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	(理由) □法条件主他 □法提供の他 □法提供の他 □法提供の他 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体が市が実しか では かっぱい では がましか すっこって が 進め すっこって が 進め すっこって が が 進め すっこって いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	とが定められている である より実効性が得られる。 により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た	的な内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導となって 連導となって はないで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ 動の具体的な内羽	なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市で予算 ○①当者 ●②当者 ○③当者	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下	<b>他の程度・内</b>	容	●不要 ○ ○ ○ ○
・市	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	(理由) □ は	で体が市が実しか では かっぱい では がましか すっこって が 進め すっこって が 進め すっこって が が 進め すっこって いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	とが定められている である より実効性が得られる。 により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た	的な内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導となって 連導となって はないで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ 動の具体的な内羽	なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市で予算 ○①当者 ●②当者 ○③当者	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下	<b>他の程度・内</b>	容	●不要 ○ ○ ○ ○
・市	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	(理由) □ は	で体が市が実しか では かっぱい では がましか すっこって が 進め すっこって が 進め すっこって が が 進め すっこって いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た		小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導化 を ・	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 統集整盤が確保さ 動の具体的な内 えられる場合に「	なかった 普及が一層 関に貢献した れた  タ(又は今後、 はその内容)	た <市実施 市で予算 ○①当者 ●②当者 ○③当者	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待したとおり 別の期待したとおり のの期待した た以上となった理	<b>他の程度・内</b>	容	●不要 ○ ○ ○ ○
・市	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	(理由) □ は	で体が市が市が推進のするこので体がでは、	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た 工夫の具体		小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導化 を ・	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 給基盤が確保さ 動の具体的な内羽	なかった 普及が一層 関に貢献した れた  タ(又は今後、 はその内容)	<ul> <li>&lt;市実施市で予算</li> <li>○①①当者</li> <li>○②③当者</li> <li>&lt;期待し</li> <li>●①想知</li> </ul>	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待したとより のの期待以下 た以上となった理 定どおり	働の程度・内 由/期待以下 もへの配慮	容	●不要 ○ ○ ○ ○
・協働の工夫	あるか? (市実施の必要性) 「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体がました。 はいます では、	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た 工夫の具体		小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導化 を ・	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 統集整盤が確保さ 動の具体的な内 えられる場合に「	なかった 普及が一層 関に貢献した れた  タ(又は今後、 はその内容)	(市実施市で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示である。) (1) 当者者者 (2) 当者者者 (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	の具体的な内容・管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下 た以上となった理 環境 をどおりでなかった	働の程度・内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容	●不要 ○ 要 ● 不要
・協働の工夫	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか?	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体がました。 はいます では、	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た 工夫の具体		小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導化 を ・	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 統集整盤が確保さ 動の具体的な内 えられる場合に「	なかった 普及が一層 関に貢献した れた  タ(又は今後、 はその内容)	(市実施市で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示である。) (1) 当者者者 (2) 当者者者 (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	の具体的な内容・ 管理を行っている 参加・協 の期待したとより のの期待以下 た以上となった理 定どおり	働の程度・内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容	●不要 ○ ○ ○ ○
・協働の工夫 環	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体がするれる。 おきでは、 はいます では、 ない で はいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た 工夫の具体		小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導化 を ・	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 統集整盤が確保さ 動の具体的な内 えられる場合に「	なかった 普及が一層 関に貢献した れた  タ(又は今後、 はその内容)	(市実施市で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示である。) (1) 当者者者 (2) 当者者者 (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	の具体的な内容・管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下 た以上となった理 環境 をどおりでなかった	働の程度・内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容	● 不要 O 要要要
・協働の工夫	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体がするれる。 おきでは、 はいます では、 ない で はいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の	<その他の内容> た 工夫の具体		小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □②ホ市市保 ロ③ホーービ □③ホーービ □②・サーー・ビ □○・マー・ビ ○○・マー ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マー・ビ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○・マ ○○	導導化 を ・	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 保された 統集整盤が確保さ 動の具体的な内 えられる場合に「	なかった 普及が一層 関に貢献した れた  タ(又は今後、 はその内容)	(市実施市で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示で予算を表示である。) (1) 当者者者 (2) 当者者者 (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	の具体的な内容・管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下 た以上となった理 環境 をどおりでなかった	働の程度・内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容	● 不要 O 要要要
・協働の工夫	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体がするれる。 おきでは、 はいます では、 ない で はいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます にいます に	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の 内容	<その他の内容> た 工夫の具体 取組む	内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □③市市市経 □④市中一ビ □③・ササーの他 <その他の「	· 導導化となった。 ・ はでは、 ・ は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ければ実効性がたことで再民へ 施策の目標の実 保された 施保された を保された を保める を関する場合に「	なかった 普及が一層 現に貢献した れた ② (又は今後、 よその内容)	<ul> <li>(市実施市で予算</li> <li>(市で予算</li> <li>(本で予算</li> <li>(本でで予算</li> <li>(本でで予算</li> <li>(本ででのである)</li> <li>(本のでのである)</li> <l< td=""><td>の具体的な内容・管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下 た以上となった理 環境 をどおりでなかった</td><td>働の程度・内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>容</td><td>● 不要 O 要要要</td></l<></ul>	の具体的な内容・管理を行っている 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下 た以上となった理 環境 をどおりでなかった	働の程度・内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容	● 不要 O 要要要
・協働の工夫環境への配慮	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で体が市が市が上進のでは、	とが定められている  である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の  内容  □②現況値と  □②現況値と  □○②現況値と  □○○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○	「大きない」というではない。  「大きない」というでは、「大きない」というできます。  「大きない」というできます。  「おいっとは、「ない」というできます。  「ないっとは、「ない」というできます。  「ないっとは、「ない」というない。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といい。  「ないっとは、「ない」といいますます。  「ないっとは、「ない」といいますます。  「ないっとは、「ない」といいますます。  「ないっとは、「ない」といますます。  「ないっとは、「ない」といいますます。  「ないっとは、「ないい」といいますます。  「ないっとは、「ない」といいますます。  「ないいっとは、「ない」といいますます。  「ないっとは、「ないい」といいますままままままままままままままままままま	内容	小中学校194  ■①民間な□②市市市経 □③市市市経 □④市中一ビ □③・ササーの他 <その他の「	導導化と は となった・ 協働が考え 2 内容を協働が考え 2 内容を は は 状況 2 内容を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	ければ実効性がたことで前民へ 施策の目標の実 保された 総保された 総名基盤が確保さ 動の具体も 動の具な場合に「	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 なる。) (本の内容。) (本の内容。)	(本市実施算 本市で予算 (本市で) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	の具体的な内容・参加・協 が期待したととおりのの以上となった理 をどおりでなかった原	働の程度・内 由/期待以下 をへの配慮 こ	容	● 不 要 要 要 要
・協働の工夫環境への配慮	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で体が市が市で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学	である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の  「国②現況値としの  「図、現現況値としの	マ・事実に基づき設定している	内容	小中学校194 ■① 日前が15年では、日本の一一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の	導導化と は となった・ 協働が考え 2 内容を協働が考え 2 内容を は は 状況 2 内容を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	ければ実効性がたことで前民へ 施策の目標の実 施保された 施保を基盤が確保さい 動の具体を 動の具体を した具体的な内に した具体的な内の した具体のな内の に関係を に関係を に関係を に関係を に関係を に関係を に関係を に関係を	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 なる。) (本の内容。) (本の内容。)	<ul> <li>(市実施事算</li> <li>(市で予算</li> <li>(下で予算</li> <li>(下で予算</li> <li>(本ででありません)</li> <li>(本記が)</li> <li>(本記が)</li></ul>	の具体的な内容・ 参加・協 の期待したしたと の別期待りしたと の別の明神特としたと では、 の別のの別が明神時がです。 ない	働の程度・内 由/期待以下 をへの配慮 こ	容	● 不要 ○ 要要 ● 不 要 要 要 要 要 要 要 ■
・協働の工夫環境への配慮	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で休がません。	である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の  「国②現況値としの  「図、現現況値としの	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない 後が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	内容	小中学校194  ■① (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	導導化となった・ はとなった が表する。 で進となった。 が表する。 で進となった。 で進となった。 で進となった。 でできる。 で進となった。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 になった 施保された を 会を 動の具体的な内容 えられる場合に した具体的な内容 した具体的な内容 (f/b×100)	なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 なな容の内容) ●①②目標値値 ②②目標を達成した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で下事算  ○①・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の具体的な内容・ 参加・協 の期待したとおり の別期待したとおり の別の期待以上 をどおり た以上となった理 をどおりでなかった原	他の程度・内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容であった原因>	● 不 要 要 要 要
<ul><li>・協働の工夫 環境への配慮 (1)</li></ul>	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □□ (型面) (型面) (型面) (型面) (型面) (型面) (型面) (型面)	で体が市が市は、	とが定められている  である より実効性が得られる により、良質で安定し 政策・施策の目標の  「つる親親的などでしる である により、良質で安定し の策・・ の目標の 「日本報報を表現のである。」 「日本報報を表現のである。」 「日本報報を表現のである。」 「日本報報を表現のできる。」 「日本報報を表現		ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用	小中学校194  「日本のでは、	導導化た 立	ければ実効性がたことで 市民へ 施策の目標の実 にない を	な	で 本業費 (本来業費 ) 「	の具体的な内容・ 参加・協 の期待した以とおりのの期待も待以とよりののの場所をできた。 を以上となった理 を を ではなりでなかった。 な となった原因>  事業 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をあっため。 働の程度・内 自一が関係をはいる。 動の配慮をはいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。	容であった原因>	● 不 要 要 要 要
<ul><li>・協働の工夫 環境への配慮 効</li><li>(1) 効</li></ul>	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めてるか? )目標設定は適切か?	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が市が市は、	である はより実効性が得られている である はより実効性が得られたし 政策・施策の目標の 内容  □①②現週にない でいる  □②現週にない でかる  □③現過にない でがる  □③現過にない でがる  □③現過にない でがる  □③現過にない □③現海にない □③現海にない □③現海にない □③現海にない □③現海にない □③乳海にない □③乳神にない □④乳神にない □④乳神にない □④乳神にない □④乳神にない □◎乳神にない □◎������������������������������������	マーマ	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	小中学校194 ■① 日本	導導化た 立	ければ実効性がたことで 市民へ 施策の目標の実 にない 施保を 動の具体的な内容 ことは のは では	な	で 本業費 (本来業費 ) 「	の具体的な内容・ 参加・協 の期待したとより の期の期待以上 た以上となった理 をどおりでなかった原 となった原因> 事前の想	他の程度・内は下ででは、 動の程度・内の配慮を ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	容 であった原因> について かった	● 不 要 要
<ul><li>・協働の工夫 環境への配慮 効率</li></ul>	あるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体があった。 おいまな では はいまない は	である により実効性が得られるに により実効性が得られるに により、良質で安定し 政策・施策の目標の 内容 ている  □①客観的などデルへ 第次のでは □②現況にない較準で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マネの他の内容>  「工夫の具体  「工夫の具体  「工夫の具体  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「ない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「ない。  「ない。 「ない。	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	小中学校194  「日本のでは、	導導化た 立 ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が ・	ければ実効性がたことで 市民へ 施策の目標の実 にない を	な	で 本業費 (本来業費 ) 「	の具体的な内容・ 参加・協 の期待した以とおりのの期待も待以とよりののの場所をできた。 を以上となった理 を を ではなりでなかった。 な となった原因>  事業 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	他の程度・内は下ででは、 動の程度・内の配慮を ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	容 であった原因> について かった	● 不 要 要 要 要
<ul><li>・協働の工夫 環境への配慮 効率</li></ul>	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めてるか?  )目標設定は適切か?	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が市が市は、	とが定められている  である より実効性が得られた により、良質で はにより、良質で 標の  「つって である。 はので である はのは にいなり である にはの である である はいる である はいる である はいる である である はいる である はいる である はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はい	マネの他の内容>  「工夫の具体  「工夫の具体  「工夫の具体  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「ない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「ない。  「ない。 「ない。	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	中学校194 ■①②③ に	· 導導れ援ススの   本	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 機能をからでは、 施策の目標の実 機能を対して、 施策の関標の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	な	で 本業超	の具体的な内容・ 参加・協 の期待したした以上 といった 理 を	他の程度・内は下ででは、 動の程度・内の配慮を ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	容 であった原因> について かった	● 不 要 要
・協働の工夫     環境への配慮     効率	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めてるか?  )目標設定は適切か?	(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で体があった。 おいまな では はいまない は	とが定められている  である より実効性が得られた により、良質で はにより、良質で 標の  「つって である。 はので である はのは にいなり である にはの である である はいる である はいる である はいる である である はいる である はいる である はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はい	マネの他の内容>  「工夫の具体  「工夫の具体  「工夫の具体  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「ない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「ない。  「ない。 「ない。	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担	小中学校194  ■① (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	· 導導れ援ススの   本	ければ実効性がたことで市民へ 施策の目標の実 機能をからでは、 施策の目標の実 機能を対して、 施策の関標の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	な で	で 本業超	の具体的な内容・ 参加・協 の期待したした以上 といった 理 を	他の程度・内は下ででは、 動の程度・内の配慮を ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	容 であった原因> について かった	● 不 要 要
・協働の工夫     環境への配慮     効率性       市工:(対     環い     (1)	あるか? (市実施の必要性)    民の参加や市民との協働を夫しているか?   本制づくり)    環境に配慮して事業を進めてるか?   日標設定は適切か?    2) 事業費削減の工夫をしているか?	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が高市が推進のようにとよります。 では、	とが定められている である より実効性が得られる により、良質で 原本・施策の目標の 内容  □②現況にはい の数で □③現況にはい の数で □③現況にはい の数で □③現況にはい の数で □③乳維持管理 □③乳維持管理 □③乳維持管理 □④混りの内容 □③乳性のの内容 □③乳性のの内容	マネの他の内容>  「工夫の具体  「工夫の具体  「工夫の具体  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「大きない。」  「大きない。  「ない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「大きない。  「ない。  「ない。 「ない。	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他	中学校194 ■①②③ に	· 導導れ援ススの   本	ければ実効性が たことで前民へ 施策の目標の実 機保された 施保会基盤が確保さ 動の具体的な内容 した具体的な内容 に で で は に に に に に に に に に に に に に に に に	な	で マード	の具体的なっている 参加・協 の期待等したした以上 にした以上 には、以上 となった 原因 を でなかった 原因 を では には	ため。 働の程度・内 関係 で 内 の 配慮 を で 大 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 B
・協働の工夫     環境への配慮     効率性	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めて るか?  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が高中では、	である より実効性が得られ定し 政策・施策の目標の 内容  □①②現現画等 □②3現画等 □②3現画等 □②3現画等 □②3、中央 □③3、中央 □□3、中央 □□3 中 □□3 □3 中 □□3 □3 中 □□3 □3 □3 □	マ・事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ではない。 が小さい値ではない。 が小さい値ではない。 が小さい値ではない。 をが有る場合、比較対象例におけます。 実施予定の対策 度活用 の対応 回答の手をの対策 回答の手を の対応	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他	中学校194 ■①②③ に	導導れ援ススクト・・ 協考ラ と・ 協 を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ければ実効性がたことで前民へ 施保された 施保された 施保された が確保さい 動の具体を 動の具体を 場合し した具体的な内部 に (f/b×100) 100 100 83. 23 音のため学校が位 は 付目標値(%)	な普及が一層 関にた のでは今後、 の内内の内内の内内のでは、 ではそのの内内のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で マート で で 下 下 下 で 下 下 下 で 下 下 下 下 下 下 下 下 下	の具体的なっている 参加・協 の別期待期間 となった原 を定 がおりでなかった原 を定 がおりでなかった原 の関 をど がおりでなかった原 の関 をと ので の別 を ので の別 を のの の別	ため。 働の 程度 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容 であった原因> について かった た原因>	●
・協働の工夫     環境への配慮     効率性       市工:(対     環い     (1)       (1)     (2)	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めて るか?  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体があるい。  「お市が市が上進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	である より実効性が得られ定し 政策・施策の目標の 内容  □①②現現画等 □②3現画等 □②3現画等 □②3現画等 □②3、中央 □③3、中央 □□3、中央 □□3 中 □□3 □3 中 □□3 □3 中 □□3 □3 □3 □	マネの他の内容>  「工夫の具体  「工夫の具体  「工夫の具体  「関係値の妥当性のチェッータ・事実に基づき設定しているではないではないではない。」ではない。 「なが小さい値ではない」をが有る場合、比較対象例における 「大変が有る場合」と「大変がない。」 「大変が有る場合」と「大変が有る場合」と「大変が有る場合」と「大変が有る場合」と「大変が有る場合」と「大変が表現している。」  「大変がある」  「大変がある」 「大変がある。」 「大変がなない	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他	小中学校194 ■1○②③ は	導導れ援ススクト・・協働が考え   連とと 政準分   上	ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された 総保された 総名基盤が確保さ 過 動の具体的な内容 ことがのは、 はで市民へ に乗る のというでは、 はでのようでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	ないった できます できます できます できます できます できます できます できます	で マート で で 下 下 下 で 下 下 下 で 下 下 下 下 下 下 下 下 下	の具体的なっている。 参加・協 の期期待ははという。 には、となったに を定じ、おりでなかった 原 を定じ、おりでなかった 原 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ため。 働の 程度 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容 であった原因> について かった た原因>	●
・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (3)	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めて るか?  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体があるい。  「お市が市が上進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	である より実効性が得られている である より実効性が得られたし 政策・施策の目標の 内容  「②現現道 「③現現道 「③国現有特徴を 「②現現道 「③国現有特徴を 「③国現有様母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母	マ・事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ではない。 が小さい値ではない。 が小さい値ではない。 が小さい値ではない。 をが有る場合、比較対象例におけます。 実施予定の対策 度活用 の対応 回答の手をの対策 回答の手を の対応	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他	小中学校194  「日本 194 日本 195 日本 1	導導れ援ススクト・・協働が考え   連とと 政準分   上	ければ実効性がたことで 標果	ないった できます できます できます できます できます できます できます できます	で マート で で 下 下 下 で 下 下 下 で 下 下 下 下 下 下 下 下 下	の具体的なっている。 参加・協 の期期待ははという。 には、となったに を定じ、おりでなかった 原 を定じ、おりでなかった 原 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ため。 働の 程度 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容 であった原因> について かった た原因>	●
・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3.1 市工・(対 環い (1) (2) (3)	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めてるか?  」目標設定は適切か?  ② 事業費削減の工夫をしているか?	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で体があるい。  「お市が市が上進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	である はより実効性が得られている である はより実効性が得られたし 政策・施策の目標の 「つつでである」 である はより実力性がです。 「である」 はより実力性がです。 「である」 「のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない をが小さい値ではない をかれる場合、比較対象例におけ をある 実施予定の対策 □(⑤) P F の対応 □(⑥) P G の対応 □(⑦) その 計算方  ●(①単年度の指標:目標値×費用 ○(②複数年度の指標:目標値・要	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他	小中学校194  「日本 194 日本 195 日本 1	導導れ援ススクト・・協働が考え   連とと 政準分   上	ければ実効性がたことで 標果	ないった できます できます できます できます できます できます できます できます	で マート で で 下 下 下 で 下 下 下 で 下 下 下 下 下 下 下 下 下	の具体的なっている。 参加・協 の期期待ははという。 には、となったに を定じ、おりでなかった 原 を定じ、おりでなかった 原 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ため。 働の 程度 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容 であった原因> について かった た原因>	●
・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3. 現・ ・ 現・ (1) (2) (3) 現・ ・ 現・ ・ (1) (2) (3) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「境に配慮して事業を進めて るか?  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で体が高市で活業を配いる。	である はより実効性が得られている である はより実効性が得られたに はり変か 施策の目標の 内容 ている  □①容観視的値とと較準で はの □②3維持情要が □②3維持情要が □②4展の内容  ○別域の内容 □③4展の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 関度活用 対応 回じ の受益 の はない 対域 の実施 の ではない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他 法 単位/事業費 見況値)×費用単位/事業費	小中学校194  「日本 194 日本 195 日本 1	導導れ援ススクト・・協働が考え   連とと 政準分   上	ければ実効性がたことで 標果	な	で マート で で 下 下 下 で 下 下 下 で 下 下 下 下 下 下 下 下 下	の具体的行っている  が加上は  が加上に  が加い上に  が加い上に  が加い上に  が加い上に  が加い上に  がかった  でなかった  「事事が前がいる  でなかった  「事事が前がいる  「事事ががらない。  「事事ががらない。  「事事ががらない。  「ない。  「ない。 「ない。	ため。 働の 程度 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容 であった原因> について かった た原因>	●
協働の工夫 環境 ( o o l o l o l o l o l o l o l o l o l	あるか? (市実施の必要性)  「民の参加や市民との協働を 夫しているか? 本制づくり)  「環設定は適切か?  「関係設定は適切か?  「関係である。」では、表しているか?  「関係である。」では、表しているか?  「関係である。」では、表しているか?  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「関係である。」では、表している。  「はている。」では、表している。  「は、表している。」では、表している。  「は、表している。」では、表している。  「は、表している。」では、表している。  「は、またいる。」では、またいる。  「は、またいる。」では、またいる。。  「は、またいる。」は、またいる。  「は、またいる。」は、またいる。  「は、またいる。」は、またいる。。  「は、またいる。」は、またいる。。  「は、またいる。。」は、またいる。。  「は、またいる。。」は、またいる。。  「は、またいる。。」は、またいる。。  「は、またいる。。」は、またいる。。  「は、またいる。。。  「は、またいる。。。。  「は、またいる。。。。  「は、またいる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で体が高市で活業を配いる。	である はより実効性が得られている である はより実効性が得られたに はり変か 施策の目標の 内容 ている  □①容観視的値とと較準で はの □②3維持情要が □②3維持情要が □②4展の内容  ○別域の内容 □③4展の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容 ○別域の内容	マ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 関度活用 対応 回じ の受益 の はない 対域 の実施 の ではない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	ク る目標値(と現況値の差)と I等民間資本の活用 者負担 他 法 単位/事業費 見況値)×費用単位/事業費	小中学校194  「日本 194 日本 195 日本 1	導導れ援ススクス た・協働が考え   連とと 政準分   上	ければ実効性がたことで 標果	な	で (本来 ) (和来 ) (	の具体的行っている  が加上は  が加上に  が加い上に  が加い上に  が加い上に  が加い上に  が加い上に  がかった  でなかった  「事事が前がいる  でなかった  「事事が前がいる  「事事ががらない。  「事事ががらない。  「事事ががらない。  「ない。  「ない。 「ない。	ため。 働の 程度 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・ 内 ・	容 であった原因> について かった た原因>	●

								子勿于	<b>業評価表</b>	(ካብዘ ረ	干及)								
į	事業コード		1036		į	課コード		1502		会計種別	一般会計				予算	草の種類	□政策	■経常	□なし
1.	事業の	概要(PLAN)																	
			①事業名	基本事業	学校教育の	充実					実施計画~	<b>、</b> の	•	有 〇無		②部課名	<b>数</b> 套 <b>公</b> 数:	部・学校教育課	
						全管理員の配置	Ē			`	位置づけ	t							
			③事業主体 ⑤事業期間	●市	○その他			~		)	④対象地区 ⑥担当職員数	数	□我孫子	□天王台	□湖北 1 人	□新木 ○○○ (換算人数	□布佐	●全市 0.15 人)	
(1) 3	事業概要		⑦事業費	総事業費			70.775 千円				当該(開始)	(	(当 初)		22,199 千円			1,305 千円)	
			(人件費含む)	松争未其			70, 773	-				(	(変更後)		千円			千円)	
			⑧施策の位置づけ	施策コード		52104		重点プロジェクト への位置づけ	重点	ā 4	基本計画地 計画への位置		07	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	子ども総合計画	
(0)			施策目的・						     でICT機器・備品	品の更新を実施す	市 ** 口 4		市内の小学校の	)児童が安全に	学校生活を送	ることができるよ	う対応する。		
(2)	目的		展開方向			教育機器などの			ママン マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ	こしの中人無理号	事業目的		****	#++# a #==	1 丁宗本のほ	±0 88 = - \ \	7 th 0 F th	社会の理論を供答	( <b>5</b> :10)
				を配置する。	。安全管理	員は学校内の巡	巡視、来校者σ	× 2 人)、児童の安全 の確認、不審者の通報					字校内の巡視・	米校者の催認	は、不番者の通	報、門扉・フェン	ス等の点検、	校庭の環境整備等	(年間)
(2)				環境整備を作	行う。また、	、児童に危険か	が及ばないよう	2 配慮する。			当該年度 執行計画								
(3)	事業内容		内 容																
											当該年度 活動結果指	- 関	安全に教育活動	かできた学校	·数(小学校 1	3校)	単作	位校長績値	13
(4)	達成目標(期	 月待する成果)					目標(期待する)	成果)			指標種類				指 標		単作	1 - 1 - 1 - 1	(6)目標値
i	当該年度		不審者侵入による	児童への危害気	発生や学習	への障害を未然	然に防止する。	,			直接	#	未事故であった	:小学校			校	ž 13	13
	令和 3年度		不審者侵入による	児童への危害勢	発生や学習	への障害を未然	然に防止する。	)			直接	#	未事故であった	:小学校			校	Ż	13
,	令和 4年度		不審者侵入による	児童への危害を	発生や学習	への障害を未然	然に防止する。	)			直接	#	未事故であった	:小学校			枝	Ż	13
(7) 2	事業宝施 Fℓ	の課題と対応									代替案検	:1:1	07	有 ●無					
(1)	· -~~//ET(			平成31年	FĖ				令和 2年度		, V日本快							和 4年度	
			政策	中成31年 内 容	r IX	金額(千円)	政			額(千円) 決算額	i(千円) 政策		ウル  内 容	D 3年度  !	金額(千月	円) 政			金額(千円)
			安全管理員賃金	Ž		20, 10	第 安全管	理員給料	3.941	20, 312	19, 604 🕏	安全管理員			20,	312 安全管理		-	20, 312
			雇用保険(労災 研修旅費	2保険)		6	20 研修旅	費		447 20	11 石	競員手当 研修旅費				447     職員手当       20     職員手当			447 20
			消耗品			11:	5 消耗品	1		115	50 注	肖耗品				115 消耗品			115
(0)	<i></i>	実施内容																	
(8)	施行事項	費用																	
	-	予算(決算)額	<u> </u>	計 計		20, 29	19	合 計		20. 894	20. 111		合 計		20	894	合 計	<b>.</b>	20, 894
		国庫支出金	補助率		0 %	,	0 補助率 0 補助率	ц н	0 %	0	0 補	助率	ы п	0 % 0 %	20,	0 補助率 0 補助率	н н	0 % 0 %	0
(9)	財源内訳	上债 一般財源	充当率		0 %		0 充当率		0 %	0		当率		0 %	20	0 充当率		0 %	20, 894
		その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 口基金 口ぞ	その他	,	0 □特:	会 口受益 口基金 口	その他	0 0.15	0 0.15	□特会Ⅰ	□受益 □基金	: □その他			口受益 口基	金 □その他	0 0.15
(10)	人件費等	正職員人件費				1, 32	20			1, 305	1, 305					305			1, 305
市業:	井/又管/油管	編式職員報酬額 臨時職員賃金額 ①額+正職員人件費)				17, 62 21, 61	29			0	0 21, 416				22	0 199			0 22, 199
	単位費用	活動結果指標)		1,663千円.	  /校	21, 01	9	1, 707. 62 <del>1</del>	 千円/校		647. 38				22,	199			22, 199
2.		口到帕木田(赤)										-							
	<b>事業の</b>	評価(DO+CHECK	)																
		<b>評価 (DO+CHECK</b> 西項目	)			事	前評価						事後評	価(評価結果	具に応じ、改善	案検討(拡充も含	t))		改善検討
			文部科学省は、「対			よる学校の安全	全管理の徹底と	と児童生徒の安全確保 の防犯、避難訓練、地			①事前確認で <i>0</i> ②事前確認で <i>0</i>		おり		具に応じ、改善	案検討(拡充も含む	む))		改善検討
	評(1)事業が	画項目 一項目 今必要である理由・	文部科学省は、「対求め、防犯施設・」の巡視等の対応を	設備の充実とる 実施するようを	ともに学校 求めている	よる学校の安全での定期的な点。我孫子市では	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の	と児童生徒の安全確保 の防犯、避難訓練、地 カー環として、全小学	也域住民と連携した常	学校内外で OG 記置するこ	②事前確認での	の想定ども	おり おりでなかった	ξ		「案検討(拡充も含む	む))		O要
	評(1)事業が	西項目	文部科学省は、「f 求め、防犯施設・i	設備の充実とる 実施するようを	ともに学校 求めている	よる学校の安全での定期的な点。我孫子市では	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の	の防犯、避難訓練、地	也域住民と連携した常	学校内外で 記置するこ <想	②事前確認で <i>0</i> !定どおりとし	か想定どまた理由/	おり	こなかった原因	>	李検討(拡充も含む	む))		
必	評(1)事業が	画項目 一項目 今必要である理由・	文部科学省は、「対 求め、防犯施設・前 の巡視等の対応を とで児童の安全を 〇①民間企業、N	設備の充実とる 実施するようを 確保している。 IPO、市民団	ともに学校 求めている ことから、:	よる学校の安全での定期的な点。我孫子市では必要な事業でも	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地	也域住民と連携した常	学校内外で 記置するこ <想 安全	②事前確認での 定どおりとし 管理員の配置 ①民間企業、N	た理由/により不	おり おりでなかった ✓想定どおりで ▽審者等による 市民団体等では	た なかった原因 事件の発生が は実施できなか	> なかった いった   <市実	能の具体的な内容	・必要性の理		 ●不要
必要	評(1)事業が	画項目 一項目 今必要である理由・	文部科学省は、「「 求め、防犯施設・「 の巡視等の対応をと とで児童の安全を (理由) □法令等 □提供主	設備の充実とる実施するようを確保している。 IPO、市民団で市が実施するないない	ともに学校求めていることから、。	よる学校の安全での定期的な点。我孫子市では必要な事業でも	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地 の一環として、全小学	也域住民と連携した常	学校内外で 記置するこ <想 安全	②事前確認での は定どおりとし 管理員の配置 ①民間企業、N ②市が主導で必 ③市が先導役と	か想定どまた理由/ により不 NPO、T 進めなけれ	おり おりでなかった 〈想定どおりで 「審者等による	なかった原因 事件の発生が は実施できなか	> なかった いった   <市実		・必要性の理		 ●不要
要	評(1)事業が 背景は (2)市が実	画項目 今必要である理由・ ? (事業の必要性) 施する必要性は	文部科学省は、「す 文部科学省は、「す 次部、防犯施設・」 の巡視等の対応を とで児童の安全を 〇①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主 □その他	設備の充実ととまた。 実施するようを確保している。 IPO、市民団で市が実施する。 体が市しかない	ともに学校求めていることから、	よる学校の安全での定期的な点。我孫子市では必要な事業でも	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の一環として、全小学 の内容>	也域住民と連携した常	学校内外で 記置するこ <想 安全	②事前確認での (定どおりとし、管理員の配置 ①民間企業で延 ②市が先導役と 促進さ接が のでである。 (では、) (でも、) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (	D.想定 どまた により 不 により 不 により で により で は か に け れ こ で は か な か た ら か ま か た ら か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	おりおりでなかった 想定どおりで、審者等による 市民団気効性がない。  赤の目標の実現	なかった原因 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層	> なかった いった   <市実	能の具体的な内容	・必要性の理		○要 ●不要 があ
要	評(1)事業が背景は (2)市が実 あるか	画項目 今必要である理由・ ? (事業の必要性) 施する必要性は	文部科学省は、「「 求め、防犯施施設・こ の巡視等の対応をと とで児童の安全をも (理由) □提供主 □程表の他	設備の充実とする。 実施することである。 IPOがまかなし、 で体がが進める。 お導で進める。	ともに学校る ことから、: 団体等ではま のことが ではま であること であり、	よる学校の安全での安定期的ななに、我孫子市では、必要な事業である。という。 というないできない、おいるのできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。 というないできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の一環として、全小学 の内容>	也域住民と連携した常	学校内外で ○○○	②事前確認での は定どおりとし 管理員の配置 ①民間企業で没 ②市が先導なと 促成の支援がある のである。 のである。 のである。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	D 想定 を を で に に に に に に に に に に に に に	おりおりでなかった 想定どおりで、審者等による 市民団気効性がない。  赤の目標の実現	なかった原因事件の発生が は実施できなか は実施できなからた をなが一層 引に貢献した	> なかった いった   <市実	能の具体的な内容	・必要性の理		 ●不要
要	評(1)事業が背景は (2)市が実 あるか	画項目 今必要である理由・ ? (事業の必要性) 施する必要性は ?	文部科学省は、「「 求め、防犯施設・」 の巡視等の安全をを とで児童の安全をを (理由) □ に □ に □ (理由) □ に □ (理由) □ に □ に □ に □ に □ に □ に □ に □ に	設備の充実とうう。 関連施するにいて、 東施はして、市市市は、 大学施ないでは、 は進め、 でで、 は進め、 でで、 は進め、 でで、 はないではないでは、 はないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	ともに学校る、	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の一環として、全小学 の内容>	也域住民と連携した常	学校内外で O(	②事前確認での は定どおりとし 管理員の配置 ①民間企業等で後 ②市が先き現れ 役 後市のとも援が政 後の中ビス水料	D 想 理 は ロ リ に D は の に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	おりでなかった 想定どおりでなかった を審者等による 市民団体外性でである。 市には実で市による 策の目標の実現	なかった原因事件の発生が は実施できなか は実施できなからた をなが一層 引に貢献した	> なかった いった   <市実	能の具体的な内容	・必要性の理		○要 ●不要 があ
要	評(1)事業が背景は (2)市が実 あるか	画項目 今必要である理由・ ? (事業の必要性) 施する必要性は ?	文部科学省は、「「 求め、防犯施設・ の巡視章の安全を ○①民間企業へ等 □提その等 ○②自治体市が実」 □中) □ はないます。 □であるまます。 □であるまます。 □であるまます。 □であるまます。 ・であるまます。 ・であるまます。 ・であるまます。 ・であるまます。 ・であるまます。 ・であるまます。 ・であるます。 ・であるまます。 ・であるます。 ・できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	設備の充実をとうる。 関実施するにいます。 マールではいます。 ではいますが、 ではいまが、 ではいまがはが、 ではいまが、 ではいまがはが、 ではいまがはが、 ではながはが、 ではながはが	ともに学校る、	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の一環として、全小学 の内容>	也域住民と連携した常	学校内外で O(	②事前確認での に管理員の配置 ではまりの配置 のでは、 の	D 想 理 は ロ リ に D は の に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	おりでなかった 想定どおりでなかった を審者等による 市民団体外性でである。 市には実で市による 策の目標の実現	なかった原因事件の発生が は実施できなか は実施できなからた をなが一層 引に貢献した	> なかった いった   <市実	能の具体的な内容	・必要性の理		○要 ●不要 があ
要	評(1)事業が背景は (2)市が実 あるか	画項目 今必要である理由・ ? (事業の必要性) 施する必要性は ?	文部科学省は、「「 求め、防犯施設・」 の巡視等の安全をも ○①民間企業、N (理由) □ 提供主 □ 日治 体 市が主 □ 日治 体 市が実 □ 市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設備の充実をとうる。 関実施するにいます。 マールではいます。 ではいますが、 ではいまが、 ではいまがはが、 ではいまが、 ではいまがはが、 ではいまがはが、 ではながはが、 ではながはが	とない。 とないないは定いないないは、 とないないないは、 とことはないないないは、 とことは、 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	也域住民と連携した常	学校内外で O(	②事前確認での 定管理員企業では ②市が生導たれたが のではのでしている。 ②市が生導たれたが のでしている。 のでのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではない。 ではないる。 ではなな。 ではないる。 ではななな。 ではななななな。 ではななななな。 ではななななななななな。 ではなななななななななな	D D D D D D D D D D D D D D	おりのなかった ない はい はい はい はい ない かった がま を ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま か ま ま か ま	なかった原因事件の発生が 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層 記に貢献した れた	> なかった いった   <市実	施の具体的な内容 置者である市の責	・必要性の理	9全を確保する必要	○要 ●不要 があ
要性	評(1)事業が背景は (2)市が実 あるか	画項目 今必要である理由・ ? (事業の必要性) 施する必要性は ?	文部科学省は、「す	設集権の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	とない。 とないから、は定ではよいは、またにといいません。 はなったがある。 ととことは、は、または、は、またが、またが、は、は、は、またが、は、は、またが、は、まいが、は、まいが、は、またが、は、またが、は、またが、は、またが、は、またが、は、またが、は、またが	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	地域住民と連携した9 学校に安全管理員を1	学校内外で ○○	②事前確認での 定管理員企業では ②市が生導たれたが のではのでしている。 ②市が生導たれたが のでしている。 のでのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではのでしている。 ではない。 ではないる。 ではなな。 ではないる。 ではななな。 ではななななな。 ではななななな。 ではななななななななな。 ではなななななななななな	D D D D D D D D D D D D D D	おりでなかった 「想定どおりで で審者等による 市民団体等では れば実で市民へ 策の目標の実現 された 基盤が確保され	なかった原因事件の発生が 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層 記に貢献した れた	>> なかった へった	施の具体的な内容 置者である市の責 参加・1 当初期待した以上	・必要性の理任において安	9全を確保する必要	○要 ●不要 があ
要性参加·	評((1)事業が 背景は (2)市が実力 あるか (市実施	一項目 今必要である理由・?(事業の必要性) 施する必要性は?の必要性は	文部科学省は、「「 求め、防犯施設・」 の巡視等の安全をを (理由) □ 「日間企業、 「 (理由) □ 「日間企業、 「 (理由) □ 「日間企業、 「 (理由) □ 「日間企業、 「 「日間企業、 「 「日間できる。」 「日間できる。 「日できる。 「日間できる。 「日間できる。 「日間できる。 「日間できる。 「日間できる。 「日間できる。 「日間できる。 「日できる。 「日できる。 「日できる。 「日間できる。 「日できる。 「しできる。 「しできる。 「しできる。 「しできる。 「しできる。 「もできる。 「もできる。 「もできる。 「も	設実確 P で体 お で で と う る で は を う る で は を う る で は で 体 の で あ な い で は の か き か か が が 進 提 保 る れ に 。 は 画画画 を の か き か か か か で と る れ に 。 は 画画画画 画画画画	と 求こと 明本 こと で と に と の の り り り り り り り り り り り り り り り り り	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	地域住民と連携した9 学校に安全管理員を1	学校内外で ○○	②事前確認でのと配言 りと配言 りと配言 りと配言 りと配言 している いっぱい にゅう	D D D D D D D D D D D D D D	おりのなかった ない はい はい はい はい ない かった がま を ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま か ま ま か ま	なかった原因事件の発生が 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層 記に貢献した れた	> なかった	施の具体的な内容 置者である市の責 が加・1	・必要性の理任において安	9全を確保する必要	● 不要
要性参加·	評((1)事業が、 背景は (2)市が実 あるか、 (市実施	画項目  今必要である理由・ ?(事業の必要性)  施する必要性は ? の必要性)	文部科学省は、「は 文部科学省は、下は 交部科学的犯対応をを で見筆の安全を ○①民間 □程・ ○①民間 □提その を ・等( ○②自治 ■ 市市・ ・が現の ○②自治 ■ 市市・ ・が現の ○②事業業・のは ○②事業業・のは ○③命市民と共見の ○④布市民と共見の	設実確 IPで体 「で体 「で体 「で体 「で体 「で体 「で体 で体 でで体 で	と 求こと 明本 こと で と に と の の り り り り り り り り り り り り り り り り り	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	地域住民と連携した9 学校に安全管理員を1	学校内外で ○○	②事前確認でのと配言 りと配言 りと配言 りと配言 りと配言 している いっぱい にゅう	D D D D D D D D D D D D D D	おりのなかった ない はい はい はい はい ない かった がま を ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま か ま ま か ま	なかった原因事件の発生が 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層 記に貢献した れた	> なかった	施の具体的な内容を 置者である市の責を を加・地 当初期待した以上 当初期待したとより	・必要性の理任において安	内容	● 要要 ● 不要 要
要性参加・	評((1)事業が背景は (2)市が実) の(市実施 であります。	画項目  今必要である理由・ ?(事業の必要性)  施する必要性は ? の必要性)	文部科学省は、「す	設実確 IPで体 「で体 「で体 「で体 「で体 「で体 「で体 で体 でで体 で	と 求こと 明本 こと で と に と の の り り り り り り り り り り り り り り り り り	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	地域住民と連携した9 学校に安全管理員を1	学校内外で ○○	②事前確認でのと配言 りと配言 りと配言 りと配言 りと配言 している いっぱい にゅう	D D D D D D D D D D D D D D	おりのなかった ない はい はい はい はい ない かった がま を ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま か ま ま か ま	なかった原因事件の発生が 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層 記に貢献した れた	> なかった	能の具体的な内容 置者である市の責 参加・制 当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下	・必要性の理任において安	内容	● 要要 ● 不要 要
要性参加・	評((1)事業が背景は (2)市が実) の(市実施 であります。	画項目  今必要である理由・ ?(事業の必要性)  施する必要性は ? の必要性)	文部科学省は、「「 文部科学省は、「「 文部科学省は、「「 文部科学省は、「「 文部科学名は、「「 文部科学名は、「「 文部科学名は、「 文部科学名は、「 (理学年度)  「理由)  「中国・「「中国・「「中国・「「中国・「「中国・「「中国・」」  「中国・「「中国・「「中国・「「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「中国・「	設実確 IPで体 「で体 「で体 「で体 「で体 「で体 「で体 で体 でで体 で	と 求こと 明本 こと で と に と の の り り り り り り り り り り り り り り り り り	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 点検、緊急時の は、この対応の ある。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	地域住民と連携した9 学校に安全管理員を1	学校内外で ○○	②事前確認でのと配言のでは、 と記言のでは、 と記言のでは、 では、 と記言のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	D D D D D D D D D D D D D D	おりのなかった ない はい はい はい はい ない かった がま を ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま か ま ま か ま	なかった原因事件の発生が 事件の発生が は実施できなか なかった 音及が一層 記に貢献した れた	> なかった	能の具体的な内容 置者である市の責 参加・制 当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下	・必要性の理任において安	内容	● 要要 ● 不要 要
要性 参加・は	評((1)事業が背景は (2)市が実) の(市実施 であります。	画項目  今必要である理由・ ?(事業の必要性)  施する必要性は ? の必要性)	文部科学省は、「非常ない」では、「非常ない」では、「非常ない」では、「は、「は、」では、「は、」が、「は、」は、は、は、は、	設実確 I P r c k I P	と 求こと 日体 るい いきとこる より 内容 できにと 政 策容 している いまとこる より 内容 すずりり いいる ちょり (する) はん (する) ない	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 急機、緊急時の は、この対応の くその他	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の内容> の内容> 工夫の具体 取組者	地域住民と連携した営 学校に安全管理員を配	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え	おり おりでなかった 想定と 等に まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	なかった原因 事件の発生が は実施できなか がかった 層 記に貢献した れた (又は今後、 その内容)	> なかった	変施の具体的な内容 である市の責任を表現である。 当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待したとおり 当した以上となった。 環	・必要性の理任において安	内容	● 要要 ● 不要 要
要 性 参加・協働の工夫	評((1)事業が背景は (2)市が実) の(市実施 であります。	画項目  今必要である理由・ ?(事業の必要性)  施する必要性は ? の必要性)	文部科学省は、記録を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	設実確 IP for が が進提保る AP for が が が for が AP for	と 求こと 日体 るい いきとこる より 内容 できにと 政 策容 している いまとこる より 内容 すずりり いいる ちょり (する) はん (する) ない	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 会情後、気の対応の くその他 くその他 を 学校内外	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>	地域住民と連携した営 学校に安全管理員を配	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え	おり おりでなかった 想定と 等に まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	なかった原因 事件の発生が は実施できなか がかった 層 記に貢献した れた (又は今後、 その内容)	◇ なかった	施の具体的な内容 置者である市の責 当初期待した以上 当初期待したとと 当初の期待したとと 当社のの期待したと	・必要性の理任において安  高働の程度・  理由/期待以	内容	● 要要 ● 不要 要
要 性 参加・協働の工夫	評((1)事業が、 背景は (2)市がる実施 (2)市がる実施 市工民のしてく	画項目  今必要である理由・ ?(事業の必要性)  施する必要性は ? の必要性)	文部科学省は、記録を表す。 文部科学省は、記録を表す。 文部科学第犯が対象をを表す。 文部科学第犯が対象を表す。 文部科学第犯が対象を表す。 《理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	設実確 Prで体 お導施ス援図 では、 とうる 、	と求こと Black で ありまり で まにて か ら と で よに  政	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 会情後、気の対応の くその他 くその他 を 学校内外	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の内容> の内容> エ夫の具体 取組もの巡視中にごみ清掃・	地域住民と連携した営 学校に安全管理員を配	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え	おり おりでなかった 想定と 等に まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	なかった原因 事件の発生が は実施できなか がかった 層 記に貢献した れた (又は今後、 その内容)	> なかった	能応の具体的な内容 である市の責 当初期待した以上 当初の期待したとおり した以上となった:	・必要性の理体において安	内容	● ● 不要 要
要 性 参加・協働の工夫	評((1)事業が、 背景は (2)市が実) あるか、 (市東施 市民の参加((体制づく)	画項目 今必要である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	文部科学省は、下は、	設実確 Prで体 お導施ス援図 では、 とうる 、	と求こと Black で ありまり で まにて か ら と で よに  政	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 会情後、気の対応の くその他 くその他 を 学校内外	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の内容> の内容> エ夫の具体 取組もの巡視中にごみ清掃・	地域住民と連携した営 学校に安全管理員を配	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え	おり おりでなかった 想定と 等に まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	なかった原因 事件の発生が は実施できなか がかった 層 記に貢献した れた (又は今後、 その内容)	> なかった	※施の具体的な内容 である市の責任を表現である。 参加・制造初期待したとおり 当初期待したとおり 当初期待したとおり 当社のの期待したとおり ほした以上となった。 環想定どおりでなかっ	・必要性の理体において安	内容	● ● 不要 要
要性参加・協働の工夫	評((1)事業が、 背景は (2)市がる実施 (2)市がる実施 市工民のしてく	画項目 今必要である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	文部科学省は、記録を表す。 文部科学省は、記録を表す。 文部科学第犯が対象をを表す。 文部科学第犯が対象を表す。 文書を表す。 文書をえる。 文をえる。 文をえる。 文書をえる。 文書をえる。 文書をえる。	設実確 Prで体 お導施ス援図 では、 とうる 、	と求こと Black で ありまり で まにて か ら と で よに  政	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 会情後、気の対応の くその他 くその他 を 学校内外	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の内容> の内容> エ夫の具体 取組もの巡視中にごみ清掃・	地域住民と連携した営 学校に安全管理員を配	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え	おり おりでなかった 想定と 等に まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	なかった原因 事件の発生が は実施できなか がかった 層 記に貢献した れた (又は今後、 その内容)	> なかった	※施の具体的な内容 である市の責任を表現である。 参加・制造初期待したとおり 当初期待したとおり 当初期待したとおり 当社のの期待したとおり ほした以上となった。 環想定どおりでなかっ	・必要性の理体において安	内容	● ● 不要 要
要性参加・協働の工夫	評((1)事業が、 背景は (2)市がる実施 (2)市がる実施 市工民のしてく	画項目 今必要である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	文部科学省は、下は、	設実確 Prで体 お導施ス援図 では、 とうる 、	と 求こと 日体 るい さんこと よい の りりりし しん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱ	よる学校の安全はでの安全はでの安全はできます。またのでは、またのでは、またのできませんができません。というないできませんができない。ないできない。ないでは、またのできない。	全管理の徹底と 会情後、この対応の 会情後、この対応の <その他 ・	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学 の内容> の内容> エ夫の具体 取組もの巡視中にごみ清掃・	地域住民と連携した管理 学校に安全管理員を配 が内容 や雑草除去等にも努	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え に N 性と 文準好 に M が 考え	おり おりでなかった 想定と 等に まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	なかった原因事件の発生が なかった原因 事件の発生が は実施できなか を放が一層 引に貢献した れた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	> なかった	※施の具体的な内容 である市の責任を表現である。 参加・制造初期待したとおり 当初期待したとおり 当初期待したとおり 当社のの期待したとおり ほした以上となった。 環想定どおりでなかっ	・必要性の理体において安	内容	● ● 不要 要
要 性 参加・協働の工夫	(1)事業が、背景は (2) 市が実が、 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる (4) できない (5) で	一面項目  今必要である理由・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文部科学省は、記録できる。  文部科学省は、設設できる。  文部科学省に設設できる。  (理地) □日の	設実確 Pで体 お導施スグラム では	と 求こ と は な い く き に と も め と な と で と が あ よ に  政	よの安なのである。 公の を できる できない できる できない できる できない できない できない から できない から できない から できない から できない から できない できない できない できない できない できない できない できない	全管理の徹底を持めての他を与えなる。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>  の内容>  エ夫の具体  の内容>  取組むの巡視中にごみ清掃・ している	地域住民と連携した管理 学校に安全管理員を配 が内容 で発育除去等にも努	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに Number of the part of t	おりりでない (本) では (本) でない (本) では (本	なかった原因な事件の発生ながままた。 事件の発生ながまた。 をながった。 層間に できながらながった。 層間に できながらながった。 の内容)	A なかった	を加・記を表すである。 参加・記を表すである。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 参加・記を表する。 をままる。 をまる。 をままる。 をままる。 をままる。 をままる。 をままる。 をままる。 を。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 を。 をまる。 をまる。 を。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 を。 をる。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を	・必要性の理性の理性において安全を受ける。	内容	● ● ▼ 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫	(1)事業が、背景は (2) 市が実が、 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる (4) できない (5) で	画項目 今必要である理由・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	文部科学省は、記録できる。  文部科学省は、設設できる。  文部科学省に設設できる。  (理地) □日の	設実確 Pで体 お導施スグラム では	と求こと do no series by no seri	よる学校の安なでは、	全管理の徹底を 管理の徹底を を 管域、この その他 を を を を を を を を を を を を を	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>  の内容>  エ夫の具体  取組むの巡視中にごみ清掃・ にしている このにない ではない	地域住民と連携した管理 学校に安全管理員を配 体的な内容 む内容 や雑草除去等にも努	学校内外で ○ ○ ○ <	② と配	D たに Number of the part of t	おり が かった	なかった原因が な事件の発生なが ないのが一層 はないが一層 はないが一層 はないのが一層 はないのかでた 層 はないのかでた 層 はないのかである。 では、そのの内容) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	◇ なかった	※施の具体的な内容 である市の責任を表現である。 参加・制造初期待したとおり 当初期待したとおり 当初期待したとおり 当社のの期待したとおり ほした以上となった。 環想定どおりでなかっ	・必要性の理性の理性において安全を受ける。	内容	● ● 不要 要
要性参加・協働の工夫	(1)事業が、背景は (2) 市が実が、 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる (4) できない (5) で	一面項目  今必要である理由・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文部科学省は、下記を全地の表現のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	設実確 Prで体 rapima yawa yawa yawa yawa yawa yawa yawa ya	と求こ 日本	よる学校の安なでは、	全管検 に	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容>  「なの内容」  「なの内容」  「ないの内容」  「ないの内容」  「ないのではない。 「ないないないないない。」 「ないないないないないないないないないないないないないない。」 「ないないないないないないないないないないないないないない。」 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	地域住民と連携した管理 学校に安全管理員を配 体的な内容 む内容 や雑草除去等にも努	学校内外で ○ ○ ○ <	② と配	D たに Number of the part of t	おり おりでなかった ・	なかった原因な 事件の発生が は実施できなか を を できた 層 はまた できながら はないできませる。 はないできませる。 はないできませる。 は、その内容) では、 は、その内容) では、 は、その内容) では、 は、その内容) では、 は、その内容) では、 は、また では では、 は、また では、 は、また では	◇ なかった	施の具体的な内容責任を表示の表示を表示を達成となるであった。  「連携を表示した。」  「「「「「「「「「「「」」」  「「「「」」」  「「「」」  「「」  「「」」  「「」」  「「」」  「「」  「  「	・必要性の理を ・必要性の理を ・必要性の理を ・の程度・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫	(1)事業が、背景は (2) 市が実が、 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる実施 (2) 市がる (4) できない (5) で	一面項目  今必要である理由・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文部科学省は、記録を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	設実確 P で体 お	と求こと B ない さとにる より 内容 P T T T T T T T T T T T T T T T T T T	よで3分にある。必要にあるでは、ない、ないでは、ない、ないでは、ない、ないでは、ない、ないでは、ない、ないでは、ないが、質の目標のは、ないでは、ないでは、では、ないでは、では、ないでは、ないでは、ないでは、ない	全管理の徹底店のの を信義します。	の防犯、避難訓練、地の一環として、全小学の内容 > エ夫の具体の内容 > エ夫の具体の内容 > エ夫の具体の内容 > エ夫の具体の近にごみ清掃をしている。これにない対象例において合、比比較対象例において合、比較対象例において。	地域住民と連携した管理と対している。 体的な内容 なのなのなのなのないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに Net と 文準安	おり が	なかった原生なかった原生が 事件の発生をなか を表する。 を表する。 でた一層した。 はないのの内容。 はないのの内容。 では、そのの内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A ないった	※施の具体的な内容責任を表示である。 参加・1 当初期待したとより当初期期待したという。 おいま とどおりでなかった 別別でという はまま とびおりでなかった 別別では、ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・必要性の理を はいて を	内容	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	(1)事業が、 背景は、 (2)市が多実施 (2)市がる実施 (本事を)をしてく (本事を)に配。 (1)目標といる。 (1)目標を設定している。 (1)目標を設定している。 (1)目標を設定している。	画項目 今必要である理由・ ・ (事業の必要性) 施する必要性は ・ (の必要性) の必要性) の必要性) にして事業を進めて 定は適切か?	文部科学省に設定を全を	設実確 I で体 お i i i i i i i i i i i i i i i i i i	と 求 こ 日	よる学校の安全点である。必要ない。 おいまない はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	全管検える	の防犯、避難訓練、地学の一環として、全小学の内容>  「の内容>  「の内容>  「なの内容>  「なの内容>  「ない」  「ない」  「ない」  「ないはない対象例においている。 「はない対象例においている。 「ないはない対象例において。 「ないない対象例において。 「はない対象のが策」 「はない対象の対策	地域住民と管理場とを配合を配合を配合を関する。 本的な内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 な	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに Net と 改集が定 ・ が	おり が かった	なかった原因が な事件の発生なか な事件のできた。 を強いてきながら を表した。 はまながら、 できるながらきながらいます。 できるながらいます。 できるながらます。 できるながられています。 できるながらいます。 できるながらます。 できるながられています。 できるながられています。 できるながられています。 できるながられています。 できるながられています。 できるながられています。 できるながらいまするながらいます。 できるながらいまするながらいます。 できるながらいまするながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらながらな	A ないった	※施の具体的な内容責任を表示である。 参加・1 当初期待したとより当初期期待したという。 おいま とどおりでなかった 別別でという はまま とびおりでなかった 別別では、ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・必要性の理を ・必要性の理を ・必要性の理を ・の程度・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が、 背景は、 (2)市が多実施 (2)市がる実施 (本事を)をしてく (本事を)に配。 (1)目標といる。 (1)目標を設定している。 (1)目標を設定している。 (1)目標を設定している。	画項目 今必要である理由・ ・ (事業の必要性) 施する必要性は ・ (記の必要性) ・ (記の必要性) ・ (記の必要性) ・ (記して事業を進めて ・ (記して事業を進めて ・ (記してする)	文部科学省体施 2 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 9 9 1 2 2 1 9 1 2 2 1 9 1 2 1 2	設実確 P で体 5 専連 ス と うる で は で は 5 を うる で は 6 専連 ス と うる で は 6 専連 な す こるれ に 6 協 画画 画連施 7 で 体 5 市車 本 で と うる で は 6 専事 業 費 費 千 千 氏	と 求 こ 日	よで3年を持ち、大きない。 安なからでは、 大きない。 女子は、 大きない。 かんりん はんりん はんりんりんりんりんりんりんりんりんりんりんりんりんりんりんり	全管検える	の防犯、避難訓練、地学の一環として、全小学の内容>  「の内容>  「の内容>  「なの内容>  「なの内容>  「ない」  「ない」  「ない」  「ないはない対象例においている。 「はない対象例においている。 「ないはない対象例において。 「ないない対象例において。 「はない対象のが策」 「はない対象の対策	地域住民と管理場とを配合を配合を配合を関する。 本的な内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 な	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② と配	D たに Net と 改集が定 ・ が	おり が	なかった原生なかった原生が 事件の発生をなか を表する。 を表する。 でた一層した。 はないのの内容。 はないのの内容。 では、そのの内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A ないった	※施の具体的な内容責  参加・1 当初期待したとより 当初期特待したとより 当人に以上となった。  「思定どおりでなかった」 とどおりでなかった」 とどおりでなかった」 を変務を遂行した 事3 ●①事前の表	・必要性の理を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容 小であった原因> 策について なかった	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	(1)事業が、 背景は (2)市が多大のでは、 (2)市が多大のでは、 (2)市が多大のでは、 (2)市が多大のでは、 (3)市が多大のでは、 (4)中では、 (5)中では、 (6)中では、 (7)中では、 (7)中では、 (8)中では、 (8)中では、 (7)中では、 (8)中では、 (8)中では、 (9)中では、 (1)中	画項目 今必要である理由・ ・ (事業の必要性) 施する必要性は ・ (記の必要性) ・ (記の必要性) ・ (記の必要性) ・ (記して事業を進めて ・ (記して事業を進めて ・ (記してする)	文 京都科学省は施対会を とでも	設実確 I で体 お	と 求 こ 日	よで、多数には、	全管検える	の防犯、避難訓練、地学の一環として、全小学の内容>  「の内容>  「の内容>  「なの内容>  「なの内容>  「ない」  「ない」  「ない」  「ないはない対象例においている。 「はない対象例においている。 「ないはない対象例において。 「ないない対象例において。 「はない対象のが策」 「はない対象の対策	地域住民と管理場とを配合を配合を配合を関する。 本的な内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 な	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② 字 施	D たに Net と 改集が定 ・ が	おり が かった	なかった原生なかった原生が 事件の発生をなか を表する。 を表する。 でた一層した。 はないのの内容。 はないのの内容。 では、そのの内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A ないった	施の具体的な内容 一番である市の責任 参加・1 当初期待したとおり 当当初期明待したとおり 当当が期待は以下 当当があります。 最定どおりでなかった。 となずったした。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要性の理を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容 小であった原因> 策について なかった	<ul><li>があ</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li></li></ul>
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が、 背景は (2)市が多大のでは、 (2)市が多大のでは、 (2)市が多大のでは、 (2)市が多大のでは、 (3)市が多大のでは、 (4)中では、 (5)中では、 (6)中では、 (7)中では、 (7)中では、 (8)中では、 (8)中では、 (7)中では、 (8)中では、 (8)中では、 (9)中では、 (1)中	画項目 今必要である理由・ ・ (事業の必要性) 施する必要性は ・ (記の必要性) ・ (記の必要性) ・ (記の必要性) ・ (記して事業を進めて ・ (記して事業を進めて ・ (記してする)	文 京都科学省は施対会を とでも	設実確 P で体 5 専連 スピック で 1 で 1 で 2 で 2 で 2 で 2 で 3 で 3 で 3 で 3 で 4 で 3 で 4 で 3 で 4 で 4	と	よで3. 公 を	全管検える	の防犯、避難訓練、地学の一環として、全小学の内容>  「の内容>  「の内容>  「なの内容>  「なの内容>  「ない」  「ない」  「ない」  「ないはない対象例においている。 「はない対象例においている。 「ないはない対象例において。 「ないない対象例において。 「はない対象のが策」 「はない対象の対策	地域住民と管理場とを配合を配合を配合を関する。 本的な内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 ない内容 な	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② 字 施	D たに Net と 改集が定 ・ が	おり が かった	なかった原生なかった原生が 事件の発生をなか を表する。 を表する。 でた一層した。 はないのの内容。 はないのの内容。 では、そのの内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、その内内容。 では、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	A ないった	施の具体的な内容 一番である市の責任 参加・1 当初期待したとおり 当当初期明待したとおり 当当が期待は以下 当当があります。 最定どおりでなかった。 となずったした。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要性の理を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容 小であった原因> 策について なかった	<ul><li>があ</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li>○●</li><li></li></ul>
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1) 事業が (2) 事業 (2) 市がる (2) 市がる (4) 事業 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (7) では、 (7) では、 (8) では、 (1) 目標 (5) では、 (1) 目標 (5) では、 (2) 事い (2) では、 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (6) では、 (7) では、 (7) では、 (8) では、 (8) では、 (9) では、 (9) では、 (1) では、 (1) では、 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (6) では、 (7) では、 (	画項目 今必要である理由・ ・ (事業の必要性) 施する必要性は ・ (記の必要性) ・ (記して事業を進めて ・ には適切か? ・ (記して事業を進めて	文部科学省は、記録できる。  文部科学省は、設定をきる。  文部科学第20ので見た。  ②①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	設実確 I で体 お	と求こ 日	よで3. 公 を	全管検 (	D防犯、避難訓練、地学の内容 >	地域住民と連携している。 は住民と全管理理人を配合を配合である。 な内容をは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	学校内外で ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	②	D たに Nebu 女 b b c c c c c c c c c c c c c c c c c	おり で かった	な事件のできなかった原因が な事件のできなかが な事となかが 献した できた 層 した (又は今容) は (スの内容) は (本の内容)	→ ないった	<ul> <li>施施の具体的な内容責</li> <li>参加・1</li> <li>当初期第待したとおり</li> <li>はしたしたとおり</li> <li>はとどおりのでなかった</li> <li>提定どどおりでなかった</li> <li>でながったした</li> <li>事事がたた</li> <li>へ②②率がより</li> <li>「1事事がたり</li> <li>大規定ととなった</li> <li>大規定ととなった</li> <li>でなかった</li> <li>は対した</li> <li>事がため</li> <li>ではより</li> <li>ではより</li> <li>ではより</li> <li>ではまり</li> <li>で</li></ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容	
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1) 事業が、(2) 市かる事業が、(2) 市かる事施が、(3) 目標にある。 (3) 日標にある。 (3) 日標にある。 (3) 日標にある。 (3) 日標にある。 (4) 日標にある。 (5) 事業の (5) 目標にある。 (6) 日標にある。 (6) 日標にある。 (7) 事業の (7) 目標にある。 (8) 日標にある。 (9) 事業の (9) 目標にある。 (9) 事業の (9) 目標にある。 (1) 目標にある。 (1) 目標による。 (2) 事事の (1) 目標による。 (3) 日標による。 (4) 事業の (4) 事業の (5) 事業の (6) 事業の (6) 事業の (7)	画項目 今必要である理由・ 今の必要性) 施する必要性は では、 では、 のの必要性) のの必要性) のの必要性) のの必要性) ののでは、	文部科学省は、記録を全を N 等 1 (	設実確 P で体 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	と求こ 日	よで3. 公 を	全管検による では できない できない できない できない できない できない できない できない	の内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 と	地域住民と連携した管理 単純 (とを) を) かな 内容 ない 内容 ない 内容 は (と 現 況 値 に と 現 別 値 に と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と な に ま 性 と に ま 性 と な に ま は な に ま せ と な に ま は に ま は ま は に ま は な に ま は ま は に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な	学校内外で O(	②	D たに Net と 改集な D たに Net と 改集な に Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net	おり が が で が で で が で で が で で が で で が で で が で で で が で	な事件のできなかった原因が な事件のできなかが な事となかが 献した できた 層 した (又は今容) は (スの内容) は (本の内容)	→ ないった	### ### ### ### ### ### #### #########	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容	●
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1) 事業 (2) 事 (2) 事 (2) 事 (3) 目標 を 数か (3) 目標 を 数か (3) 目標 を 数か (3) 目標 (2) 事 (3) 目標 (4) 第 (4) 第 (5) 第 (	画項目 今必要である理由・ 今の必要性) 施する必要性は では、 では、 のの必要性) のの必要性) のの必要性) のの必要性) ののでは、	文部科学省は、記録で表示 N	設実確 P で体 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	と 求 こ 日	よで、多なではある。必要なができない。 ない に は で は で は で ない ない ない ない ない で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で は	全管検による では できない できない できない できない できない できない できない できない	の内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 と	地域住民と連携した管理 単純 (とを) を) かな 内容 ない 内容 ない 内容 は (と 現 況 値 に と 現 別 値 に と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と な に ま 性 と に ま 性 と な に ま は な に ま せ と な に ま は に ま は ま は に ま は な に ま は ま は に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な	学校内外で O(	②	D たに Net と 改集な D たに Net と 改集な に Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net	おり でなか で ない	な事件の発生なかった原因が な事件の発生なかができた。 原とがきないができた。 でた一層 した はないができた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	→ ないった	<ul> <li>施施の具体的な内容責</li> <li>参加・1</li> <li>当初期第待したとおり</li> <li>はしたしたとおり</li> <li>はとどおりのでなかった</li> <li>提定どどおりでなかった</li> <li>でながったした</li> <li>事事がたた</li> <li>へ②②率がより</li> <li>「1事事がたり</li> <li>大規定ととなった</li> <li>大規定ととなった</li> <li>でなかった</li> <li>は対した</li> <li>事がため</li> <li>ではより</li> <li>ではより</li> <li>ではより</li> <li>ではまり</li> <li>で</li></ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容	があ ○●
要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	(1) 事業が、(2) 市かる事業が、(2) 市かる事施が、(3) 目標にある。 (3) 日標にある。 (3) 日標にある。 (3) 日標にある。 (3) 日標にある。 (4) 日標にある。 (5) 事業の (5) 目標にある。 (6) 日標にある。 (6) 日標にある。 (7) 事業の (7) 目標にある。 (8) 日標にある。 (9) 事業の (9) 目標にある。 (9) 事業の (9) 目標にある。 (1) 目標にある。 (1) 目標による。 (2) 事事の (1) 目標による。 (3) 日標による。 (4) 事業の (4) 事業の (5) 事業の (6) 事業の (6) 事業の (7)	画項目 今必要要である理由・ 今の必要性は っの必要性は っの必要性は っの必要性は っの必要性 のの必要性 のの必要性 のの必要性 のの必要性 ののが ののである。 ののでのである。 ののである。 ののである	文部科学省は、記録を全を N 等 1 (	設実確 P で体 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	と求こ 日	よで3 学校の安全点にある という という にいる できない いる を はいる できない いる を はいる できない いる という にゅう はいる	全管検による では できない できない できない できない できない できない できない できない	の内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 との内容 と	地域住民と連携した管理 単純 (とを) を) かな 内容 ない 内容 ない 内容 は (と 現 況 値 に と 現 別 値 に と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と な に ま 性 と に ま 性 と な に ま は な に ま せ と な に ま は に ま は ま は に ま は な に ま は ま は に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な	学校内外で O(	② 定管 102 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	D たに Net と 改集な D たに Net と 改集な に Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net	おり で かった	な事件の発生なかった原因が な事件の発生なかができた。 原とがきないができた。 でた一層 した はないができた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	→ ないった	<ul> <li>施施の具体的な内容責</li> <li>参加・1</li> <li>当初期第待したとおり</li> <li>はしたしたとおり</li> <li>はとどおりのでなかった</li> <li>提定どどおりでなかった</li> <li>でながったした</li> <li>事事がたた</li> <li>へ②②率がより</li> <li>「1事事がたり</li> <li>大規定ととなった</li> <li>大規定ととなった</li> <li>でなかった</li> <li>は対した</li> <li>事がため</li> <li>ではより</li> <li>ではより</li> <li>ではより</li> <li>ではまり</li> <li>で</li></ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容	があ ○●
要性参加・協働の工夫環境への配慮 効率性 3・	(1) 事業がが、 (2) 市ある市 大の (3) 目標 値 る (3) と (2) 事 の (3) と (4) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (7) を (7) を (7) を (7) を (8) を (7) を (8) を (7) を (8) を (8) を (8) を (8) を (8) を (8) を (9) を (1) を (1) を (1) を (1) を (1) を (1) を (2) を (1) を	画項目 今必要である理由・ 今必要である理性・ 施する必要性は の必要性) にでは適切か? には適切か? には適切が? を実業費は でを実業費用	文部科学省体験を全体、設定を全体、設定を全体、設定を全体、設定を全体、 で が が か が 実 で で が が か が ままま で で が が か が が か が ままま で で が が か が ままま で で が 現 の 他 「	設実確 P で体 5 専連	と求こ 日	よで3. 女子は できない ない な	全管検による を	の内容 スポーツ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	地域住民と連携した管理 単純 (とを) を) かな 内容 ない 内容 ない 内容 は (と 現 況 値 に と 現 別 値 に と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と 取 が に ま 性 と な に ま 性 と に ま 性 と な に ま は な に ま せ と な に ま は に ま は ま は に ま は な に ま は ま は に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な に ま は な に ま は な に ま な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な に ま は な な	学校内外で O(	② 定管 102 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	D たに Net と 改集な D たに Net と 改集な に Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net	おり で かった	な事 体の でた 原 と なかった発生 なか かった発生 なか かった発生 なが でた	→ ないった	変施の具体的な内容責任を表現した。 参加・計画 対別期待 (を) はたいという はいましい はいまり はいましい はいまり でなかった はいままり でなかった はいままり でなかった はいまます できまず できまず できまず できまず できまず できまず できまず できまず	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容	があ ○●
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率 性 3. ●	(1) 事業 がは (2) 事業 がる実施 かんじく (2) あん市実施 かんじく (2) あん市実施 かんじく 配足 (3) 目標 (4) 目標 (4) といる (3) 目標 (4) といる (4) といる (4) といる (5)	画項目 今必要である理由・ 今のである理由・ 今のである要性) 施する必要性は のの必要性) のの必要性) のののである。 ののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののでである。 のの	文部科学省に設定を全ま、N等主体を主義を主義を主義を担いています。 (理由) 日本 (理由) 日本 (理由) 日本 (理由) 日本 (主義の) (型由) 日本 (国本の) (型本の) (型	設実確 Pで体 5 市導施ス援図	と求こ 日本るい さきにこるより のすりすりし 見 る (校) ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	よで3. と	全管検えまる マイン マッチ で 制のの	の内容 スポーツ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	地域住民と 地域住民と全管理理員を配 体的な内容  ない。 ないのでは、 ないの	学校内外で O(	② 定管 102 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	D たに Net と 改集な D たに Net と 改集な に Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net と なまが定 に Net と Net	おり で かった	な事 体の でた 原 と なかった発生 なか かった発生 なか かった発生 なが でた	→ ないった	変施の具体的な内容責任を表現した。 参加・計画 対別期待 (を) はたいという はいましい はいまり はいましい はいまり でなかった はいままり でなかった はいままり でなかった はいまます できまず できまず できまず できまず できまず できまず できまず できまず	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容	があ ○●

事業コード	1037			課コード		1502		会計租	別 一章	<b>设会計</b>			マ 学	「の種類	■政領	Ė	- 47 44	□ +> I
										~~			1. 71	- V/1± /X			■経常	□なし
. 事業の概要(PLAN)																		
	①事業名	基本事業								を計画への		●有 〇無		②部課名	教	育総務部・	学校教育課	
	③事業主体	個別事業 /	小中学校備 〇その他	情品管理事業 2.(						位置づけ 	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木		布佐	■全市	
)事業概要	⑤事業期間			<u>ਬ</u>	平成31年度	~			⑥担	当職員数			3 人	(換算人	数	(	0.35 人)	
/ + x m x	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費				0 千円			当該	(開始)年度	(当 初)		9,309 千円	(うち人			,045 千円)	
		施策		50404		重点プロジョ	:クト		基本	計画地区別			9,309 77	部門別計画	EI A M		, 045 干円)	
	⑧施策の位置づけ	コード	立一兴 -> フ	52104		への位置で	がけ	重点 4	計画	への位置づけ		O有 ●無	市改士写》	位置づ	け <sup>(音</sup>	十画名)	u 表 //	マケキケー 世
2)目的	施策目的 · 展開方向					るにめ、校告寺の宅が 充実に努めます。	交舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施す うます。				の有効活用を		手務を選し	通じ、学習環境の整備を行う。事務の効率化や適正な予				<b>プ昇</b> 執行・偏
				を運営維持して で理など庶務的		の学校備品を適正に関	構入管理する。 (	学校備品予算の執行	う や伝			空校19校の備品管理 備品の有効活用を		で行いながら	学習環境の	整備を行っ	うと共に、事務	の効率化や適
		・教育基本	去の改正を	踏まえ、子と	どもたちに「生きる力」を育むことを目指し、言語活動・理科教育・外国 の充実を図る。					当該年度 执行計画	・備品の老杯	immの有効治用で i化、学級数の増加 。備品管理シスラ	などの理由					計画的な購入
3)事業内容	内 容						<b>効率的な備品の活用を行う</b> 。			X1 J ā I 四	9 9 87 661	。岬面官垤ンヘ)	ムを泊用し	子牧順品の官	年を順正り	・フ刈売町	~11 J o	
										当該年度	各学校に配当	iされた備品予算の	執行率			単位	想定值	10
  )達成目標(期待する成果)				達点	む日煙(期名				_	助結果指標 		i	旨標			単位	実績値 (5) 現況値	(6)目標値
当該年度	予算の適正執行を	通じ、学習環	境を整備す		× 11 (74) 11	17 01000/			,	直接	予算執行率		<u>п</u>			%	100	
令和 3年度	予算の適正執行を	通じ、学習環	境を整備す	たる。						直接	予算執行率					%		10
令和 4年度	予算の適正執行を	通じ、学習環	境を整備す	よる。						直接	予算執行率					%		10
()事業実施上の課題と対応	購入から30年 て、調整をしなが					、買い替えには多額の	D購入費がかかる	ことから、事業計画		替案検討		O有 ●無						
		平成31年	- 度				令和 2年度				<u> </u>	a和 3年度				令和	4年度	
	政	内 容		金額(千月	円)	内	容	予算額(千円)	央算額(千円)	政	内		金額(千F	9) 政		内 容		金額(千円)
	水: ・小学校備品購入 ・中学校備品購入					ト学校備品購入費 カ学校備品購入費		18, 191	17, 919 9, 876		備品購入費 備品購入費				*校備品購入 *校備品購入			18, 19 9, 91
	小学校備品管理 中学校備品管理	₿システム使用			458	中学校備品購入費 9,918 462 小学校備品管理システム使用料 462 100			9, 870 462 198	小学校	備品管理システ			462 小学	- 牧禰の賜ハ - 校備品管理 - 校備品管理	システム(		46
	*:小学校備品購入 *:小学校電話機	、費(学級増に	伴う,2学	級 1,	026 *	,				* 小学校	備品管理システム使用料 備品購入費(老朽化に伴う) 備品購入費(老朽化に伴う)		1,	270 * 小学	校備品購入	.費(老朽作	化に伴う)	1, 27
実施内容	*: 小中学校電話機	自動音声対応			. 058						を備品購入費(老朽化に伴う) 『実験台(根戸小)			000 * 理科		.費(老朽化に伴う) (久寺家中)		5, 00
3)施行事項 費 用	* 伴なう付帯工事費					* 中学校備品購入費(老朽化に伴う) 374 (体育館パイプ椅子 久寺家中)					South SIAV 117							
į m						【学校保健特別対策事 予備費	業補助金関連】											
					,	ァ岬貝 小学校新型コロナウイ 対策用備品購入費	ルス感染症	4, 245	24, 852									
						の東市岬田湖八員 中学校新型コロナウイ 対策用備品購入費	ルス感染症	2, 321	11, 943									
						7. 水川岬吅牌八貝												
予算(決算)額 国庫支出金	4助率	計	0 %	32,	0 補	合 計	0 %	36, 264	66, 169		合 計	0 %	35,	848		計	0 %	35, 84
県支出金	補助率		0 %		0 補	助率	0 %	0	C	補助率		0 %		0 補助 0 充当	率		0 %	
り財源内訳	□特会 □受益			32,	300	· □特会 □受益 □基		36, 264	66, 169 C		会 口受益 口基		35,	848	- 特会 □受益	金基口 益		35, 84
	0194 071		C 47 III						0. 35		<u> </u>	<u> </u>	0	. 35	174 021			0. 3
換算人数(人) 正職員人件費					0. 35			0. 35 3. 045	3. 045									3. 04
0) 人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額					-	口付云 口叉無 口莖		0. 35 3, 045 0						045 0				,
0) 人 供费生 正職員人件費		252 0.T.M	/0/	3,	0. 35		00.7 (0)	3, 045 0	3, 045 0 0 69, 214					045 0 0				,
0)人件費等 「原活職員報酬額 「應託職員電酬額 「能時職員賃金額 「業費(予算(決算)額十正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標)		353.8千円	/%	3,	0. 35		09千円/%	3, 045 0	3, 045 0				3,	045 0 0				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
0) 人件費等 収託職員執酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決学)額+正職員人件費) 1) 単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK	)	353.8千円	/%	35,	0. 35 080 0 0 380	393.	09千円/%	3, 045 0	3, 045 0 0 69, 214		車	↓ 体(弥体生)	38,	045 0 0 893	s ± ⇔ ± \ \ )			38, 89
0) 人件費等 工職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1) 単位費用	学校の設置者とし	て、児童生徒(	の学習ニー	35,	D. 35 080 0 0 0 380	393.		3, 045 0 0 39, 309	3, 045 0 0 69, 214 692. 14	在認での想定	どおり	F 価(評価結果)	38,	045 0 0 893	5も含む))			38, 89
① 人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額十正職員人件費) ① 単位費用 (事業費/活動結果指標) ② 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目		て、児童生徒(	の学習ニー	35,	D. 35 080 0 0 0 380	393.		3, 045 0 0 39, 309	3, 045 C C 69, 214 692. 14	在認での想定 を認での想定	どおり どおりでなかっ	)t=	38,	045 0 0 893	5も含む))			38,89
の)人件費等 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者とし	て、児童生徒(	の学習ニー	35,	D. 35 080 0 0 0 380	393.		3, 045 0 0 39, 309	3,045 0 0 69,214 692.14 ●①事前码 ○②事前码	を記での想定を認っての想定を記っての想定とした理!	どおり どおりでなかっ 由/想定どおり		38. 38. 二応じ、改善	045 0 0 0 893 案検討(拡充	5も含む))			38,89
① 人件費等	学校の設置者とし要な備品購入およ の①民間企業、N	て、児童生徒びその管理を:	の学習ニー 担う。 <b>1</b> 体等では3	3. 35. 事 -ズに対応した	0.35 080 0 0 380 s 前 評	393.		3, 045 0 0 39, 309	3,045 0 0 69,214 692.14 ・	を記での想定を記での想定とした理にいる。 は、NPO	どおり どおりでなかっ 由/想定どおり 〒ったことで学 、市民団体等で	ったでなかった原因> 校に維持管理を図では実施できなかった。	3. 38. 38. c応じ、改善 ることができ	045 0 0 893 案検討(拡充 きた。 施の具体的な	「内容・必要			38, 89 改善検l
① 人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額十正職員人件費) ① 単位費用 (事業費/活動結果指標) ② 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者とし要な備品購入およ の①民間企業、N (理由) 口法令等 口提供主	て、児童生徒 びその管理を IPO、市民団 で市が実施す 体が市しかな!	の学習ニー 担う。 目体等では ることが定	3. 35. 事 -ズに対応した 実施できない	0.35 080 0 0 380 s 前 評	393. 価 備品の整備管理を行・		3, 045 0 0 39, 309	3,045 0 69,214 692.14 ●①事前码 ○②事前码 <想定どお 計画的に備 ■①民間3 □②市が3	を主導役ととも を主導役となった。 を主導役となった。 を主導役となった。	どおり どおりでなかっ 由/想定どおり うったことで学	った でなかった原因> 校に維持管理を図 では実施できなかった	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 893 案検討(拡充 きた。 施の具体的な	、内容・必要 い、学校は	優先順位	を決めて備品を	38, 89 改善検l
① 人件費等 正職員人件費 収託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) ① 単位費用 (事業費/活動結果指標) ② 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目  (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	学校の設置者とし要な備品購入およ の①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主・ □その他	て、児童生徒びその管理を記るの管理を記るである。 「PO、市民団で市が実施する。 はなが市しかない	の学習ニー 担う。	3. 35. 事 -ズに対応した 実施できない eめられている	7.35 080 0 0 380 380 事前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・		3, 045 0 0 39, 309	3,045 0 69,214 692.14 692.14 ●①事前品 ○②事前品 ○ 想定どお 計画的に備 ■①民間1 □②市が3 ○ 3市が4 ④市の3	を記での想定定 を記でののした。 をとりるの購入のでは、 ととでである。 をというでは、 をできます。 をとしている。 をというでは、 をというでは、 をというできます。 をというでもというでもというでもというでもというできます。 をというでもというでもというでもというでもというでもというでもというでもというでも	どおりでなかっ とおりでなかっ 由/想定どおり テったことで学 、市民団変効性かたことであれたことで 施策の目標の身	った でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかっ なかった 普及が一層	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 案検討(拡充 施の具体的な 算の管理を行	、内容・必要 い、学校は	優先順位	を決めて備品を	38,89 改善検証 ○要 ● 不要
① 人件費等 正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) ① 単位費用 (事業費/活動結果指標) ② 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	学校の設置者とし要な備品購入およ  ○①民間企業、 N (理由) □ 提供主 □ その他  ●②自治体である(理由) ■市が主	て、児童生徒びその管理を記して、児童生徒がその管理を記していました。 で市が実しかない。 であがましかない。 でもが推進すべきで進めるこ	の学習ニー担う。 相体等ではなるとが定 であるい とでより実	3. 35, 35, -ズに対応した 実施できない そめられている	0.35 080 0 0 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・		3, 045 0 0 39, 309	3,045 0 69,214 692.14 692.14 ●①事前和 ○②事前 ○②市市が会 促市すが。 (根市サービー) ○のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を記での想定を記でのの想定を記でのの思想でのの思想による P のなった入 P のなった 大 と に で 役と	どおりでなかっ とおりでなかっ 由/想定どおり テったことで学 、市民団変効性かたことであれたことで 施策の目標の身	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった。 普及が一層 現に貢献した	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 案検討(拡充 施の具体的な 算の管理を行	、内容・必要 い、学校は	優先順位	を決めて備品を	38,89 改善検記  ○要  ●不要
正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	学校の設置者とし、要な備品購入およ  ○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主・□その他  ●②自治体である (理由) ■市が主・□市が主・サービ・サービ・	て、児童生徒を びその管理を でので本が は進めなす。 でもがと があずに では は でも では は は の で は は の で は の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	の学習ニー担う。 団体等では定 はることが定 さいによりまりまります。	3. 35. 35. 事-ズに対応した 実施できない。 とめられている	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・		3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (193.14 (19	を建設での想定を を変える。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 をある。 を、これる。 と、これる。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	どおりでなかった。 とおりでなかったことで学 、市民団体勢性かったことで学 、ければで市民の体性からない。 施策の目標の身	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった。 普及が一層 現に貢献した	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 案検討(拡充 施の具体的な 算の管理を行	、内容・必要 い、学校は	優先順位	を決めて備品を	38,89 改善検記  ○要  ●不要
正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	学校の設置者とし、要な備品購入およ  ○①民間企業、ト (理由) □提供主・□その他  ●②自治体である(理由) ■市が実・サーで支・□市が実・サーで支・□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て、児童生徒を: て、児童生徒を: 「POが幸がです。 「中で本が、市が進機をすってるのです。 では、 すっこるれて 提びよう はいました はいました はいました はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	の学習ニー担う。 団体等では定 はることが定 さいによりまりまります。	3. 35. 35. 事-ズに対応した 実施できない。 とめられている	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・		3, 045 0 0 39, 309	3,045 69,214 692.14 692.14 ●①事前研 ②事前研 <想定ど結計画的に備 ■①民間1 □②市が5 (④市の3 □⑤サート □⑤サート	を建設での想定を を変える。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 をある。 を、これる。 と、これる。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	どおりでなかった。 とおりでなかったことで学 、市民団体勢性かったことで学 、ければで市民の体性からない。 施策の目標の身	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった。 普及が一層 現に貢献した	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 案検討(拡充 施の具体的な 算の管理を行	、内容・必要 い、学校は	優先順位	を決めて備品を	38,89
正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	学校の設置者とし、要な備品購入およ  ○①民間企業、	て、児童生徒を: て、児童生徒を: 「POが幸がです。 「中で本が、市が進機をすってるのです。 では、 すっこるれて 提びよう はいました はいました はいました はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	の学習ニー 担う。 引体等では定 さとでよこと とことにと とこと ひ 数 ま り な り な り な と り な と り な り な り な り な り る り る り る り る り る り る	3. 35. 35. 事-ズに対応した 実施できない。 とめられている	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価		3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想をです。 では、 という では、 という でで という できま という できま できない という できま できない まかま できま できない まかま できます できます できます という	どおりでなかった。 とおりでなかったことで学 、市民団体勢性かったことで学 、ければで市民の体性からない。 施策の目標の身	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった 普及が一層 理現に貢献した れた	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 素検討(拡充 をた。 施の具体的な行体の管理 変数で数音 備品	、内容・必要 い、学校は	(優先順位:	を決めて備品を できるため。	38,89
① 人件費等	学校の設置者とし、要な備品購入およ  ○①民間企業、	て、児童生生を: て、児童生生を: びその管理理を: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学習ニー の担う。 は本等では定とと とことにといるより、 の内容 でり	3. 35. 35. 事-ズに対応した 実施できない。 とめられている	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価	う。学校を維持管	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想をです。 では、 という では、 という でで という できま という できま できない という できま できない まかま できま できない まかま できます できます できます という	どおりでなかった。 由/想定とで等かったことのは、 市内には、 市内には、 市内には、 市内には、 大けた。 施策の由た 施策の由た 総基盤が確保さる。 働の具体的な内	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった 普及が一層 理現に貢献した れた	3. 38. 38. 38. ることができ ることができ するこ	045 0 0 883 素検討(拡充 をた。 施の具体的な行体の管理 変数で数音 備品	内容・必要 fい、学校は の充実を図 加・協働の 以上	(優先順位:	を決めて備品を できるため。	38,89
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者とし、要な備品購入およいでは、	て、児童生生を: 児子の管理 生徒を: 児子ので本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の学習。 の担う。 一切体等と では、 では、 では、 でよに、 政の内容 でり、 では、策・	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価	う。学校を維持管	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想をです。 では、 という では、 という でで という できま という できま できない という できま できない まず できない まず できない できない できない できない できない できない できない できない	どおりでなかった。 由/想定とで等かったことのは、 市内には、 市内には、 市内には、 市内には、 大けた。 施策の由た 施策の由た 総基盤が確保さる。 働の具体的な内	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった 普及が一層 理現に貢献した れた	3. 38. 38. ることができることができる。 ることができる。 ることができる。 ○1) 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③	045 0 0 0 893 素検討(拡充 をた。 施算とで教育備品 参り 当初期待したた。 当初期時したたい 当初期時待したという。	内容・必要を図 か、学校は の充実を図 加・協働の 以上 とと下	を提供しています。 を記録を含まれています。 を記録を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示していまする。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をまする。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述を言述をます。 を言述を言述をます。 を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を	を決めて備品をできるため。	38, 85
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる (理由) □ は (である (理由) □ は (理由) □ 市が (実) □ 市が (ま) で (である (理由) □ 本 (理由) □ を	て、児童生生を: 児子の管理 生徒を: 児子ので本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の学習。  の担う  の担う  のは  では  では  では  では  のは  のは  のは  のは  のは	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価	う。学校を維持管	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想をです。 では、 という では、 という でで という できま という できま できない という できま できない まず できない まず できない できない できない できない できない できない できない できない	どおりでなかった。 由/想定とで等かったことのは、 市内には、 市内には、 市内には、 市内には、 大けた。 施策の由た 施策の由た 総基盤が確保さる。 働の具体的な内	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった 普及が一層 理現に貢献した れた	3. 38. 38. ることができることができる。 ることができる。 ることができる。 ○1) 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③	045 0 0 0 893 素検討(拡充 をた。 施算とで教育備品 参り 当初期待したた。 当初期時したたい 当初期時待したという。	内容・必要を図 か、学校は の充実を図 加・協働の 以上 とと下	を提供しています。 を記録を含まれています。 を記録を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示していまする。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をまする。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述を言述をます。 を言述を言述をます。 を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を	を決めて備品を できるため。	38, 89 ○ 改善検 ● 不 要 ■ 不 要
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者とし、要な備品購入およいでは、	て、児童生生を: 児子の管理 生徒を: 児子ので本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 で本が、東京のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の学習。  の担う  の担う  のは  では  では  では  では  のは  のは  のは  のは  のは	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価	う。学校を維持管	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想をです。 では、 という では、 という でで という できま という できま できない という できま できない まず できない まず できない できない できない できない できない できない できない できない	どおりでなかった。 由/想定とで等かったことのは、 市内には、 市内には、 市内には、 市内には、 大けた。 施策の由た 施策の由た 総基盤が確保さる。 働の具体的な内	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 は実施できなかった 普及が一層 理現に貢献した れた	3. 38. 38. ることができることができる。 ることができる。 ることができる。 ○1) 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③	045 0 0 0 893 素検討(拡充 をた。 施算とで教育備品 参り 当初期待したた。 当初期時したたい 当初期時待したという。	内容・必要を図 か、学校は の充実を図 加・協働の 以上 とと下	を提供しています。 を記録を含まれています。 を記録を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示していまする。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述を表示しています。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をまする。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を記述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述をます。 を言述を言述をます。 を言述を言述をます。 を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を言述を	を決めて備品をできるため。	38, 89 ○ 改善検 ● 不 要 ■ 不 要
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる (理由) □ 民間企業、 (等主他 である主法 (理由) □ お事市が中一で支援の他 (理由) □ 事業計画施時に ○ ②事管理のとと (②事を理のとと (②事を理のとと (③) を (③) を (③) を (③) を (④) を (④) を (⑥) を	て、児童童生徒を記して、児童童生徒を記して、アのでは、「Pでは、大変して、実しいでは、大変して、大変して、大変して、大変して、大変して、大変して、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には	の学習。 でが きとにと 政 容 でよに 政 容 でよに 敢 容 でい ちょり い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし かんし かんし かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・その他の内容> エ夫	の具体的な内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想定ででの想定ででのの。 たき との ででで との	どおりでなかった。 由プラストライン はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 はは実施できなかった 普及が一層  登現に貢献した れた  容(又は今後、 はその内容)	3. 38. 38. ることができることができる。 ることができる。 ることができる。 ○1) 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ② 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③ 章 ③	045 0 0 0 893 素検討(拡充 をた。 施算とで教育備品 参り 当初期待したた。 当初期時したたい 当初期時待したたい 当初初期待けしたという。	加・協働の 加・協働の と下 にった理由ノ	程度・内容を関われています。	を決めて備品をできるため。	38, 89 ○ 改善検 ● 不 要 ■ 不 要
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目	学校の設置者とし、要な備品購入およいでは、	て、児童生生を記して、児童生生を記して、児童生生を記しているのでは、実しいでは、大変しいでは、大変しいでは、大変しいでは、大変には、大変を表している。 は、大変を表している。 は、	の学習。 でが きとにと 政 容 でよに 政 容 でよに 敢 容 でい ちょり い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし かんし かんし かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・その他の内容> エ夫	う。学校を維持管	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想定ででの想定ででのの。 たき との ででで との	どおりでなかった。 由/想定とで等かったことのは、 市内には、 市内には、 市内には、 市内には、 大けた。 施策の由た 施策の由た 総基盤が確保さる。 働の具体的な内	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 はは実施できなかった 普及が一層 登現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 4 市まいることができる。 4 市まいることができる。 4 市まいることができる。 4 中では、 (本) は、 (も)	045 0 0 0 893 素検討(拡充 をた。 施算とで教育備品 参り 当初期待したた。 当初期時したたい 当初期時待したたい 当初初期待けしたという。	内容・必要を図 か、学校は の充実を図 加・協働の 以上 とと下	程度・内容を関われています。	を決めて備品をできるため。	38, 85
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる (理由) □ (理由) □ (表令生) □ (表令生) □ (表示を) □ (表	て、児童生生を: 「児童生生を: 「パー・「おきます」 「パー・「アー・「アー・」 「パー・「アー・」 「パー・「アー・」 「パー・「アー・」 「パー・「アー・」 「パー・」 「パー・ 「パー・」 「パー・ 「パー・」 「パー・」 「パー・」 「パー・ 「パー・」 「パー・」 「パー・ 「パー・ 「パー・ 「パー・ 「パー・ 「パー・ 「パー・ 「パー・	の学習。 でが きとにと 政 容 でよに 政 容 でよに 敢 容 でい ちょり い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし い ちゅうし かんし かんし かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・その他の内容> エ夫	の具体的な内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想定ででの想定ででのの。 たき との ででで との	どおりでなかった。 由プラストライン はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 はは実施できなかった 普及が一層 登現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 883 家検討(拡充 きた。 原本のので教育備品 当初期特待しした以 しした以上とな	加・協働の 以上とより 環境への	程度・内容を関われています。	を決めて備品をできるため。	38, 85
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者とし、要な備品購入およいでは、	て、見の管理生生を記している。 「日では、「日では、「日では、「日では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、」」」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	の学 3 でが きとにと 政 内 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・その他の内容> エ夫	の具体的な内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想定ででの想定ででのの。 たき との ででで との	どおりでなかった。 由プラストライン はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 はは実施できなかった 普及が一層 登現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 883 素検討 (拡充 をた。 集体理育 があります。 があります。 参いたした。 当初初期の期 はしたたりとなる。 はないである。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 はいる。 をいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 はいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	加・協働の 加・協働の 以上 と下 にった理由ノ 環境への なかった	程度・内容を表しています。	を決めて備品をできるため。	38.89
正職員人件費 原語職員報酬額 原語職員報酬額 原語職員報酬額 原語職員人件費 (1)単位費用 事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (木制づくり) 環境に配慮して事業を進めて	学校の設置者として要な備品購入およる   ○①民間企業令保価   ○①民間の日本   ○①民間の日本   ○②民間の日本   ○②は提供の   ○②は提供の   ○③は提供の   ○③は   ○○でがが   ○○でがが   ○○③等準理   ○○③等である。   ○○③等である。   ○○○の   ○○○の   ○○○の   ○○○の   ○○○の   ○○○の   ○○○の   ○○○○の   ○○○○の   ○○○○○○○○	て、見の管理生生を記している。 「日では、「日では、「日では、「日では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、」」」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	の学 3 でが きとにと 政 内 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・その他の内容> エ夫	の具体的な内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想定ででの想定ででのの。 たき との ででで との	どおりでなかった。 由プラストライン はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 はは実施できなかった 普及が一層 登現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 家検討(拡充 から を から を から を が から と し し た と は かり がら から と し し た と と な から と が から と から と	加・協働の 加・協働の 以上 と下 にった理由ノ 環境への なかった	程度・内容を表しています。	を決めて備品をできるため。	38.89
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる   ○①民間企業会供他   ②自治   □口   ②自治   □口   □   □   □   □   □   □   □   □	て、見の管理生生を記している。 「日では、「日では、「日では、「日では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、」」」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	の学 3 でが きとにと 政 内 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3. 35. 35. 35. 事ーズに対応した 実施できない。 Eめられている に対け、 Eの目標の 施策の目標の	0.35 080 0 0 380 380 s 前 評 ながら教育	393. 価 備品の整備管理を行・その他の内容> エ夫	の具体的な内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想定ででの想定ででのの。 たき との ででで との	どおりでなかった。 由プラストライン はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	でなかった原因>図 でなかった原因>図 校に維持管理をかっ はなかった層 器現に貢献した まれた なおれた 容はその内容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 家検討(拡充 から を から を から を が から と し し た と は かり がら から と し し た と と な から と が から と から と	加・協働の 加・協働の 以上 と下 にった理由ノ 環境への なかった	程度・内容を表しています。	を決めて備品をできるため。	38.89
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる   ○①民間の公理由の   ○②日民間の公理由の   ○②日間の   ○②日間の   ○②日間の   ○②日間の   ○②日間の   ○②日間の   ○③日間の   ○○日間の   ○○日間のの   ○○日間ののの   ○○日間ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	て、見の管理生生を記している。 「日では、「日では、「日では、「日では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、」」」、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では	の担う は	3. 35, 35, 35, 35, 35, 36, 37, 27, 28, 28, 28, 28, 28, 28, 28, 28, 28, 28	0.35 080 0 0 380 380 380 4 4 5 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	393. 価 備品の整備管理を行・ その他の内容> エ夫	の具体的な内容 取組む内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (7) 事前 (7) を (4) を (4) では (4) では (4) でする (4) です	を記ででの想想である。   を記ででのの   たまに   はな   を記されて   とのなっ   たまれた   は大きな   まな   な   な   な   な   な   な   な   な	どおり なおりでなかった。 由了ったけたにないでは、 はどとでいる。 はどとでいる。 はどとでいる。 はどとでいる。 はどとでいる。 はどとでいる。 はどとでいる。 はどとでいる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はな	でなかった原因> でなかった原因> 校に維持管理を図 はは実施できなかった 普及が一層 登現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38.  ○ ことができることができることができますることができまするこ	045 0 0 883 家検討(拡充 から を から を から を が から と し し た と は かり がら から と し し た と と な から と が から と から と	加・協働の 加・協働の 以上 と下 にった理由ノ 環境への なかった	程度・内容を表しています。	を決めて備品をできるため。	38.89
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる  ○①民間の公理由のでは、 「等主性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」	て、「Pで体が、市専で・が進程を記さる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の学習。 でが ありまり ・ でよに 政 容 でよに 政 容 でい すりり いりり ている (%)	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.35 080 0 0 380 380 ぶがら数 前がら数 でして、 でして、 でして、 でして、 のして、 でして、 でして、 でして、 でして、 のして のして のして のして、 のして、 のして、 のして、 のして、 のして、 のして、 のして、 のして、	393.  価 備品の整備管理を行 その他の内容>  その他の内容>  エ夫  目標値の妥当性の・  事実に基づき設定してはない	の具体的な内容 取組む内容	3, 045 0 0 39, 309	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (92.14 (93.14 (93.14 (94	を記ででの想想である。   を記ででのの   たまに   はな   を記されて   とのなっ   たまれた   は大きな   まな   な   な   な   な   な   な   な   な	どおり なおりでなかっ かったというでは、 かったというでは、 かったというでは、 というでは、 はいでは、 といでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 とっと。 と。 とっと。 とっと。 とっと。 と。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	でなかった原因>図 でなかった原因>図 でななかった原理を選択に重要を でなかった。 では、	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38.  ○ C と が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	045       0       0       0       0       883       案検討       体理育       場別期期の       上とより       おおおでなか       よおおでなか       よりりでなか       ななった       達成となった	加・協働の 加・協働の かたませる なかった はなかった はなかった はなかった はなかった	程度・内容を表しています。	を決めて備品をできるため。	38. 89
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員質金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者としよ。 「では、	て、その管理生徒を記して、原の管理生徒を記して、原の管理・大きない。 「中でない、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	の学習。 では では でから は でから は でから は でから は から なり ない から でいから から は から ない から から は から から から は いら は から は いら は い	3. 35. 35. 事した 対応したない。 きている。 を取り、 を取り、 を取り、 を取り、 を取り、 を取り、 を取り、 をない。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	0.35 0.80 0 0 380 380 380 ボルン・ ボルン・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ボルン・ ボース・ ・ ボース・ ボース・ ボース・ ・ ボース・ ・ ボース・ ・ ボース・ ・ ボース・ ・ 、 ボース・ ・ 、 ボース・ ・ 、 ボース・ ・ 、 ボース・ ・ 、 ボース・ ・ ボース・ ・ 、 ボース・ ・ ボース・ ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	393. 価 備品の整備管理を行・ その他の内容> その他の内容> 工夫	の具体的な内容 取組む内容	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (7) 事前 (7) を (4) を (4) では (4) では (4) でする (4) です	を記ででの想を 理を り品の まま での かった は での かった は で で と に は と に は と に は と に は と に は と に は と に は と に な ど と に な が に と に と と と と と と と と と と と と と と と と	どおりでなかった。 おいま はいかい かい おい かい	でなかった原因>図校に維持管理を図されてきなかった原因>図は実施できなかった。   「なかった 居現に貢献したまれた   「又は今後、はその内容」   「②目標値達未」   「②2目標値達未」   「②2目標値を達えている。   「②2目標値を達えている。   「③2目標値を表する。   「③2日標値を表する。   「③2日標値を表する。   「③2日標値を表する。   「③2日標値を表する。   「③2日標値を表する。   「④2日標値を表する。   「●3日間に表する。   「●3日間に表する	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38.  ○ C と が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	045       0       0       0       0       883       案検討       体理育       場別期期の       上とより       おおおでなか       よおおでなか       よりりでなか       ななった       達成となった	加・協働の 加・協働の かたませる なかった はなかった はなかった はなかった はなかった	程度・内容を表しています。	を決めて備品をできるため。	38. 85
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員質金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およる  ○①民間の公理由のでは、 「等主性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」  「等性のでは、 」」  「等性のでは、 」	てびる 「Pで体がの中でではない。」 「Pで体がの中ででは、するれに、 「Pでは、 するまさとに、 「Pでは、 するまさに、 「Pでは、 するまでは、 「Pでは、 するまでは、 するまでは、 「Pでは、 するまでは、 「Pでは、 するまでは、 「Pでは、 するまでは、 「Pでは、 するまでは、 「Pでは、 するまでは、 「Pでは、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 「Pでは、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 「Pでは、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 」では、 」では、 「Pでは、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」	の学う。 でが きとにと 政 内 で いっぱっぱい で からし	3. 35. 35. 事した 対応した 変加に対応できない。 変加に対応できない。 変別、後でもない。 変別、施策の目標の ②②3現適等の水	0.35	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  その他の内容>  をの他の内容>  まだ乏しい値ではないないではないないでしてはないないでしてはないないでしています。 までは、この場合、比較する場合、というでは、	の具体的な内容 取組む内容 における目標値(策	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (192) 事前 (192) (	在記ででの想想ででのの 根別ででで は との	どおりでなかった。由うったことで、 はない はい	でなかった原因>図 でなかった原因>図 でななかった原理を選択に重要を でなかった。 では、	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045       0       0       0       0       883       案検討(拡充)       体理育       場合       15       15       15       16       17       18       18       18       18       18       18       18       19       10       11       12       12       13       14       15       16       17       18       18       19       10       10       10       10       10       10       10       10       10       10       10       10	加いと下につた理由ノンなかった。 原因 事業費の	程度 生 内容 を 中 内容 を ー 内容 と ー 内容 を ー 内容 と ー ト ト と ー 内容 と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー ト と ー	を決めて備品を できるため。 PP であった原因>	38. 89
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員質金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者としよ。  「では、	ている では	の学う。 では定 ない きにとり の りりり しん ない かっと にとり の 内 りりり しん ない	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.35       0.80       0       0       380       in	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  その他の内容>  その他の内容>  まだことい値ではない。 する場合、比較対象例 実施予定の対 用	の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  下する  に 策 5 P 英 番 番 値 ( 策 5 P 英 番 番 番 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (192) 事前 (192) (	確認でのの 想定 理を り品 乗車 でのの した P めなっ 大子 P のなっ 大子 P のなっ 大子 P のなっ 一 大子 P の	どおりでなかった。由うったでは、 はない はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい	でなかった原因>図 でなかった原理を図 さは実施った には実施った におかった原理を図 されなかった のの方面 はまり、ではなかった のの方面 はまり、では今後、 はそのの方面 はその方面 では今後、 はその方面 はでする でなかった では、では、では、では、今後、 はその方面 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 883 家検討 (拡充 かきた。 体理育 備品 のので教育体 しした以 もおお で なか は ととな なった なった なった 事 が なん とな なった 事 から なん とな なった から なん しんり でき から なん とな なった から なん とな なった から なん しんり でき から	加・協働の 加・協働の と下 はの充実を図 を はなかった理由 と なかった と 原因	接 保 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を決めて備品をできるため。	38. 89
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員委会額 東美(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者としよ。  「理由」 □ (理由) □ (理由) □ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・	て、「Pで体がは進程を記する」と、「Pで体がは進程ない。」では、「Pで体がは進程ない。」で、「Pで体がは進程ない。」で、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pで	の学習。 でが ありより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.335       0.800       0       0       380          in	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  その他の内容>  その他の内容>  まだことい値ではない。 する場合、比較対象例 実施予定の対 用	の具体的な内容  取組む内容  「たいる」に 策  「DPFI等民間資	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (993) 事前 の (10 (10) 日間がらい。 (10) 日間が	を記せている。	どおり なかっ は	でなかった原因>図 でないった原理を図 で校に維持管きなかった原理を図 は実施った一層 現に貢献した は実施った一層 の内容 の内容 の内容 のででは、な音楽算にできる。 のでは、な音楽のでは、できる。 のでは、な音楽を表して、できる。 のでは、は一点では、は一点では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 家検討 (拡充 を作 を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を を かかり で が かり で なか を は と なっった と なっった を は と なっった で なか	加以と下 つか 原	優先順位が、 程度・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・	を決めて備品をできるため。	38.89
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員報酬額 臨時職員人件費	学校の設置者としよ。  「理由」 □ (理由) □ (理由) □ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・ (注表・	てびる マンス (大) では	の学習。 でが ありより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.335       0.800       0       0       380          in	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  その他の内容>  その他の内容>  まだことい値ではない。 する場合、比較対象例 実施予定の対 用	の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  下する  に 策 5 P 英 番 番 値 ( 策 5 P 英 番 番 番 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (90) 事前 前 が 終 : (4) で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を	どおり なかっ	でなかった原因>図 でないった原理を図 で校に維持管きなかった原理を図 は実施った一層 現に貢献した は実施った一層 の内容 の内容 の内容 のででは、な音楽算にできる。 のでは、な音楽のでは、できる。 のでは、な音楽を表して、できる。 のでは、は一点では、は一点では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 家検討 (拡充 を作 を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を を かかり で が かり で なか を は と なっった と なっった を は と なっった で なか	(内内容・必枝を図 が	優先順位が、 程度・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・	を決めて備品をできるため。	38. 86
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員委会額 東美(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者として要な備品購入およいでは、	て、「Pで体がは進程を記する」と、「Pで体がは進程ない。」では、「Pで体がは進程ない。」で、「Pで体がは進程ない。」で、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pで	の学習。 でが ありより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.335       0.800       0       0       380       380       380       380       ずから       ずいがる       マース差が象ある       おりに       で変し       380       できる       マースを対象ある       おりに       できる       マースを対象ある       おりに       できる       マースを対象を       マースを対象を       マースを対象を       マースを対象を       マースを       マースを <td>393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容&gt;  その他の内容&gt;  その他の内容&gt;  まだことい値ではない。 する場合、比較対象例 実施予定の対 用</td> <td>の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  下する  に 策 5 P 英 番 番 値 ( 策 5 P 英 番 番 番 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗</td> <td>3,045 0 0 39,309 理していくため必</td> <td>3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (90) 事前 前がは、 (10) では、 (10)</td> <td>を</td> <td>どおり なかっ</td> <td>でなかった原理を でながま特質を は実施った一層 は実施った一層 は現底の大の内容 でな維持管きなかった。 「は実施った一層 は現底の大の内容 では今容) ・ (又は今容) ・ (又は今容) ・ (型) ・ (型</td> <td>3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3</td> <td>045 0 0 883 家検討 (拡充 を作 を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を を かかり で が かり で なか を は と なっった と なっった を は と なっった で なか</td> <td>(内内容・必枝を図 が</td> <td>優先順位が、 程度・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・</td> <td>を決めて備品をできるため。</td> <td>38. 85</td>	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  その他の内容>  その他の内容>  まだことい値ではない。 する場合、比較対象例 実施予定の対 用	の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  下する  に 策 5 P 英 番 番 値 ( 策 5 P 英 番 番 番 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (90) 事前 前がは、 (10) では、 (10)	を	どおり なかっ	でなかった原理を でながま特質を は実施った一層 は実施った一層 は現底の大の内容 でな維持管きなかった。 「は実施った一層 は現底の大の内容 では今容) ・ (又は今容) ・ (又は今容) ・ (型) ・ (型	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 883 家検討 (拡充 を作 を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を 施算と を を かかり で が かり で なか を は と なっった と なっった を は と なっった で なか	(内内容・必枝を図 が	優先順位が、 程度・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・内容・	を決めて備品をできるため。	38. 85
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員受金額 東美(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者としよ。 「では、	て、「Pで体がです。「中ではないでは、「Pではないでは、「Pではないでは、「Pではないでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「Pでは、「P	の	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.335       0.800       0       0       380       380       380       380       ずから       ずいがる       マース差が象ある       おりに       で変し       380       できる       マースを対象ある       おりに       できる       マースを対象ある       おりに       できる       マースを対象を       マースを対象を       マースを対象を       マースを対象を       マースを       マースを <td>393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容&gt; その他の内容&gt;  その他の内容&gt;  まが乏してはない。 はい値ない。 はいばない。 はいしていない。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいの実施</td> <td>の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  下する  に 策 5 P 英 番 番 値 ( 策 5 P 英 番 番 番 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗</td> <td>3,045 0 0 39,309 理していくため必</td> <td>3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (90) 事前 前がは、 (10) では、 (10)</td> <td>を</td> <td>どおり なかっ は</td> <td>でなかった原理を図という。 でなかった原理を図という。 では、 (文は 実施 できまなかった 層 できまながら、 (文は 今後、 (文は 今後、 (文は 今後、 (文は 今容)</td> <td>3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3</td> <td>045 0 0 0 8833</td> <td>(内)いの充 かい かい</td> <td>優の名を作用を使いています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>を決ち をできる をできる をできる たで であった 原 国 ス ス の た の た た の た た り た り た り た り た り た り た</td> <td>38, 89  □ 改善 検診 □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ □</td>	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容> その他の内容>  その他の内容>  まが乏してはない。 はい値ない。 はいばない。 はいしていない。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいの実施	の具体的な内容  取組む内容  取組む内容  下する  に 策 5 P 英 番 番 値 ( 策 5 P 英 番 番 番 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗 番 乗	3,045 0 0 39,309 理していくため必	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (90) 事前 前がは、 (10) では、 (10)	を	どおり なかっ は	でなかった原理を図という。 でなかった原理を図という。 では、 (文は 実施 できまなかった 層 できまながら、 (文は 今後、 (文は 今後、 (文は 今後、 (文は 今容)	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 8833	(内)いの充 かい	優の名を作用を使いています。 では、	を決ち をできる をできる をできる たで であった 原 国 ス ス の た の た た の た た り た り た り た り た り た り た	38, 89  □ 改善 検診 □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ ● □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ □
正職員人件費 東託職員報酬額 臨時職員質金額 東美(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市民の参加や市民との協働を て、市が実施の必要性 市民の参加や市民との協働を て、「本実施の必要性 に、「本学のである。 で、「本学の必要性 に、「、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、) に、」 に、) に、) に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、 」 に、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	学校の設置者としよ。 「では、	てびる では	の	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.35	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容> その他の内容>  その他の内容>  まが乏してはない。 はい値ない。 はいばない。 はいしていない。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいしている。 はいの実施	の具体的な内容 の具体的な内容 の具体に 策 5 P 至 4 の 他 ( 策 5 P 至 4 の 他 ) を は 1 年 5 日 5 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日	3,045 0 0 39,309 理していくため必 せ現況値の差)と 本の活用	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (90) 事前 前がは、 (10) では、 (10)	を記述 理を り品 業 導導 化 でで との	どおり なかっ は	でないます。 でない	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 883 883	(内)いの充 かい	優の名を作用を使いています。 では、	を で を で を で を で も っ た 原 因 ン い で た の に の の に る に る 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に る 。 に 。 に に に に る に 。 に 。	38,89    改
正職員人件費 原託職員報酬額 臨時職員委額 東美(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目	学校の設置者としよ。 「では、	てびる では	の学う。 では かっと ころよ の り り り り り り り り り り り り り り り り り り	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.35	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  下裏に基しては、 はないはない。 はないはない。 はないはない。 では、比較対象例  実施予定の対  関係の実施  「はない。 「はない。」 「はない。 「はない。」 「はない。 「はない。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないいい。」 「はないいい。」 「はないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	の具体的な内容 の具体的な内容 の具体に 策 5 P 至 4 の 他 ( 策 5 P 至 4 の 他 ) を は 1 年 5 日 5 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日	3,045 0 0 39,309 理していくため必 せ現況値の差)と 本の活用	3,045 (0 (69,214 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (692.14 (703) 事事 どば (703) では (703	在認定 り品 業 導	どおりでおりでは、	でなかった原理を図    でながった原理を図    でな	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 883 883	(内)いの充 かい	優の名を作用を使いています。 では、	を決ち をできる をできる をできる たで であった 原 国 ス ス の た の た た の た た り た り た り た り た り た り た	●
正職員人件費 東託職員報酬額 臨時職員質金額 東美(予算(決算)額+正職員人件費) 1)単位費用 (事業費/活動結果指標) 事業の評価 (D0+CHECK 評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市民の参加や市民との協働を て、市が実施の必要性 市民の参加や市民との協働を て、「本実施の必要性 に、「本学のである。 で、「本学の必要性 に、「、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、) に、」 に、) に、) に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、」 に、、 」 に、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	学校の設置者としよ。 「では、	てびる では	の学う。 でが ありよい か で で が ありよい 策を と で ない	3. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 35. 3	0.35	393.  価 備品の整備管理を行・ その他の内容>  下裏に基しては、 はないはない。 はないはない。 はないはない。 では、比較対象例  実施予定の対  関係の実施  「はない。 「はない。」 「はない。 「はない。」 「はない。 「はない。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないい。」 「はないいい。」 「はないいい。」 「はないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	の具体的な内容 の具体的な内容 の具体に 策 5 P 至 4 の 他 ( 策 5 P 至 4 の 他 ) を は 1 年 5 日 5 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日	3,045 0 0 39,309 理していくため必 せ現況値の差)と 本の活用	3,045 (C) (G) (G) (G) (G) (G) (G) (G) (G) (G) (G	在認定 り品 業 導	どおりでおりでは、	でなかった原理を図    でながった原理を図    でな	3. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 38. 3	045 0 0 0 883 883	(内)いの充 かい	優の名を作用を使いています。 では、	を決ち をできる をできる をできる たで であった 原 国 ス ス の た の た た の た た り た り た り た り た り た り た	38,89    改

様式第3号						事務事	<b>莱</b> 評価	<b>長(令和</b>	2年度	)								
事業コード		1039		課コード		1502		会計種	引 一般会	:計			予算	の種類	□政策	■経常	□なし	
1. 事業の	概要(PLAN)																	
		①事業名	基本事業							画への		有 〇無		②部課名	教育総務	部・学校教育課		
		③事業主体		交評議員制度の充実 					位置 ) ④対象地	:づけ  i区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市		
(1)事業概要		⑤事業期間			成13年度 ~				6担当職				1 人	(換算人数		0.1 人)		
(1) 爭未佩女		⑦事業費 (人件費含む)									(当 初)		1,374 千円	(うち人件費		870 千円) 千円)		
			施策	50004		重点プロジェクト			基本計画	画地区別			TH	部門別計画への	) (51 = 5)			
		⑧施策の位置づけ	コード	52201	ロエム いわ無し	への位置づけ		重点なし ス労技事援地域	計画への	位置づけ		有 〇無	労技証諾号の	位置づけ	(計画名)		11+##+7	
(2)目的		施策目的 · 展開方向	を中心に、自然	或全体で支えるため、 ≾や歴史、文化、人材 ∩れた学校づくりに取	などの地域資源を	学習や部活動に活	用していきます			目的	保護省・地域//	から迭出された	子仪評議員の	意見や助言を参考	とした地域に	- 用かれに子校づく	りを推進する	
			市内の全小中学	がれた子校りてめに取 学校に、学校評議員制 評議員は年4回開催さ	度を設置し教育委	員会は、公募委員	を含め、1 校あ				市内の全小中等	学校に 1 校あた	り8名の委員	を委嘱し、各学校	年4回評議員	会を開催する。		
				力言を学校運営に反映				2000 ( 9) [ 2 ( )	当該	年度 計画								
(3)事業内容		内 容																
										年度 课指標	全小中学校の	学校評議員によ	る会議への出	席人数(延べ人数		位人	33	
(4)達成目標(期	明待する成果)			達成	目標(期待する成	果)			指標				指標		単	位 (5)現況値	(6)目標値	
当該年度		学校評議員による!	学校評価およびむ	<b>女善への取り組み状況</b>	を把握し、学校に	こ反映させることに	より地域に開か	れた学校を展開	する間	接	学校評議員に。	よる学校評価及	び改善への学	校の取組み状況。	ģ	% 80	9	
令和 3年度		۰		<b>女善への取り組み状況</b>					IFI	接				校の取組み状況。	ģ	%	9	
令和 4年度		学校評議員による!	学校評価およびは	<b>女善への取り組み状況</b>	を把握し、学校に	こ反映させることに	より地域に開か	れた学校を展開	する間	接	学校評議員に。	よる学校評価及 	び改善への学	校の取組み状況。 	9	%	9	
(7)事業実施上の	の課題と対応								代替罗	案検討	0	)有 ●無		_				
			平成31年度				令和 2年度				<u> </u>	和 3年度			ŕ	分和 4年度		
		政策	内 容	金額(千円	) 政策	内 容	7	· 算額(千円)   注	等額(千円) 政策	χ ž	内容	<del></del>	金額(千F	円) 政策	内	容	金額(千円)	
		学校評議員報償 小学校1000円/I	[費 回*年4回*6丿	L*13 3	学校評議 12 小学校10	員報償費 00円/回*年4回*	6人*13	312	157		議員報償費 1000円/回*年4	回*6人*1	3	学校評議 312 小学校10		4回*6人*13	31:	
		中学校1000円/	回*年4回*8丿	人* 6校 1	92 中学校1000円/回*年4回*8人*6校 192				66	中学校	1000円/回*年4	□ * 8 人 * 6 천	交	192 中学校10	00円/回*年	4回*8人*6校	192	
	実施内容																	
(8)施行事項	費用																	
	予算(決算)額	<u> </u>	計	5	04	合 計		504	223		合 計			504	合 言	†	504	
	国庫支出金 県支出金	補助率	0	%	0     補助率       0     補助率		0 %	0	0	補助率		0 %		0     補助率       0     補助率		0 %	(	
(9) 財源内訳	起債 一般財源	充当率			0 充当率		0 %	0 504	223	充当率	^ C=+ C+/	0 %		504		0 %	504	
	その他の財源 換算人数(人) 正職員人件費	口符云 口叉的	益 □基金 □その	0	0 □特会 .1 80	□受益 □基金 □	ての他	0 0. 1 870	0 0. 1 870	口符5	会 口受益 口基金	並 口ての他		0 □特会 0.1 870	□ ▽ □ □ □ □ □ □	金 □その他	0. 1 870	
(10) 人件費等	嘱託職員報酬額臨時職員賃金額			0	0			0	0					0			(	
事業費(予算(決算 (11)単位費用	(1)額+正職員人件費)		4 10 T T (	1, 3		4.107.00		1, 374	1, 093				1,	374			1, 374	
	活動結果指標) <b>評価 (DO+CHECK</b>	<u> </u>	4. 19千円/ノ	<u> </u>		4.16千円	<u> </u>		4. 9									
	<b>西項目</b>	<u> </u>		事	前評価						事後評	価(評価結果	に応じ、改善	案検討(拡充も含	<b>す:</b> ))		改善検討	
				「今後の地方教育行政	のあり方について			プのもと	●①事前確認		どおり			> - -			7,11,11	
	今必要である理由・ ?(事業の必要性)	設置者の定めると	ころにより、学校	れるよう法令が改正さ 交評議員を置くことが 頁に応え、開かれた学	できる。」と学校	校評議員の設置が位	置付けられてい		○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							O要 ●不要		
月泉は	: (争未の必安は)	重要な役割を担う		気に心え、 囲がれた士	女を クくるために	-、十仅矸磁具则及	はくの推進仪と							た学校運営を目指す	けことができ	る。	●11·安	
必				等では実施できないことが定められている	<その他の	内容>				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施の □②市が主導で進めなければ実効性がなか・						的な内容・必要性の理由> 委員を市教育委員会が委嘱し設置すること		
要			体が市しかない			□(   <その他の内容>   □(					たことで市民へ			なっている。				
性 (2)市が実施 あるか	施する必要性は	●②自治体である								水準が確							〇要	
	西の必要性)	口市が実施	施・提供すること	こより実効性が得られ こにより、良質で安定					□⑦その他		給基盤が確保され	れた 					●不要	
		口市が支		リ政策・施策の目標の	)				<その他の内容	谷>								
		実規が							実施した参加・協信		動の旦休的た内容	卒(Ⅴ廿全丝						
		O①事業計画時に	参加・協働の	内容		工夫の具体的な内容					動の具体的な内容 えられる場合には		OUF	参加・協働の程度・内容  ①①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
参加		〇②事業実施時に 〇③管理・運営に	市民の参画有り										●② <b>à</b>					
協工夫してい		〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で		ている									<期待					
協働工夫している。	9)	●⑥その他 												<期待した以上となった理田/期待以下であった。 				
		<その他の内容> 該当なし																
			配慮の視点	ī		取組も	`内容			実施	した具体的な内容	容			環境への配慮			
環		□①自然環境を生 □②生き物と共存	すしている											思定どおり 思定どおりでなかっ	_ <del></del> ot:			
境への 環境に配慮 いるか? 配慮	して事業を進めて	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低減											<想定	どおりでなかった	原因>		 ○ 要	
配慮		■⑤その他															● 不要	
		<その他の内容> 該当なし																
		現況値(a)(%)	目標値(b)(%			直の妥当性のチェッ	<i></i>			達成状況		●①目標値通 ○②目標値ま						
(1)目標設定	定は適切か?			口②現況値と比	べ実現性が乏し				実績値(f)(%		達成率(%) (f/b×100)							
		80	90	□④適当な比較		はない 、比較対象例におけ	る目標値(と現	況値の差)と	84	(†)	93. 33	開催回数が減					●不要	
		対策実施によ		同等の水準		実施予定の対策				実施状況		●①想定事業 ○②概ね想定			業費の削減対	策について		
効		事業費(c)(千円)	事業費削減額 (千円)	■②現有体制で	の対応	口⑥受益		)活用	実績値(g)(千		対事業費(%) (g/c)×100	○②概ね想定事業		●①事前の? ○②事前の?	想定どおり 想定どおりで	 なかった		
率 (2)事業費削いるかが	削減の工夫をして ?	1, 374	10	□④民間委託	の削減策の実施	□⑦その 	他		1,093	$\perp$	79. 55				削減できなか	いった原因>	O要 ● <b>不</b> 更	
性		事業費削	減率(%)	<削減の内容>					<超過理由等) コロナ禍の影響		会議の回数が減	成ったため					●不要	
		0.	72															
(3) 日標値 2	を実現する為に		目標値対事業費			計算方				達成状況				   <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因:   コロナ禍の影響により、会議の回数が減ったため				
	事業費は適正か?	6. 55		<b>並位</b> 費用単位		指標:目標値×費用 の指標:(目標値一:		单位/事業費	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	03目標値以		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.、 女成の世	1100 JILILOJ	〇要 ●不要	
		0.00		% 10万円		○②複数年度の指標:(目標値-現況値)×費用単位/事業費 ————————————————————————————————————				7. 69 117. 4								
3. 事後評																		
●現状どおり				平価コメント	〇事業手法見直	し  〇その他	事業完了など)					改善	善策及び展開力	7白				
	制度が完美してき	ており、学校と地域	との連携が進んて	でいるため														
評 学校評議員 価	前皮が足指 ひてこ							ı										

康式第 3 号							7777	不可叫	表(令和	2	又								
事業コード		1040			課コード		1502		会計種類	別	-般会計			予算	の種類    ■	■政策	■経常	□なし	
1. 事業の	概要(PLAN)																		
		①事業名	基本事業								施計画への		有 〇無		②部課名	教育総務部	· 学校教育課		
					給食調理業務の日	民間委託事業					位置づけ  †象地区			- W II.					
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	Oそのff		1 2年度 ~						□我孫子	□天王台	□湖北 3 人	□新木  (換算人数	□布佐	●全市 0.65 人)		
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費		12-1	350.815 千円					当職員数	(当 初)	397	,867 千円	(うち人件費		5,655 千円)		
		(人件費含む)	総争耒貸			350,815 十円				自	該(開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)		
		⑧施策の位置づけ	施策コード		83202		重点プロジェクト への位置づけ		重点なし		本計画地区別 iへの位置づい		)有 〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	子ども総合計画		
		施策目的・	行政や市民、							ける			調理業務民間委託	を継続し、1	食に関する指導の充	 実と、委託に	よる財政負担の	経減を図る。	
(2)目的	展開方向管理運営にあたっては指定管理者制度の活						活用しながら事業の委託化や民営化を進めるとともに、公の施設の 活用を進めます。また、事業の必要性や実施であり方などにつ			につ	事業目的								
			・調理業務民間委託により、人件費において市の財政負担の軽減を図る。また学校栄養職員が行なっ 調理従事者の衛生管理や労務管理の時間軽減を図り、加えて学校栄養職員が行なう給食指導や「食									支援・指導	を行う。		色するにあたり年間				
			充実を図る	る。							当該年度 執行計画		に向けて、我二小、 のプロポーザルに。		艮戸小、新木小、湖 fう。	北台中の6枝	に対して3年に	1度の契約業	
(3)事業内容		内 容										・高野山小の	調理業務を新規に	委託する。					
												(委託化した	学校数)			単位	想定值		
(4)達成目標(期	(共才を出用)				·麦 db F	目標(期待する成	:⊞\				動結果指標  指標種類			標		単位	実績値 (5)現況値	(6)目標値	
当該年度	1寸9 心以本/	調理業務民間委託	により、人件	費において			· <b>本</b> /				直接	円滑な給食調	理業務の民間委託			校	18	(0) 口1赤胆	
令和 3年度		調理業務民間委託	により、人件	費において	て市の財政負担の	の軽減を図る。					直接	円滑な給食調	理業務の民間委託	実施校数		校			
令和 4年度		調理業務民間委託	により、人件	費において	て市の財政負担の	の軽減を図る。				+	直接	円滑な給食調	理業務の民間委託	実施校数		校			
1711年一次		調理業務委託では、	、学校栄養士、	、給食担	当における調理	業務実施状況管	理が重要となる。今	徐は、学校栄	養士、給食担当が	連携	巨 1女					11.			
(7) 事業実施上の	の課題と対応	し、安全でおいし	い給食の提供だ	ができる。	よう調理業務実施	施状況管理をさ	らに進める。			f	代替案検討		)有 ●無						
			平成31年	<b>F</b> 度	1			令和 2年度				令	和 3年度			令和	] 4年度		
		束:	内 容		金額(千円)	策	内 容			算額(千円	束:	内		金額(千円	策 :	内 容		金額(千円)	
		小学校給食調理 中学校給食調理	里業務委託	1 2 校 6 校	248, 98 132, 0	11 中学校約	合食調理業務委託 合食調理業務委託	1 1校 5校	236, 697 124, 041	236, 10 122, 00	04 中学校	<sup>校給食調理業務委 校給食調理業務委</sup>	託 5校	236, 6 124, 0	041 中学校給食	:調理業務委託	5 校	261, 39 124, 04	
		契約業者選定 小、湖北台東小			1		布佐小・布佐中学校給食調理業務委託 契約業者選定(我孫子二小、我孫子三 小、根戸小、新木小、湖北台中) 3年度新規委託開始の準備(高野山小)				約業者	選定(湖北小、	后長調理未務安託 5校 ・布佐中学校給食調理業務委託 選定(湖北小、布佐小				:調理業務委託 ·小、我孫子四	31, 46	
		白山中) 報酬										合西小、並木小、 子中、布佐中)	布佐南小、		小、湖北台	東小、湖北中	1、久寺家中、		
	実施内容	【9月補正】 給食調理業務委	5計料		△1, 76	報酬			14	1 △2, 49	14 * 高野山	中、布佐中)			'00 報酬 14			1	
(8) 施行事項	費用	相及過程不勿及	C		21,7	00 071181	-			22, 10	TIXEDII				``				
	貝 巾																		
-	予算(決算)額	<u> </u>	計		379, 23	37	合 計		392, 212	387, 07	79	合 計		416, 9	112	合 計		416, 91	
-	国庫支出金 県支出金	補助率補助率		0 %		0 補助率 0 補助率		0 %	0		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %		
(9) 財源内訳	起債 一般財源	充当率		0 %	379, 20	0 充当率	充当率     0 %       392, 212			387. 07	0 充当率		0 %	416. 9	0 充当率		0 %	416, 91	
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 口基金 口	その他		3/9, 23/7 0 □特会 □受益 □基金 □その他 0 0, 65 0, 65					0 □特	会 □受益 □基:	金 口その他	0.	0 □特会 □	□受益 □基金	□その他	0. 6	
(10) 人件費等	正職員人件費嘱託職員報酬額				5, 72	20	5, 655 0				55 0			5, 6	0	5, 65			
事業費(予算(決算	臨時職員賃金額 ()額+正職員人件費)				384. 9	0			397, 867	392. 73	0			422. 5	0			422, 56	
(11)単位費用	舌動結果指標)		21, 386. 5 <b>∓</b> 1	円/校	001, 00		22, 103. 72=	千円/校	007, 007	21, 818. 5				122, 0				122, 00	
	評価 (DO+CHECK	0																	
評価	西項目				事	前 評 価						事後評	価(評価結果に	応じ、改善	案検討(拡充も含む	;) )		改善検討	
		第2次行政改革指針 託の継続を行う。	†に基づく、小	中学校給	食調理業務民間	<b>委託の推進をは</b>	託の推進をはかり、安定的な給食提供を行うため調理業務委				●①事前確認での想定どおり								
	今必要である理由・ ?(事業の必要性)	10-1-42-00-0-17-2-0							-	○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>						〇要 ●不要			
月末16:	. (争未000安任)													安定した給	食の提供が行えた。		U-1-9		
必		○①民間企業、N (理由) □法令等				<その他の	< その他の内容 > 我孫子市の学校給食調理業務を委託する業者選定、委託契約						は実施できなかった		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 給食調理業務の委託事業者の選定や、契約及び業務遂行の				
要			体が市しかなり		E00211.C0.0						□②市が主導で進めない □③市が先導役となった 促進された □④市の支援が政策・別				設置者である市が			)) HE	
性 (2) 市が実施	施する必要性は	●②自治体である		ジキポセス		/ <del>Z</del>							現に貢献した					〇要	
あるか? (市実施	? (の必要性)	(理由) 口市が主	導で進めるこ	とにより	実効性が得られん	る 我孫子市の					-ビスの安定信	は は は は は は は は は は は は は は は は は り は り	れた					●不要	
		サービ	スが保証されん	る		した 及び業務項	整行の確認寺を中かる	行うへきであ	<b>১</b>	□⑦その <その他の									
		実現が[	図られる	より政策	・施策の目標の		工夫の具体的な内容												
		■その他	参加・協働	の内容								弱働の具体的な内:			容				
4		O①事業計画時に	市民の参画有	<b>事り</b>								えられる場合に	はその内容)		初期待した以上	協働の程度・内容			
参加・古民の参加・	や市民との協働を	○②事業実施時に ○③管理・運営に													初期待したとおり 初の期待以下				
協工夫してい	るか?	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で		もしている											した以上となった理	由/期待以T	であった原因>	○要 ●不要	
(体制づくり   エ     夫	, ,	●⑥その他																	
^		<その他の内容> 該当なし																	
			配慮のネ	視点			取組む内容				宇地	した具体的な内	容		環境への配慮				
		□①自然環境を生	Eかしている				-1×141 4				<b>~</b> ///	#J Or 1			定どおり				
環 境 環境に配慮	して事業を進めて	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識	載している	. 7											定どおりでなかった				
境 環境に配慮 いるか?	・シェテネと座のし	□④環境負荷低減 ■⑤その他	変に貢献してい	16										<想定。	どおりでなかった原	因>		○ 要 ● 不要	
慮		<その他の内容>																	
		該当なし																	
		現況値(a)(校)	目標値(b)				値の妥当性のチェッ				達成状況		●①目標値達成 - ○②目標値未達						
(1)目標設定	定は適切か?				■②現況値と比	べ実現性が乏し				実績値(	f) (校)	達成率(%) (f/b×100)	- ○②目標値未達成 - <目標を達成した理由/未達		 未達成となった原因>				
		18	18			対象が有る場合	iはない ↑、比較対象例におり	ける目標値(と	現況値の差)と	18	3	100		3年毎の給食調理業務委託の		に実施し、安	定した給食の提供	供が●不要	
		対策実施によ	     る事業費削減	<b></b>	同等の水準	である	実施予定の対策				実施状況	兄	〇①想定事業費		事業	費の削減対策	について		
÷1		事業費(c)(千円)	事業費削減(千円)	額(d)	□①国・県助成			- I 等民間資本 公务負担	の活用	実績値(g)		対事業費(%)	<ul><li>●②概ね想定事</li><li>○③想定事業費</li></ul>		●①事前の想	定どおり			
効   <sub>率</sub>   (2)事業費肖	削減の工夫をして	397, 867	(十円) △12, 91	10	■②現有体制で □③維持管理費				ŀ	392,	734	98. 71	対事業貨(%) (g/c) × 100 ○③想定事業費		○②事前の想				
性					■④民間委託 <削減の内容>					<超過理			1		<想定どおり削 	i感 じさなかつ	に原囚2	〇要 ●不要	
			3. 35																
	を実現する為に		目標値対事業		# = ** '	▲①単左座◆	計算方 指標·日煙値×費目		-		達成状	兄 対目標値(%)	<ul><li>○①目標値以上</li><li>●②目標値と同</li></ul>	程度	標値以上となった	理由/目標値	以下であった原因		
	事業費は適正か?	0. 45		単位	費用単位		指標:目標値×費用 の指標:(目標値ー			実績値	直 (h)	对目標値(%) (h/e)×100	○③目標値以下					〇要 ●不要	
				校	1000万円		②複数年度の指標:(目標値 - 現況値)×費用単位/事業費				46	102. 22	e) × 100						
3. 事後評(																			
●現状どおり	推進 〇拡充	〇縮小	〇結合 (	〇休止 評価コン	○廃止 メント	〇事業手法見	直し 〇その他	(事業完了など	<u></u>				Jr 羊 ///	及び展開方	向 ———				
													以善策	<b>火い</b> 展開力	ird				
本事業は学	校教育の充実とい	う施策の実現に効果	的な事業とな	っている	ため、今後も引	き続き現状通り	推進していく。		ı										

様式第3 <del>号</del>				争伤争未计	西表(令和	2年度)							
事業コード	1043		課コード	1502	会計種別				予算の	種類	]政策	■経常	□なし
4 事業の無悪(DIAN)													
1. 事業の概要(PLAN)		基本事業				<b>B</b> #1-							
	①事業名			(法令に基づく適切な事務)事業		実施計画への 位置づけ	•	有 〇無	2	部課名	教育総務部・	学校教育課	
	③事業主体	●市 Oぞ	その他(		)	④対象地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要	⑤事業期間			~		⑥担当職員数	(1) (1)		4 人	(換算人数		1人)	
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)年度	(当 初)	8,	8,	700 千円) 千円)			
		施策		重点プロジェクト		基本計画地区別			千円	(うち人件費) 部門別計画への		1117	
	⑧施策の位置づけ	コード	52104	への位置づけ	重点 4	計画への位置づけ	<i>t</i>	有 ●無		位置づけ	(計画名)		
(2)目的	施策目的 · 展開方向			をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機 整備・充実に努めます。	器・備品の更新を実施	事業目的	法令に基づき	事務を遂行し、適切	に児童生徒の	の字籍管理を行う	0		
	26/3/25119	・学級編制事務						走の保護者に対し、	入学通知書る	を発送。			
		・学齢簿作成管理 ・入学、退学、転				当該年度		域外就学の手続き。 転学の手続き。					
(3)事業内容	内容	<ul><li>・学区外就学、区・我孫子市通学区</li></ul>	⊠域外就学の手続き ⊠審議会			執行計画	・学齢簿の管理 ・学級編制協調	<sup>里。</sup> 義(各小中学校・教	育事務所)				
						当該年度	・我孫子市通知	学区審議会 遂行し、学齢簿を適	正に管理する	る件数。		想定值	9, 989
						活動結果指標					単位	件数 実績値	C
(4)達成目標(期待する成果)	8 + 4 - 1 - 1 × 1	1た東敦の学年	達成目	標(期待する成果)		指標種類	適切な事務の記		標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度 ————————————————————————————————————	各法令による適切					直接					%	100	100
令和 3年度	各法令による適切					直接	適切な事務の記				%		100
令和 4年度	各法令による適切					直接	適切な事務の追	逐行。 ————————————————————————————————————			%		100
(7)事業実施上の課題と対応	地域により各小中	『学校の児童生徒数に	に偏りがある。			代替案検討	0	有 ●無		_			
		平成31年度		令和 2年度	<u> </u>		<b>一</b>	和 3年度			令和	4年度	
	政策	内容	金額(千円)		予算額(千円) 決算	類(千円) 政	内 羽		金額(千円)	政策	内 容		金額(千円)
	・入学通知書 ・転校届 在	在庫で対応	0		0	0 八	学通知書 在庫で対応 対届 在庫で対応		C		l書 在庫で対応 在庫で対応	ठे	0
	・通学区審議		70	· 通学区審議会委員報酬	35	0 通	学区審議会委員報?	SM .	35	・通学区審	議会委員報酬	1	35
				* 【布佐中学校区学校施設】 * ・学校施設の在り方等検討			生中学校区学校施設 を施設の在り方等				校区学校施設】 の在り方等検記		
<b>**</b>													
実施内容 (8)施行事項 ## 田													
費 用													
予算(決算)額		合 計	70		35	0	合 計		35		合 計		35
国庫支出金 県支出金	補助率	0 %	5 (	110, 22 1	0	0 補助率		0 %	C	11.0 12 1		0 %	0
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率	0 %	70		35	0 充当率		0 %	35			0 %	35
その他の財源 換算人数(人)		益 口基金 口その他	0. 7	7	1	1	会 口受益 口基金	⑥ □その他		)	□受益 □基金	口その他	0
(10) 人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額	Į.		6, 160 7, 092	2	8, 700 0	8, 700 0			0	)			0
臨時職員賃金名 事業費(予算(決算)額+正職員人件			6, 230		0 8, 735	0 8, 700			35				0 35
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.62千円/件数		0.87千円/件数		0							
2. 事業の評価(D0+CHE	A1/												
2. 事業の計画(DOTOIL	CK)												
評価項目		- 11 - 11 - 2 M		前評価				価(評価結果に応	じ、改善案権	検討(拡充も含む	) )		改善検討
評価項目	小中学校の学齢簿 務を遂行する必要			前 評 価 、すべて法令により規定されていることから		●①事前確認での想定 ○②事前確認での想定	<b>≧どおり</b>		じ、改善案材	検討(拡充も含む	;))		
	小中学校の学齢簿 務を遂行する必要 由・			** *** **	<	〇②事前確認での想象 〈想定どおりとした理	きどおり きどおりでなかっ; 由/想定どおりで	t:	じ、改善案材	検討(拡充も含む	;) )		改善検討 ○要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理	小中学校の学齢簿務を遂行する必要 ・)	がある。	転学等の取り扱いは	:、すべて法令により規定されていることから	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	○②事前確認での想象 〈想定どおりとした理 ま令に従い適正な事務	Eどおり Eどおりでなかっ; 由/想定どおりで 処理をした	たなかった原因>					O要
評価項目 (1)事業が今必要である理	小中学校の学齢簿務を遂行する必要 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がある。 NPO、市民団体等 で市が実施すること	転学等の取り扱いはでは実施できない	** *** **	(	○②事前確認での想気 (想定どおりとした理 会令に従い適正な事務 ■①民間企業、NPC □②市が主導で進めた	きどおりでなかった 由/想定どおりで 加理をした の、市民団体等では なければ実効性が	た なかった原因> よ実施できなかった なかった	· 一<市実施の	検討(拡充も含む の具体的な内容・ であることから、	必要性の理由に		O要
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 必要	小中学校の学齢簿務を遂行する必要 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がある。 NPO、市民団体等 で市が実施すること 体が市しかない	転学等の取り扱いはでは実施できない	:、すべて法令により規定されていることから	(	○②事前確認での想気 (想定どおりとした理 も令に従い適正な事務 ■①民間企業、NPロ □③市が主導で進めた 回①3市が先導役となっ 促進された	をどおりをという。 自/想定どおりでなかった。 由/想定どおりで 処理をした )、市民団体等ではいれば実効性がなったことで市民へ	た なかった原因> よ実施できなかった なかった 普及が一層	· 一<市実施の	の具体的な内容・	必要性の理由に		O要
評価項目 (1)事業が今必要である理! 背景は?(事業の必要性	小中学校の学齢簿 務を遂行する必要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NPO、市民団体等で市が実施することはが市しかない	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている ある	:、すべて法令により規定されていることから <その他の内容> <その他の内容>		○②事前確認での想気 想定どおりとした理 会令に従い適正な事務 ■①民間企業、NPC □②市が生導で進めない ②第一が生導役となっ 優市の支援が政策・ □③サービス水準が確	をどおりでなかった。由 / 想定どおりでなかった。 由 / 想定どおりでなかった。 如理をした つ、市民団体等ではいれば実効性がいたことで市民へ・ 施策の目標の実施	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	· 一<市実施の	の具体的な内容・	必要性の理由に		O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 必要性 (2)市が実施する必要性は	小中学校の学齢簿 務を遂行する必要  ●①民間企業、「 (理由) ■法令等  □提供主 □マの他  ○②自治体である。 (理由) □市が実	NPO、市民団体等でで市が実施することによる市が推進すべきでよりできた。 でありませんができない。	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている	< その他の内容>	(   法   [   [   [	○②事前確認での想気 「想定どおりとした理 も令に従い適正な事務  ●①民間企業。NPO ②市が主導で進めなっ 促進された □④市の支援が政策・ □⑤サービスの安定化 □⑥サービスの安定化 □⑦その他	をどおりでなかった。由 / 想定どおりでなかった。 由 / 想定どおりでなかった。 如理をした つ、市民団体等ではいれば実効性がいたことで市民へ・ 施策の目標の実施	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	· 一<市実施の	の具体的な内容・	必要性の理由に		○要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか?	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NPO、市民団体等とで市が実施するい。 で市が実施するいい。 る市が推進すべきでよりでで提供することによったが保証さることによりなが保証されるより、	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られる こより、良質で安定し	< その他の内容>	(   法   [   [   [	○②事前確認での想気  【想定どおりとした理 会令に従い適正な事務  ■① ② 市が生導役となって 促進された 政策を 回③ サービス水準が 回⑥サービスの安定化	をどおりでなかった。由 / 想定どおりでなかった。 由 / 想定どおりでなかった。 如理をした つ、市民団体等ではいれば実効性がいたことで市民へ・ 施策の目標の実施	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	· 一<市実施の	の具体的な内容・	必要性の理由に		O
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NPO、市民団体等で市が実施することは体が市しかないというではあることにより政権のできない。 でが推進すべきで導ので進めることには施・提供証されるにより政策のことにより政策のよれる。	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定しな策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> た	(   法   [   [   [	○②事前確認での想気 「想定どおりとした理 会令に従い適正な事務  ③①民間企業導で進めなっ (現まで表して、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	をどおりをという。 由/想定どおりでなかった。 ・ 本の理をした ・ の、市民団体等でが、 ・ なければ実効性が、 ・ かまの目標の実 ・ を策の目標の実 ・ を策の目標の実 ・ ななが確保された。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	· 一<市実施の	の具体的な内容・ であることから、	必要性の理由2 行政機関の運2	堂となる	O
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NPO、市民団体等で市が実施することには体が市しかない。 る市が推進すべきで導で進めることにより施・提供するることにより遅いなった。というない。 参加・協働の内容を加い、	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定しな策・施策の目標の	< その他の内容>		○②事前確認での想気 「想定どおりとした理 会令に従い適正な事務  ③①までは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Na	をどおりをという。 由/想定どおりでなかった。 ・ 本の理をした ・ の、市民団体等でが、 ・ なければ実効性が、 ・ かまの目標の実 ・ を策の目標の実 ・ を策の目標の実 ・ ななが確保された。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	《市実施 公立学校	の具体的な内容・ であることから、 参加・協	必要性の理由に	堂となる	O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 するなか? (市実施の必要性)	小中学校の学齢簿を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NPO、市民団体等とで市がする。 NPO、市民団体等とでであが実施かない。 る時で進場をすることには、 スが保証されるとにより吸収的では、 といるでは、 のの内容では、 ののの内容では、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定しな策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> た		● 事前確認での想気 想定どおりとした理会令に従い適正な事務 ● ① 具間企業。 べき できゅう ② 司 市が先き導化 といる できられた がまり できる はんしょう はんしょく はんしょく はんしょう はんしょく はんし	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 の、市民は体等では、 の、市民は集団体等では、 のなければとで市民へ、 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保された。 は終基盤が確保さる。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	《市実施 公立学校 公立学校 ●②当初	の具体的な内容・であることから、 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり	必要性の理由2 行政機関の運2	堂となる	O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 が 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	小中学校の学齢簿を遂行する必要  ・	NPO、市民団体等とで市が東海で地域のでは、 でで市が市しかない。 このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> た		○②事前確認での想気 「想定どおりとした理 会令に従い適正な事務  ③①までは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Na	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 の、市民は体等では、 の、市民は集団体等では、 のなければとで市民へ、 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保された。 は終基盤が確保さる。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	〈市実施公立学校 公立学校 〇①当初 ②②当初 ○③当初	の具体的な内容・ であることから、 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由2 行政機関の運2 動の程度・内容	<b>営となる</b>	○要 ● 不要 ○ 要 ● 不
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 が 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NPO、市民団体等とで市が東海で地域のでは、 でで市が市しかない。 このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> た		○②事前確認での想気 「想定どおりとした理 会令に従い適正な事務  ③①までは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Naでは、Na	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 の、市民は体等では、 の、市民は集団体等では、 のなければとで市民へ、 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保された。 は終基盤が確保さる。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	〈市実施公立学校 公立学校 〇①当初 ②②当初 ○③当初	の具体的な内容・であることから、 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり	必要性の理由2 行政機関の運2 動の程度・内容	<b>営となる</b>	○ 要 ● 不 要 ○ 要 要 要
評価項目  (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 が要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)  ***  **  **  **  **  **  **  **  **	・	NPO、実施のない。 NPO、実施のないのでも、実施のないでもが市しかないのでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでも、といるでも、といるでも、といるでも、といるでも、といるでも、といるでも、といるでも、といるでも、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでも、というでも、というでも、というでも、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> た		○②事前確認での想気 「想定どおりとした理 会令に従い適正な事務  ③①目の企業で進むな・ ②②市が先導役と 「②3市が先さ導役となった。 促進さなった。 日のサービスの安定的 ⑤サービスの中でである。 であり、一でする。 でもの他の内容〉	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 の、市民は体等では、 の、市民は集団体等では、 のなければとで市民へ、 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保された。 は終基盤が確保さる。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	〈市実施公立学校 公立学校 〇①当初 ②②当初 ○③当初	の具体的な内容・ であることから、 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由2 行政機関の運2 動の程度・内容	<b>営となる</b>	○ 要 ● 不 要 ○ 要 要 要
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 が 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NPO、市民団体等というでは、   NPO、東施すないで市が推進すべきではないでは、   る導体・提供できるれるは、   とことによりのののでは、   ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> エ夫の具体的な内容		○②事前確認での想気 想定どはい適正な事務 ■①民間企業等で進い。 ○②市が生き導化に促動を関係が表す。 ○③市が生き導化として変化をない。 ○③中が生きに変化を変化が、のででは、のででは、のででは、のででは、のでででで、の他の内容〉  実施した・協働がまる当無し	をどおりでなかった。由ノ想定どおりでなかった。 由ノ想定どおりでなかった。 処理をした ついたれば実効性がいた。 かたはまでではいた。 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保さい。 をはいる場合には のの具体的な内容 をよられる場合には	た なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた タ (又は今後、はその内容)	〈市実施公立学校 公立学校 〇①当初 ②②当初 ○③当初	の具体的な内容・であることから、であることから、 参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理	必要性の理由之 行政機関の運営 働の程度・内容 由/期待以下で	<b>営となる</b>	○ 要 ● 不 要 ○ 要 要 要
評価項目 (1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性 が 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	・	NPO、市民団体等とですがある。  NPO、市民団体等とですがですが実施するい。  る市が推進のこるれるととにはがいる。  を選が、提供するれるよとにはいる。 参加のの参画画有りいるでは、 のの参画連携してでする。  のでは、 ののでする。 ののできる。 ののでする。 ののではないではないではないではないできないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> た		○②事前確認での想気 想定どはい適正な事務 ■①民間企業等で進い。 ○②市が生き導化に促動を関係が表す。 ○③市が生き導化として変化をない。 ○③中が生きに変化を変化が、のででは、のででは、のででは、のででは、のでででで、の他の内容〉  実施した・協働がまる当無し	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 中型をした の、市民ば集効性がいた。 からにはでで市民へ、 ・施策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保された。 は終基盤が確保された。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた タ (又は今後、はその内容)	<ul> <li>&lt;市実施公立学校</li> <li>○①当初初初初初</li> <li>○②当初</li> <li>&lt;期待しか</li> <li>●①想定</li> </ul>	の具体的な内容・であることから、であることから、 参加・協 別期待した以上 別別 期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境	必要性の理由ご 行政機関の運業 働の程度・内容 出由/期待以下で 売への配慮	<b>営となる</b>	○ 要 ● 不 要 ○ 要 要 要
評価項目 (1)事業が今必要である理理背景は?(事業の必要性 であるか要性 であるか? (市実施の必要性)  参加・市民の参加や市民との協働 エ夫しているか? (体制づくり)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NPO、実施ない。  NPO、実施ない。  NPO、実施ない。  ではない。  おびではない。  おびではない。  おびではない。  おびではない。  おびがればいる。  おびがればいる。  おびがればいる。  おいる。  おいる。  をはいいる。  をはいいる。  をはいいる。  おいる。  はいいる。	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> エ夫の具体的な内容		○②事前確認での想気 想定どはい適正な事務 ■①民間企業等で進むない。 □②市が生き導れた必要等で進むない。 □③市が生き導れた必要が定し。サービスの安とです。 □③では、、	をどおりでなかった。由ノ想定どおりでなかった。 由ノ想定どおりでなかった。 処理をした ついたれば実効性がいた。 かたはまでではいた。 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保さい。 をはいる場合には のの具体的な内容 をよられる場合には	た なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた タ (又は今後、はその内容)	〈市実施公立学校・公立学校・公立学校・公立学校・②②③当前、②③当前、《期待し方》	の具体的な内容・であることから、であることから、 割期待した以上 別期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境 ごどおりでなかった	必要性の理由で 行政機関の運営 働の程度・内容 由/期待以下で	<b>営となる</b>	○ 要 ● 不 要 ○ 要 要 ● 不 要
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 背景は?(事業の必要性は あるか? (市実施の必要性)  ***********************************	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	います。	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> エ夫の具体的な内容		○②事前確認での想気 想定どはい適正な事務 ■①民間企業等で進むない。 □②市が生き導れた必要等で進むない。 □③市が生き導れた必要が定し。サービスの安とです。 □③では、、	をどおりでなかった。由ノ想定どおりでなかった。 由ノ想定どおりでなかった。 処理をした ついたれば実効性がいた。 かたはまでではいた。 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保さい。 をはいる場合には のの具体的な内容 をよられる場合には	た なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた タ (又は今後、はその内容)	〈市実施公立学校・公立学校・公立学校・公立学校・②②③当前、②③当前、《期待し方》	の具体的な内容・であることから、であることから、 参加・協 別期待した以上 別別 期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境	必要性の理由で 行政機関の運営 働の程度・内容 由/期待以下で	<b>営となる</b>	○要 ● 不要 ○ 要 ● 不
評価項目 (1)事業が今必要である理目背景は?(事業の必要性は背景は?(事業の必要性はあるか?(市実施の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) (本制づくり) 環境に配慮しして事業を進め	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がある。  NPO ( 大	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> エ夫の具体的な内容		○②事前確認での想気 想定どはい適正な事務 ■①民間企業等で進むない。 □②市が生き導れた必要等で進むない。 □③市が生き導れた必要が定し。サービスの安とです。 □③では、、	をどおりでなかった。由ノ想定どおりでなかった。 由ノ想定どおりでなかった。 処理をした ついたれば実効性がいた。 かたはまでではいた。 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保さい。 をはいる場合には のの具体的な内容 をよられる場合には	た なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた タ (又は今後、はその内容)	〈市実施公立学校・公立学校・公立学校・公立学校・②②③当前、②③当前、《期待し方》	の具体的な内容・であることから、であることから、 割期待した以上 別期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境 ごどおりでなかった	必要性の理由で 行政機関の運営 働の程度・内容 由/期待以下で	<b>営となる</b>	○ 要         ● 不         ● 要         ● ● 不         ● ● 不
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 背景は?(事業の必要性は あるか? (市実施の必要性)  ***********************************	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がある。  NPO ( 大	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 女策・施策の目標の	< その他の内容> < その他の内容> エ夫の具体的な内容		○②事前確認での想気 想定どはい適正な事務 ■①民間企業等で進むない。 □②市が生き導れた必要等で進むない。 □③市が生き導れた必要が定し。サービスの安とです。 □③では、、	をどおりでなかった。由ノ想定どおりでなかった。 由ノ想定どおりでなかった。 処理をした ついたれば実効性がいた。 かたはまでではいた。 を策の目標の実に をなれた。 は終基盤が確保さい。 をはいる場合には のの具体的な内容 をよられる場合には	たなかった原因> は実施できなかった なかった層 関に貢献した れた  ないの内容)	〈市実施公立学校・公立学校・公立学校・公立学校・②②③当前、②③当前、《期待し方》	の具体的な内容・であることから、であることから、 割期待した以上 別期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境 ごどおりでなかった	必要性の理由で 行政機関の運営 働の程度・内容 由/期待以下で	<b>営となる</b>	○ 要         ● 不         ● 要         ● ● 不         ● ● 不
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 背景は?(事業の必要性は あるか? (市実施の必要性)  ***********************************	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がある。  NPO ( 大	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている ある より実効性が得られるこより、良質で安定し 放策・施策の目標の 容	マイス 法令により規定されていることから マイス 法令により規定されていることから マイス できます マイス		○②事前確認での想気 想定定従い適正、 N 性 に	をどおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 由の理をした のはたことででは、 いなった。 をはなった。 をはなるななが確保とされなが確保とされなが確保とされなが確保とされなが。 をはるなとなる。 をはるな場合には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	た なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた タ (又は今後、はその内容)	〈市実施校公立学校公立学校公立学校公立学校公司当当当当的公司当当当的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的	の具体的な内容・であることから、であることから、 割期待した以上 別期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境 ごどおりでなかった	必要性の理由で 行政機関の運営 働の程度・内容 由/期待以下で	<b>営となる</b>	○要         ● 不         ● 要要         ● 不         ● ▼
評価項目 (1)事業が今必要である理E 背景は?(事業の必要性 背景は?(事業の必要性は あるか? (市実施の必要性)  ***********************************	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NPO、実体によりではない。 NPO、実体には、 ではない、ではないではないがある。  NPO、実体がでは進すこるれるようには、 る導施なが保るこる。 参加ののの動と実施ののの動と実施 ののの動と実施 ののの動と実施 にしています。 といいるるは、 はないるる。 はないる。	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている あるより実効性が得られるこより、良質で安定し 数策・施策の目標の 容			○②事前確認での想気 「想定定従い事務」 「思定ではいる。 まではいる。 まではいる。 まではいる。 まではいる。 まではいる。 まではいる。 のではいる。 ではいる。 では	をどおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 中理をした のは、市には実で市民のは、 いたのは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	た すなかった原因> は実施できなかった 皆及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 はその内容)	<ul> <li>&lt; 市実施校</li> <li>○①当当初</li> <li>○②当初</li> <li>&lt; 刺待しが</li> <li>◆ ② 想定となる</li> </ul>	の具体的な内容・であることから、 参加・協 別期待したとおりの期待した以下 た以上となった理 環境 とどおりでなかった原	必要性の理由ご 行政機関の遅至 働の程度・内容 計画/期待以下で 着への配慮	<b>営となる</b>	○要要要         ●不不要要要         ○●不不要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理理背景は?(事業の必要性 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)  市民の参加や市民との協働の工夫 環境(への配慮) 環境に配慮して事業を進め	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いある。  NPO (	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている ある より実効性が得られるし な策・施策の目標の ②辺現況値との数 ながら、 ■②辺現況値との数 はしている			○②事前確認での想気 想定定従い適正、 N 性 に	をどおりでなかった。由ノ想定どおりでなかった。由ノ想定とというでは、市内には大きでは、中央では、中央では、中のでは、中のでは、中のでは、中のでは、中ででは、中ででは、中ででは、中で	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 はその内容)	< 本事実施校	の具体的な内容・のであることから、参加・協助特したたとおりの期待したとおりでなかった以上となった理学とおりでなかった原ととなった原因>	必要性の理由ご 行政機関の遅至 働の程度・内容 計画/期待以下で 着への配慮	<b>営となる</b>	O 要 要
評価項目 (1)事業が今必要である理理背景は?(事業の必要性 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)  市民の参加や市民との協働の工夫 環境(への配慮) 環境に配慮して事業を進め	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NPO、実体によりではない。 NPO、実体には、 ではない、ではないではないがある。  NPO、実体がでは進すこるれるようには、 る導施なが保るこる。 参加ののの動と実施ののの動と実施 ののの動と実施 ののの動と実施 にしています。 といいるるは、 はないるる。 はないる。	転学等の取り扱いはでは実施できないとが定められている あるにより実効性が得られるにより、 施策の目標の な策・施策の目標の ②現現況値との急 □②現況流値といき			②②事前確認での想気  「想定定従い適正、 N 連 で	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 中理をした つい市民団体等でがいた。 ができなれた。 を集合を表現である。 はいた具体的な内容を表現である。 にいては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	た なかった原因> は実施できなかった きなかった 音及が一層 現に貢献した れた ②(又は今後、 はその内容) ③(2)目標値に未述い (本達)は、 (本達)は、 (本達)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、)は、)は、 (本)は、)は、)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、 (本)は、)は、)は、 (本)は、)は、)は	<ul> <li>〈公立 中華 本本</li> <li>〈公立 中華 本本</li> <li>〈公立 中華 本本</li> <li>〈本理 本本</li> <li>人本理 本本</li> </ul>	の具体的な内容・のであることがら、 参加・協 別期待したとおりの期待したとおりの がいました となった 理 環境 とどおりでなかった 原因 > したした に の は となった 原因 > したした に の は と なった 原因 > した に の は と な こ と に の は と な こ と に の は と な こ と に の は と に の に の は と に の に の は と に の に の は と に の に の に の は と に の に の に の に の に の に の に の に の に の に	必要性の理由ご 行政機関の遅至 働の程度・内容 計画/期待以下で 着への配慮	学であった原因>	○要要要         ●不不要要要         ○●不不要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理理背景は?(事業の必要性 である実施する必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) (1)市民の参加や市民との協働の工夫 環境に配配 (4 制づくり) 環境に配配 (5 関係 であるが、 (4 関係 で	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	N P O 、	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるより実効性が得られるこより 対策・施策の目標の ②現況に値と は変現に値と は変現に値という は変別には、 はの記録の はの記録の はの記録の はの記録の はの記録の はの記録の はいる はの記録の はいる はの記録の はいる	<ul> <li>、すべて法令により規定されていることから</li> <li>〈その他の内容〉</li> <li>〈その他の内容〉</li> <li>た</li> <li>工夫の具体的な内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>○等現性が乏しい値ではないをがいさい値ではないではない値ではないがある場合、比較対象例における目標値(である)</li> <li>実施予定の対策</li> <li>調度活用</li> <li>□⑤PFI等民間資</li> </ul>	(	○②事前確認での想気 ・想定ではい適正、にない適正、にない適正、にない適正、にない適正、にはい適正、にはい適正、にはいる。 ・ ではいでは、ではない。 ・ ではいでは、ではない。 ・ ではいるでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 中理をした つい市民団体等でがいた。 ができなれた。 を集合を表現である。 はいた具体的な内容を表現である。 にいては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	た ま実施できなかった 音なかった 音なかった 音をながった の内容) 「日標値達達成 の②目標を達成した と、 と、 と、 と、 は、 と、 は、 と、 は、 と、 と、 は、 と、 と、 は、 は、 と、 と、 は、 と、 と、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と	○①当当地域 (1) を表現 (1) を表現 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6)	の具体的な内容・ であることから、 参加・協 可期待した以上 とたとなった理 でなかった原 とどおりでなかった原 はとなった原因> 本となった原因> 本となった原因>	必要性の理由では かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう できる かいまい できない かいまい できない かいまい できない かいまい できない かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい できない かいまい できない かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かい	学となる であった原因 > こついて	○要要要         ●不不要要要         ○●不不要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理性背景は?(事業の必要性は背景は?(事業の必要性はあるか?(市実施の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) (本記をしているが、(本制づくり) (本制が、(本制が、(本制が、)) (本記をして事業を進め、(1)目標設定は適切が?	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ドボある。  NPO 、実に がある。  NPO 、実に が が 推 が ない で は が で 地 進 か こ で は か で は か で は か で は か で は か で は と い の の い で は か に で は か に で は か に の の り り で る れ る よ か に の の 参 と 変	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている ある より実効性が得らられる こより、施策の目標の な策・施策の目標の ②3現況にして対応している ■(2)現別にして対応して対応により。 ■(2)現別にはというでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	である。  「大の人物の内容>  「大の人物の大力では、「大の人物の大力では、「大の人物の人物では、「大の人物の人が入れる」を表現している。 「大きがいっさい値ではない。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	(	○②事前確認での想気 「想定定従い事務」 「限点に従いる 業 で 進 な な で で で で で で で で で で で で で で で で	をどおりでなかった。 由ノ想定じたりでなかった。 由ノ想定した のは、市にはででは、 のは、市にはででであれた。 をできる。 をできる。 のは、市にはでででは、 のは、市にはでででは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	た まなかった原因> ま実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 は今の内容) ・ (本の内容) ・ (本の	○①当当地域 (1) を表現 (1) を表現 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6)	の具体的な内容・ であることから、 参加・協 可期待した以上 とたとなった理 でなかった原 とどおりでなかった原 はとなった原因> 本となった原因> 本となった原因>	必要性の理由では、	学 であった原因 >	○ 要要要         ● 不 要要要         ○ ● 不 要要要         ○ ● 不 要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理性背景は?(事業の必要性) の必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) 市民の参加やおか? (本制づくり) 市工(本制づくり) 環境に配慮して事業を進め の記慮 (1)目標設定は適切か?	● ① 民間 ■ ② ② ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ③ ④ □ ② ④ □ ② ③ ④ □ ② ④ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	NPO、実施の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるより実効性が得らなこと 放策・施策の目標の ②現況温等の ■②現況温等のの水での ■②の水ででの ■②の水ででの ■②の水ででの ■②の水ででの ■③の水ででの ■③の水ででの	である。  「大の人物の内容>  「大の人物の大力では、「大の人物の大力では、「大の人物の人物では、「大の人物の人が入れる」を表現している。 「大きがいっさい値ではない。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	(	○②事前確認での想気 ・ 想定で従い。	をどおりでなかった。 由ノ想定じたりでなかった。 由ノ想定した のなけれことでは関連をした。 のはずれた。 ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	た まなかった原因> ま実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 は今の内容) ・ (本の内容) ・ (本の	○①当当地域 (1) を表現 (1) を表現 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6)	の具体的な内容。	必要性の理由では、	学 であった原因 >	○●       ●         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○<
評価項目 (1)事業が今必要である理性背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) (2)市かるかにのが高しているが、(本制づくり) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進めが。(1)目標設定は適切か?	・	NPO、実施ない。  NPO、表述は、 NPO	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるよりより、施策の目標の な策・施策の目標の 「②現現辺域道等 「②現現辺域がです。 「③の表現のです。	である。  「大の人物の内容>  「大の人物の大力では、「大の人物の大力では、「大の人物の人物では、「大の人物の人が入れる」を表現している。 「大きがいっさい値ではない。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「大きない」では、「大きない」である。 「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	(	○②事前確認での想気 ・ 想定ではいる。 ・ はいる。	をどおりでなかった。 由ノ想定じたりでなかった。 由ノ想定した のなけれことでは関連をした。 のはずれた。 ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	た まなかった原因> ま実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 は今の内容) ・ (本の内容) ・ (本の	○①当当地域 (1) を表現 (1) を表現 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6)	の具体的な内容。	必要性の理由では、	学 であった原因 >	○●       ●         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ▼         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●         ○●       ○●
評価項目 (1)事業が今必要である理性背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) (2)市かるかにのが高しているが、(本制づくり) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進めが。(1)目標設定は適切か?	・		転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるより実効性が質で 標の をこより、施策の目標の 全部では変換であるとのできない。 のでは実施できない あるより実効性が質で 標の では実施できない のでは実施できない のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	マイン   マイ	(	②②事前確認での想気 (根本) とした事務 (日本) とした事務 (日本) を (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	E どおり で かっ: 由 / 想 定 じおり で な かっ: 由 / 想 定 した	た まなかった原因> ま実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 は今の内容) ・ (本の内容) ・ (本の	<ul> <li>(公立 中華 大きな)</li> <li>(本本)</li> <li>(本本)<td>の具体的な内容。</td><td>必行政機関の理由宣言 を</td><td>学 であった原因&gt;  こついて いった た原因&gt;</td><td>● ○ ● ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼</td></li></ul>	の具体的な内容。	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	● ○ ● ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼
評価項目 (1)事業が今必要である理性背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) (2)市かるかにのが高しているが、(本制づくり) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進めが。(1)目標設定は適切か?	● ① 日間 ② 第二年 1 日本 1 日	NPO、実施の では、	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるよりより、施策の目標の を定より、施策の目標の を容 いる □①②現通適同・有体管理 □②の数準では、 □②の数準では、 □②の数をです。 □③の数をです。 □◎の数をです。 □◎の③の。□◎の。□○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	<ul> <li>マその他の内容&gt;</li> <li>マその他の内容&gt;</li> <li>大の具体的な内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対域にあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはありまする。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはありまする。</li> <li></li></ul>	(	②②事前確認での想気 (根本) とした事務 (日本) としな事 (日本) を (日	をどおりでなかった。 由 / 想定どおりでなかった。 由 / 想定じおりでなかった。 由 / 想定じたりでなかった。 のなけれことでは、	た まなかった原因> ま実施できなかった かかが一層 現にする 現にする できなかった 音及がした の内容) ・ (又は今後、 ・ (本で) (本で) (本で) (本で) (本で) (本で) (本で) (本で)	マンプリング マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マン	の具体的な内容・の 参加・協 制期待したとなった理 地たとなった理 であることがありた以上とおりたとなった理 でなかった原 事前がのよとなった原 事のの②事がののも でなかった原 をとどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 の②をするがのも でるとなった。	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	○●       ○●         ○●       ○●
評価項目 (1)事業が今必要である理性背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性) (2)市かる実施の必要性) (本)・おる実施の必要性) (本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・およいでは、(本)・よいでは、(	● ① 日間 ② 第二年 1 日本 1 日	(水) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるよりより、施策の目標の を定より、施策の目標の を容 いる □①②現通の値にはない。 □①②現施できない。 □②の変対ででは、 □③の変対では、 □◎の変対では、 □◎の変	できる。  「大の人物の内容>  「大の人物の内で、大の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	(	②②事前確認での想気は (根本) とした事務 (根本) としな事務 (根本) としな事務 (根本) の (Att) の (	E どおり でかった	たまなかった原因> は実施できなかった を音及ができた 関に できなかった を音及が の内容 のの内容 のできて の内容 のできて の内容 のできて の内容 のできて のできて のできて のできて のできて のできて のできて のできて	マンプリング マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マン	の具体的な内容・の 参加・協 制期待したとなった理 地たとなった理 であることがありた以上とおりたとなった理 でなかった原 事前がのよとなった原 事のの②事がののも でなかった原 をとどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 の②をするがのも でるとなった。	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ●         ○●       ○●
評価項目  (1)事業が今必要である理性 背景は?(事業の必要性  (2)市が実施する必要性は ある中にの必要性  (2)市が実施する必要性は ある中にの必要性  (本記を)	・	NPO、実施ない。  NPO、表述は、 NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるよりより、施策の目標の なまり、施策の目標の では実施られるし なまり、施策の目標の では実施られるし なまり、施策の目標の ではまからなどとと対象では はととなります。 ■1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	<ul> <li>マその他の内容&gt;</li> <li>マその他の内容&gt;</li> <li>大の具体的な内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対域にあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはありまする。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはありまする。</li> <li></li></ul>	(	② 事前確認での想象 は で の	をどおりでなかった。 由 / 想定 じおりでなかった。 由 / 想定 じたりでなかった。 由 / 想定 した のなけたでする。 のなけたでする。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるがならには のの具体的な内容。 は / では、	たまなかった原因> は実施できなかった を音及ができた 関に できなかった を音及が の内容 のの内容 のできて の内容 のできて の内容 のできて の内容 のできて のできて のできて のできて のできて のできて のできて のできて	マンプリング マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マングラ マン	の具体的な内容・の 参加・協 制期待したとなった理 地たとなった理 であることがありた以上とおりたとなった理 でなかった原 事前がのよとなった原 事のの②事がののも でなかった原 をとどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 の②をするがのも でるとなった。	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	○●不       要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要
評価項目  (1)事業が今必要である理性 背景は?(事業の必要性  (2)市が実施する必要性は ある実施の必要性は ある実施の必要性は 「市民のでしてのでしてのでしてのでした。」 「は制づくり」 「本民のでしていり」 「本民のでしていり」 「現境に配配。  (1)目標に適切か?  (2)事業かののエー夫を進め  (2)事業ののエー夫を担じ権を事業費は (3)目標値を事業費が、(4)に対して (4)に対して (4)に対して (5)に対して (5)に対して (6)に対して (6)に対して (7)に対して (7)に対して (8)に対して (8)に対して (8)に対して (9)に対して	● ① 日	NPO、実施ない。  NPO、表述は、 NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、NPO、	転学等の取り扱いは では実施できない る はりまからを変 ないる ありまり、施策の目標の ないとができない ない。 のでは実施られている あいまからではできない ないではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではではできない のではではできない のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	<ul> <li>マその他の内容&gt;</li> <li>マその他の内容&gt;</li> <li>大の具体的な内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取組む内容</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>取ります。</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対策</li> <li>の対域にあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはありまする。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはあります。</li> <li>のがはありまする。</li> <li></li></ul>	(	② 事前確認での想象 は で の	をどおりでなかった。 由 / 想定 じおりでなかった。 由 / 想定 じたりでなかった。 由 / 想定 した のなけたでする。 のなけたでする。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるがならには のの具体的な内容。 は / では、	たまなかった原因> は実施できなかった を音及ができた 関に できなかった を音及が の内容 のの内容 のできて の内容 のできて の内容 のできて の内容 のできて のできて のできて のできて のできて のできて のできて のできて	マンプリング マングラ マング	の具体的な内容・の 参加・協 制期待したとなった理 地たとなった理 であることがありた以上とおりたとなった理 でなかった原 事前がのよとなった原 事のの②事がののも でなかった原 をとどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 の②をするがのも でるとなった。	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	○●       ○●         ○●       ○●
評価項目  (1)事業が今必要である理性 背景は?(事業の必要性)  参加・協働のH夫  参加・協働のH夫  のを受性  (2)市が実施する必要性はあるのでの必要性はあるのでのでである。 (本制づくり)  市工(は制づくり)  環境合の配慮  (1)目標と進動では適切か?  (2)事業者が (2)事業者が (2)事業者が (3)目標値を実現する適正が (日標とより。 (3)目標値を実現する適正が (日標とより。 (3)目標値を実現する適正が (日標とより。 (4)日標を表現する適正が (日標とより。 (4)日標を表現する適正が (日標といるが)。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・	NPO、実施ない。  NPO、実施ない。  「ではない。  「ではない。」  「ではない。  「ではない。」  「ではない。」  「ではない。  「ではない。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないいい。」  「ではないいいい。」  「ではないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	転学等の取り扱いは では実施できない る はりまからを変 ないる ありまり、施策の目標の ないとができない ない。 のでは実施られている あいまからではできない ないではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではできない のではではできない のではではできない のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	<ul> <li>大で大き令により規定されていることから</li> <li>くその他の内容&gt;</li> <li>大をの他の内容&gt;</li> <li>大をの他の内容&gt;</li> <li>本事実に基づき設定している</li> <li>実現性が乏しい値ではないをがいさい値ではないである</li> <li>実施予定の対策</li> <li>関度活用 □⑤ P F I 等民間があがする場合、比較対象例における目標値である</li> <li>実施予定の対策</li> <li>関度活用 □⑤ P F I 等民間がである</li> <li>実施予定の対策</li> <li>関連活動の対応 □⑥ 受益者負担</li> <li>① ② その他</li> </ul>	(	② 事前確認での想象 は で の	をどおりでなかった。 由 / 想定 じおりでなかった。 由 / 想定 じたりでなかった。 由 / 想定 した のなけたでする。 のなけたでする。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるがならには のの具体的な内容。 は / では、	た でなかった原因> は実施できなかった 原因> は実施できなかった 層 見 に できながった 層 見 に できながられた で ( 又は今後、 1 での内容) 日標値値 速速 で で で で で で で で で で で で で で で で で	マンプリング マングラ マング	の具体的なとから、 参加・協 別期特待にといる したたとなった理 でなかった原 を送おりでなかった原 を送さおりでなかった原 のである > ***  「製造」ではなった。  「東のの り削  でなかった。  「東のの り削  でなかった。  「東のの り削  でなかった。  「東のの り削	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	○●       ○●         ○●       ○●
評価項目  (1)事業が今必要である理性 背景は?(事業の必要性)  参加・協働のH夫  「市民の参加や市の必要性)  「市民の参加や市ののででは、「は利力では、「は利力では、「は利力では、「は利力では、「は利力では、「は利力では、「は利力では、「は利力では、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	・	NPO、実施ない。  NPO、実施ない。  「ではない。  「ではない。」  「ではない。  「ではない。」  「ではない。」  「ではない。  「ではない。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないい。」  「ではないいい。」  「ではないいいい。」  「ではないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	転学等の取り扱いは では実施できない とが定められている あるよりより、施策の目標の な策・施策の目標の ②現現週等の ■②現現過とい数準では ■②現現過等の・ ははといる文字 「2、現本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>大で大き令により規定されていることから</li> <li>くその他の内容&gt;</li> <li>大をの他の内容&gt;</li> <li>大をの他の内容&gt;</li> <li>本事実に基づき設定している</li> <li>実現性が乏しい値ではないをがいさい値ではないである</li> <li>実施予定の対策</li> <li>関度活用 □⑤ P F I 等民間があがする場合、比較対象例における目標値である</li> <li>実施予定の対策</li> <li>関度活用 □⑤ P F I 等民間がである</li> <li>実施予定の対策</li> <li>関連活動の対応 □⑥ 受益者負担</li> <li>① ② その他</li> </ul>	(	② 事前確認での想象 は で の	をどおりでなかった。 由 / 想定 じおりでなかった。 由 / 想定 じたりでなかった。 由 / 想定 した のなけたでする。 のなけたでする。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるが確保ときる。 をはれるがならには のの具体的な内容。 は / では、	た でなかった原因> は実施できなかった 原因> は実施できなかった 層 見 に できながった 層 見 に できながられた で ( 又は今後、 1 での内容) 日標値値 速速 で で ( で で で で で で で で で で で で で で で	マン で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の具体的なとから、 参加・協 別期特待にといる したたとなった理 でなかった原 を送おりでなかった原 を送さおりでなかった原 のである > ***  「製造」ではなった。  「東のの り削  でなかった。  「東のの り削  でなかった。  「東のの り削  でなかった。  「東のの り削	必行政機関の理由宣言 を	学 であった原因>  こついて いった た原因>	● 不 要

様式第3	号					事務事	業評価表(令	和 2	年度	)								
事業コー	- F	1819		課:	コード	1502	会	計種別	一般会	計			予算0	の種類	■政策   □	経常	□なし	
1. 事第	集の概要(PLAN)																	
	1440 1440 1440 1440	O=#2	基本事業						実施計	·画への		+ •		@ +n =m /z	*/- ** #/\ Z#: ***	4.1.4.4. <del>**</del> ===		
		①事業名			設備整備事業				位置	づけ		)有 ●無		②部課名	教育総務部・学			
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他(				)	④対象地 ⑥担当職		□我孫子	□天王台	3 人	──□新木 ── (換算人数	□布佐	■全市 25 人)		
(1)事業概	要	⑦事業費	<b>公市业</b>		1744				始) 年度	(当 初)		2, 175 千円	(うち人件費		75 千円)			
		(人件費含む)	総事業費			3,230 千円					(変更後)		千円					
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		52101	重点プロジェクト への位置づけ	重点 5			画地区別 位置づけ		)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)			
(0) E 45		施策目的・				L   L   L   L   L   L   L   L   L   L					学校給食の円	滑な実施を図るた	め給食施設設	と備の維持管理を行	すなう。			
(2)目的		展開方向	育や健康教	育の充実に努	めます。	東管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食				目的	64 A 15 27 +5 14							
			学校給食施	設設備は、全個		が進んでいるため、必要性の高いと	ところから計画的に				給食施設整備	方針の策定。						
	_				を目指している と方針に基づく					年度 計画								
(3)事業内容	容	内 容												相宁值				
										年度 果指標	実施率				単位	想定値 % 実績値	100	
(4)達成目	標(期待する成果)				達成目標	票(期待する成果)				種類			· 標		単位	(5) 現況値	(6)目標値	
当該年月	度	給食施設設備の計	画的な整備・	維持管理を行					直	.接	修繕・工事の	実施率			%	100	100	
令和 3	————————— 年度	給食施設設備の計	画的な整備・	維持管理を行	い学校給食のF	円滑な実施を図る			直	.接	修繕・工事の	実施率			%		100	
令和 4	————————— 年度	給食施設設備の計	画的な整備・	維持管理を行	い学校給食のF	円滑な実施を図る			直	.接	修繕・工事の	実施率			%		100	
(7) 東業宝	施上の課題と対応	老朽化に伴う故障	t						<b>华</b> 恭3	案検討		)有 ●無						
(7) 尹未大)	ルエの味過ごが心		T - 101 F			T .	A 1- 0 F- dr		1000	*1%01					A.T. 4			
		政策	平成31年 内 容	- 関	金額(千円)	The .	令和 2年度 予算額(千円	) 油質頻	( <b>-</b>	b :		和 3年度	金額(千円)	\ <b>政</b>	令和 4:	年度	金額(千円)	
		策: : なし。	<u>м</u>		並領(117)	吹		/ 人并识	床	施設修	内 : 繕料	<del>谷</del>	並報(11)	*:施設修繕	内 容 		並領(117)	
						の策定 施設修繕料			1, 289		フード修繕(我 リー網戸設置エ				表修繕(湖北台中) を換工事(我中)	)	234 2, 198	
						清掃委託料					設整備方針に基				整備方針に基づく	対応	,	
						日 <u>五 率</u> 队 未 勿 安			030									
	実施内容																	
(8)施行事]	項 費 用																	
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率		0 %	0	補助率	0 %	0	2, 828	補助率	合 計	0 %		0 補助率	合 計	0 %	2, 432 0	
(9) 財源内語	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	充当率	0 %	0	0	補助率 充当率		0 % 0 %		0     補助率       0     充当率		0 % 0 %	0	
(3) MINNEY	その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他	0		その他	0	2, 828	□特会	会 口受益 口基	金 口その他		0 □特会	□受益 □基金 □	その他	2, 432 0	
/10\ L /# #	換算人数(人) 正職員人件費				0. 25 2, 200		0. 2 2, 17		0. 25 2, 175				0. 2 2, 1				0. 25 2, 175	
(10) 人件費	項託職員報酬額 臨時職員賃金額				0			0	0					0			0	
事業費(予算 (11)単位費	(決算)額+正職員人件費) 計用			40/	2, 200		2, 17	5	5, 003				3, 4	19			4, 607	
(事業	費/活動結果指標)	<u> </u>	22千円/	<del></del>		21.75千円	1/%		50. 03									
2. 争3	集の評価 (DO+CHECK	J I						<del></del>			* # FT	- / / / / / / / / / /		51051 (14-4-1-0-	L. \ \		75.******	
	評価項目	学校給食の安全性	の確保と質の	向上のため必		〕 評 価 対応するため必要。		00	1)事前確認	での想定。		価(評価結果に	ルし、以音系	た快討(仏尤も音の	((5)		改善検討	
(1)事	業が今必要である理由・							•	2事前確認	での想定	どおりでなかっ	<i>t</i> =					〇要	
	景は?(事業の必要性)										1/想定どおりで 多繕等に対応した	でなかった原因> こため					●不要	
		O①民間企業、N	N P O、市民団	団体等では実施	できない	< その他の内容>						は実施できなかっ	た   <市実施	色の具体的な内容	・必要性の理由>			
必		(理由) □法令等		ることが定め				<b>■</b> (	②市が主導	で進めなり	ければ実効性がなかった			学校給食室の整備は設置者である市が実施主体となり に行っていく必要がある。				
要性(2)市	10-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	口その他	1							促進された □④市の支援が政策・b								
b.	が実施する必要性はるか?	●②自治体である (理由) □市が主			性が得られる	<その他の内容>		<b>■</b> (	<b>うサービス</b>	水準が確信							〇要 ●不要	
(1)	5実施の必要性)	■市が実	施・提供する スが保証され	ことにより、」		45			フ フ その他 の他の内容	容>								
		□市が支	だ。 接することに、 図られる		策の目標の				〈その他の内容>									
		□その他	ļ	оф÷			6h +> ch ==		実施した	参加・協働	動の具体的な内:	容(又は今後.			はの中で			
		O①事業計画時に	参加・協働			工夫の具体	工夫の具体的な内容				えられる場合に		0①当	参加・協 初期待した以上	加・協働の程度・内容 以上			
参加	A 4	〇②事業実施時に 〇③管理・運営に	こ市民の参画有	19									●②当	初期待したとおり 初の期待以下				
・ 市民の	D参加や市民との協働を しているか?	〇多青垣・建宮に 〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	内な活動と連携											がの新行以下 した以上となったヨ	甲由/期待以下で	あった原田へ	○要 ●不要	
協働の工夫	づくり)	●⑥その他	- テヘビ大肥										\加付U	- ,, C 4 J [C]	<sub>-</sub> 山、MITAFで	ン・ルが囚グ	●竹笠	
天		<その他の内容> 該当なし				1												
		以当なし		A.F		取組む内容				<u></u>								
		□①自然環境を生		<b>元</b>		収組む	r x 任			チルし	した具体的な内	Ħ,		定どおり	境への配慮			
環境に	- 配慮して車要ナザルー	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識	哉している											定どおりでなかっ				
境への配慮	こ配慮して事業を進めて い?	□④環境負荷低減 ■⑤その他		いる									<想定と	ごおりでなかった』	京因>		 〇 要 ● 不要	
慮		<その他の内容>	-					$\dashv$										
		該当なし																
		現況値(a)(%)	目標値(b)	****	を知めれず	目標値の妥当性のチェック	ל			達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未過						
(1)目	標設定は適切か?	100	100	<b>■</b> ②	現況値と比べ	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない		実	績値(f)(%		達放率(%) (f/b×100)	- ○②目標値未達成 - <目標を達成した理由/未達		<b>載成となった原因</b> と	>		○要	
		100	100	□ <u>@</u>	適当な比較対	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値の差)。	<u> </u>	100	100		必要な施設整備					●不要	
		対策実施によ	 よる事業費削減		同等の水準で	ある 実施予定の対策				実施状況		〇①想定事業費		事業	<b>養の削減対策に</b> つ	ついて		
効		事業費(c)(千円)	事業費削減 (千円)		国・県助成制 現有体制での		I 等民間資本の活用 者負担	実績	賃値(g)(千	ш) I :	対事業費(%) (g/c)×100	<ul><li>○②概ね想定事</li><li>●③想定事業費</li></ul>		●①事前の想 ○②事前の想	東とおり 定どおりでなかっ	ot:		
<u>率</u> (2)事	業費削減の工夫をして	2, 175	25		)維持管理費の )民間委託				5, 003		230. 02						O要	
性	るか?	事業費肖	削減率(%)		減の内容>				過理由等 〉 事業評価 「					<想定どおり削減で			●不要	
		1.	. 14					ずが	8事業評価項目の見直しによる									
			目標値対事業	费(a)		<b>业生</b> **	<b>#</b>			達成状況		┃ ○①目標値以上	_	  標値以上となった	-理由/日標値以っ	下であった原用	3>	
	標値を実現する為に じる事業費は適正か?		日停胆对事業			計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用	単位/事業費		実績値(h)	文	村目標値(%)	- O①目標値以 - O②目標値と同 - ●③目標値以了	程度 事務	標値以上となった  事業評価項目の見		・、いった原図	〇要	
	しる事業質は週止か? 目標対費用)	4. 6			10万円	〇②複数年度の指標:(目標値-3	見況値)×費用単位/事業3	Đ .	美額個(n) 2		(h/e) × 100 43. 48	●◎日保順以「					●不要	
3. 事後	<b>多</b> 評価								۷		70. 40							
	<b>を計画</b> ごおり推進 〇拡充	〇縮小	〇結合 (	O休止 (	) )廃止 (	)事業手法見直し 〇その他(	事業完了など)											
				評価コメン	١							改善策	を 及び展開方向	白				
рт	RIJ、子仪教育の充実と	いっ他束の実現に効	未的な事業と	<b>ゅっ</b> (いるた	め、今後も引	き続き現状通り推進していく。												
価																		